索引

「Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。」

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年使用のビデオの点検を!

こんな症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない ●煙が出たり、異常なにおいや音がする ●水や異物が入った ●時計表示などに異常がある ●テープをいためた ●その他の異常や故障がある	▶	このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 ●ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品番	NV-DV10000
	販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　）　－	

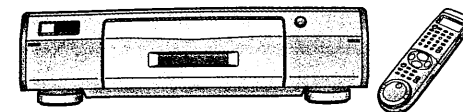
松下電器産業株式会社
ビデオ事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
ビデオシステム事業部
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

VQT7751
F0698P2098（ 500Ⓒ ）

Panasonic デジタルビデオカセットレコーダー NV-DV10000 取扱説明書・基本編

Panasonic

BSチューナー内蔵／Hi-Fi（ステレオ）タイプ

デジタルビデオカセットレコーダー
取扱説明書・基本編

品番 **NV-DV10000**

保証書別添付

DV Mini DV NTSC

Gコード™

このたびは、パナソニックデジタルビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

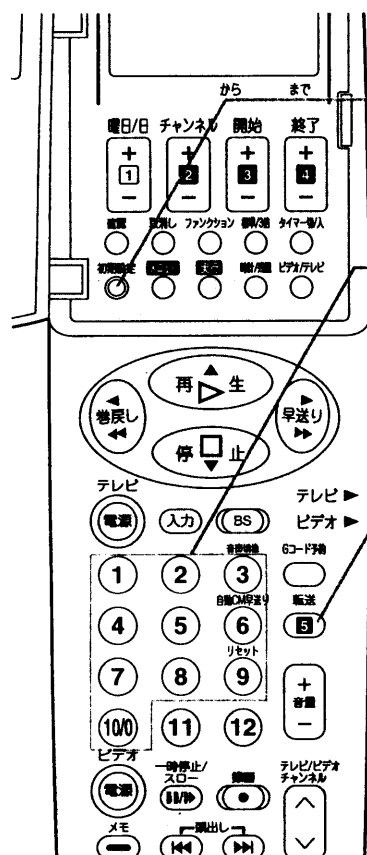
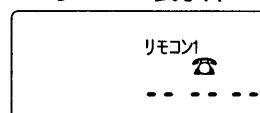
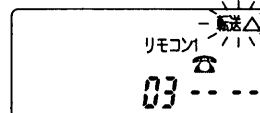
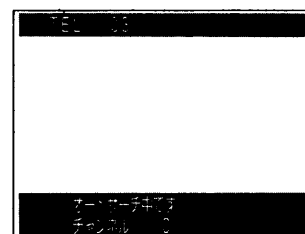
取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

操　作　手　順

市外局番入力チャンネル設定

ご使用になる地域の市外局番を入力するだけで、受信チャンネルの設定を行います

ご使用になる地域により、あらかじめ決められた放送局を設定し、実際にそのチャンネルで放送が行われているかどうかをビデオが調べ（オートサーチ）、放送のない場合はそのチャンネルをとばし、設定されていない放送局を受信すると、そのチャンネルを記憶します

準備：●アンテナ・テレビ・BSアンテナなどとの接続や設定が正しく行われていることを確認する。
●テレビにビデオの画面を出す。

■オートサーチは、以下の順番に行います

V/Uチャンネル ► **BSチャンネル** ► **CATVチャンネル**
(1→2…→62)　(BS1→BS3…→BS15)　(C13→C14…→C63)

■設定内容を確認するには

本体のチャンネルボタンを押す

●次々に押し、受信したい放送局すべてがきれいに受信できているかを確認する。
●電波の状態によっては、きれいに映っているようでも信号がひずんでいたりノイズを含んでいたりする場合があり、オートサーチしても正しく受信設定できない場合があります。

■設定内容を変更するには

マニュアルチャンネル設定を行う

●受信したい放送局が、すべてきれいに受信できるように登録・削除してください。
●ガイドチャンネルの設定も確認してください。（同じガイドチャンネルが複数のチャンネルポジションに設定されないようにご注意ください）
●ノイズがあるときや色が付いていないときは、微調整を行うときれいに受信できる場合があります。

操 作 手 順

マ ニ ュ ア ル 設 定

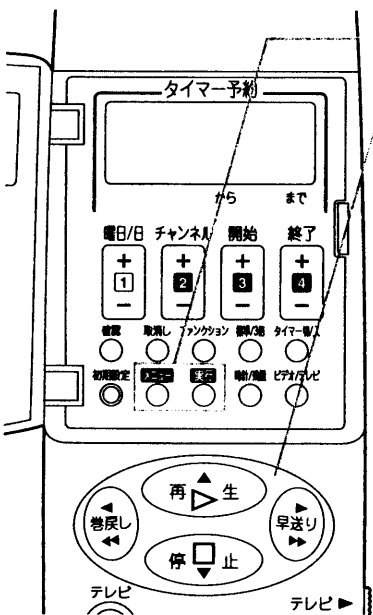
■マニュアルチャンネル設定について

一つ一つのチャンネルポジションについて、受信・表示・ガイドチャンネルなどの設定（登録・削除）・確認を行う方法です

●「市外局番入力チャンネル設定」ではご希望の設定状態にならないときや、お好みの順番で受信したいときなどに行ってください。

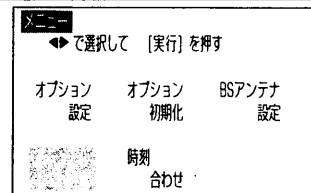
●「市外局番入力チャンネル設定」を行ったあとの、設定内容の確認・変更も、この「マニュアルチャンネル設定」の手順で行います。

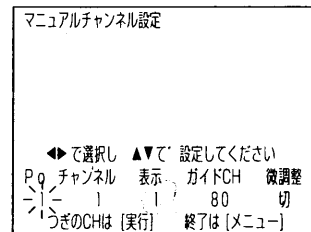
設定の手順は下記の通りです。

準備：●テレビにビデオの画面を出す。

テレビ画面

1 マニュアルチャンネル設定の画面にする

メニューボタンを押し、◄► ボタンで「マニュアルCH設定」を選び実行ボタンを押す。

メニュー
◄► で選択して ［実行］を押す
オプション設定　オプション初期化　BSアンテナ設定
時刻合わせ

2 設定したいチャンネルポジションを選ぶ

◄► ボタンで「Po」を選び、▲▼ ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。

3 各項目の設定を行う

◄► ボタンで設定する項目を選び、▲▼ボタンで設定する。

マニュアルチャンネル設定
◄► で選択し ▲▼で 設定してください
Po チャンネル 表示 ガイドCH 微調整
1 1 1 80 切
つぎのCHは［実行］ 終了は［メニュー］

4 メニューボタンを押す

メモ

■チャンネルポジションとは

選局の順番を示したものです。

●手順2で、▲ボタンを押すごとに、チャンネルポジションが以下のように変わります。（▼ボタンは逆向き）

► **V/Uチャンネル** ► **BSチャンネル** ► **CATVチャンネル** ► **外部入力チャンネル** ► **拡張チャンネル**
（1→2…→20）（BS1→BS3…→BS15）（C13→C14…→C63）（ライン1→ライン2→ライン3）（o1→o2…→o7）

●V/Uチャンネル、拡張チャンネルのときは「Po」が、BS・CATVチャンネルのときは「チャンネル」が、外部入力チャンネルの時は「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

操 作 手 順

マ ニ ュ ア ル 設 定（つづき）

操作例：チャンネルポジション「7」に、TVKテレビを設定する場合。

■チャンネルの設定（登録）

準備：●テレビに「マニュアルチャンネル設定」の画面を出す。

1 設定するチャンネルポジションを選ぶ
◀▶ボタンで「Po」を選び、▲▼ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。

チャンネルポジション

2 受信チャンネルを合わせる
◀▶ボタンで「チャンネル」を選び、▲▼ボタンで受信チャンネルを合わせる。
（V/Uチャンネルのみ設定します）

受信チャンネル

3 表示チャンネルを合わせる
◀▶ボタンで「表示」を選び、▲▼ボタンで表示チャンネルを合わせる。

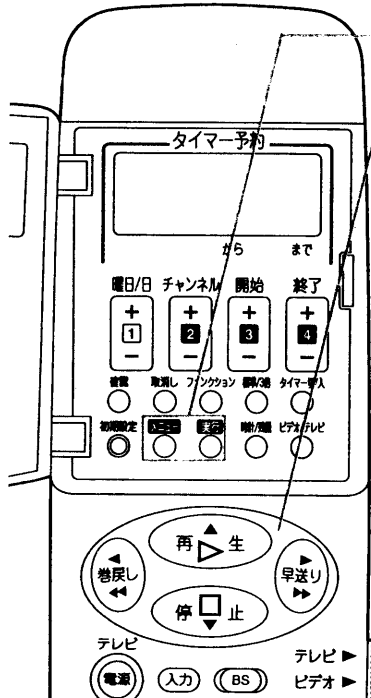
表示チャンネル

4 ガイドチャンネルを合わせる
◀▶ボタンで「ガイドCH」を選び、▲▼ボタンでガイドチャンネルを合わせる。
（BS・外部入力チャンネルは設定しません）

ガイドチャンネル

（5 ■BSチャンネルのみ設定します
BSシステムを合わせる
◀▶ボタンで「BSシステム」を選び、▲▼ボタンで合わせる）

BSシステム

6 メニューボタンを押す

■2つ以上のチャンネルを設定するには
手順5のあと実行ボタンを押す
設定したチャンネルポジションの次に大きなチャンネルポジションの設定画面になります。

■チャンネルポジションの表示について
「Po」はV/U・拡張チャンネルのときの表示です。BS・CATVチャンネルは「チャンネル」が、外部入力チャンネルは「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

■表示チャンネルについて
BS・CATV・外部入力チャンネルのときは、表示チャンネルの変更はできません。

■ガイドチャンネルについて
「ガイドチャンネル一覧表」　　　をご参照ください。

■BSシステムについて
デコーダー自動： スクランブル放送・ハイビジョン放送の受信時のみ、BSデコーダーまたはM-Nコンバーターを働かせるとき
デコーダー入： 独立音声のセントギガも契約しているとき
デコーダー切： BSデコーダーおよびM-Nコンバーターを接続していないとき
M-Nコンバーター： デコーダー自動では、M-Nコンバーターを接続してもハイビジョン放送が受信できないとき

●M-Nコンバーターに設定すると、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の表示に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。

索引

松下電器産業株式会社
ビデオ事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
ビデオシステム事業部
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

VQT7454-1
F0398C2098(500Ⓖ)

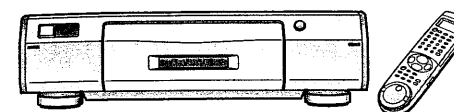
Panasonic デジタルビデオカセットレコーダー NV-DV10000 取扱説明書・編集編

Panasonic

BSチューナー内蔵／Hi-Fi（ステレオ）タイプ

デジタルビデオカセットレコーダー
取扱説明書・編集編

品番 **NV-DV10000**

準備 / マニュアル編集 / プログラム編集 / その他

編集機能早見表

●本機では、接続する機器の種類や、編集の目的に応じた方法でインサートやアフレコなどの編集ができます。
本文で紹介する各種編集を行う前に、この表を参照してください。

●数字は各編集のページです。(本機を録画機とした場合)
●プログラム編集のカッコ内の数字は、最大プログラム数です。

●各編集機能の詳細については、58～59ページの用語解説を参照してください。
●編集に使用するテープが、右下の「録画側に使用できないテープ」に該当する場合は、新しく編集用テープを作る必要があります。くわしくは19ページの「編集用テープを作る」をごらんください。

		内容	接続		設定		編集機能						
			制御コード	入力／出力接続コード	編集端子切換スイッチ	入力切換	ダビング(映像・音声をコピーする)	アッセンブル(複数の場面をつなぎ合わせる)	ビデオインサート(映像を入れ換える)	オーディオインサート(音声を入れ換える)	AVインサート(映像・音声を入れ換える)	アフレコ(新しく別の音声を加える)	ミックスダビング(記録済み音声と新しい音声をミックスする)
編集端子のないビデオと編集するとき	マニュアル編集 ダイレクト編集(P20)	制御コードを接続せずに各機器を直接操作し、各種編集を行います	不要	DV	切	DV入力	20	–	20	20	–	–	–
				映像／音声		L1～L3	20	–	20	20	20	20	20
本機から再生機をコントロールして編集するとき	マニュアル編集 ワンタッチ編集(P22～27)	本機を録画機として、本機から再生機側をコントロールしながら、編集開始位置を指定して各種編集を行います	DV	DV	DV	DV入力	–	22	24	24	–	–	–
			システム(編集)	DV 映像／音声	システムⒺ	DV入力	–	22	24	24	–	–	–
						L1～L3	–	22	24	24	24	24	26
				映像／音声		L1～L3	–	22	24	24	24	24	26
			LANC	DV 映像／音声	8ミリコントロール	DV入力	–	22	24	24	–	–	–
						L1～L3	–	22	24	24	24	24	26
				映像／音声		L1～L3	–	22	24	24	24	24	26
さらに精度の高い本格的な編集をするとき	マニュアル編集 システム編集(P28～33)	本機で他機をコントロールしながら、メニュー画面に沿って、編集開始位置を指定して1プログラムずつ各種編集を行います	DV	DV	DV	DV入力	28	–	30	30	–	–	–
			システム(編集)	DV 映像／音声	システムⒺ	DV入力	28	–	30	30	–	–	–
						L1～L3	28	–	30	30	30	32	–
				映像／音声		L1～L3	28	–	30	30	30	32	–
			LANC	DV 映像／音声	8ミリコントロール	DV入力	28	–	30	30	–	–	–
						L1～L3	28	–	30	30	30	32	–
				映像／音声		L1～L3	28	–	30	30	30	32	–
複数の場面を自動編集するとき	プログラム編集(P34～45)	本機で他機をコントロールしながら、複数の場面の編集開始点／終了点を登録して、各種編集を自動的に行います	DV	DV	DV	DV入力	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	–	–	–
			システム(編集)	DV 映像／音声	システムⒺ	DV入力	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	–	–	–
						L1～L3	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	42(10プロ)	–
				映像／音声		L1～L3	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	42(10プロ)	–
			LANC	DV 映像／音声	8ミリコントロール	DV入力	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	–	–	–
						L1～L3	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	42(10プロ)	–
				映像／音声		L1～L3	–	34(40プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	38(10プロ)	42(10プロ)	–
					録画側に使用できないテープ		編集開始点の手前20秒間が未記録		編集開始点の手前20秒間が未記録				
									未記録／LPモード		未記録／LPモード／16bit		

●表中の　部（DVケーブルを制御コードとして使用するとき）では、当社製のデジタルビデオカメラを再生機として使用すると、DVケーブル1本の接続で各編集機能を行うことができます。

もくじ

まず 行ってください

すぐ 編集するとき

登録 して編集するとき

もし 必要なとき

準備

編集コントローラーのなまえと働き

❶ **編集メニューボタン**（P16～18）
編集メニューを出すとき。編集メニューで前画面に戻るとき。

❷ **カーソルキー**
メニューのカーソルを移動させるとき。

❸ **解除ボタン**
各編集モードを解除するとき。

❹ **システム編集ボタン**（P28～45）
システム編集メニューを出すときや、前画面に戻るとき。システム編集を停止させるとき。

❺ **時計／表示ボタン**
テレビ画面やビデオ表示部の表示を変えるとき。

❻ **日付表示選択ボタン**（基本編）
日付などの表示を切り換えるとき。

❼ **マークインボタン**（P34～47）
プログラム編集で編集開始点をセットするとき。

❽ **マークアウトボタン**（P34～47）
プログラム編集で編集終了点をセットするとき。

❾ **録画／終了時刻予約ボタン**（基本編）
録画をするとき。録画中に押すと録画の終わる時刻を予約できます。

❿ **巻戻しボタン**
テープを巻き戻すとき。

⓫ **停止ボタン**
再生や録画を止めるとき。

⓬ **再生ボタン**
ビデオを見るとき。

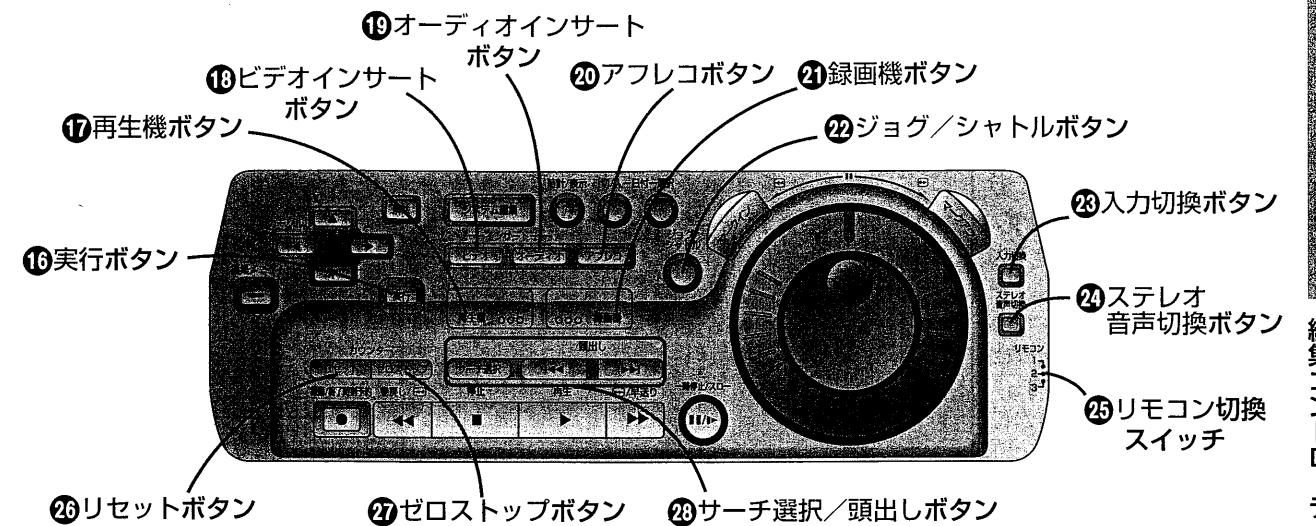
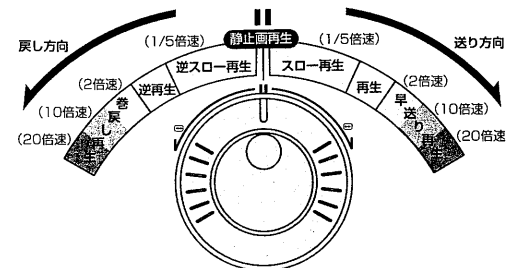
⓭ **早送りボタン**
テープを早送りするとき。

⓮ **一時停止／スローボタン**
再生画面を止めたり、スロー画面を見るとき、録画を一時停止させるとき。

⓯ **ジョグ／シャトル**
ジョグダイヤル（内側）：　コマ送り／コマ戻し再生をするとき。
シャトルリング（外側）：　再生の速度を変えるとき。

ジョグ／シャトルの使い方

●「**ジョグ／シャトル**」ボタンを押すとボタンが点灯し、ビデオ表示部の「**ジョグ／シャトル」ランプ**が点灯します。
●「**ジョグダイヤル**」をゆっくりと回すと、コマ送り／コマ戻し再生ができます。
●「**シャトルリング**」を回すと、再生する速度を変えることができます。
●編集の際、本機のジョグ／シャトルを使って他の機器を操作すると、機器によっては右の図の通りに動作しない場合があります。

⓲ビデオインサートボタン
⓳オーディオインサートボタン
⓴アフレコボタン
㉑録画機ボタン
⓱再生機ボタン
㉒ジョグ／シャトルボタン
㉓入力切換ボタン
⓰実行ボタン
㉔ステレオ音声切換ボタン
㉕リモコン切換スイッチ
㉖リセットボタン
㉗ゼロストップボタン
㉘サーチ選択／頭出しボタン

⓰ **実行ボタン**
システム編集を始めるときや選択を決定するとき。

⓱ **再生機ボタン**
再生機を操作するとき。

⓲ **ビデオインサートボタン**（P20～25）
ダイレクト編集、ワンタッチ編集でビデオインサート、AVインサートをするとき。

⓳ **オーディオインサートボタン**（P20～25）
ダイレクト編集、ワンタッチ編集でオーディオインサート、AVインサートをするとき。

⓴ **アフレコボタン**（P20～27）
ダイレクト編集、ワンタッチ編集でアフレコ編集、ミックスダビング編集をするとき。

㉑ **録画機ボタン**
録画機を操作するとき。

㉒ **ジョグ／シャトルボタン**
ジョグダイヤルやシャトルリングを操作するとき。

㉓ **入力切換ボタン**
外部入力チャンネルの切り換えをするとき。

㉔ **ステレオ音声切換ボタン**
ステレオ1音声とステレオ2音声を切り換えるとき。（12bit音声モード時）

㉕ **リモコン切換スイッチ**（基本編）
リモコンモードを切り換えるとき。

㉖ **リセットボタン**（基本編）
テープカウンターを「0：00.00」にするとき。

㉗ **ゼロストップボタン**（基本編）
ゼロストップ機能で、テープカウンターのゼロ付近に戻すとき。

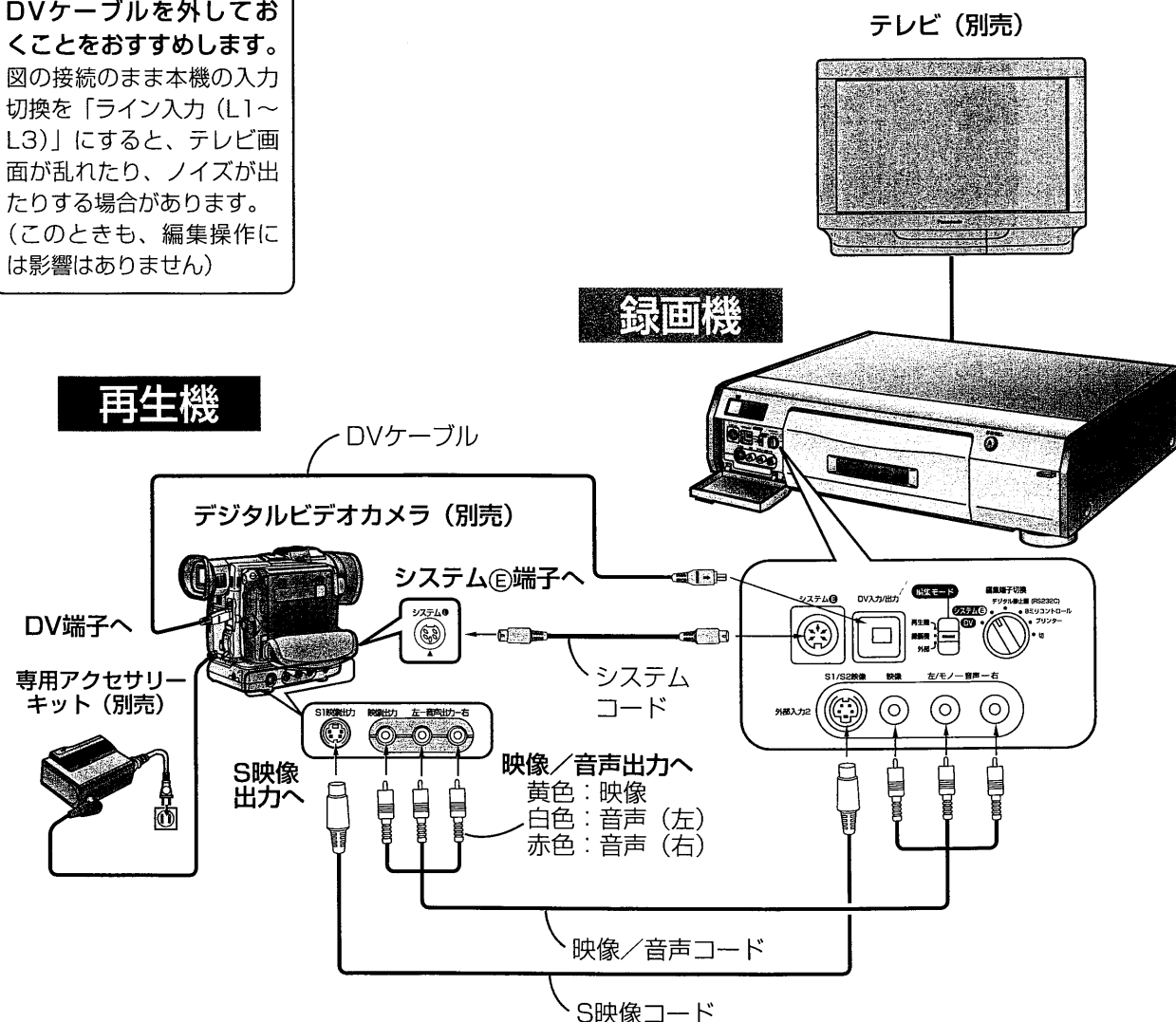
㉘ **サーチ選択／頭出しボタン**（基本編）
見たい画面を探すとき。

お願い／ヒント

●編集実行中は、時計／表示ボタン（P6）でタイムコードとテープカウンターの表示を変えることはできません。
●編集コントローラーをリモコンとして使用しているとき、録画中に録画／終了時刻予約ボタンを押すと、インデックス（頭出し信号）をテープ上に記録することができます。
●リセットボタン、ゼロストップボタンでタイムコード値をゼロにすることや、ゼロ付近に戻すことはできません。

デジタルビデオカメラと接続する

●再生機として当社製のデジタルビデオカメラNV-DJ100をつないで、録画機側（本機）から再生機側をコントロールする場合の接続例

本機の入力切換を「ライン入力（L1〜L3）」にして編集を行うときは、DVケーブルを外しておくことをおすすめします。
図の接続のまま本機の入力切換を「ライン入力（L1〜L3）」にすると、テレビ画面が乱れたり、ノイズが出たりする場合があります。（このときも、編集操作には影響はありません）

接続時のお願い

●接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。
●再生機と本機をS映像コードで接続した場合、S映像からの映像が優先して録画されます。S映像端子のない機器を再生機にするときは、本機からS映像コードを外してください。
●再生機の説明書をよくお読みください。
●デジタルビデオカメラの電源は、編集中のバッテリー切れのないよう、ACアダプターのご使用をおすすめします。

●編集を行う前に、再生機、録画機にカセットが入っていることをお確かめください。
（録画機のカセットの誤消去防止のつまみを「REC」側にしておく）

接続後の設定

再生機（デジタルビデオカメラ）

1 電源を「入」にする

2 液晶モニター（ファインダー）にタイムコードを表示しておく

3 テープを再生できる状態にしておく

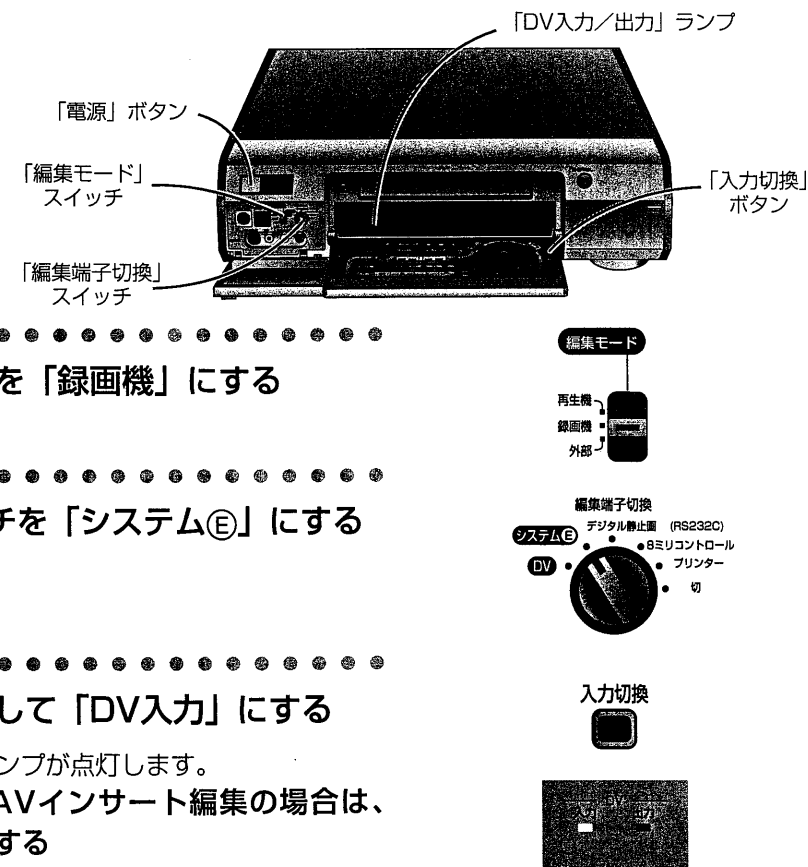
録画機（本機）

1 電源を「入」にする

2 「編集モード」スイッチを「録画機」にする

編集モード
再生機
録画機
外部

3 「編集端子切換」スイッチを「システムⓔ」にする

4 「入力切換」ボタンを押して「DV入力」にする
ビデオ表示部の「DV入力」ランプが点灯します。
ただし、アフレコ編集、AVインサート編集の場合は、ライン入力（L1〜L3）にする

入力切換

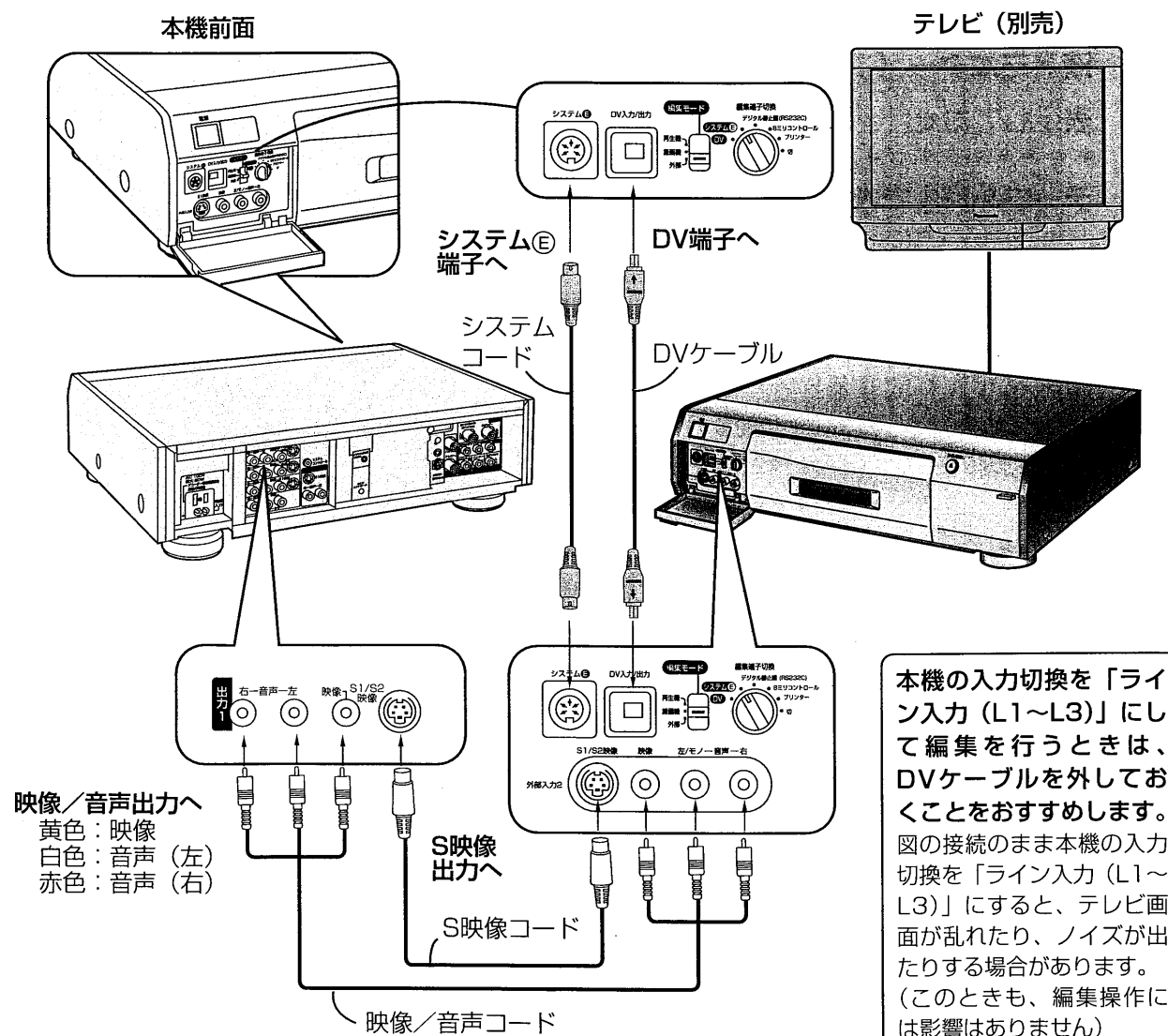
お願い／ヒント

●当社製のデジタルビデオカメラを再生機にして次の編集を行うときは、本機とDVケーブルで接続するだけでも編集ができます。
・ダビング編集・ビデオインサート
・オーディオインサート・アッセンブル編集
その場合、本機の入力切換は「DV入力」に、
編集端子切換スイッチは「DV」にしてください。
（機器により正常に動作しない場合があります）
●DVケーブルのみの接続で、プログラム編集（P34〜45）をする場合は、カウンターモードをタイムコード表示にしてください。
●DV端子で接続して編集したときは、映像・音声端子で接続の場合に比べて、一部機能が異なります。くわしくは、用語解説（P60）をごらんください。

準備（つづき）

デジタルビデオカセットレコーダー（本機2台）と接続する

●本機2台を接続して、録画機から再生機をコントロールする場合の接続例

本機の入力切換を「ライン入力（L1～L3）」にして編集を行うときは、DVケーブルを外しておくことをおすすめします。
図の接続のまま本機の入力切換を「ライン入力（L1～L3）」にすると、テレビ画面が乱れたり、ノイズが出たりする場合があります。（このときも、編集操作には影響はありません）

接続時のお願い

●接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。

お願い／ヒント

●次の編集を行うときは、再生機と本機をDVケーブルで接続するだけでも編集ができます。
・ダビング編集・ビデオインサート
・オーディオインサート・アッセンブル編集
その場合、本機の入力切換は「DV入力」に、再生機と本機の編集端子切換スイッチは「DV」に切り換えてください。

●DVケーブルのみの接続で、プログラム編集（P34～45）をする場合は、カウンターモードをタイムコード表示にしてください。

●DV端子で接続して編集したときは、映像・音声端子で接続の場合に比べて、一部機能が異なります。くわしくは、用語解説（P60）をごらんください。

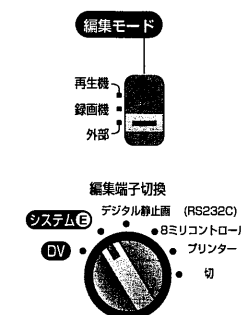
●編集を行う前に、再生機、録画機にカセットが入っていることをお確かめください。
（録画機のカセットの誤消去防止のつまみを「REC」側にしておく）

接続後の設定

再生機

1 電源を「入」にする

2 「編集モード」スイッチを「外部」にする

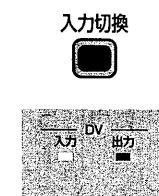
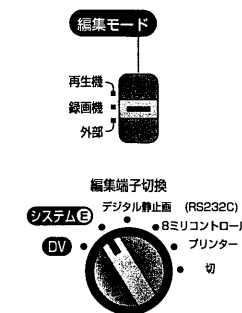
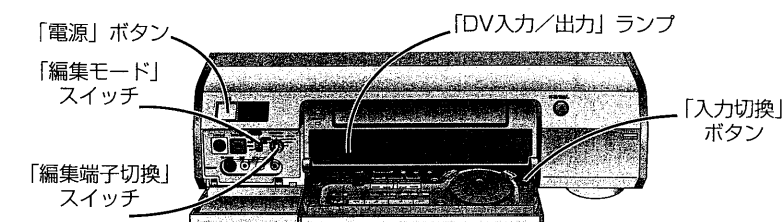
3 「編集端子切換」スイッチを「システムⓔ」にする

録画機

1 電源を「入」にする

2 「編集モード」スイッチを「録画機」にする

3 「編集端子切換」スイッチを「システムⓔ」にする

4 「入力切換」ボタンを押して「DV入力」にする

ビデオ表示部の「DV入力」ランプが点灯します。
ただし、アフレコ編集、AVインサート編集の場合は、ライン入力（L1～L3）にする

再生機側から録画機をコントロールする場合

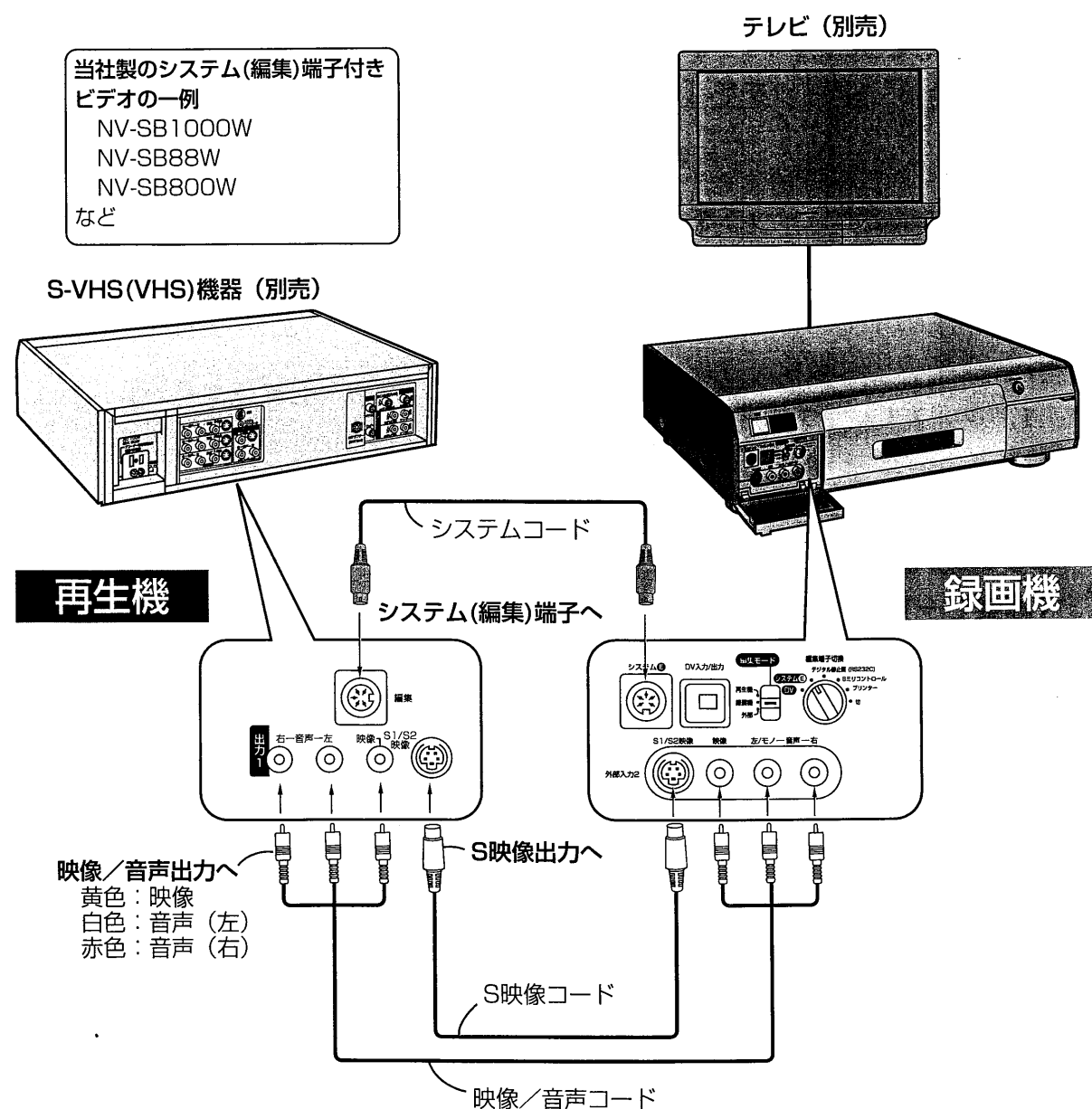
以下の手順で行ってください
・再生機と録画機のシステムⓔ端子にシステムコードを接続する
・録画機の入力端子と、再生機の出力端子を映像・音声コードで接続する
・「編集端子切換」スイッチと「編集モード」スイッチを以下のように設定する

	編集端子切換	編集モード
再生機：	「システムⓔ」	「再生機」
録画機：	「システムⓔ」	「外部」

・再生機側の「入力切換」ボタンを押して、機器を接続していない外部入力チャンネルを選ぶ
・再生機と録画機の両方に、各機の画像を見るテレビを1台ずつ接続する

・この接続では、オーディオインサート、AVインサート編集はできません。

システム（編集）端子付きのS-VHS(VHS)機器と接続する

●再生機としてシステム（編集）端子をもつS-VHS(VHS)機器とつないで、録画機側（本機）から再生機側をコントロールする場合の接続例

接続時のお願い

●接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。
●再生機と本機をS映像コードで接続した場合、S映像からの映像が優先して録画されます。S映像端子のない機器を再生機にするときは、本機からS映像コードを外してください。
●再生機の機器の説明書をよくお読みください。

●編集を行う前に、再生機、録画機にカセットが入っていることをお確かめください。
（録画機のカセットの誤消去防止のつまみを「REC」側にしておく）

接続後の設定

再生機 (S-VHS（VHS）ビデオ機器)

1 電源を「入」にする

2 コントロールされる状態にしておく

再生機の説明書をお読みになって、必要な設定を行ってください。

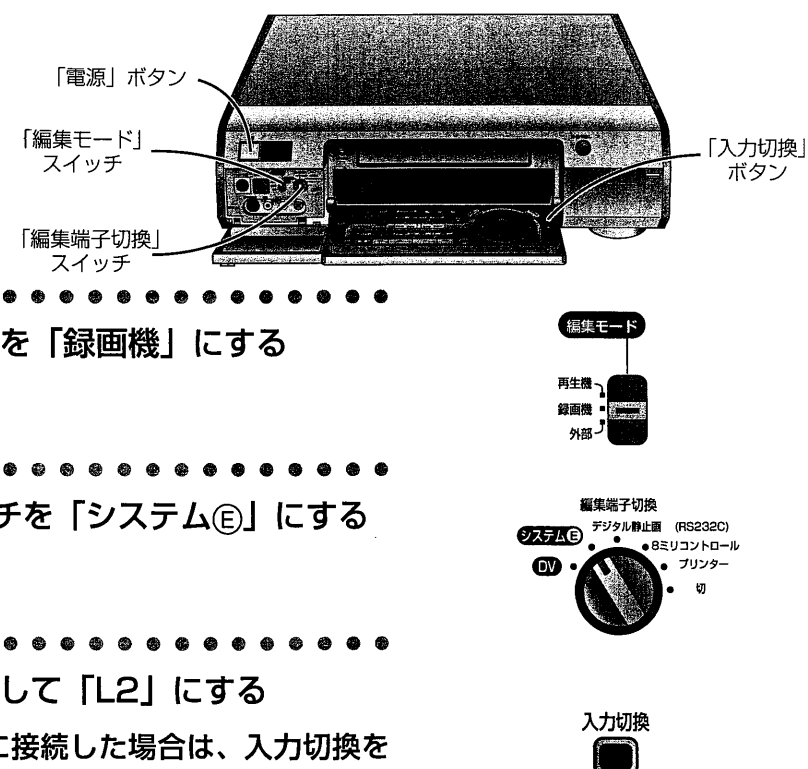
録画機 (本機)

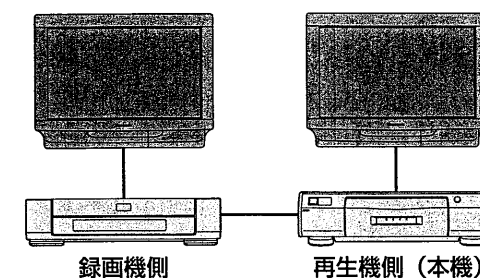
1 電源を「入」にする

2 「編集モード」スイッチを「録画機」にする

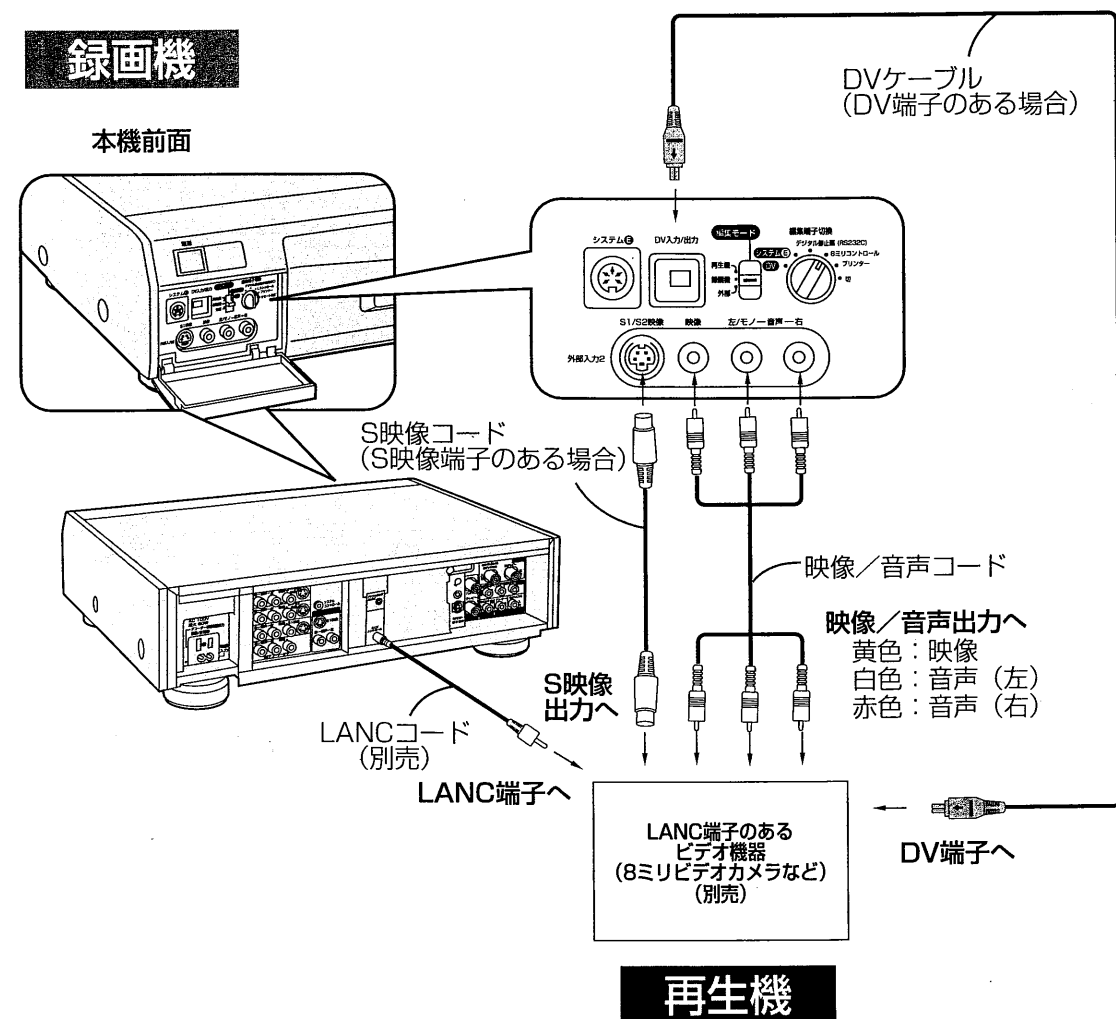
3 「編集端子切換」スイッチを「システムⒺ」にする

4 「入力切換」ボタンを押して「L2」にする

本機後面の外部入力端子に接続した場合は、入力切換を「L1」または「L3」にする

本機を再生機にしてS-VHS(VHS)機器と接続する場合

以下の手順で行ってください
・本機とS-VHS(VHS)機器のシステム端子にシステムコードを接続する
・本機の出力端子と、S-VHS(VHS)機器の入力端子をS映像(映像)・音声コードで接続する
・本機の「編集端子切換」スイッチを「システムⒺ」に「編集モード」スイッチを「再生機」に設定する
・本機の「入力切換」ボタンを押して、機器を接続していない外部入力チャンネルを選ぶ
・本機とS-VHS(VHS)機器の両方に、各機の画像を見るテレビを1台ずつ接続する
・S-VHS(VHS)機器の編集コントロール設定を行う（機器の説明書をお読みください）

・この接続では、オーディオインサート、AVインサート編集はできません。

LANC端子付きのビデオ機器と接続する

●再生機として他社製のLANC端子（Lコントロール）をもつビデオ機器とつないで、録画機側（本機）から再生機側をコントロールする場合の接続例

接続時のお願い

●接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。
●再生機と本機をS映像コードで接続した場合、S映像からの映像が優先して録画されます。S映像端子のない機器を再生機にするときは、本機からS映像コードをはずしてください。
●再生機の説明書をよくお読みください。
●LANC端子付きビデオで本機をコントロールすることはできません。
●LANC端子は、種類によって本機のLANC端子と形状の異なるものがあります。
●接続する機器によっては、正しく動作しない場合があります。

●編集を行う前に、再生機、録画機にカセットが入っていることをお確かめください。
（録画機のカセットの誤消去防止のつまみを「REC」側にしておく）

接続後の設定

再生機（LANC端子付きビデオ機器）

1 電源を「入」にする

2 コントロールされる状態にしておく

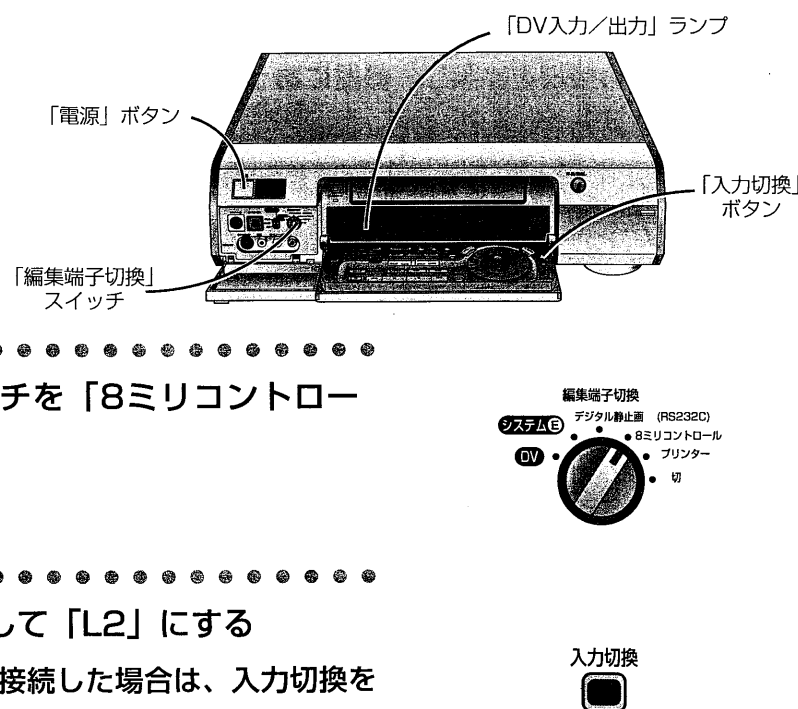
再生機の説明書をお読みになって、必要な設定を行ってください。

録画機（本機）

1 電源を「入」にする

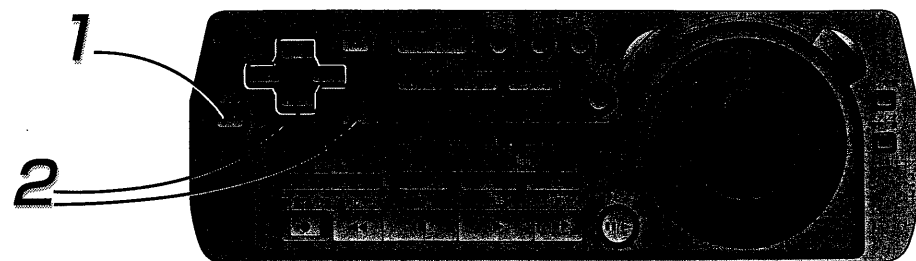
2 「編集端子切換」スイッチを「8ミリコントロール」にする

3 「入力切換」ボタンを押して「L2」にする

本機後面の外部入力端子に接続した場合は、入力切換を「L1」または「L3」にする
DV端子のある機器と接続する場合は、「DV入力」に切り換える
ビデオ表示部の「DV入力」ランプが点灯します。
アフレコ編集、AVインサート編集の場合は、ライン入力（L1～L3）にする

お願い／ヒント

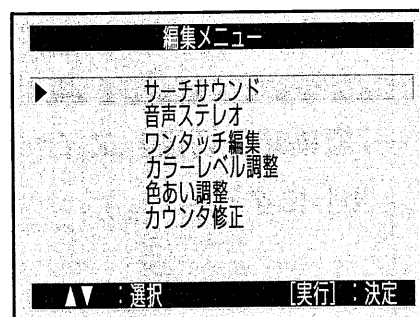
●DV端子で接続して編集したときは、映像・音声端子で接続の場合に比べて、一部機能が異なります。くわしくは、用語解説（P60）をごらんください。

お使いになる前の設定（編集メニュー）

●編集を行う前に、モニターに編集メニューを表示させて、編集に必要な設定ができます。

準備 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる

1 「編集メニュー」ボタンを押す

●編集メニューが表示されます。

編集メニュー
▶ サーチサウンド
音声ステレオ
ワンタッチ編集
カラーレベル調整
色あい調整
カウンタ修正
▲▼：選択　[実行]：決定

2 カーソルキー▲▼で設定する項目を選んで、「実行」ボタンを押す

●選択された項目の設定画面が表示されます。

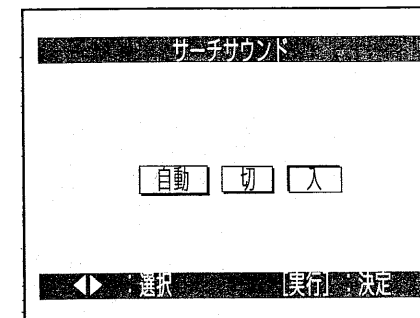
3 カーソルキー▲▼◀▶を使って必要な設定を行い、「実行」ボタンを押す

設定を終了するときは
「編集メニュー」ボタンを押す

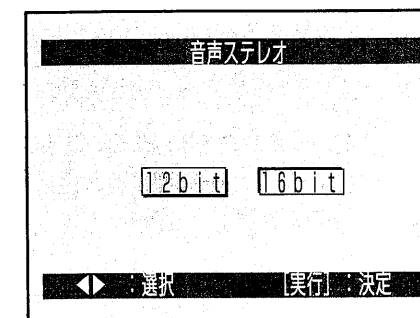
編集メニューモードを解除するときは
「解除」ボタンを押す

サーチサウンド

ジョグ／シャトル操作中にサーチ音声を出すことができます。

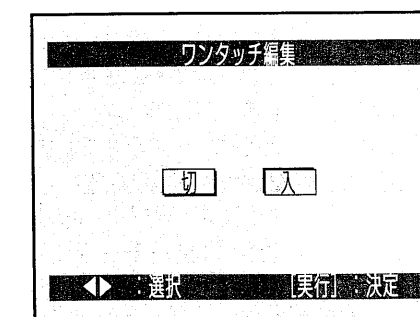
●自動　：編集時のみサーチ音声を出します
切　：サーチ音声は出しません
入　：サーチ音声を出します

音声ステレオ

音声の記録モードを選択します。

●12bit：音声領域を2つに分けて、「ステレオ1」と「ステレオ2」の2種類のステレオ音声を記録します
16bit：音声領域のすべてを使って、より高音質の音声を記録します

ワンタッチ編集

ワンタッチ編集（P22～27）を行うときに使います。

●切　：ワンタッチ編集以外の編集を行うときは、この位置にしてください
入　：ワンタッチ編集ができます

ワンタッチ編集は、**編集端子切換スイッチ**が「DV」、「システムⒺ」または「8ミリコントロール」に、**編集モードスイッチ**が「録画機」に設定されている場合のみ行えます。

お願い／ヒント

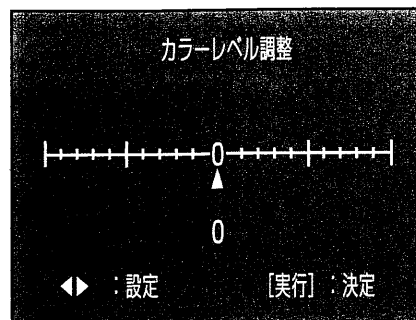
●各メニュー項目の前に●のある方が、工場出荷時の設定です。

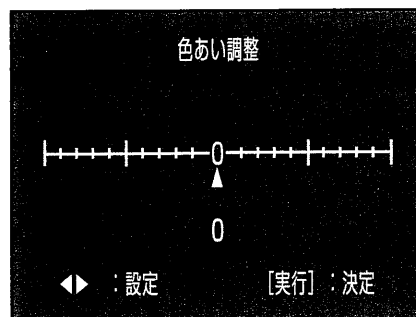
●音声モードを12bitにすると、音声は「ステレオ1」のみに記録され、「ステレオ2」には記録されません。「ステレオ2」には、アフレコ編集、ミックスダビング編集を行ったとき、新しく録音した音声が記録されます。

●入力切換が「DV入力」のときは、音声ステレオ、カラーレベル調整、色あい調整のメニューは選択できません。

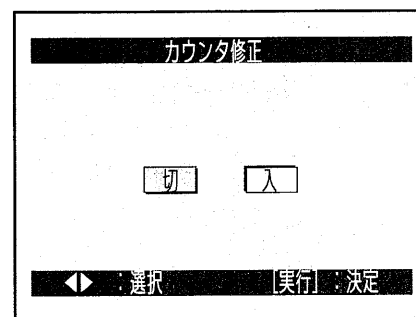
お使いになる前の設定（編集メニュー）

カラーレベル調整

入力信号のカラーレベルを調整することができます。
「入」を選んで実行ボタンを押すと、カラーレベル調整画面が表示されます。
◀カーソルキーを押すと、色が薄くなります
▶カーソルキーを押すと、色が濃くなります
±20まで調整できます

色あい調整

入力信号の色あいを調整することができます。
「入」を選んで実行ボタンを押すと、色あい調整画面が表示されます。
◀カーソルキーを押すと、色が赤っぽくなります
▶カーソルキーを押すと、色が緑っぽくなります
±20まで調整できます

カウンタ修正

●入：　接続した機器のカウンターモードが、DV方式のタイムコード表示になっているときはこの位置にしてください。
切：　デジタルビデオ機器以外の機器と接続しているときは、この位置にしてください。
ただし、デジタルビデオ機器と接続していても、カウンターモードがタイムコード表示以外になっているときは、「切」にしてください

編集端子切換スイッチが「DV」になっているときには、自動的にカウンタ修正が働きます。

お願い／ヒント

●各メニュー項目の前に●のある方が、工場出荷時の設定です。（カラーレベル調整、色あい調整は、工場出荷時は「切」で設定されています）
●入力切換が「DV入力」のときは、
音声ステレオ、カラーレベル調整、色あい調整のメニューは選択できません。
●カラーレベル調整、色あい調整は、
・入力切換がライン入力（L1～L3）のときのみ設定できます。
・一度調整した値は、電源を「切」にするとゼロに戻ります。

編集用テープを作る

編集時には、次のようなテープをお使いください

●編集開始点の手前20秒間の映像・音声が、正しく記録されているテープ　再生機　録画機
本機は、編集開始点より前の部分までテープを巻き戻してから編集を開始します。そのため、編集開始点の手前20秒間が未記録になっていたり、正しく記録されていないときは、正確な編集ができません。
●タイムコードが連続して記録されているテープ　再生機　録画機
とぎれとぎれに記録されていたり、途中に未記録部分があると、タイムコードが不連続になり、編集が中断されます。
●SPモードで録画されているテープ　録画機
（インサート、アフレコ、ミックスダビング編集時のみ）
LPモードで録画されているテープでは、上記の編集ができません。
●12bitの音声モードで記録されているテープ　録画機
（AVインサート、アフレコ、ミックスダビング編集時のみ）
16bitの音声モードで記録されているテープでは、上記の編集ができません。
●他のビデオ機器で録画したテープをインサート、アフレコ、ミックスダビング編集に使用すると、音声が劣化したり、画像が乱れたりする場合があります。

上記のようなテープがないときは、下記の方法でダビングを行い、編集用のテープを作ってください

1. **元になるカセットテープを再生機に、新しいカセットテープを録画機（本機）にそれぞれ入れる**
2. **再生機と録画機（本機）を接続する**
元のカセットの内容を、デジタル信号でそのままダビングするときはDVケーブルで、映像・音声端子からの信号でダビングするときは映像・音声コードで接続してください。
（16bit音声のテープを12bit音声にしたいときは、映像・音声コードで接続してダビングしてください）
3. **「編集端子切換」スイッチが「切」になっていることを確認する**
4. **本機のテープ速度を「SP」にする**
5. **約20秒ほど何も映っていない画面を録画する**
再生機を停止状態にし、録画機（本機）の入力切換を「ライン入力（L1～L3)」にして録画をしてください。
6. **録画機（本機）の入力を切り換える**
手順2で、DVケーブルで接続したときは「DV入力」に、映像・音声　コードで接続したときは「ライン入力（L1～L3)」に切り換えてください。
7. **再生機の再生ボタンを押し、元のテープの再生を始める**
8. **録画機（本機）の録画ボタンを押し、ダビングを始める**

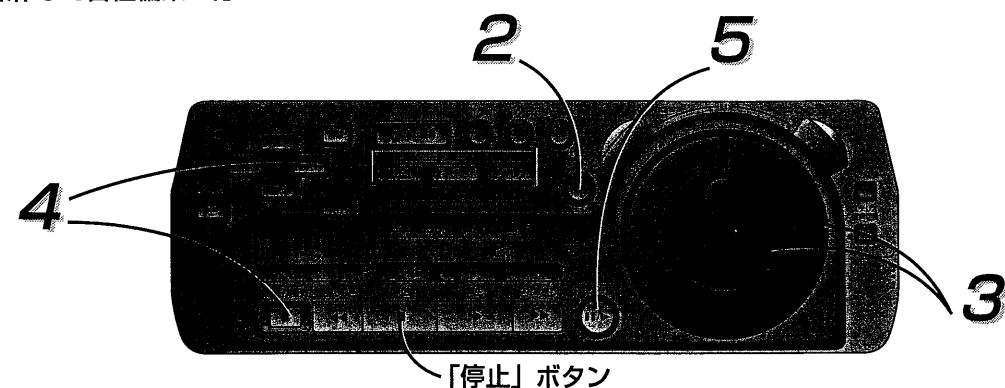
お願い／ヒント

●DVケーブルを使って、デジタルダビングすると画質の劣化はほとんどありません。
●デジタルビデオテープをDVケーブルで接続せずにダビングすると、元のサブコードデータ（フォトショットインデックス信号、日付情報など）はコピーされません。
●タイムコードは、録画をすると同時にテープのサブコード上に記録されます。サブコードには、このほかフォトショット用インデックス信号や録画した日付の情報などが記録されています。
（タイムコードについては、59ページの用語解説も参照してください）

マニュアル編集

直接機器を操作して編集する（ダイレクト編集）

●システム（編集）端子、LANC端子に接続しないで、DVケーブルや映像・音声コードだけで接続し、直接再生機を操作して各種編集を行います。

「停止」ボタン

準備 ❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
・再生機の出力端子と録画機（本機）の入力端子を映像（S映像）・音声コードで接続する
・再生機にDV端子がある場合は本機のDV端子とDVケーブルで接続する
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 再生機を操作して、再生機側の編集を開始する部分をさがし、静止画再生にしておく

2 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す

●「ジョグ／シャトル」ボタンが点灯します。
●本機が静止画再生になります。

3 本機のジョグ／シャトルを使って、録画機側（本機）の編集を開始する部分をさがす

4 編集するモードのボタンを押す

●再生機側の内容をダビングするときは「録画」
●映像のみを入れ換える場合は「ビデオインサート」
●音声のみを入れ換える場合は「オーディオインサート」
●映像と音声の両方を入れ換える場合は「ビデオインサート」と「オーディオインサート」のどちらかのボタンを先に押し、その後もう一方を押す
●新しく音声を追加する場合は「アフレコ」
●ミックスダビングの場合は「アフレコ」を押した後、本機右とびらの中の「ミックスダビング」**ボタン**を押す（ミックスダビングの手順は、他の編集と一部異なります。くわしくは26ページをごらんください）

「ジョグ／シャトル」ボタンが消灯し、選んだ編集モードのビデオ表示部ランプが点灯します。
本機が録画または録音の一時停止になります。

ビデオ表示部

ビデオインサート

オーディオインサート

AVインサート

アフレコ

5 本機の「一時停止／スロー」ボタンと再生機の一時停止ボタンを同時に押す

●編集が始まります。

止めるときは
❶ 本機の「停止」ボタンを押す
❷ 再生機の「停止」ボタンを押す

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

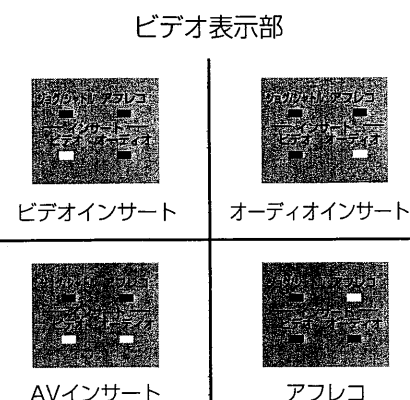
次のようなとき、AVインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません

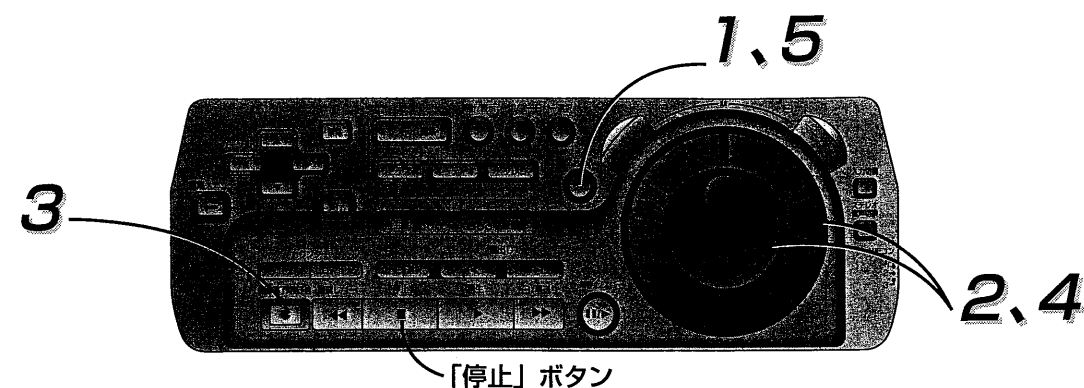
●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで記録されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
●入力切換が「DV」のとき

お願い／ヒント

●ダビングはLPモードでも行えますが、それらのテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。（P19）
●本機のカウンターモードを、テープカウンター表示にして編集を行うと、カウンターの値が「0：00.00」の点で本機の編集動作は自動的に停止します。（ダビング、アフレコの場合、この機能は働きません）

正しく編集できないときは

● 「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

ワンタッチ-アッセンブル編集（必要な場面を順序よくつなぎ合わせる）

●ワンタッチ編集機能を使うと、本機から再生機を操作してアッセンブル編集ができます。

準備 ❶ 2〜3ページの編集機能早見表と、8〜15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16〜18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく
編集メニュー設定の「ワンタッチ編集」を「入」にする

1 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
●「ジョグ／シャトル」ボタンが点灯します。
●本機が静止画再生になります。

2 ジョグ／シャトルを使って、録画機側（本機）の録画を開始する部分をさがす

3 本機の「録画」ボタンを押す
●本機が録画一時停止になります。
●再生機側の静止画再生になり、再生機側の画面に切り換わります。

4 本機のジョグ／シャトルを使って、再生機側の編集を開始する部分をさがす

5 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
●「ジョグ／シャトル」ボタンが消灯します。
●再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

続けて編集を行うときは
本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押し、手順4〜5を繰り返す

止めるときは
本機の「停止」ボタンを押す

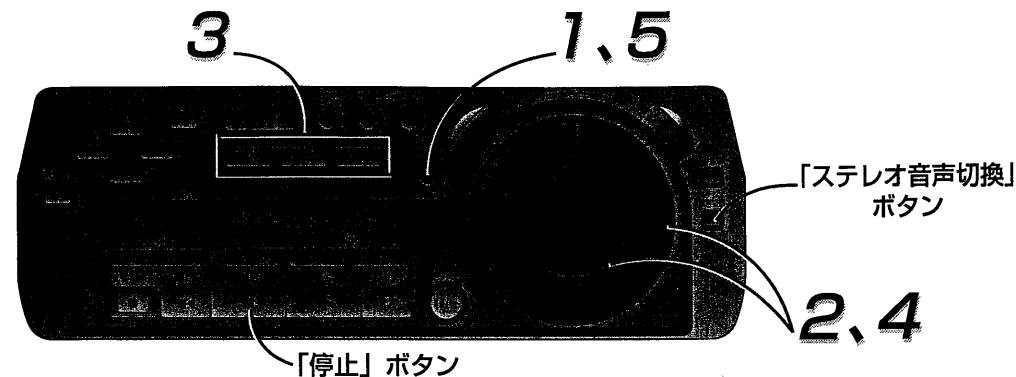
お願い／ヒント
●アッセンブル編集はLPモードでも行えますが、それらのテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。(P19)
●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。(P19)

正しく編集できないときは
●「困ったとき！？」(P57) を参照してください。

編集コントローラーをリモコンの状態で操作しているとき
●「ジョグ／シャトル」ボタンを押して約1分以上経過すると、電池消耗を防ぐためボタンの点灯が消えます。
●録画機側の編集開始点を設定した後に（手順2）、「ジョグ／シャトル」ボタンが消灯した場合は、再度「ジョグ／シャトル」ボタンを押して点灯させてから、再生機側の編集開始点をさがしてください。
●再生機側の編集開始点を設定した後に（手順4）消灯した場合は、「ジョグ／シャトル」ボタンを2回押すと編集が始まります。

マニュアル編集 (つづき)

ワンタッチ-インサート／アフレコ編集 (内容の一部を入れ換える／別の音声を追加する)

●ワンタッチ編集機能を使うと、本機から再生機を操作してインサート編集（ビデオインサート、オーディオインサート、AVインサート)、アフレコ編集ができます。

準備 ❶2〜3ページの編集機能早見表と、8〜15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷必要なときは、16〜18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく
編集メニュー設定の「ワンタッチ編集」を「入」にする

1 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す

●「ジョグ／シャトル」ボタンが点灯します。
●本機が静止画再生になります。

2 ジョグ／シャトルを使って、録画機側（本機）の編集を開始する部分をさがす

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

次のようなとき、AVインサート編集、アフレコ編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
●入力切換が「DV」のとき

お願い／ヒント

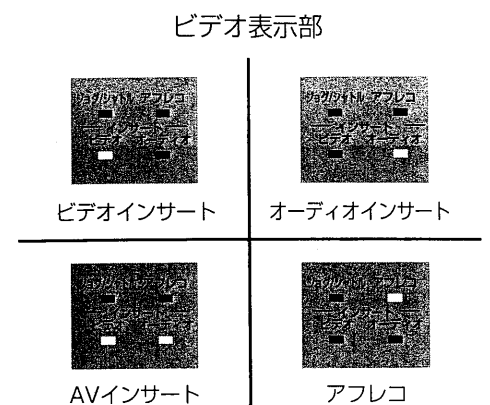
●本機のカウンターモードを、テープカウンター表示にして編集を行うと、カウンター値が「0：00.00」の点で本機の編集動作は自動的に止まります。
●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。(P19)

正しく編集できないときは

●「困ったとき！？」(P57) を参照してください。

3 編集するモードのボタンを押す

●映像のみを入れ換える場合は「ビデオインサート」
●音声のみを入れ換える場合は「オーディオインサート」
●映像と音声の両方を入れ換える場合は
「ビデオインサート」と「オーディオインサート」のどちらかのボタンを先に押し、その後もう一方を押す
●新しく音声を追加する場合は「アフレコ」

選んだ編集モードのビデオ表示部ランプが点灯します。
本機が録画または録音の一時停止になります。
再生機側の静止画再生になり、再生機側の画面に切り換わります。
(ビデオ表示部に「録画」の表示は出ません)

ビデオ表示部

ビデオインサート

オーディオインサート

AVインサート

アフレコ

4 本機のジョグ／シャトルを使って、再生機側の編集を開始する部分をさがす

5 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す

●「ジョグ／シャトル」ボタンが消灯します。
●再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

続けて編集を行うときは
本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押し、手順4〜5を繰り返す
止めるときは
本機の「停止」ボタンを押す

編集コントローラーをリモコンの状態で操作しているとき

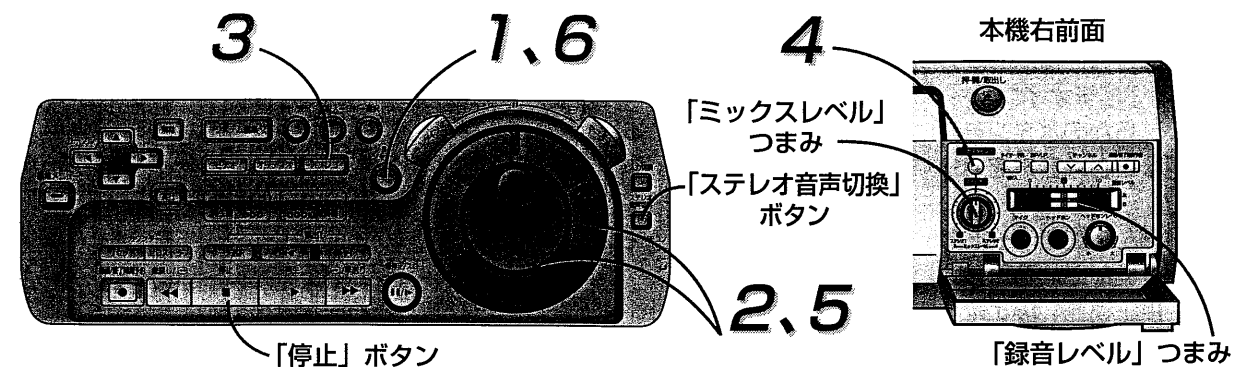
●「ジョグ／シャトル」ボタンを押して約1分以上経過すると、電池消耗を防ぐためボタンの点灯が消えます。
●録画機側の編集開始点を設定した後に（手順2)、「ジョグ／シャトル」ボタンが消灯した場合は、再度「ジョグ／シャトル」ボタンを押して点灯させてから、再生機側の編集開始点をさがしてください。
●再生機側の編集開始点を設定した後に（手順4）消灯した場合は、「ジョグ／シャトル」ボタンを2回押すと編集が始まります。

アフレコ編集後の音声について

●再生中に**「ステレオ音声切換」**ボタンまたはリモコンの**「ステレオ切換」**ボタンを押して、**「ステレオ2」**トラックを選ぶと聴くことができます。
「ステレオ1+2」を選んでいるときは、本体右前面の**「ミックスレベル」**つまみでステレオ1とステレオ2の音声のバランスを調節することができます。

マニュアル編集（つづき）

ワンタッチ-ミックスダビング編集（元の音声と新しい音声をミックスする）

●すでに記録されているステレオ1の音声と、ライン入力（L1～L3）からの音声をミックスさせて、ステレオ2の音声トラックに録音することができます。
録画済みの元の音声と、音楽やナレーションなどの新しい音声を一緒にして録音するときなどに便利です。

準備 ❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく
編集メニュー設定の「ワンタッチ編集」を「入」にする

1 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す

●ジョグ／シャトルボタンが点灯します。
●本機が静止画再生になります。

2 本機のジョグ／シャトルを使って、録画機側（本機）の録音を開始する部分をさがす

次のようなとき、ミックスダビング編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
●入力切換が「DV」のとき

お願い／ヒント

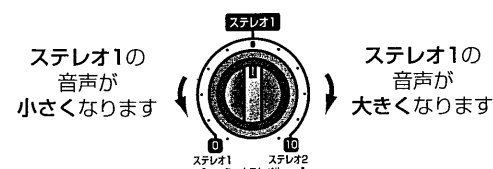
●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）

正しく編集できないときは

●「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

ミックスダビング後の音声について

●再生中に**「ステレオ音声切換」**ボタンまたはリモコンの**「ステレオ切換」**ボタンを押して、**「ステレオ2」**トラックを選ぶと聴くことができます。
元の音声（ステレオ1）とライン入力（L1～L3）からの音声の大きさを変えて録音し直したいときは、
・**元の音声（ステレオ1）**の大きさは、**「ミックスレベル」**つまみで
・**ライン入力（L1～L3）からの音声**の大きさは、**「録音レベル」**つまみで
それぞれ調節して録音し直してください。

ステレオ1の音声が小さくなります
ステレオ1
ステレオ1の音声が大きくなります
ステレオ1　ステレオ2
ミックスレベル

3 本機の「アフレコ」ボタンを押す

●本機が録音一時停止になります。
●再生機側の静止画再生になり、再生機側の画面に切りかわります。
●ビデオ表示部にある**「アフレコ」**のランプが点灯します。

ビデオ表示部

4 本機の「ミックスダビング」ボタンを押す

●ボタンが点灯します。

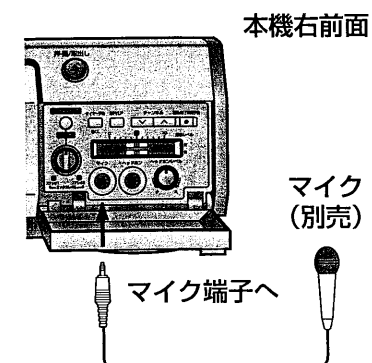
5 本機のジョグ／シャトルを使って、再生機側の入れ換えたい音声の最初の部分をさがす

6 本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押す

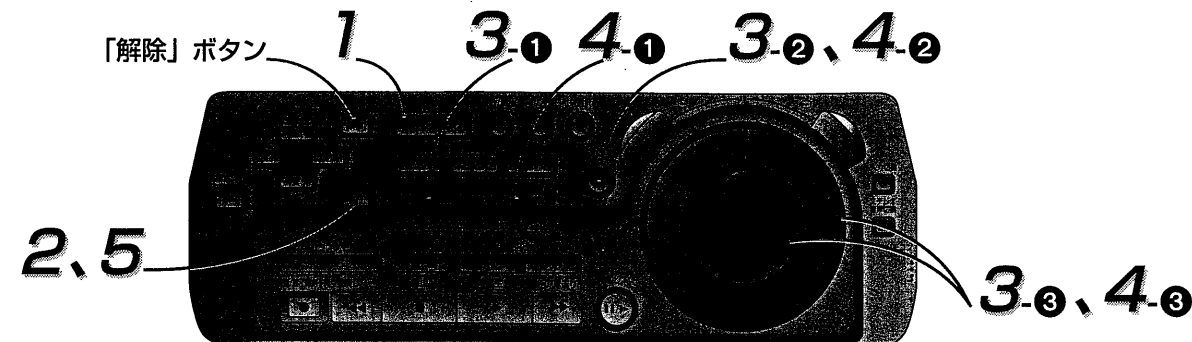
●「ジョグ／シャトル」ボタンが消灯し、編集が始まります。
必要なときは、「ミックスレベル」つまみで元の音声（ステレオ1）を、「録音レベル」つまみで再生機側（ライン入力）からの音声の大きさを調節する
（前ページの下段を参照）

続けて編集を行うときは
　本機の「ジョグ／シャトル」ボタンを押し、手順5～6を繰り返す
止めるときは
　本機の「停止」ボタンを押す

マイクを接続して編集するときは

1 マイクをマイク端子に接続する
2 「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
3 ジョグ／シャトルを使って録音を開始する点をさがす
4 「アフレコ」ボタンを押す
5 「ミックスダビング」ボタンを押す
6 「録音レベル」つまみでマイクの音量レベルを調節する
7 「一時停止／スロー」ボタンを押す
●マイクからの音声はモノラルで記録されます。オーディオ機器などからのステレオ音声を記録する場合は、音声コードで接続してください。
●マイク端子とライン入力端子の両方に接続している場合は、マイク端子からの音声が優先して録音されます。

マニュアル編集（つづき）

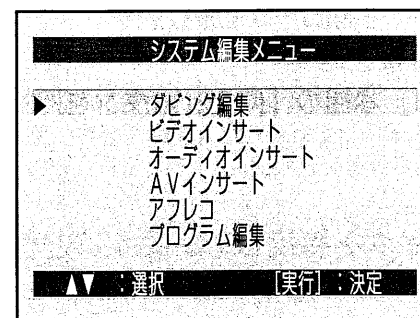
映像・音声をコピーする（システム-ダビング編集）

●デジタルビデオ機器同士で劣化のほとんどないコピーができます。
●S-VHS（VHS）方式で記録されたテープの内容を、デジタルビデオ方式のテープにコピーすることができます。

❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 「システム編集」ボタンを押す

●システム編集メニューが表示されます。

2 「ダビング編集」が選択されていることを確認し、「実行」ボタンを押す

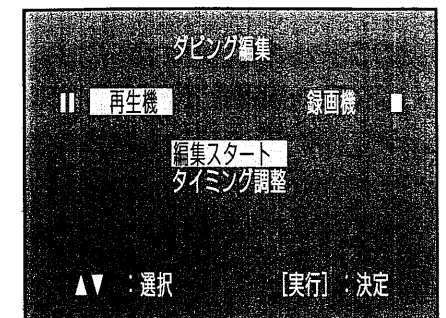
●ダビング編集画面が表示されます。

お願い／ヒント

●デジタルビデオ機器と本機をDVケーブルを接続しないでダビングした場合、再生機側のサブコードデータはコピーされません。
●ダビング編集はLPモードでも行えますが、それらのテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。（P19）

正しく編集できないときは

●「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

3 再生機を操作する

❶「再生機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
静止画再生の画面になります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、コピーしたい内容の最初の部分をさがし、一時停止状態にしておく

4 録画機を操作する

❶「録画機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
静止画再生の画面に切りかわります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、録画を開始する部分をさがし、一時停止状態にしておく

ダビング編集
再生機　録画機
編集スタート
タイミング調整
▲▼：選択　[実行]：決定

5 「実行」ボタンを押す

●再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

ダビング編集
再生機　録画機
実行中
[システム編集]：停止

編集をやめるときは
「システム編集」ボタンを押す
●手順3の画面に戻りますので、続けて編集することや編集を開始する場面を訂正することができます。

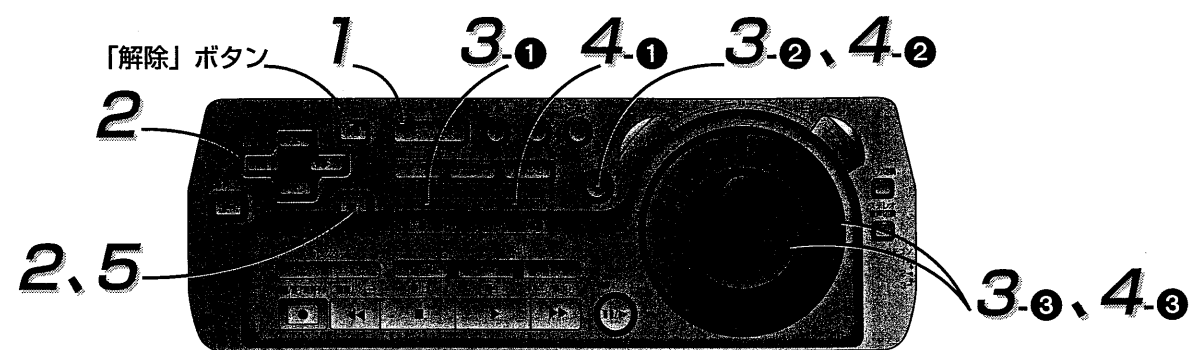
編集モードを解除するとき
「解除」ボタンを押す
●通常の状態に戻ります。

お願い／ヒント

●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）
●画面の再生機側の動作表示は、再生機をスロー再生している場合も、機器により静止画再生の表示（❚❚）になることがあります。
●指定した編集開始点のタイミングがずれる場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき（システムマニュアル編集時）」（P51）を参照してください。

マニュアル編集（つづき）

録画された内容の一部を入れ換える（システム-インサート編集）

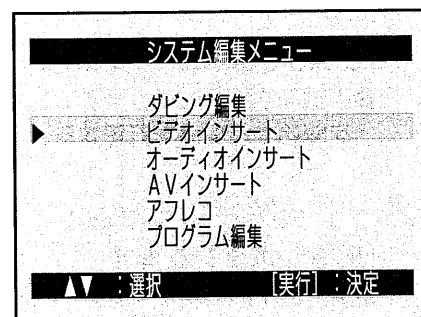
●すでに録画された映像や音声の一部を、別の内容に入れ換えることができます。

準備 ❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 「システム編集」ボタンを押す

●システム編集メニューが表示されます。

2 カーソルキー▲▼で編集モードを選び、「実行」ボタンを押す

●映像のみを入れ換える場合は「ビデオインサート」
●音声のみを入れ換える場合は「オーディオインサート」
●映像と音声の両方を入れ換える場合は「AVインサート」

選んだ編集モード画面が表示されます。

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

次のようなとき、AVインサート編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっている
●入力切換が「DV」のとき

3 再生機側の編集開始点を決める

❶「再生機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
静止画再生の画面になります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、新しく入れ換えたい内容の最初の部分をさがす

ビデオインサートの場合

ビデオインサート
II 再生機　録画機 ■
編集スタート
タイミング調整
▲▼：選択　[実行]：決定

4 録画機側の編集開始点を決める

❶「録画機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
静止画再生の画面に切りかわります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、入れ換えてしまう内容の最初の部分をさがす

ビデオインサート
II 再生機　録画機 II
編集スタート
タイミング調整
▲▼：選択　[実行]：決定

5 「実行」ボタンを押す

●再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

ビデオインサート
▶ 再生機　録画機 ●
実行中
[システム編集]：停止

編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す
●手順3の画面に戻りますので、続けて編集することや編集を開始する場面を訂正することができます。

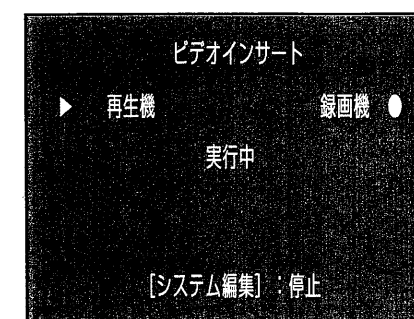
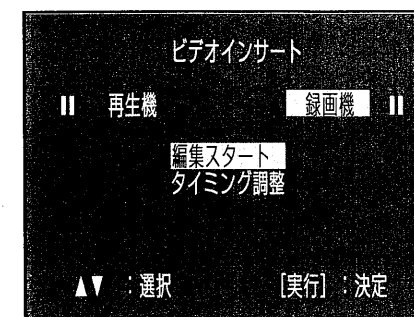
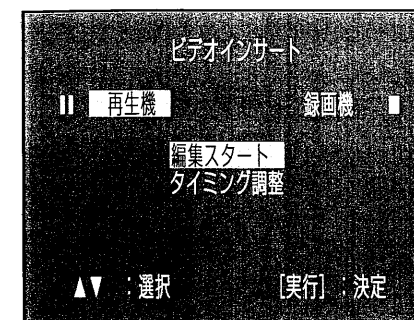
編集モードを解除するとき

「解除」ボタンを押す
●通常の状態に戻ります。

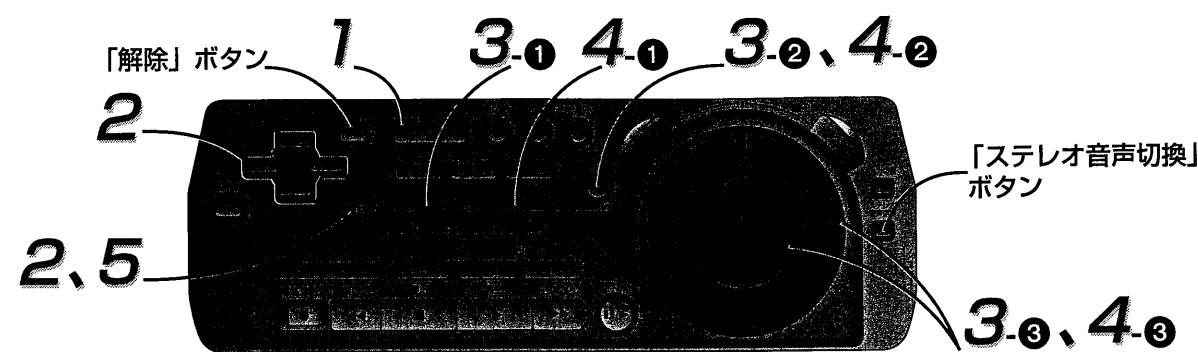
お願い／ヒント

●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）
●画面の再生機側の動作表示は、再生機をスロー再生している場合も、機器により静止画再生の表示（II）になることがあります。
●指定した編集開始点のタイミングがずれる場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき（システムマニュアル編集時）」（P51）を参照してください。

正しく編集できないときは

● 「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

マニュアル編集（つづき）

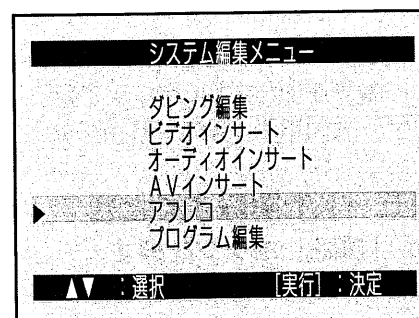
別の音声を追加する（システム-アフレコ編集）

●すでに録画された内容のステレオ2の音声トラックに、別の音声を追加することができます。

準備 ❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 「システム編集」ボタンを押す

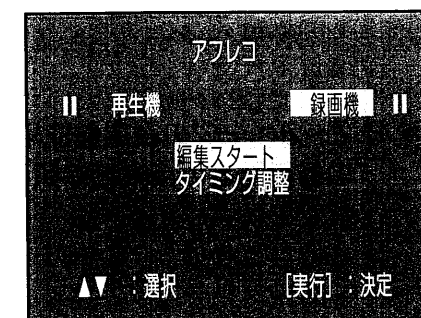
●システム編集メニューが表示されます。

2 カーソルキー▲▼で「アフレコ」を選び、「実行」ボタンを押す

●アフレコ編集画面が表示されます。

3 再生機側の編集開始点を決める

❶「再生機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
再生機側の静止画再生の画面になります。
❸ジョグ／シャトルを使って、新しく入れる音声の最初の部分をさがす

4 録画機側の編集開始点を決める

❶「録画機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
録画機側の静止画再生の画面に切り換わります。
❸ジョグ／シャトルを使って、音声を入れる最初の部分をさがす

5 「実行」ボタンを押す

●再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す
●手順3の画面に戻りますので、続けて編集することや編集を開始する場面を訂正することができます。

編集モードを解除するとき

「解除」ボタンを押す
●通常の状態に戻ります。

次のようなとき、アフレコ編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
●入力切換が「DV」のとき

正しく編集できないときは

●「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

お願い／ヒント

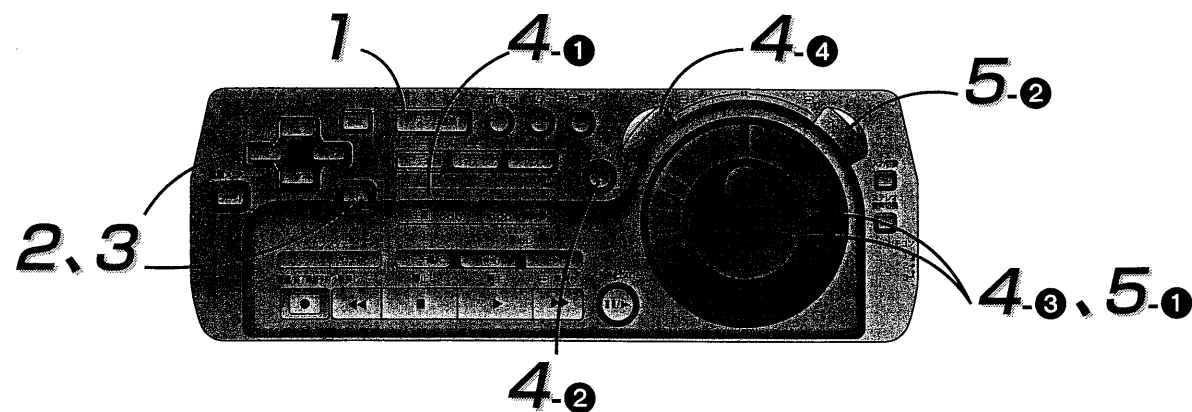
●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）
●画面の再生機側の動作表示は、再生機をスロー再生している場合も、機器により静止画再生の表示（❚❚）になることがあります。
●指定した編集開始点のタイミングがずれる場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき（システムマニュアル編集時）」（P51）を参照してください。

アフレコ編集後の音声について

●再生中に「**ステレオ音声切換**」ボタンまたはリモコンの「**ステレオ切換**」ボタンを押して、「**ステレオ2**」トラックを選ぶと聴くことができます。
「**ステレオ1+2**」を選んでいるときは、本体右前面の「**ミックスレベル**」つまみでステレオ1とステレオ2の音声のバランスを調節することができます。

プログラム編集

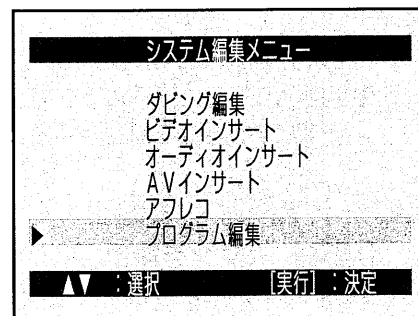
必要な場面を順序よくつなぎ合わせる（アッセンブル編集）

●必要な場面だけをつないで１本のテープにまとめることができます。
●録画したテープの不要な場面をとばして、別のテープに編集することができます。

準備 ❶ 2〜3ページの編集機能早見表と、8〜15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16〜18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 「システム編集」ボタンを押す

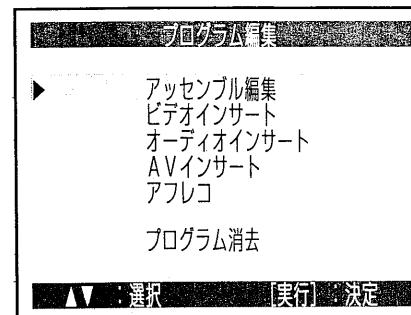
●システム編集メニューが表示されます。

2 カーソルキー▲▼で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す

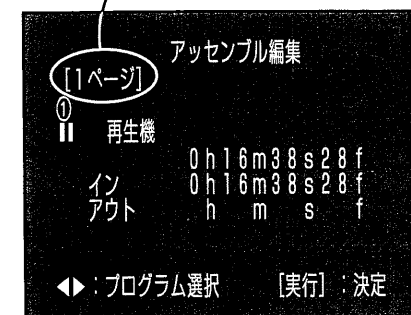
●プログラム編集モードメニューが表示されます。

お願い／ヒント

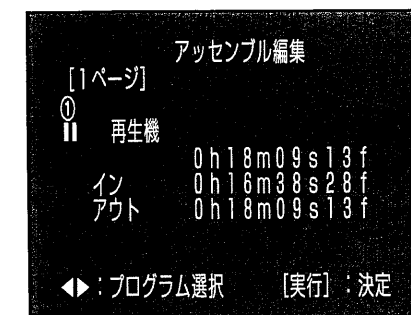
●編集点の設定は、テープカウンター表示、タイムコード表示のどちらのカウンターモードでも行えますが、DVケーブルのみの接続のときは、タイムコード表示で行ってください。
●タイムコード表示で編集点の登録を行った後、テープカウンター表示に変えて編集実行をしようとすると、「プログラム消去」（P47）画面になります。
（テープカウンター表示をタイムコード表示に変えた場合も、「プログラム消去」画面になります）
●一度プログラムを登録して、続けて別の編集モードのプログラム登録をしようとすると、登録画面に前の編集モードの登録内容が残ってしまいます。誤った編集を防ぐため、違う編集モードのプログラム登録をするごとに「プログラム消去」（P47）を行ってください。
●アッセンブル編集はLPモードでも行えますが、それらのテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。（P19）

3 カーソルキー▲▼で「アッセンブル編集」を選び、「実行」ボタンを押す

●再生機側の編集点設定画面になります。

4 再生機側の編集開始（イン）点を決める

❶「再生機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
再生機側の静止画再生の画面になります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす
❹「マークイン」ボタンを押す
「イン」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

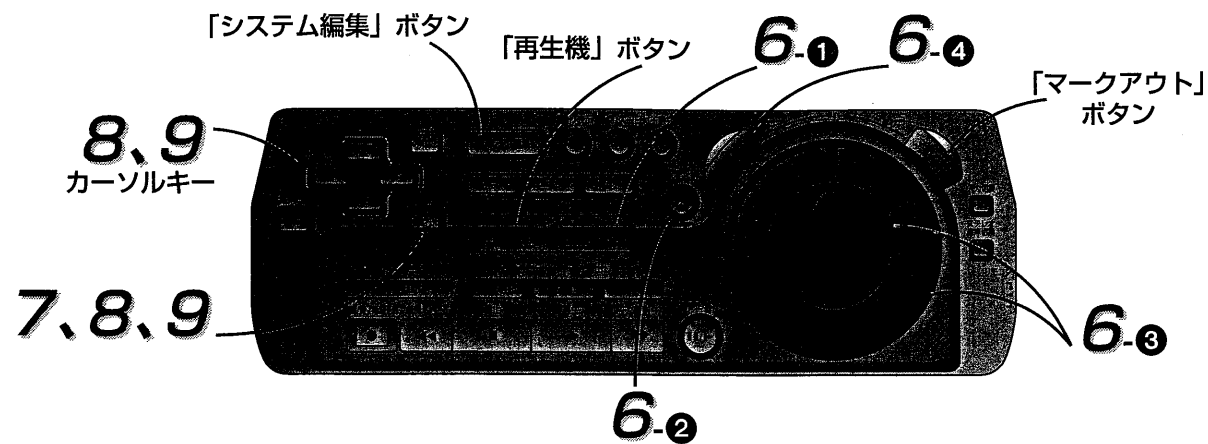
ページ表示
アッセンブル編集では、最大40プログラム（1ページに10プログラム）まで登録できます。

5 再生機側の編集終了（アウト）点を決める

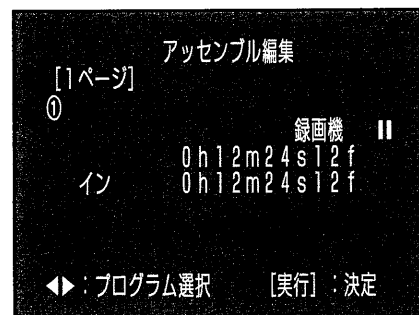
❶ ジョグ／シャトルを使って、必要な場面の最後の部分をさがす
編集が正確に行われるために、1プログラムあたりの時間は**最低4秒以上**で設定してください。
❷「マークアウト」ボタンを押す
「アウト」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

（次のページへつづく）

お願い／ヒント

●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）
●設定時間が4秒以内のプログラムは、編集が正確に行えないことがあります。
●タイムコード表示あるいはテープカウンター表示にフレーム値を持たない機器は、フレーム値の表示部分が「00f」、または空白になります。
機器によっては、フレーム値のないものでも、手順4、5でマークイン／マークアウトボタンを押すと、その点のフレーム値が表示されることがあります。

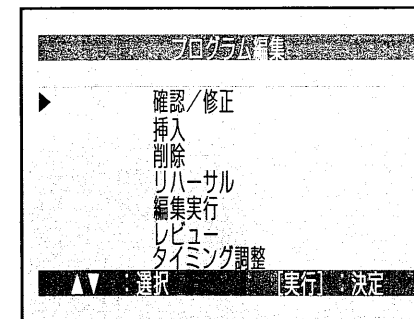
プログラム編集（つづき）

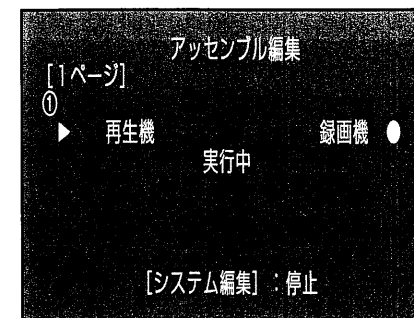
必要な場面を順序よくつなぎ合わせる（アッセンブル編集）つづき

6 録画機側の編集開始（イン）点を決める

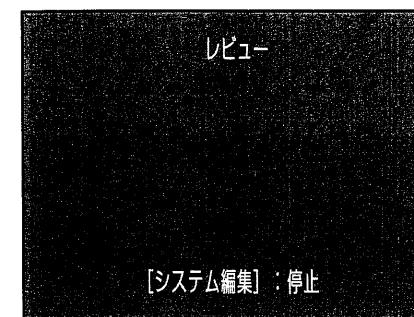
❶「録画機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
録画機側の静止画再生の画面に切り換わります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、場面を入れる最初の部分をさがす
❹「マークイン」ボタンを押す
「イン」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。
アッセンブル編集での録画機側の設定は、最初のプログラムの開始点の登録で完了します。

続けて登録する場合は

❶「再生機」ボタンを押す
❷ カーソルキー◀▶を押して、プログラム番号を選ぶ
押すごとに、プログラム番号が変わります。
（プログラムは40登録できます。1ページに10登録でき、10をこえると次のページに自動的に移ります。）
❸ 手順4～5を繰り返す

7 「実行」ボタンでプログラム内容を確定する

●プログラム編集メニューが表示されます。
●プログラム内容の確認／修正／挿入／削除／消去をするときは、「登録内容の確認／修正／挿入／削除／消去をする」（P46）を参照してください。
●録画機側のプログラム挿入、削除はできません。

8 編集を実行する

プログラム編集メニューの「編集実行」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
●再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻されたあと、編集が始まります。（実際に記録されます）

9 編集結果を確認する

プログラム編集メニューの「レビュー」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
●編集された内容を再生します。

編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す
●再生機と録画機が静止画再生になります。

お願い／ヒント

●アッセンブル編集では、リハーサルはできません。
●編集の結果が、登録した編集開始／終了点とずれていた場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき（プログラム編集時）」（P48～50）を参照してタイミングの調整を行ってください。

正しく編集できないときは

●「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

プログラム編集（つづき）

録画された内容の一部を入れ換える（インサート編集）

●すでに録画された映像や音声の一部を、別の内容に入れ換えることができます。

準備 ❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 「システム編集」ボタンを押す

●システム編集メニューが表示されます。

2 カーソルキー▲▼で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す

●プログラム編集モードメニューが表示されます。

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

次のようなとき、AVインサート編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

●入力切換が「DV」のとき

お願い／ヒント

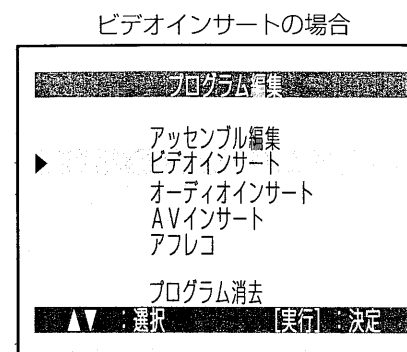
●編集点の設定は、テープカウンター表示、タイムコード表示のどちらのカウンターモードでも行えますが、DVケーブルのみの接続のときは、タイムコード表示で行ってください。

●タイムコード表示で編集点の登録を行った後、テープカウンター表示に変えて編集実行をしようとすると、「プログラム消去」（P47）画面になります。
（テープカウンター表示をタイムコード表示に変えた場合も、「プログラム消去」画面になります）

●一度プログラムを登録して、続けて別の編集モードのプログラム登録をしようとすると、登録画面に前の編集モードの登録内容が残ってしまいます。誤った編集を防ぐため、違う編集モードのプログラム登録をするごとに「プログラム消去」（P47）を行ってください。

3 カーソルキー▲▼で編集モードを選び、「実行」ボタンを押す

●映像のみを入れ換える場合は「ビデオインサート」
●音声のみを入れ換える場合は「オーディオインサート」
●映像と音声の両方を入れ換える場合は「AVインサート」

選んだ編集モードの編集点設定画面が表示されます。

ビデオインサートの場合

4 再生機側の編集開始（イン）点を決める

❶「再生機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
再生機側の静止画再生の画面になります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、新しく入れ換えたい内容の最初の部分をさがす
❹「マークイン」ボタンを押す
「イン」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

5 再生機側の編集終了（アウト）点を決める

❶ ジョグ／シャトルを使って、新しく入れ換えたい内容の最後の部分をさがす
編集が正確に行われるために、1プログラムあたりの時間は**最低4秒以上**で設定してください。
❷「マークアウト」ボタンを押す
「アウト」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

（次のページへつづく）

編集点の登録について

●プログラムインサート／アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の3点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の3点の設定のみでも編集が行えます。

●再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。

●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）

●設定時間が4秒以内のプログラムは、編集が正確に行えないことがあります。

●タイムコード表示あるいはテープカウンター表示にフレーム値を持たない機器は、フレーム値の表示部分が「00f」、または空白になります。
機器によっては、フレーム値のないものでも、手順4、5でマークイン／マークアウトボタンを押すと、その点のフレーム値が表示されることがあります。

プログラム編集（つづき）

録画された内容の一部を入れ換える（インサート編集）つづき

6 録画側の編集開始（イン）点を決める

❶「録画機」ボタンを押す
録画機側の静止画再生の画面に切り換わります。
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
❸ジョグ／シャトルを使って、入れ換えてしまう内容の最初の部分をさがす
❹「マークイン」ボタンを押す
「イン」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

ビデオインサートの場合

ビデオインサート
①
録画機 ❚❚
0h05m22s10f
イン 0h05m22s10f
アウト h m s f
◀▶：プログラム選択 [実行]：決定

続けて登録する場合は
❶「再生機」ボタンを押す
❷カーソルキー◀▶を押して、プログラム番号を選ぶ
押すごとに、プログラム番号が変わります。
最大10プログラムまで登録できます。
❸手順4〜6を繰り返す

編集点の登録について
●プログラムインサート／アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の3点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の3点の設定のみでも編集が行えます。
●再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。

7 「実行」ボタンでプログラム内容を確定する

●プログラム編集メニューが表示されます。
●プログラム内容の確認／修正／挿入／削除／消去をするときは、「登録内容の確認／修正／挿入／削除／消去をする」（P46）を参照してください。

▶ 確認/修正
挿入
削除
リハーサル
編集実行
レビュー
タイミング調整
▲▼ 選択 [実行] 決定

8 編集のリハーサルを実行する

プログラム編集メニューの「リハーサル」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
●再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻された後、これから開始する編集をリハーサル（実際には記録されません）します。
●リハーサル画面の録画機側の表示は、「●（録画）」になりますが、実際は録画されません。
●リハーサルは、確認のためです、必要でない場合は、この手順をとばしてください。

ビデオインサートの場合

9 実際の編集を実行する

プログラム編集メニューの「編集実行」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
●再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻されたあと、編集が始まります。（実際に記録されます）

10 編集結果を確認する

プログラム編集メニューの「レビュー」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
●編集された内容を再生します。

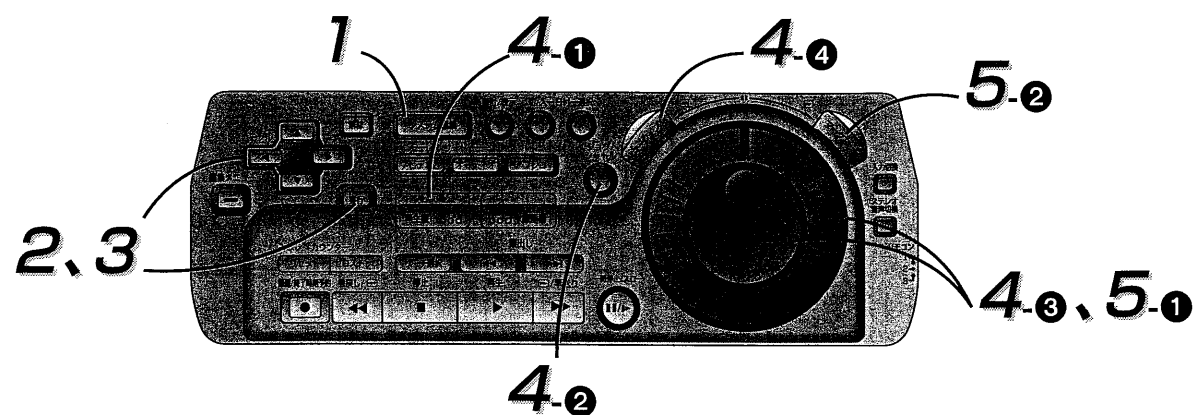
編集をやめるときは
「システム編集」ボタンを押す
●再生機と録画機が静止画再生になります。

●編集の結果が、登録した編集開始／終了点とずれていた場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき（プログラム編集時）」（P48〜50）を参照してタイミングの調整を行ってください。

正しく編集できないときは
●「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

プログラム編集（つづき）

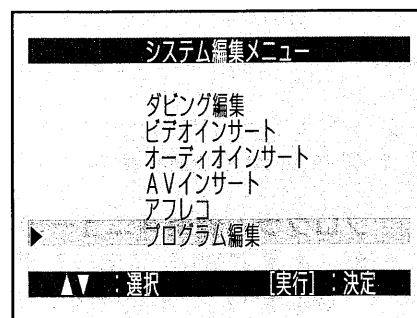
別の音声を追加する（アフレコ編集）

●すでに録画された内容に、別の音声をつけ加えることができます。

準備 ❶ 2～3ページの編集機能早見表と、8～15ページの各機器との接続を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる
❷ 必要なときは、16～18ページの「お使いになる前の設定」を完了させておく

1 「システム編集」ボタンを押す

●システム編集メニューが表示されます。

2 カーソルキー▲▼で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す

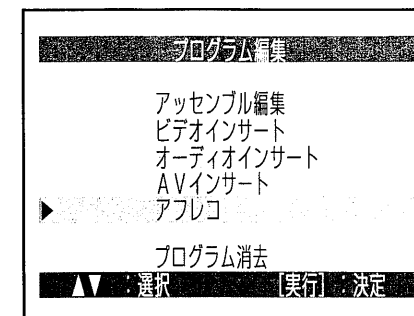
●プログラム編集モードメニューが表示されます。

次のようなとき、アフレコ編集はできません

●録画機側（本機）のテープが
・16bitの音声モードで記録されている
・LPモードで録画されている
・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
●入力切換が「DV」のとき

お願い／ヒント

●編集点の設定は、テープカウンター表示、タイムコード表示のどちらのカウンターモードでも行えます。
●タイムコード表示で編集点の登録を行った後、テープカウンター表示に変えて編集実行をしようとすると、「プログラム消去」（P47）画面になります。
（テープカウンター表示をタイムコード表示に変えた場合も、「プログラム消去」画面になります）
●一度プログラムを登録して、続けて別の編集モードのプログラム登録をしようとすると、登録画面に前の編集モードの登録内容が残ってしまいます。誤った編集を防ぐため、違う編集モードのプログラム登録をするごとに「プログラム消去」（P47）を行ってください。

3 カーソルキー▲▼で「アフレコ」を選び、「実行」ボタンを押す

●再生機側の編集点設定画面になります。

4 再生機側の編集開始（イン）点を決める

❶「再生機」ボタンを押す
❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
再生機側の静止画再生の画面になります。
❸ ジョグ／シャトルを使って、新しく入れる音声の最初の部分をさがす
❹「マークイン」ボタンを押す
「イン」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

5 再生機側の編集終了（アウト）点を決める

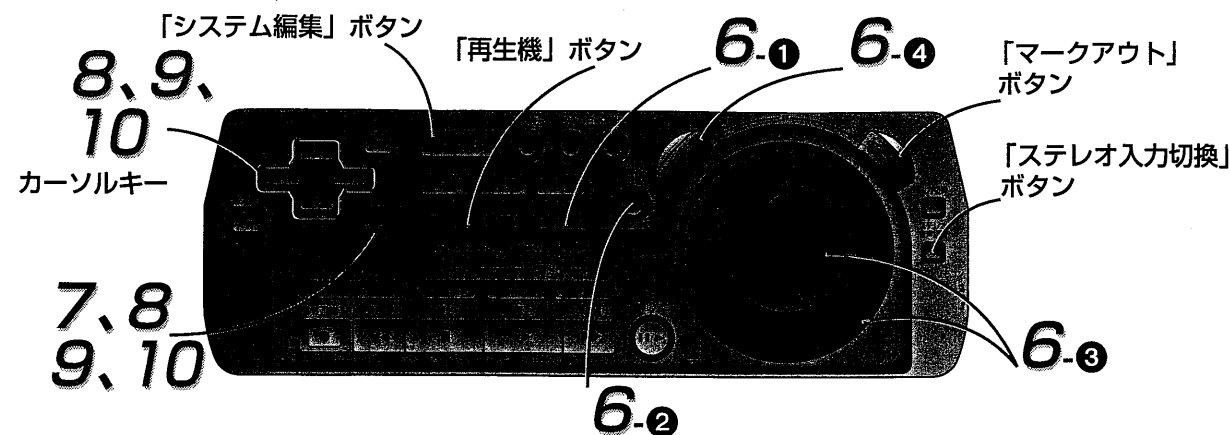
❶ ジョグ／シャトルを使って、新しく入れる音声の最後の部分をさがす
編集が正確に行われるために、1プログラムあたりの時間は**最低4秒以上**で設定してください。
❷「マークアウト」ボタンを押す
「アウト」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

（次のページへつづく）

編集点の登録について

●プログラムインサート／アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の3点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の3点の設定のみでも編集が行えます。
●再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。
●編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることをご確認ください。（P19）
●設定時間が4秒以内のプログラムは、編集が正確に行えないことがあります。
●タイムコード表示あるいはテープカウンター表示にフレーム値を持たない機器は、フレーム値の表示部分が「00f」、または空白になります。
機器によっては、フレーム値のないものでも、手順4、5でマークイン／マークアウトボタンを押すと、その点のフレーム値が表示されることがあります。

プログラム編集（つづき）

別の音声を追加する（アフレコ編集）つづき

6 録画機側の編集開始（イン）点を決める

❶「録画機」ボタンを押す

❷「ジョグ／シャトル」ボタンを押す
録画機側の静止画再生の画面に切り換わります。

❸ジョグ／シャトルを使って、入れ換えてしまう内容の最初の部分をさがす

❹「マークイン」ボタンを押す
「イン」の時間の部分に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

続けて登録する場合は

❶「再生機」ボタンを押す

❷カーソルキー◀▶を押して、プログラム番号を選ぶ
押すごとに、プログラム番号が変わります。
最大10プログラムまで登録できます。

❸手順4〜6を繰り返す

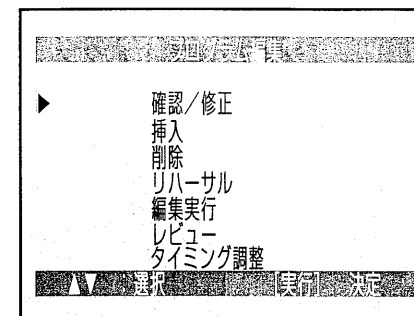
編集点の登録について

- プログラムインサート／アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の3点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の3点の設定のみでも編集が行えます。
- 再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。

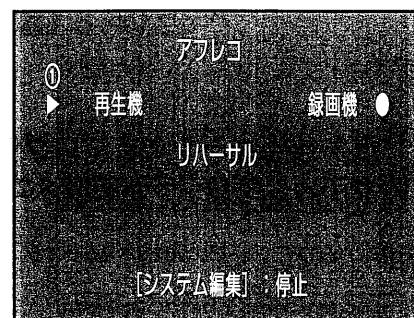
アフレコ編集後の音声について

- 再生中に**「ステレオ音声切換」**ボタンまたはリモコンの**「ステレオ切換」**ボタンを押して、**「ステレオ2」**トラックを選ぶと聴くことができます。
「ステレオ1＋2」を選んでいるときは、本体右前面の**「ミックスレベル」**つまみでステレオ1とステレオ2の音声のバランスを調節することができます。

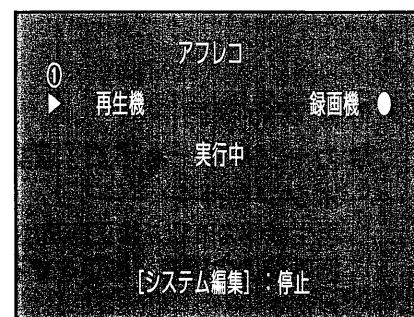
7 「実行」ボタンでプログラム内容を確定する

- プログラム編集メニューが表示されます。
- プログラム内容の確認／修正／挿入／削除／消去をするときは、「登録内容の確認／修正／挿入／削除／消去をする」（P46）を参照してください。

8 編集のリハーサルを実行する

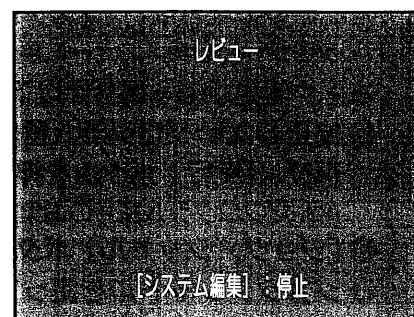
プログラム編集メニューの「リハーサル」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す

- 再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻された後、これから開始する編集をリハーサル（実際には記録されません）します。
- リハーサル画面の録画機側の表示は、「●（録画）」になりますが、実際は録画されません。
- リハーサルは、確認のためです、必要でない場合は、この手順をとばしてください。

9 実際の編集を実行する

プログラム編集メニューの「編集実行」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す

- 再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻された後、編集が始まります。（実際に記録されます）

10 編集結果を確認する

プログラム編集メニューの「レビュー」をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す

- 編集された内容を再生します。

編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す

- 再生機と録画機が静止画再生になります。

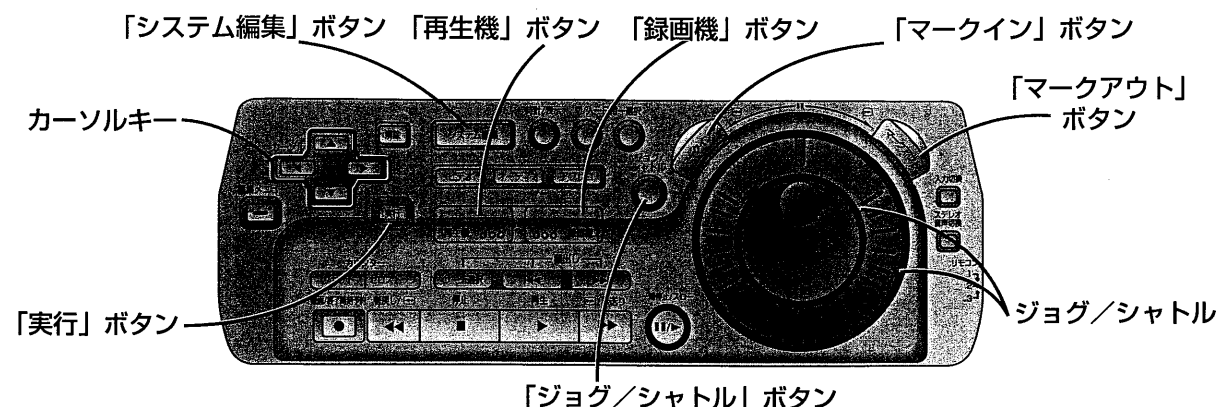
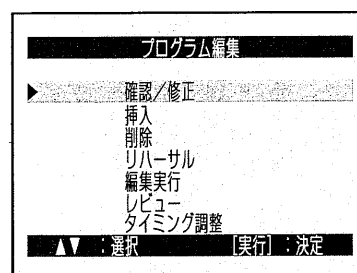
- 編集の結果が、登録した編集開始／終了点とずれていた場合は、土約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき（プログラム編集時）」（P48〜50）を参照してタイミングの調整を行ってください。（調整ができるのは再生機側の機器です）

正しく編集できないときは

- 「困ったとき！？」（P57）を参照してください。

プログラム編集（つづき）

登録内容の確認／修正／挿入／削除／消去をする

●登録したプログラムの内容を確認したり、修正などをすることができます。

34～45ページの各プログラム編集で登録を完了させると、プログラム編集メニューが表示されます。

確認／修正する場合は

❶ カーソルキー▲▼で「確認／修正」を選び、「実行」ボタンを押す
再生機側の確認／修正画面が表示されます。
録画機側の確認／修正をするときは、「録画機」ボタンを押す

確認のみの場合は、「システム編集」ボタンを押す
プログラム編集メニューに戻ります。

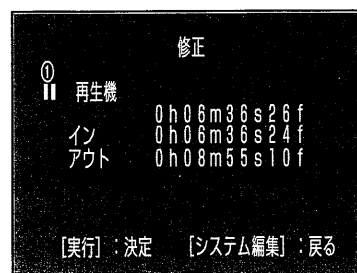
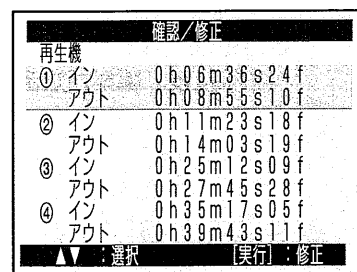
修正や変更がある場合は以下の操作を続ける

❷ 修正したいプログラム番号をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
選んだプログラム番号の編集点修正画面になります。

❸「ジョグ／シャトル」ボタンを押す

❹ ジョグ／シャトルを使って、修正したい編集点をさがす

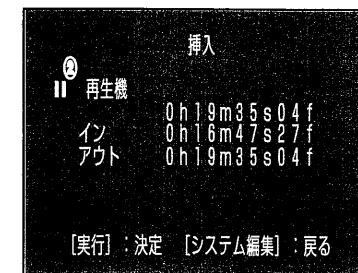
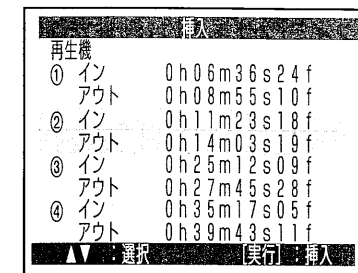
❺ 開始点を修正した場合は「マークイン」ボタンを押す
終了点を修正した場合は「マークアウト」ボタンを押す

❻ 修正が終わったら、「実行」ボタンを押す
プログラム編集メニューに戻ります。

新しいプログラムをすでにあるプログラムの間に挿入する場合は

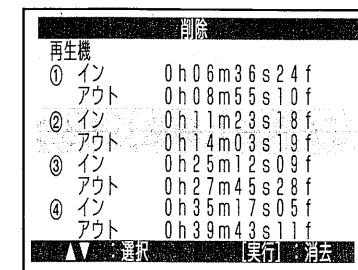
❶ カーソルキー▲▼で「挿入」を選び、「実行」ボタンを押す
挿入画面が表示されます。

❷ 挿入したいプログラム番号をカーソルキー▲▼で選び、「実行」ボタンを押す
編集点挿入画面になります。

❸ 各編集のページ（P34～45）を参照して新しいプログラムを登録する

❹ 登録が終わったら、「実行」ボタンを押す
プログラム編集メニューに戻ります。

プログラムを削除する場合は

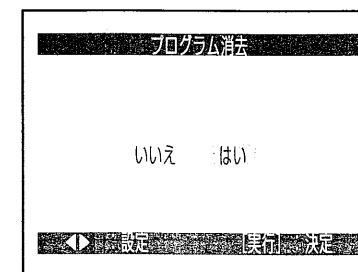
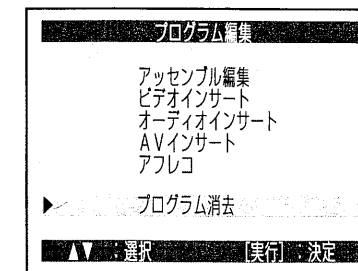
❶ カーソルキー▲▼で「削除」を選び、「実行」ボタンを押す
削除画面が表示されます。

❷ カーソルキー▲▼で削除したいプログラム番号を選び、「実行」ボタンを押す
プログラム編集メニューに戻ります。

すべてのプログラムを消去する場合は

❶「システム編集」ボタンを2回押す
プログラム編集モードメニューが表示されます。

❷「プログラム消去」が選択されていることを確認し、「実行」ボタンを押す
プログラム消去画面が表示されます。

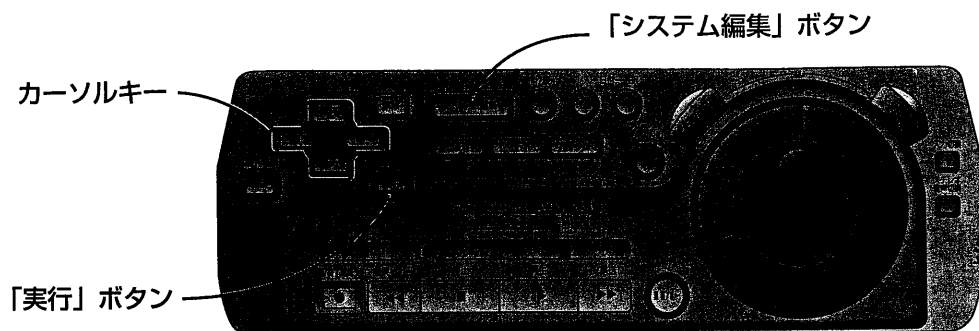
❸ カーソルキー◀▶で「はい」を選び、「実行」ボタンを押す
プログラム編集モードメニューに戻ります。

システム編集モードを解除してからの場合は、プログラム編集モードメニューを表示させる手順が異なります。
「システム編集」ボタンを押すと、システム編集メニューが表示されますので、カーソルキー▲▼で「プログラム編集」を選び、実行ボタンを押してください。

お願い／ヒント

●アッセンブル編集で録画機側の登録内容のプログラム挿入、削除はできません。

その他

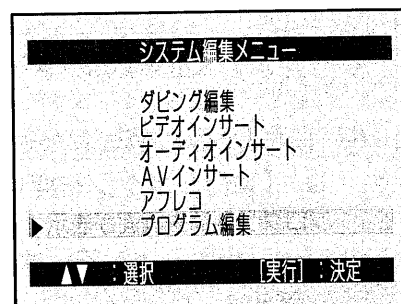
編集タイミングがずれるとき（プログラム編集時）

●プログラム編集で登録した点と実際の結果がずれているときは、再生機側の編集開始（イン）点、終了（アウト）点のタイミングを±約1秒まで調整し、誤差を修正することができます。

編集開始／終了点を登録後、「編集実行」をしてみると、接続する機器によって、設定した位置よりも早くなっていたり、遅くなっていたりすることがあります。以下の操作で、再生機側の編集開始点、終了点の±約1秒以内の誤差を修正し、タイミングの調整をすることができます。

1 「システム編集」ボタンを押す

●システム編集メニューが表示されます。

2 カーソルキー▲▼で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す

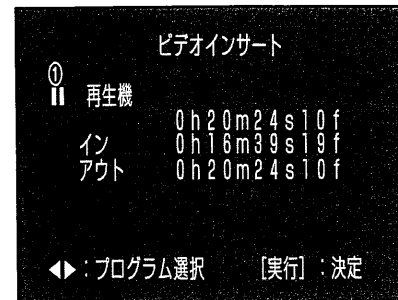
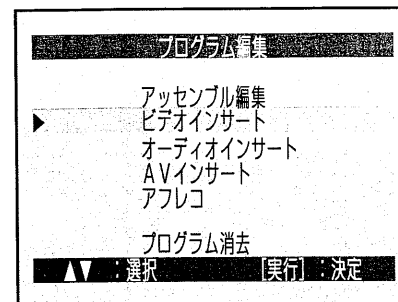
●プログラム編集モードメニューが表示されます。

お願い／ヒント

●このページの手順は、一度システム編集モードを解除してからの操作です。「編集実行」、「レビュー」をした後の場合は、手順5のプログラム編集メニューから行ってください。

●調整したフレーム値は、調整した時点で登録されているすべてのプログラムに適応されます。

3 カーソルキー▲▼で修正したい編集のモードを選び、「実行」ボタンを押す

●「アッセンブル編集」
●「ビデオインサート」
●「オーディオインサート」
●「AVインサート」
●「アフレコ」

選んだ編集モードの編集点設定画面が表示されます。

ビデオインサートの場合

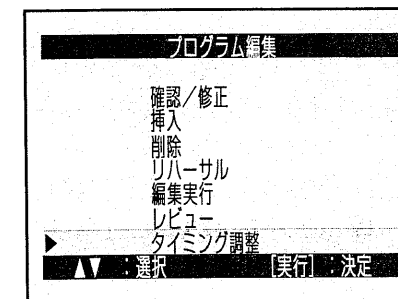
プログラム編集
アッセンブル編集
ビデオインサート
オーディオインサート
AVインサート
アフレコ
プログラム消去
▲▼：選択　［実行］：決定

4 「実行」ボタンを押す

●プログラム編集メニューが表示されます。

5 カーソルキー▲▼で「タイミング調整」を選び、「実行」ボタンを押す

●編集開始（イン）点の編集タイミング調整画面が表示されます。

プログラム編集
確認／修正
挿入
削除
リハーサル
編集実行
レビュー
タイミング調整
▲▼：選択　［実行］：決定

6 編集開始（イン）点を調整する

❶ カーソルキー◀▶を押して、フレーム値を調整する

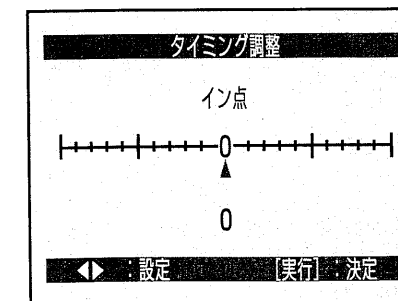
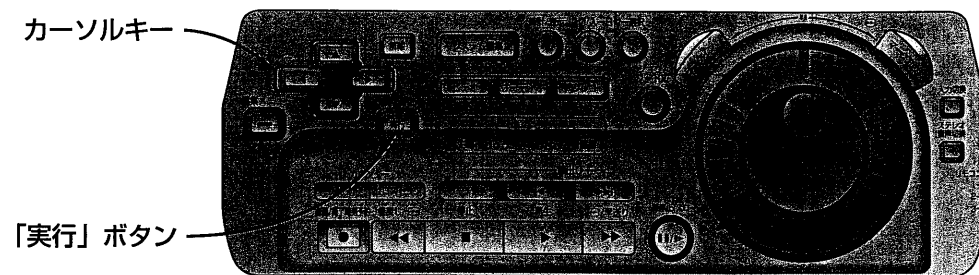
・**編集開始点が登録した位置よりも早くなるときは、▶キーを押す**

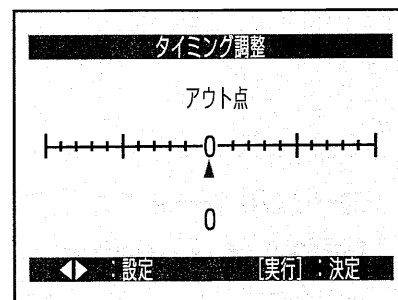
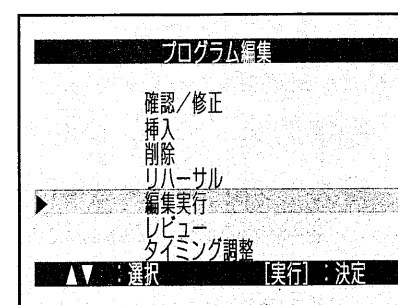
編集開始のタイミングが遅くなります。

・**編集開始点が登録した位置よりも遅くなるときは、◀キーを押す**

編集開始のタイミングが早くなります。
キーを押すごとに約1フレーム動き、±約30フレーム（±約1秒）まで調整できます。
（1目盛りは約3フレームです）

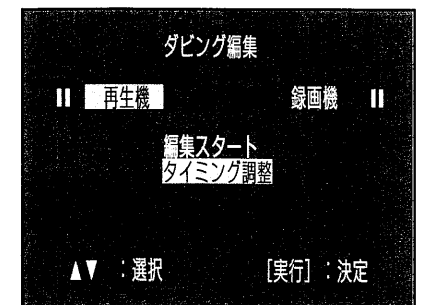
❷ 調整が完了したら「実行」ボタンを押す

●編集終了（アウト）点の編集タイミング調整画面が表示されます。

編集タイミングがずれるとき（プログラム編集時）つづき

7 編集終了（アウト）点を調整する

❶ カーソルキー◀▶を押して、フレーム値を調整する
・編集終了点が登録した位置よりも早くなるときは、▶キーを押す
編集終了のタイミングが遅くなります。
・編集終了点が登録した位置よりも遅くなるときは、◀キーを押す
編集終了のタイミングが早くなります。
キーを押すごとに約1フレーム動き、±約30フレーム（±約1秒）まで調整できます。
（1目盛りは約3フレームです）
❷ 調整が完了したら「実行」ボタンを押す
●プログラム編集メニューが表示されます。

8 カーソルキー▲▼で「編集実行」を選び、「実行」ボタンを押す
編集の結果、調整が不十分なときは手順5〜7を繰り返す

編集タイミングがずれるとき（システムマニュアル編集時）

各システムマニュアル編集（P28〜33）の結果にずれがあった場合、再生機側の編集開始（イン）点のタイミングを約±1秒まで調整することができます。各編集モードの編集開始点登録時に以下の操作を行ってください。

1 カーソルキー▲▼で「タイミング調整」を選び、「実行」ボタンを押す
●編集開始（イン）点の編集タイミング調整画面が表示されます。

ダビング編集の場合

2 カーソルキー◀▶を押して、フレーム値を調整する
編集開始点が指定した位置よりも早くなるときは、▶キーを押す
編集開始のタイミングが遅くなります。
編集開始点が指定した位置よりも遅くなるときは、◀キーを押す
編集開始のタイミングが早くなります。
キーを押すごとに約1フレーム動き、±約30フレーム（±約1秒）まで調整できます。（1目盛りは約3フレームです）

タイミング調整
イン点
0
0
◀▶：設定 [実行]：決定

3 調整が完了したら「実行」ボタンを押す
●編集画面が表示されます。

4 カーソルキー▲▼で「編集スタート」を選び、「実行」ボタンを押す
編集の結果、調整が不十分なときは手順1〜3を繰り返す

その他（つづき）

編集操作の流れ

編集メニュー設定

編集メニュー

編集メニュー
サーチサウンド
音声ステレオ
ワンタッチ編集
カラーレベル調整
色あい調整
カウンタ修正
▲▼：選択　[実行]：決定

サーチサウンド
自動　切　入
◀▶：選択　[実行]：決定

音声ステレオ
12bit　16bit
◀▶：選択　[実行]：決定

ワンタッチ編集
切　入
◀▶：選択　[実行]：決定

カラーレベル調整
切　入
◀▶：選択　[実行]：決定

カラーレベル調整
0
◀▶：設定　[実行]：決定

色あい調整
切　入
◀▶：選択　[実行]：決定

色あい調整
0
◀▶：設定　[実行]：決定

カウンタ修正
切　入
◀▶：選択　[実行]：決定

システムーマニュアル編集

プログラム編集モードメニューについては、54ページをごらんください

「実行中」の画面は、ダビング編集の場合です

その他（つづき）

編集操作の流れ（つづき）

プログラム編集

システム編集

システム編集メニュー
ダビング編集
ビデオインサート
オーディオインサート
AVインサート
アフレコ
▶ プログラム編集
▲▼：選択　[実行]：決定

プログラム編集
アッセンブル編集
ビデオインサート
オーディオインサート
AVインサート
アフレコ
▶ プログラム消去
▲▼：選択　[実行]：決定

アッセンブル編集
[1ページ]
①
II 再生機
0h18m09s13f
イン　0h16m38s28f
アウト　0h18m09s13f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

アッセンブル編集
[1ページ]
①
録画機 II
0h12m24s12f
イン　0h12m24s12f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

ビデオインサート
①
II 再生機
0h20m24s10f
イン　0h16m39s19f
アウト　0h20m24s10f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

ビデオインサート
①
録画機 II
0h08m58s21f
イン　0h05m22s10f
アウト　0h08m58s21f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

オーディオインサート
①
II 再生機
0h05m13s20f
イン　0h03m03s14f
アウト　0h05m13s20f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

オーディオインサート
①
録画機 II
0h45m07s11f
イン　0h43m56s19f
アウト　0h45m07s11f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

AVインサート
①
II 再生機
0h02m33s09f
イン　0h02m18s05f
アウト　0h02m33s09f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

AVインサート
①
録画機 II
0h23m58s28f
イン　0h23m43s24f
アウト　0h23m58s28f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

アフレコ
①
II 再生機
0h12m32s09f
イン　0h07m43s25f
アウト　0h12m32s09f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

アフレコ
①
録画機 II
0h07m55s14f
アウト　0h03m05s07f
アウト　0h07m55s14f
◀▶：プログラム選択　[実行]：決定

プログラム消去
いいえ　はい
◀▶：設定　[実行]：決定

プログラム編集
▶ 確認/修正
挿入
削除
リハーサル
編集実行
レビュー
タイミング調整
▲▼：選択　[実行]：決定

確認/修正
再生機
① イン　0h06m36s05f
アウト　0h08m55s10f
② イン　0h11m23s18f
アウト　0h14m03s19f
③ イン　0h25m12s09f
アウト　0h27m45s28f
④ イン　0h35m17s05f
アウト　0h39m43s11f
▲▼：選択　[実行]：修正

修正
①
II 再生機
0h06m36s25f
イン　0h06m36s24f
アウト　0h08m55s10f
[実行]：決定　[システム編集]：戻る

挿入
再生機
① イン　0h06m36s05f
アウト　0h08m55s10f
② イン　0h11m23s18f
アウト　0h14m03s19f
③ イン　0h25m12s09f
アウト　0h27m45s28f
④ イン　0h35m17s05f
アウト　0h39m43s11f
▲▼：選択　[実行]：挿入

挿入
②
II 再生機
0h19m35s04f
イン　0h16m47s27f
アウト　0h19m35s04f
[実行]：決定　[システム編集]：戻る

削除
再生機
① イン　0h06m36s05f
アウト　0h08m55s10f
② イン　0h11m23s18f
アウト　0h14m03s19f
③ イン　0h25m12s09f
アウト　0h27m45s28f
④ イン　0h35m43s05f
アウト　0h39m43s11f
▲▼：選択　[実行]：消去

削除
録画機
① イン　0h02m22s25f
アウト　0h04m56s24f
② イン　0h04m59s06f
アウト　0h05m02s23f
③ イン　0h15m31s10f
アウト　0h18m43s17f
④ イン　0h19m57s20f
アウト　0h22m26s05f
▲▼：選択　[実行]：消去

ビデオインサート
①
▶ 再生機　録画機 ●
リハーサル
[システム編集]：停止

ビデオインサート
①
▶ 再生機　録画機 ●
実行中
[システム編集]：停止

「リハーサル」、「実行中」の画面はビデオインサートの場合です

レビュー
[システム編集]：停止

タイミング調整
イン点
0
◀▶：設定　[実行]：決定

タイミング調整
アウト点
0
◀▶：設定　[実行]：決定

その他（つづき）

エラーメッセージ表示

●編集の設定や操作に誤りがあったときなどは、テレビ画面に確認事項が表示されます。

画面表示	原因と対応のしかた	ページ
LP録画部のため記録できません	LPモードで録画されたテープや、テープ速度が途中でSPモードからLPモードに変わっているテープに編集はできません。テープ速度をSPモードにしてダビングしたテープをお使いください。	19
このカセットでは記録できません	未記録のテープ、または途中で未記録部分に変わっているテープを編集に使用していませんか？ →未記録（タイムコードのない）部分に編集はできません。編集に使用する場合は、何も記録されていないテープでも、連続したタイムコードを記録するために一度ダビングしてください。	19
16bit記録部のため記録できません	テープの音声モードが途中で変わっていませんか？ →AVインサート編集、アフレコ編集は、12bitの音声モードで記録されたテープにのみ行えます。	–
コピーガードがかかっています	著作権保護のためのコピーガード信号が入っているテープは、再生機側、録画機側のどちらにも使用できません。	基本編55
接続／設定を確認ください	再生機を制御するのに必要なコード（システムコード、LANCコード、DVケーブル）は接続されていますか？	8～15
	再生機側の電源が「切」になっていませんか？	–
	本機の編集モードスイッチ、編集端子切換スイッチ、入力切換は、行う編集に合わせて正しく設定されていますか？	8～15
	2台以上のデジタルビデオ機器（パソコンを含む）を本機と接続していませんか？	–
	デジタルビデオ機器と接続しているとき、本機と本機に接続した機器との両方が、相手側を制御するモードになっていませんか？	10～11
DV入力のため記録できません	AVインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集のとき、途中で入力切換を「DV入力」に変えると、編集が行えなくなります。「ライン入力（L1～L3）」に切り換えてください。	–
DV入力を選択ください	編集端子切換スイッチが「DV」に設定されているときに、本機の入力切換が「DV入力」以外になっていませんか？	–

困ったとき!?

●下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または「お客様ご相談センター」（基本編の巻末に記載）にお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応のしかた	ページ
ワンタッチ編集が実行できない	編集メニュー設定の「ワンタッチ編集」は「入」になっていますか？	17
再生機側の編集開始点設定中に、本機が録画一時停止から停止になった	本機はテープとヘッドの保護のため、録画一時停止状態が5分以上続くと、自動的に停止します。	–
再生機側の画面が映らない	接続した端子と入力切換は一致していますか？	8～15
	再生機との接続コードはしっかり接続されていますか？	8～15
編集が実行できないまたは途中で止まってしまう	次のような原因が考えられます。 ・録画機側テープが途中で未記録部分になった ・録画機側テープのテープ速度（SP／LP）、音声モード（12／16bit）が途中で変わった ・編集中に本機のテープが終端になった ・接続した機器を本機がコントロールできなくなった ・不連続なタイムコードを持つテープや、同じタイムコード値が2つ存在するテープを使用している ・入力切換、編集端子切換スイッチを編集中に切り換えた ・編集点をテープの始端から約20秒以内のところで設定した	–
システム編集ボタンを押しても、システム編集モード画面が表示されない	編集端子切換スイッチが、「デジタル静止画」「プリンター」または「切」に設定されていませんか？	–
	本機の設定が以下のようになっていませんか？ ・編集端子切換スイッチが「DV」で、編集モードスイッチが「再生機」または「外部」のとき（本機2台を接続時） ・編集端子切換スイッチが「システムⓔ」で、編集モードスイッチが「外部」のとき	–
編集中に再生機をコントロールできなくなった	再生機側の一時停止状態が5分以上続いた場合、テープとヘッド保護のため、再生機側が自動的に停止することがあります。	–
	再生機側がビデオカメラの場合、撮影（カメラ）モードになっていると制御できません。再生（ビデオ）モードにしてください。	–
システム編集メニュー画面で、「プログラム編集」が選択できない	タイムコードあるいはテープ（リニア）カウンター表示のない機器を再生機として接続しているとき、プログラム編集はできません。	–
編集点を設定後、実行ボタンを押しても次の画面に変わらない	再生機側、録画機側両方のイン点、アウト点のうち3点が設定されていますか？ →3点以上が設定されていないと、プログラムの登録は完了しません。	39、43
	イン点とアウト点の時間が逆転していませんか？	–
プログラムの登録ができない	すでに登録がいっぱいになっていませんか？	46
登録したプログラムがとばされてしまう	イン点とアウト点の間が4秒以内で設定されていませんか？ →設定時間が4秒以内のプログラムは、編集が正しく行えない場合があります。	–
タイミング調整ができない	本機で再生機をコントロールできる接続はされていますか？	8～15
	再生機がタイムコードあるいはテープ（リニア）カウンター表示のない機器のとき、タイミング調整はできません。	–

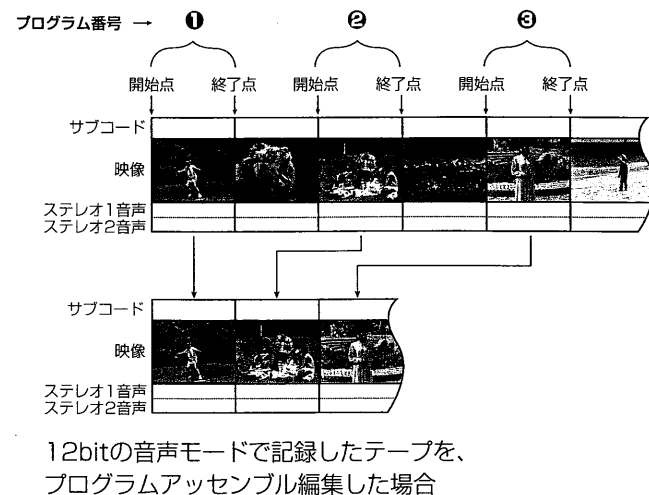
その他（つづき）

用語解説

ア行

アッセンブル編集

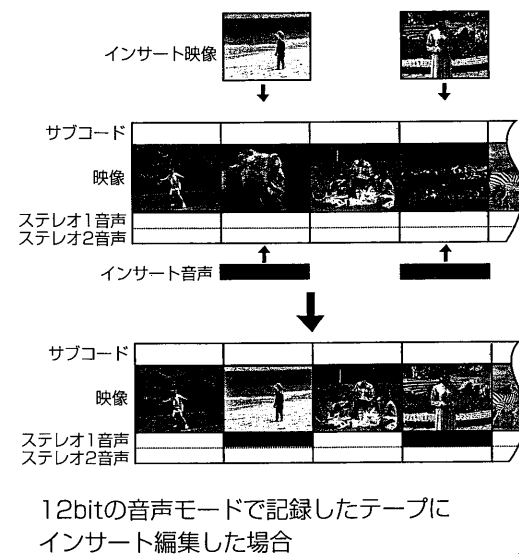
元になるテープから必要な部分を抜き出して、それらを別のテープに移し、つないでいく編集のことです。プログラムアッセンブル編集では、あらかじめ複数の部分を登録して、自動的にこの編集を行うことができます。

12bitの音声モードで記録したテープを、プログラムアッセンブル編集した場合

アフレコ編集

記録する音声モードを12bitに設定すると、音声を2種類の領域（ステレオ1、ステレオ2）に記録することができます。（テープには、「ステレオ1」にのみ音声が記録されます）アフレコは、このテープの「ステレオ2」に新しく別の音声を追加する編集です。

インサート編集

すでに録画された映像や音声の一部を別の内容に入れ換える編集のことです。インサート編集には、映像のみを入れ換える**ビデオインサート**、音声のみを入れ換える**オーディオインサート**、映像と音声の両方を入れ換える**AVインサート**があります。

12bitの音声モードで記録したテープにインサート編集した場合

イン点／アウト点

編集を行うときに設定する、編集の開始／終了点のことです。

サ行

サブコード

デジタルビデオテープは、映像・音声信号のほかに、タイムコードや録画時の日付、フォトショット用インデックス信号などを記録することができます。サブコードはこれらのデータを記録している部分です。

タ行

タイムコード

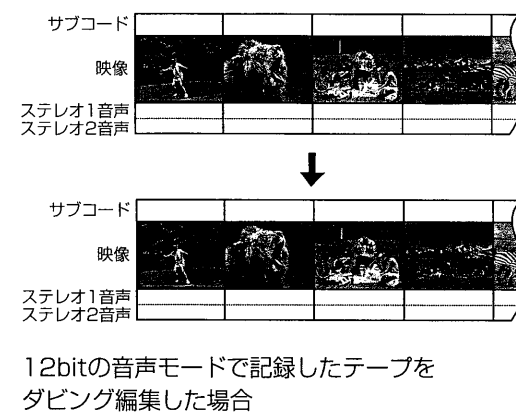
録画されたテープ上に記録される時間の情報のことで、時（h）、分（m）、秒（s）のほかにフレーム（f）という単位で表されます（1秒はおよそ30フレーム）。タイムコードは録画と同時に記録され、テープの始端から連続して記録した場合は、録画した映像や音声のテープ上での絶対的位置を知ることができます。

新しい（何も記録されていない）カセットで録画を始めると、タイムコードはゼロから記録されます。途中まで記録されたカセットの続きから録画を始めると、その値の続きから記録されます。ただし、テープの途中に空白（無録画部分）があると、その後再びタイムコードをゼロから記録し始めます。

1フレームの値は約1／30秒のため、長時間記録していると、タイムコードと実時間の間にずれが生じてきます。デジタルビデオSD規格では、ドロップフレーム方式（ドロップフレームの項参照）を採用して、実時間との時間のずれを補正しています。

ダビング編集

録画済みテープの内容をそのまま別のテープにコピーすることです。

12bitの音声モードで記録したテープをダビング編集した場合

テープカウンター（リニアカウンター）

録画や再生の経過時間を表示するためのカウンターモードです。テープの走行をカウントして（数えて）その値を表示するので、タイムコードと異なり正確なテープの位置を表示することはできません。カセットの出し入れでゼロに変わり、リセットボタンを押すと好きな地点でゼロにすることができます。録画や再生を始めた位置でリセットしておくと、その時点からの経過時間を表示することができます。

ドロップフレーム

NTSC方式のタイムコードのフレーム(f)値は、1フレームが約1／30秒にあたるため、長時間記録していると、実時間との時間のずれが生じてきます。

ドロップフレームは、0、10、20、30、40、50分を除く毎分の00秒の時に、00フレームと01フレームをとばして、この誤差を自動的に補正する働きです。

ナ行

入力切換

本機と接続する外部機器の入力チャンネルの切換のことです。編集コントローラーの入力切換ボタンで、チューナー、ライン入力（L1～L3）、DV入力を選ぶことができ、切り換えられた映像がモニターに映ります。アフレコ編集やAVインサート編集のときは、DV入力での編集ができません。ライン入力に切り換えてください。

ハ行

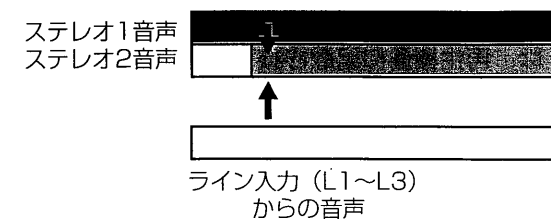
フレーム

ビデオの映像は、映画のフィルムと同じように連続した静止画の集まりで動きが作られています。その静止画の数は1秒に30枚あり、フレームはその静止画1枚のことです。NTSC方式のタイムコードの1フレームは、約1／30秒にあたります。

マ行

ミックスダビング編集

記録する音声モードを12bitに設定すると、音声を2種類の領域（ステレオ1、ステレオ2）に記録することができます。（テープには、「ステレオ1」にのみ音声が記録されます）ミックスダビングは、このテープの「ステレオ2」に「ステレオ1」の元の音声とライン入力からの新しい音声をミックスさせて録音する編集です。

その他（つづき）

用語解説

アルファベット順

DV端子

デジタルビデオ機器の映像・音声データの入力/出力を行うための端子です。
映像・音声データはDVケーブルを通じてデジタル信号のまま送られるため、ダビングを行っても、画質や音質の劣化はほとんどありません。また、機器の状態により信号の流れる方向を自動的に判断するので、従来の映像・音声コードのように入力/出力に応じて端子の接続をつなぎ変える必要がありません。
この他、本機のDV端子では編集の制御信号も送ることができます。当社製のデジタルビデオカメラを再生機として使うと、DVケーブル1本の接続だけで、次の編集が行えます。
ダビング編集　アッセンブル編集
ビデオインサート　オーディオインサート
（AVインサート、アフレコ編集、ミックスダビング編集は、DVケーブルのみの接続ではできません）
DV端子で接続して編集したときは、映像・音声端子の場合と比べて一部機能が異なります。
・ジョグ/シャトル操作時のサーチ音声（P17）は、DV端子では出力されません。
・再生機側の「カラーレベル調整」、「色あい調整」（P18）はできません。
・再生機側からの音声を、録画機側でレベル調整して録音することはできません。
・2カ国語放送などの二重音声（主/副）が録音されたテープを再生した場合、音声切換（主/副）の設定に関係なく、主音声と副音声の両方が出力されます。
・再生機側の元のサブコードデータ（記録日付情報、フォトショットインデックス信号など）は、そのまま録画機側にコピーされます。
（タイムコードはコピーされません）
・録画機側に記録される音声モード（12/16bit）は、再生機側に記録されている音声モードと同じになります。（音声モードを変えて記録したい場合は、DV端子ではなく映像・音声端子に接続してください）

SP／LPモード

デジタルビデオのテープ速度には「SP」と「LP」の2種類があります。
SPは、Standard Play（標準）を、
LPは、Long Play（長時間）を意味します。
LPモードは、SPモードの記録時間より1.5倍長く記録することができます。SPモードと比較しても画質の劣化はありませんが、他のビデオ機器で再生したときや、スロー／コマ送りのときにモザイク状のノイズが出るなど正常な再生ができない場合があります。また、LPモードで記録されたテープには、インサート、アフレコ、ミックスダビング編集はできません。

特長

本機はDV方式のデジタルビデオカセットレコーダーです。
下記のような特長を備えています。

デジタル高画質

●水平解像度：500本以上
●カラー帯域：1.5MHz
●映像S/N比：54dB
という、家庭用ビデオとしては最高レベルの高画質を実現しました。
●デジタル信号で記録するため、ダビングや編集などをくり返しても画像の劣化がきわめて少なくおさえられます。

デジタル高音質

●サンプリング周波数48kHzの16bit PCM ステレオ記録
●サンプリング周波数32kHzの12bit PCM 2ステレオ記録
という、2つの録音モードが選べます。
●16bit音声では、DATと同等の高音質の音声をお楽しみいただけます。（BS放送の録画に最適です）
●12bit音声では、アフレコ編集やミックスダビング編集など、さらに創造的な音声編集がお楽しみいただけます。
●デジタル信号で記録するため、音質の劣化もほとんどありません。

テープ上の記録パターン

ITI：Insert and Track Information

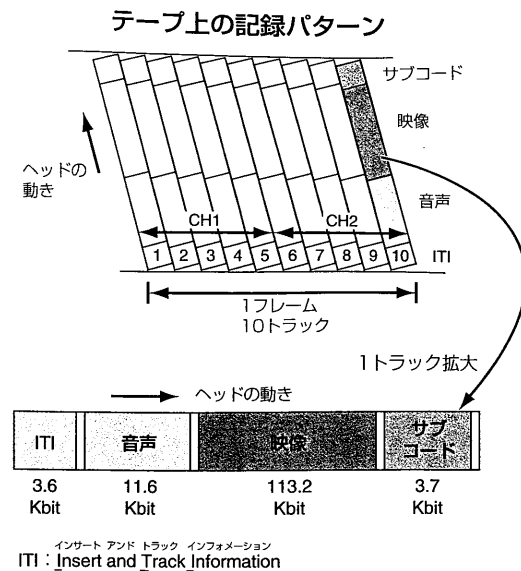
映像信号

サンプリング周波数　：（Y）＝13.5MHz
量子化ビット　：8bit
圧縮後の記録速度　：25Mbps

音声信号

16bit　48kHz　2ch
12bit　32kHz　4ch

サブコード

・タイムコード
・頭出し信号など

標準/ミニカセットコンパチ

DV規格対応の、DVマークの付いた標準カセット、またはMiniDVマークの付いたDVミニカセットが使用できます。
●同時に2つのカセットを入れることはできません。
●正しくお使いいただくため、当社製のカセットをご使用になることをおすすめします。

お願い／ヒント

取扱説明書は、最後までよくお読みください。

二度と録画できないような大切な録画の場合は、事前にためし録画をし、正しく録画・録音できることを確かめておいてください。
●本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

あなたがビデオで録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

この取扱説明書に記載されている付属品、及び別売品の標準価格や品番は、1998年3月現在のものです。標準価格には、消費税や工事代などは含まれていません。

DV方式とは、家庭用デジタルビデオの統一規格（民生用デジタルVCR SD規格）です。

DV録画モード

本機には、標準的なSPモードと、高画質のままで長時間（SPモードの1.5倍の時間）録画できるLPモードがあります。
■従来のビデオでは、長時間モードにすると画質が落ちていましたが、DV方式によるLPモードでは、高画質のままで長時間録画できます。
●本機の性能を十分に生かすために、パッケージに「LPモード」表示のある当社製のカセットをご使用になることをおすすめします。
●LPモードで録画しても画質は落ちませんが、下記のようなときにモザイク状のノイズが出たり、正常に再生できないことがあります。
•他のデジタルビデオ機器で再生
•他のデジタルビデオ機器で録画したテープを本機で再生
•LPモードがないデジタルビデオ機器で再生
•スロー/コマ送り/コマ戻し再生時
●LPモードで録画したときは、「ミックスダビング」、「アフレコ」、「オーディオインサート」、「ビデオインサート」、「AVインサート」はできません。
（くわしくは、編集編ご参照）
■DVCPROや、DVCAMの方式で録画したテープは、正常に再生できません。

DV端子（i.LINK）

DV方式ならではの、高画質・高音質のデータをデジタル信号のままで入出力できる「DV端子」があります。
●ダビング編集やアッセンブル編集などが簡単に行えます。
（くわしくは、編集編ご参照）
●i.LINKは国際規格IEEE1394・1995仕様の呼称です。i は、i.LINKに準拠した商品に付けられるロゴです。

プリンター連動機能

当社のビデオプリンターと接続すると、ボタン一つで高画質の画像をプリントできます。
●付属のリモコンの「プリンター」ボタンを押すだけで、簡単に画像をプリントできます。
（くわしくは、83ページご参照）

パソコンとの連動

デジタル静止画端子（RS-232C）を装備していますので、別売のデジカム用パソコン静止画キットを使用して、画像の取り込みや加工を簡単に行うことができます。
●接続は、パソコン静止画キットに付属のインターフェイスアダプターによる接続のみでかまいません。
●パソコン側からビデオの操作（再生、早送り、巻き戻しなど）ができます。
（くわしくは、84ページご参照）

お願い／ヒント

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

S-VHS（VHS）/8ミリカセットとの互換性
デジタルビデオはデジタル信号を記録しているため、従来のアナログ信号を記録しているS-VHSビデオやVHSビデオ、8ミリビデオとは互換性がありません。（カセット自体の形状なども異なります）

出力信号の互換性
映像・音声出力端子からの信号は、従来の信号と同じ信号ですので、従来からご使用のテレビやビデオなどと接続して再生画を見たり編集したりすることができます。

もくじ

お願い／ヒント

●本機を正しく使うには、右の1～8の準備が必要です。各項目の前の□に√印などを付け、準備の完了を確認されることをおすすめします。

●ケーブルテレビ（CATV）を受信される方や、マンションなどで共聴受信をされる方は、受信チャンネルの設定の際に、「マニュアルチャンネル設定」が必要です。

編集については、別冊の編集編をお読みください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「重傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

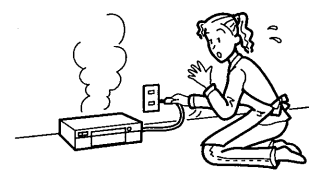
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」（P6～9）に記載のビデオのイラスト（姿図）はイメージイラストであり、ご購入のビデオとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠警告

異常が発生したときは、使うのをやめてください

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。
●電源を「切り」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

煙が出ている、異常に熱い、こげくさいにおいがするときなどは、使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったとき、キャビネットが破損したときなどは、使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

分解や改造をしない

分解禁止

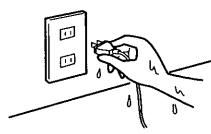
分解、改造は火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

●必ず、かわいた手で持ってください。

内部に金属物や燃えやすいものを入れない

禁止

ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

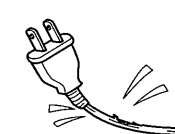
⚠警告

電源プラグは、根元までしっかりと接続する また、ほこりなどはとる

不完全な差し込みは、接触不良となり発熱・火災・感電につながります。また、プラグにほこりや金属物が付着すると、湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

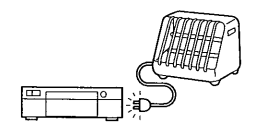
●いたんだプラグやゆるんだコンセントは使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

電源コードやプラグを破損させない

禁止

無理な折り曲げ、ねじり、束ね、引っ張り、加工、熱器具への接近、角のとがったものや重いものの下敷きなどになると、電源コードが破損し（芯線が見えているなど）、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

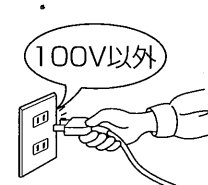
●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

本機後面の電源コンセント（アウトレット）は、別売のBSデコーダー／M-Nコンバーター専用です また、消費電力の合計が80ワットをこえる接続をしない

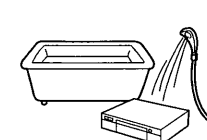
禁止

過電流により、接続部やコードが発熱し、火災につながります。

●BSデコーダー／M-Nコンバーター以外の機器は、接続しないでください。

指定（交流100ボルト）以外の電源電圧で使わない また、配線器具の定格をこえる使いかたをしない

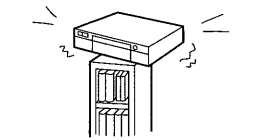
禁止

たこ足配線などの場合も、過電流により発熱し、火災・故障につながります。

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったと思われるときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な所に置かない

禁止

頭の上に落下すると、けがにつながるだけでなく、製品の故障にもつながります。

●コード類が下に垂れないように注意し、安定した所に置いてください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

感電につながります。

⚠注意

風通しの悪い所、狭い所に置かない

内部に熱がこもり、高温になると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

- 次のような使いかたはしないでください。
  - 押し入れ、本箱など風通しの悪い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかける。
  - じゅうたんや、ふとんの上に置く。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い所、振動が激しい所に置かない

ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

- 1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。（特に、湿度が高くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です）
- 費用についても、そのときお確かめください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。（テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください）

電源コードが無理に曲げられるような設置はしない

電源コードが破損し、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障のおそれがあります。

- 風通しをよくするためにも、後面は壁から10cm以上離してください。

本機の上に、重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり落下などしてけがをするおそれがあります。
また、重量でキャビネットが変形して内部部品が破損し、火災・故障の原因となるおそれがあります。

- 乳幼児にご注意ください。

電源コードを持って抜かない

コードが破損し、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

- 必ず、電源プラグを持ってください。

移動させる場合は、接続線を外しておく

接続したまま移動させると、コードが破損し、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

カセットトレイに手を入れないよう注意する

はさまれたり、金具にふれると、けがをするおそれがあります。

- 乳幼児にご注意ください。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れた場合、感電するおそれがあります。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。
- 販売店にご相談ください。

⚠注意

電池は、⊕・⊖（極性表示といいます）を確かめ、正しく入れる

間違えると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、けがをするおそれがあります。

新しい電池と古い電池、性能の異なる電池など、まぜて使わない

まぜると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、けがをするおそれがあります。

充電式電池や指定以外の電池は使わない

指定以外を使うと、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、けがをするおそれがあります。

電池の⊕・⊖部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

接触すると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、けがをするおそれがあります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

液もれ、発熱、発火、破裂などにより、けがをするおそれがあります。

電池が液もれしたときは：

- 万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

準備

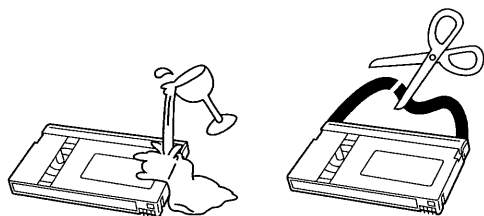
使用上のお願い

ビデオやカセットは、温度や湿度などの周囲の環境の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくため、次の事柄をお守りいただきますようお願いいたします。

カセットテープをご使用になる前に

■下記のようなテープは使用しないでください。
きれいに再生や録画ができないだけでなく、ビデオヘッドなどをよごしたり傷を付けるなどして、ビデオの故障の原因となります。

- ●ほこり、カビなどでよごれたテープ。
- ●ジュースや水などの液体が付着したテープ。
- ●波打つなど、クシャクシャになっているテープ。
- ●傷が付くなど、いたんでいるテープ。
- ●セロハンテープでつなぐなど、加工されたテープ
- ●たるみのあるテープ

（ご使用前に、カセットをお確かめください）

■上記のようなテープを使用すると、
再生時に、
- ●テレビに映る画像が乱れる。
- ●テレビ画面が黒色になる。

などの現象が出ます。

カセットテープの取り扱いかた

本機では、DV規格対応の、DVマークの付いた標準カセット、またはMiniDVマークの付いたDVミニカセットが使用できます。

- ●同時に2つのカセットを入れることはできません。
- ●正しくお使いいただくため、当社製のカセットをご使用になることをおすすめします。
- ●カセットを落としたり、激しい振動を与えたりしないでください。
- ●カセットにジュースや水など、液体をかけたりこぼしたりしないでください。
  - ●気付かずにそのまま使用すると、テープがからんだり切れたりして、カセットが取り出せなくなります。また、ビデオヘッドなどに傷を付けたりして、ビデオの故障の原因となります。
- ●使用後は、テープを始端まで巻き戻しておいてください。
- ●保管の際は、テープにほこりなどが付着しないように、また、テープがたるまないように、ケースに入れ、立てておいてください。

- ●カセットを、下記のような所に置かないでください。
  - ●ほこりの多い所。
  - ●車のダッシュボードなど、高温になる所。（推奨温度：15℃～25℃）
  - ●温度差が激しい所。
  - ●湿度の高い所。（推奨湿度：40%～60%）
  - ●油煙の出る所。
  - ●暖房、冷房機器に近い所。

  温度や湿度は、カセットテープにつゆつきを発生させる原因となります。つゆつきについては、次のページの「つゆつきが発生したら」をお読みください。
- ●カセットに、強い磁気を持ったものを近付けないでください。映像や音声にノイズが入ることがあり、磁気の影響が大きいときには、大切な記録が損なわれることがあります。

つゆつきが発生したら

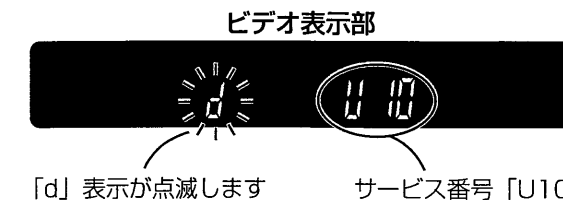
■つゆつきとは
冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、その表面に水滴（つゆ）が発生します。
このような現象を「つゆつき」と言います。
急激な温度差の影響を受けると、ビデオの内部やカセットテープにもつゆつきが発生します。

■つゆつきが発生しやすいときは
下記のようなときが、つゆつきが発生しやすいときです。
- ●梅雨の時期。
- ●ビデオやカセットを、寒い所から暖かい所に急に移動させたとき。
- ●寒い部屋を急に暖房したとき。
- ●エアコンの冷風が、ビデオやカセットに直接当たっているとき。
- ●湯気が立ちこめるなど、湿度の高い所。

また、ビデオのご購入後や移動されたときなどで、接続などの設置をした直後は、周囲の温度差からつゆつきが発生しやすくなっています。
万一つゆつきが発生したままご使用になると、水滴でテープがビデオ内部の部品にはり付いたりして故障の原因となります。ビデオが周囲の温度になじむまで（約2時間程度）、ビデオの電源を「入」にしたまま使うのをお待ちください。

■つゆつきが発生すると
ビデオの電源コードを電源コンセントに接続しているときは、ビデオの電源が自動的に「入」になり、ビデオ表示部に「d」の点滅と「U10」の表示（つゆつき表示）が出ます。
（d：dew／つゆの頭文字です）

ビデオ表示部

「d」表示が点滅します　サービス番号「U10」

■つゆつきが発生したときの処置のしかた
1、カセットを取り出してください。（P44）
　●テープやビデオ内部の精密部品を保護するため、カセットの取り出し以外の操作はできなくなります。
2、「押-開/取出し」ボタンを押し、カセットトレイを戻す。
3、ビデオの電源プラグをコンセントから抜かずに、「つゆつき表示」が消えるまで（約2時間程度）使うのをお待ちください。

使用上のお願い（つづき）

ビデオヘッドがよごれてきたら

ビデオヘッドがよごれてくると、録画されているテープの再生画面上に部分的にモザイク状のノイズが出たり、画面全体が黒くなったりします。また、よごれがひどくなってくると、正常に録画できなくなります。
このようなときは、デジタルビデオ用ヘッドクリーナー（付属）を使って、ヘッドをクリーニングしてください。

テレビ画面

テレビ画面

黒い画面

モザイク状のノイズが出たり、画面全体が黒くなります。
（未録画部分の再生時も、画面全体が黒くなります）

■デジタルビデオ用ヘッドクリーナーの使いかた

デジタルビデオ用ヘッドクリーナーをビデオに入れ、約20秒間再生してください。

- ●デジタルビデオ用ヘッドクリーナーは、使いすぎるとヘッド磨耗の原因になりますのでお気をつけください。ヘッドが磨耗すると、クリーニングしても鮮明な画像にはなりません。
- ●ヘッドをクリーニングしても、再びヘッドよごれが発生した場合は、テープに起因している可能性がありますので、このテープのご使用を避けてください。

■ヘッドがよごれる原因は

- •空気中のほこり。
- •高温、多湿な環境。
- •テープの傷。
- •長時間の使用。

などです。

■定期点検のお願い

美しい画像をごらんいただくために、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ使用1000時間を目安に清掃、ヘッドなどの磨耗部品を交換されることをおすすめします。

ビデオのご使用中は

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近付けないでください。

●映像・音声に悪い影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

ビデオを使い終わったら

次の操作をしてください。

1、テープを始端まで巻き戻してから、カセットを取り出しておいてください。（P44）
2、ビデオの「電源」ボタンを押し、ビデオの電源を「切」にしておいてください。

ビデオを長期間（約1カ月以上）使わないときは

次の操作をしてください。

1、テープを始端まで巻き戻してから、カセットを取り出しておいてください。（P44）
2、ビデオの「電源」ボタンを押し、ビデオの電源を「切」にしておいてください。
3、ビデオの電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。
- •ビデオが電源コンセントにつながれていると、ビデオの電源を「切」にしても、約8ワットの電力を消費しています。
- •ビデオの機能に支障をきたすおそれがありますので、1カ月に一度ぐらいはビデオの電源を「入」にし、再生操作などをしてテープを走行させてください。

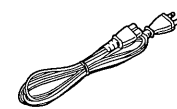
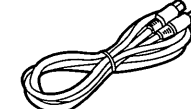
お手入れのしかた

次の手順に従ってください。

1、ビデオの電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。
2、やわらかいかわいた布で、ビデオのキャビネットをふいてください。
- •よごれがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ、その液に布をひたし、よくしぼってからよごれをふき取ってください。そのあと、かわいた布で仕上げてください。

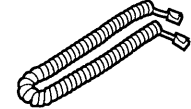
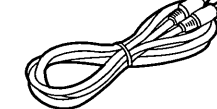
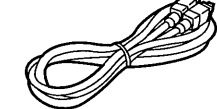
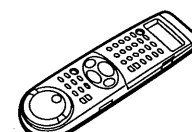
●化学ぞうきんをお使いの際は、その注意書に従ってください。
●ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。キャビネットが変質したり、塗装がはげたりします。

付属品

包装箱をあけられましたら、まずこの表の部品が入っているか、□に√印などを付けて確かめてください。
付属品をなくされたなどの場合、サービスルート扱いでご用意いたしておりますので、販売店にてご注文ください。
（商品取り寄せのため、数日かかる場合があります）
●この取扱説明書に記載されている付属品、及び別売品の標準価格や品番は、1998年3月現在のものです。
●標準価格には、消費税や工事代などは含まれていません。

□電源コード
(P27)
VJA0659
標準価格：700円

□S映像コード
(P27)
VJA0658
標準価格：700円

□映像・音声コード
(P27)
VJA0788
標準価格：600円

□75Ω同軸ケーブル
(P23)
VJA1013
標準価格：400円

□75Ωアンテナプラグ
(VHF/UHF入力端子専用)
(P22)
VSQ1035
標準価格：300円

□コントローラーケーブル
(P21)
VJA1045
標準価格：700円

□システムコード
(P83)
VJA0787
標準価格：2,300円

□DVケーブル
(編集編)
VJA1011
標準価格：3,200円

□リモコン
(P14)
EUR571401
標準価格：7,000円

□単3形電池4本
（リモコン用/編集コントローラー用）
(P21、29)
R6P

□デジタルビデオ用ヘッドクリーナー
(P12)
VFK1449

各部のなまえと働き（リモコン）

ボタンの中には、いろいろな働きを兼ねているものもありますので、くわしくは関係するページをお読みください。
●テレビの操作に使うボタンは、緑色の文字で示しています。

とびらを閉じた状態

「時計/表示」ボタン（P82）
テレビ画面やビデオ表示部の表示を切り換えるとき。

テレビ「電源」ボタン（P28、49）
テレビの電源を切／入するとき。

「消音」ボタン
テレビの音量を「切」にするとき。

「テレビチャンネル選択」ボタン（P49、56）
テレビのチャンネルを選ぶとき。
●ビデオのチャンネルは選べません。
●このボタンは、「市外局番入力チャンネル設定」や「Gコード予約」の際の「数字」ボタンも兼ねています。

「一時停止/スロー」ボタン（P52、56）
静止画再生やスロー再生にしたり、録画を一時停止させたりするとき。

ビデオ「電源」ボタン（P28、49）

「サーチ選択/頭出し」ボタン（P74）
「インデックスサーチ」や「フォトサーチ」で見たい場面をさがすとき。

「ジョグ/シャトル」ボタン（P53）
ジョグダイヤルやシャトルリングを使うとき。

ジョグダイヤル（P53）
コマ送り/コマ戻し再生をするとき。

シャトルリング（P53）
再生の速度を変えるとき。

「入力」ボタン（P28、49）
テレビの入力を「ビデオ」などに切り換えるとき。

「自動CM早送り」ボタン（P54）
CMをとばして見るとき。

「BS」ボタン
（下記、ご参照）
テレビのBSチャンネルを選ぶとき。

リモコン送信部（P29）

リモコン表示部（P34、68）

「テレビチャンネル」ボタン（P30）
テレビのチャンネルを切り換えるとき。

「Gコード予約」ボタン（P68）
Gコード予約をするとき。

「転送」ボタン（P34、68）
リモコンからの信号を送信するとき。

「音量」ボタン
テレビの音量を調節するとき。

「再生」ボタン（P50）
「早送り」ボタン（P51、52）
「停止」ボタン（P50、55）
「巻戻し」ボタン（P51、52）
●メニュー画面の操作ボタンを兼ねています。

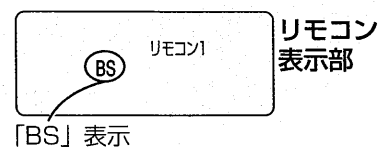
「ビデオチャンネル」ボタン（P55）
ビデオのチャンネルを切り換えるとき。

「録画」ボタン（P55）
録画中に押すと、「インデックス（頭出し信号）」が記録されます。（P74）

「ゼロストップ」ボタン（P76）
ゼロストップ機能で、指定した場面に戻るとき。

「リセット」ボタン（P76）
ビデオのテープカウンター表示を「0：00.00」にするとき。

お願い／ヒント

■テレビのBSチャンネルを選ぶときは
「BS」ボタンを押すと、リモコン表示部に「BS」表示が出ますので、この「BS」表示が出ている間に「テレビチャンネル選択」ボタンを押して選んでください。

リモコン表示部
「BS」表示

BS 1ch:	BS→①	BS 9ch:	BS→⑨
BS 3ch:	BS→③	BS11ch:	BS→⑪
BS 5ch:	BS→⑤	BS13ch:	BS→⑩/⓪
BS 7ch:	BS→⑦	BS15ch:	BS→⑫

●この取扱説明書は、ほとんどの操作をリモコンでの操作で説明していますが、同じ名前のボタンなら、ビデオ本体や編集コントローラーでも同じ操作ができます。

とびらを開いた状態

「ステレオ切換」ボタン（P47）
ステレオ1音声とステレオ2音声を切り換えるとき。
（音声12bitモード時）

「タイマー切/入」ボタン（P72、73）
予約録画を解除するときなど。

「プリンター」ボタン（P83）
ビデオプリンターと接続して、画像をプリントするとき。

「音声切換」ボタン（P47）
ステレオ音声の「右」と「左」、二重音声の「主」と「副」を切り換えるとき。

「TV/独立」ボタン（P61）
BS放送の音声を切り換えるとき。

「初期設定」ボタン（P30、34、77、78）
テレビメーカー番号を合わせたり、「市外局番入力チャンネル設定」をしたりするときなど。

「メニュー」ボタン（P33、38、86）
テレビにメニュー画面を出すとき。

リモコンフリーセット予約部（P70）
●リモコンの準備などにも使います。

「確認」ボタン（P72）
予約内容を確認するとき。

「SP/LP」ボタン（P55）
テープ速度を選ぶとき。

「取消し」ボタン（P41、73）
予約を取り消すときなど。

「ビデオ/テレビ」ボタン（P28、49）
映像・音声入力端子のないテレビと接続した場合に、テレビにビデオの画面を出すとき。

「転送」ボタン（P68、70）
リモコンからの信号を送信するとき。

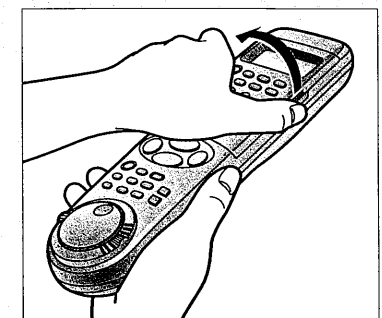
「日付表示選択」ボタン（P80）
テレビ画面に出す日付などの表示を切り換えるとき。

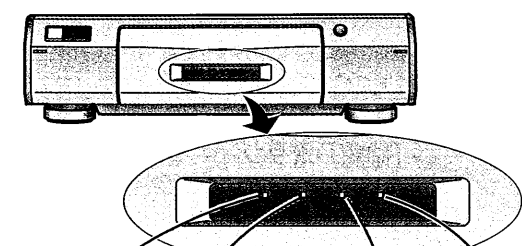
「リモコン1/2/3」（長押し）ボタン（P31）
リモコンモードを切り換えるとき。

「実行」ボタン（P33、38、86）
メニュー画面で項目を選ぶときなど。

お願い／ヒント

■リモコン表示部について
リモコン表示部が点灯したまま、約4分間経過すると、自動的に表示が消えます。これは、電池の消耗を防ぐためです。

■リモコンのとびらの開きかた
リモコンの上部右側のくぼみに親指をかけ、矢印方向に開いてください。
●あまり強く開くと、とびらがこわれますのでていねいに扱ってください。

各部のなまえと働き（本体前面）

ボタンの中には、いろいろな働きを兼ねているものもありますので、くわしくは関係するページをお読みください。
●編集時に使用する端子やボタン名などは、緑色の文字で示しています。くわしくは、別冊の「編集編」をお読みください。

「電源」ランプ
電源「入」のとき点灯。

「カセットイン」ランプ
カセットが入っているとき点灯。

「スタンバイ」ランプ
電源「切」のとき点灯。

「タイマー予約」ランプ（P72、73）
予約録画の待機中、または実行中に点灯。

「ミニカセット」ランプ（P44）
ミニカセットが入っているとき点灯。

「標準カセット」ランプ（P44）
標準カセットが入っているとき点灯。

「電源」ボタン
（P28、49）

リモコン受信部（P29）

「システム🅔」端子（P83）
別売のビデオプリンターを接続する所。
●別冊の「編集編」もよくお読みください。

「DV入力/出力」端子（編集編）

「編集モード」スイッチ（編集編）

「編集端子切換」スイッチ（P83）
別売のビデオプリンターを接続したときに、「プリンター」に切り換えます。
●別冊の「編集編」もよくお読みください。

「外部入力2」端子（P58）
外部機器を接続する所。

「コントローラー接続」端子（P21）
編集コントローラー用のコントローラーケーブルを接続する所。

「DV（入力/出力）」ランプ（編集編）

「インサート（ビデオ/オーディオ）」ランプ（編集編）

「ジョグ/シャトル」ランプ（P53）
「ジョグ/シャトル」ボタンを押すと点灯。

「アフレコ」ランプ（編集編）

カセットトレイ（P44）

「押-開/取出し」ボタン（P44）
正面とびらを開くとき、また、カセットトレイを出し入れするとき。

「ミックスダビング」ボタン（ランプ付き）
（編集編）

「ミックスレベル」つまみ（編集編）
再生時にステレオ1音声とステレオ2音声をミックスして聞くときのバランスつまみにもなります。（P47）

「タイマー予約切/入」ボタン（P72、73）
予約録画を解除するときなど。

「SP/LP」ボタン（P55）
テープ速度を選ぶとき。

「チャンネル」ボタン（P55）
ビデオのチャンネルを切り換えるとき。

「録画/終了時刻予約」ボタン（P55、57）
録画するとき、また、録画の終わる時刻を予約するとき。

「録音レベル」つまみ（P48）
録音レベルを調整するとき。

「ヘッドホンレベル」つまみ（P48）
ヘッドホンの音量を調整するとき。

「ヘッドホン」端子（P48）
ヘッドホンで聞くとき。

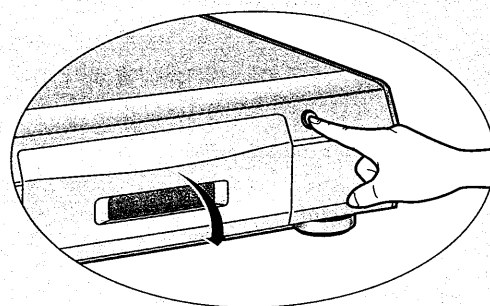
「マイク」端子（P59）

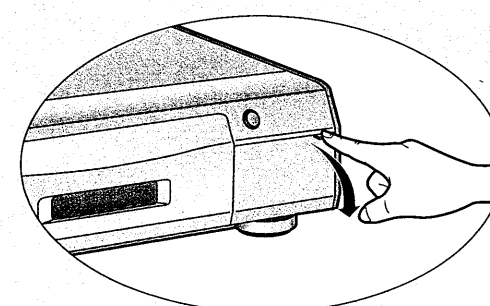
「音声データ」ランプ（P46）
記録されている音声の情報を表示。

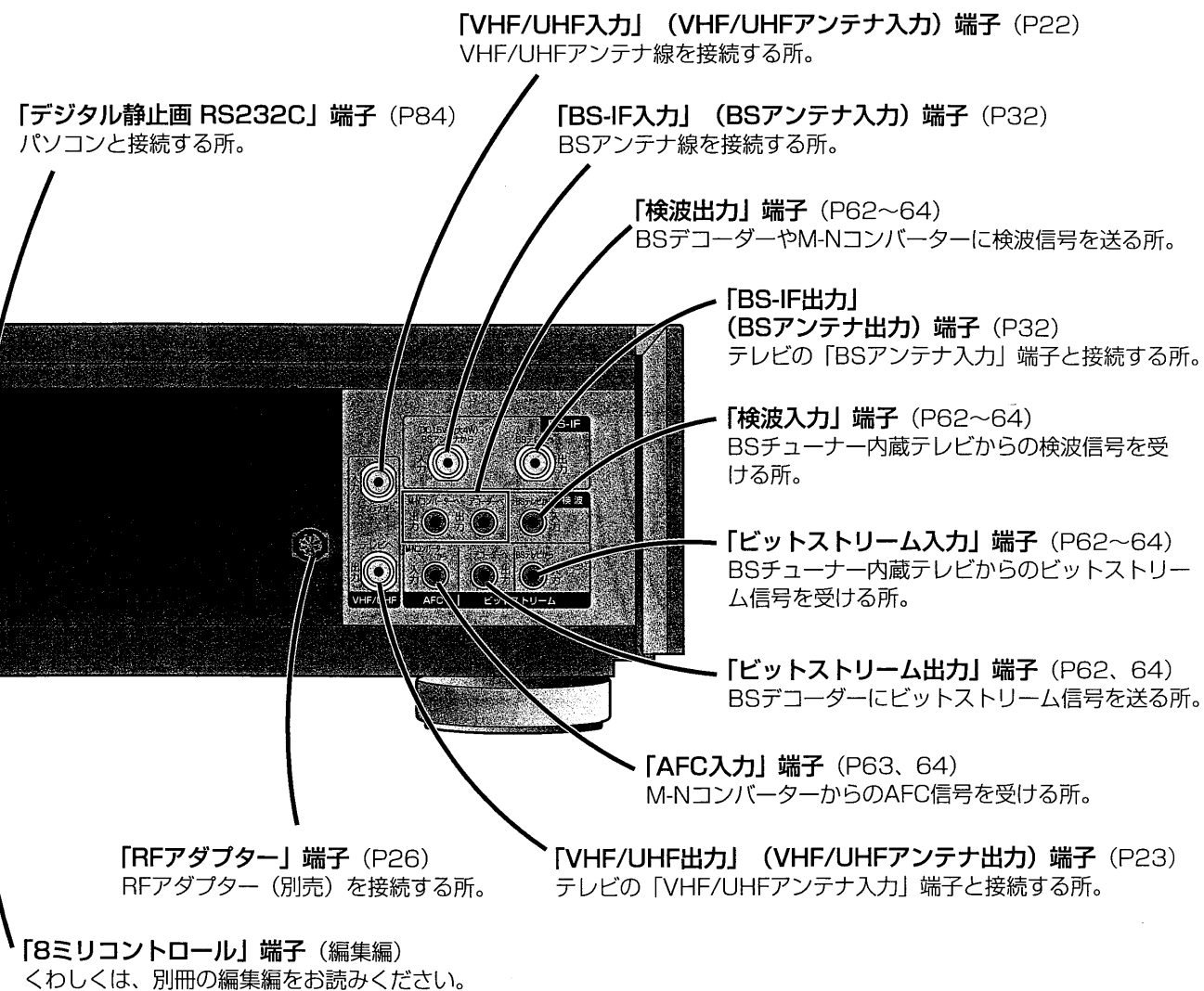
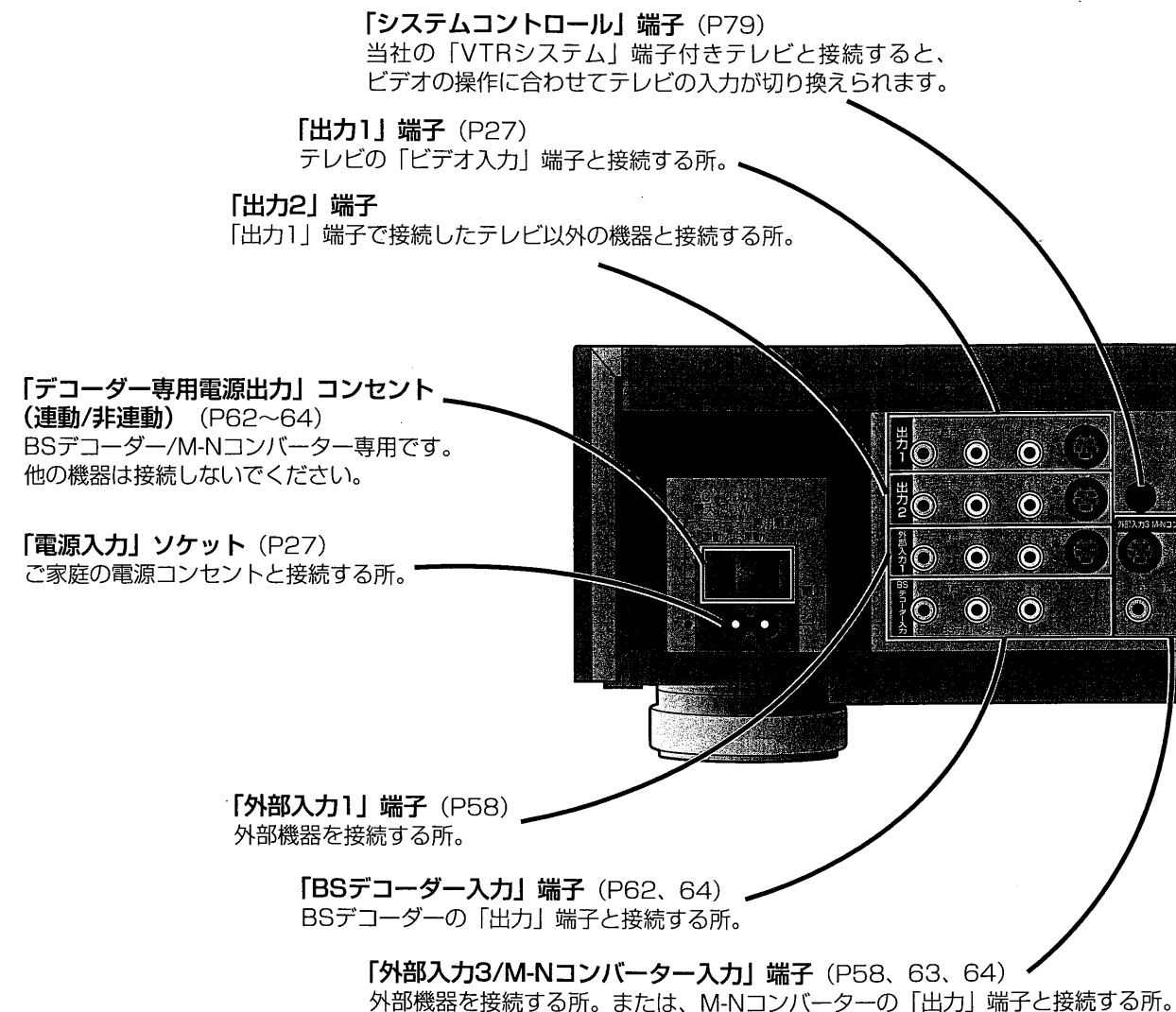
「音声モニター」ランプ（P46）
現在選ばれている音声を表示。

ビデオ表示部（P45）

お願い／ヒント

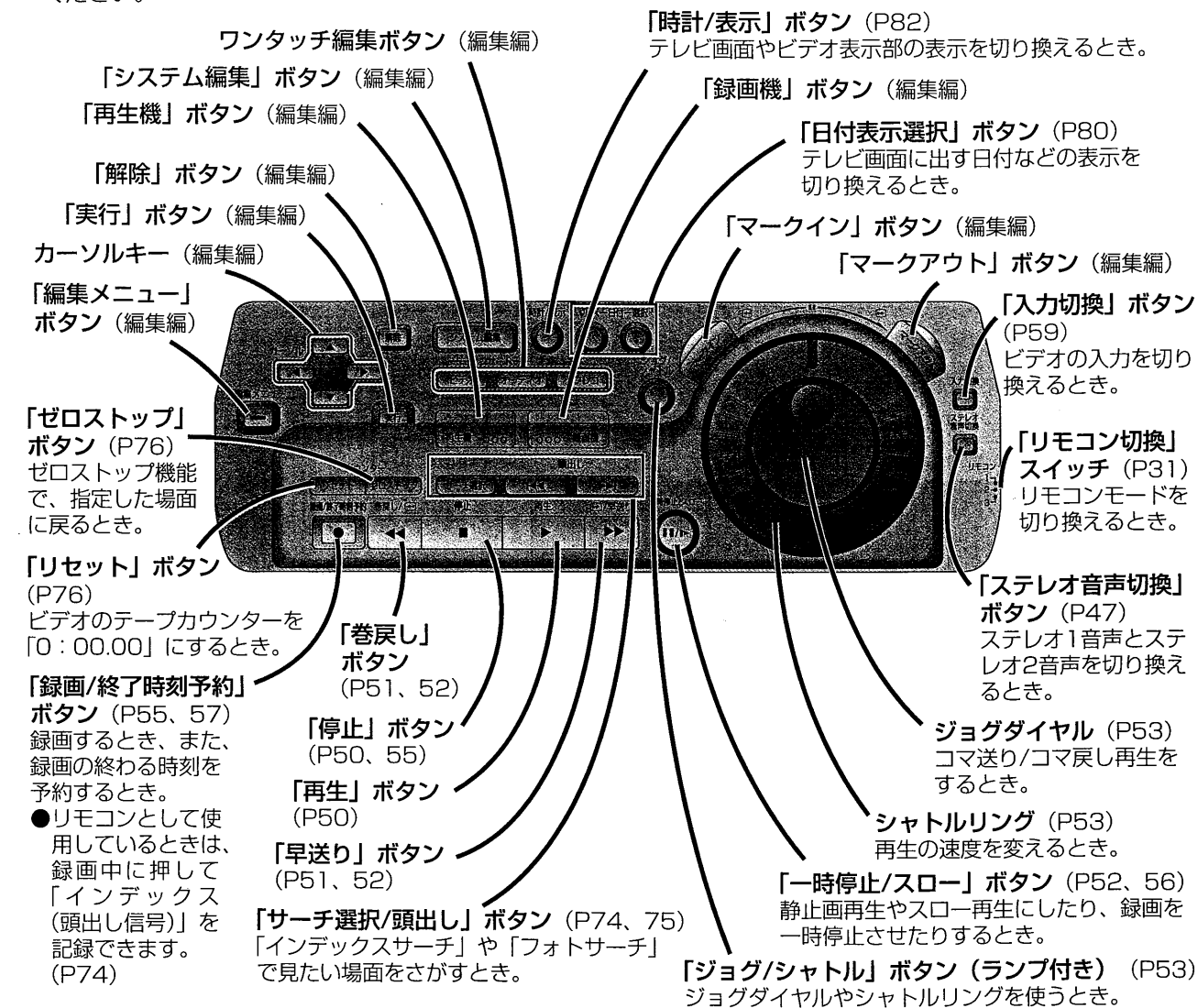
■正面とびらの開きかた
「押-開/取出し」ボタンを1回押すと開きます。

お願い／ヒント

■左とびら、右とびらの開きかた
とびら上部の「つめ」に指をかけ、手前に引いて開いてください。

各部のなまえと働き（本体後面）

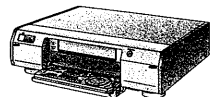
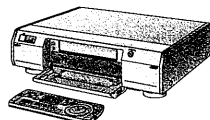
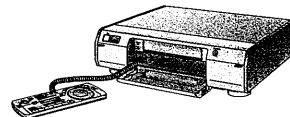
くわしくは関係するページをお読みください。

準備 各部のなまえと働き（本体後面）

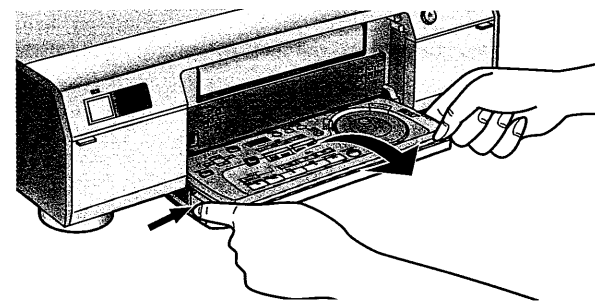
準備（つづき）

各部のなまえと働き（編集コントローラー）

ボタンの中には、いろいろな働きを兼ねているものもありますので、くわしくは関係するページをお読みください。
●編集時に使用する端子やボタン名などは、緑色の文字で示しています。くわしくは、別冊の「編集編」をお読みください。

編集コントローラーの操作のしかた

編集コントローラーは、下記の3つの方法で操作できます。

1、ビデオに取り付けたまま操作する。
●通常は、この状態で操作してください。

2、ビデオから取り外し、編集コントローラーに電池を入れ、リモコンとして操作する。
●手元で編集操作をしたいときは、この状態で操作してください。

3、ビデオから取り外し、ビデオに付属のコントローラーケーブルでビデオと接続して操作する。
●ビデオに向かわないで編集操作をしたいときは、この状態で操作してください。

取り外しかた

下図のように、ビデオの正面とびらの左右にあるボタンを押しながら、両手で取り出してください。

●編集コントローラーは、ビデオの右とびら、左とびらを閉じた状態で取り外してください。

取り付けかた

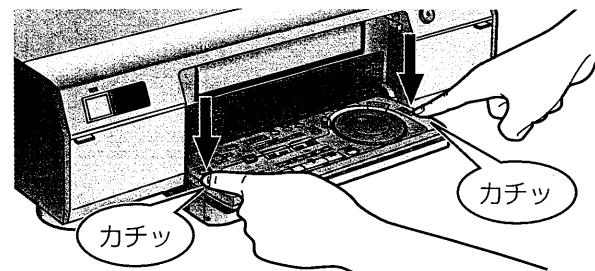
下図のように、ビデオの正面とびらの左右にあるボタンのあたりを、編集コントローラーの上から「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
●両手を使って、両側（左右）とも「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
●片方だけ（右または左のみ）が押し込まれた状態では、編集コントローラーが正しく働かなかったり、編集コントローラーに入っている電池が早く消耗する場合があります。

電池の入れかた

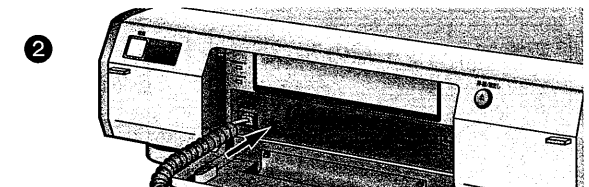
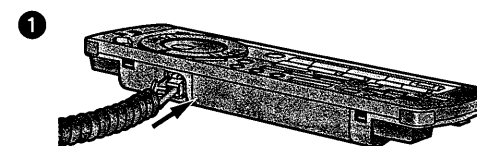
下記の手順で編集コントローラーに電池を入れてください。

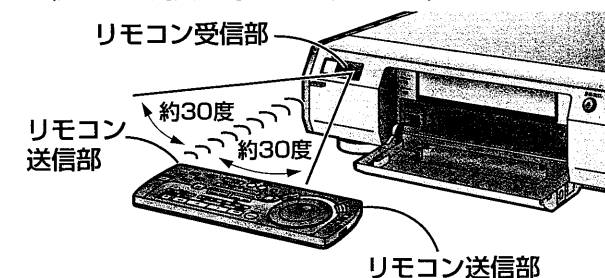
❶ **編集コントローラー裏側の電池ふたを、押さえながら横にずらして外す**
❷ **⊕・⊖（極性表示）を確かめながら、付属の電池2本を図のように正しく入れる**
❸ **電池ふたを確実に取り付ける**

リモコンとして使うとき

ビデオのリモコン受信部に向け、確実に操作してください。
●操作できる範囲は、距離は正面で約3m以内、角度は約60度以内です。
（ただし、周囲の明るさで変わります）

コントローラーケーブルでビデオに接続するとき

下記の手順でビデオに編集コントローラーを接続してください。

❶ **編集コントローラー背面のコントローラー端子のカバーを外し、付属のコントローラーケーブルのプラグを「カチッ」と音がするまで差し込む**
❷ **ビデオのコントローラー端子のカバーを外し、もう一方のプラグを「カチッ」と音がするまで差し込む**

こんなときは

■**ビデオ本体のリモコンモードを切り換えたときは、編集コントローラーのリモコンモードも切り換えておいてください。**
編集コントローラーをリモコンとして使用するときは、ビデオ本体とリモコンモードが違うと、操作できません。（P31）

準備（つづき）

1 アンテナ線やテレビと接続する

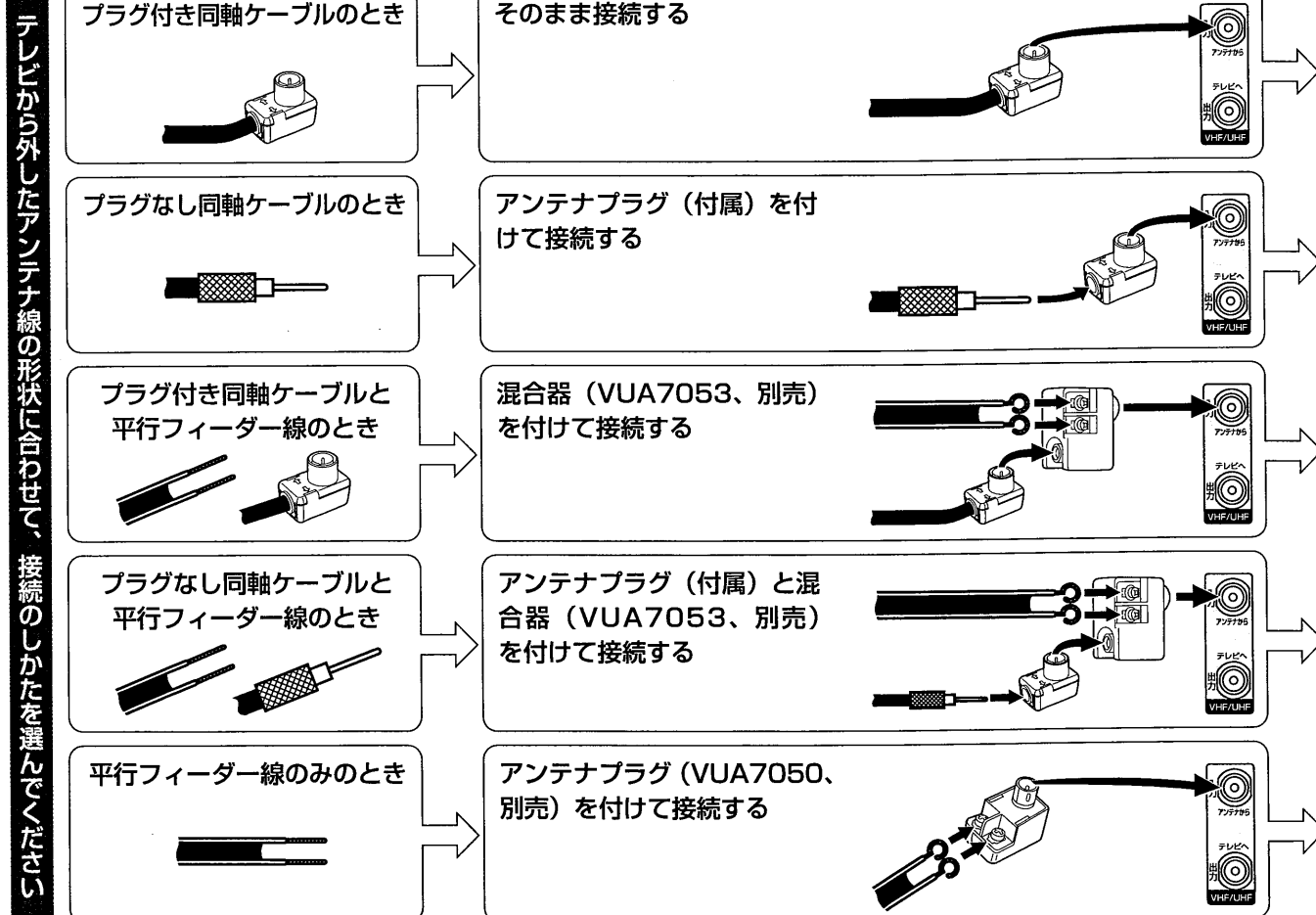
■本機をご使用になるときには、次の準備が必要です

❶ テレビからアンテナ線を外す

❷ 外したアンテナ線を、ビデオ後面の「VHF/UHFアンテナ入力」端子に接続する

❸ 75Ω同軸ケーブル（付属）を、ビデオの「VHF/UHFアンテナ出力」端子に接続する

❹ 75Ω同軸ケーブル（付属）のもう一方を、テレビの「VHF/UHFアンテナ入力」端子に接続する

テレビ側の端子の形状により、加工が必要な場合があります。

お願い／ヒント

●テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルの場合でも、付属のアンテナプラグに付け替えられることをおすすめします。
●アンテナ線に分波器が付いているときは、取り外し、アンテナプラグ（付属）を取り付けてください。
●アンテナ線の加工のしかたは、24ページをお読みください。

別売品のご紹介（一例です）

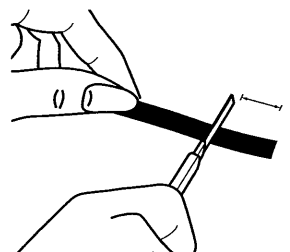
●混合器／VUA7053
標準価格：600円
●分波器／VUA7052F
標準価格：800円
●アンテナプラグ／VUA7050
標準価格：300円

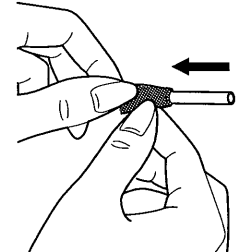
1 アンテナ線やテレビと接続する（つづき）

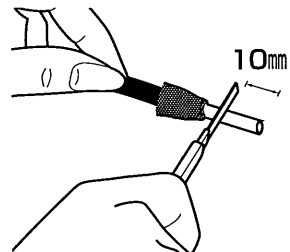
アンテナ線の加工のしかた

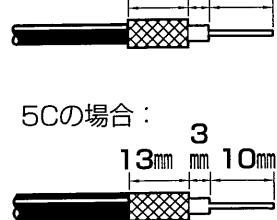
■同軸ケーブルの芯線の出しかた

付属のアンテナプラグが使用できる同軸ケーブルには「3Cケーブル（直径約6mm）」と「5Cケーブル（直径約8mm）」があり、加工の際の寸法が多少異なります。（付属の75Ω同軸ケーブルは「3Cケーブル」です）

❶ 外側のビニールに切り込みを入れ、切り取る

3Cの場合：13mm
5Cの場合：26mm

❷ アミ線を折り返す

3Cの場合：すべて
5Cの場合：半分（13mm）

❸ 白いビニールに切り込みを入れ、切り取る

芯線を傷付けないでください。

<仕上がり図>

■平行フィーダー線の加工のしかた

平行フィーダー線の先端に金具が付いている場合は、そのまま端子に接続してください。

❶ 芯線を10mm出す

❷ 芯線をよじる

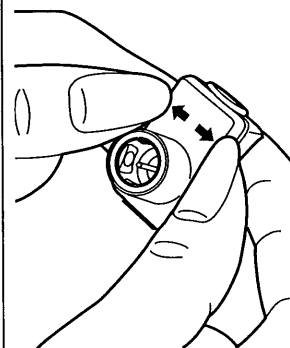
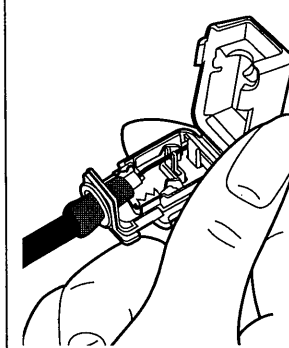
❸ 接続しやすい形に曲げる

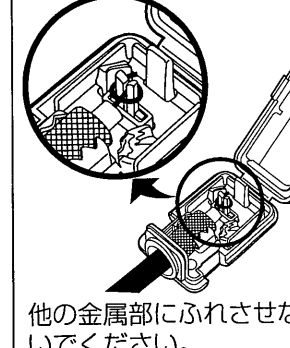
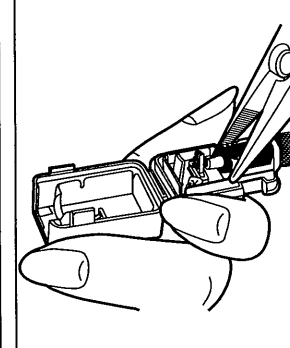
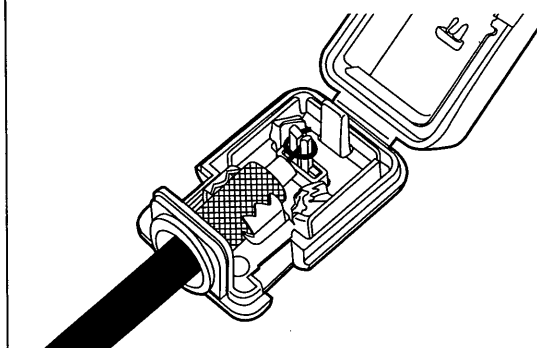
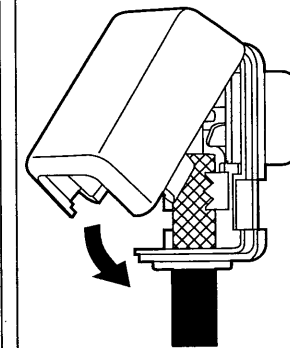
お願い／ヒント

●アンテナ線の加工には、カッターナイフが必要です。
●アンテナプラグへの接続には、ペンチが必要です。

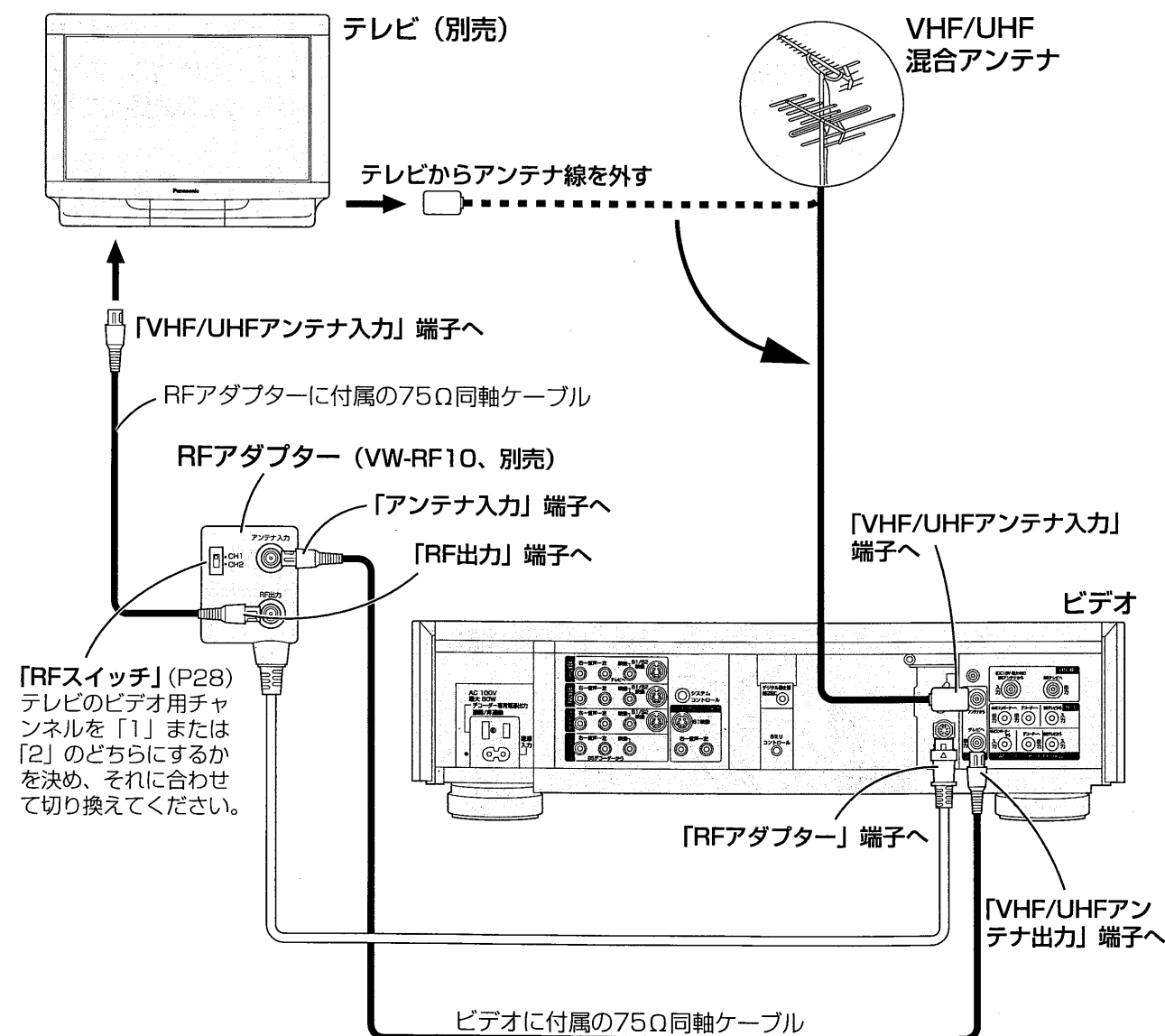
同軸ケーブルと付属のアンテナプラグの接続のしかた

同軸ケーブルの先端を、左のページのように加工しておいてください。（必ず寸法をお守りください）

❶ 矢印方向につめを広げ、カバーを開く

❷ 同軸ケーブルの先端を、プラグの穴に通す

❸ 同軸ケーブルの芯線を、金具に巻き付ける

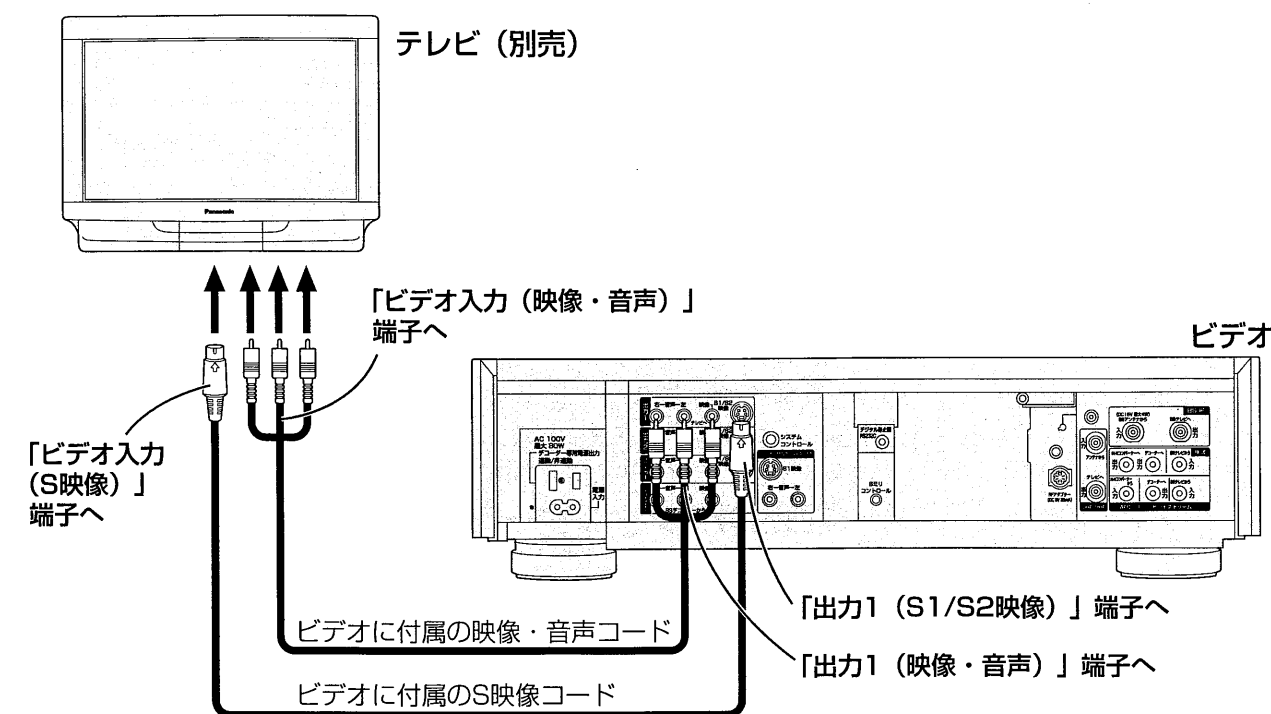
他の金属部にふれさせないでください。

❹ ペンチなどで締め付け、ケーブルを固定させる

<固定が完了した状態の図>

❺ カチッと音がするまでカバーを閉じる

1 アンテナ線やテレビと接続する（つづき）

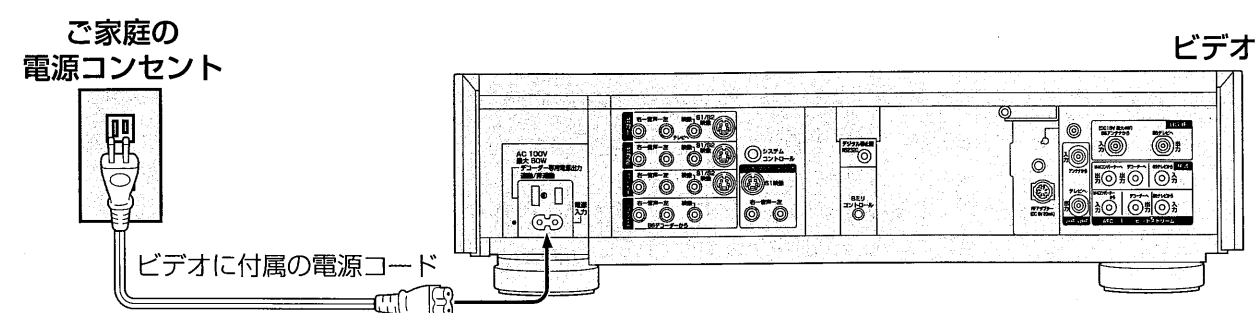
ビデオ入力（映像・音声入力）端子のないテレビと接続するとき

別売のRFアダプター／VW-RF10が必要です。
下記のように接続してください。

別売品のご紹介（一例です）

●RFアダプター／VW-RF10
標準価格：5,000円

2 映像・音声コードでテレビと接続する

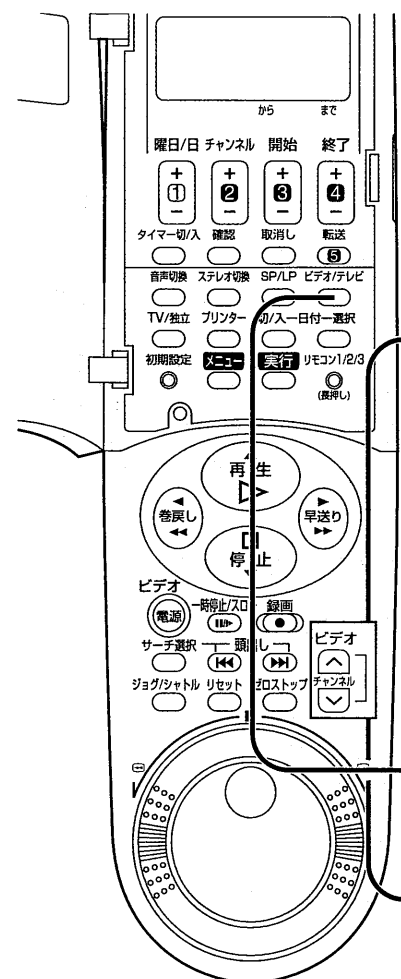
22、23ページの接続のあと、下記のように接続してください。

3 電源プラグを電源コンセントに接続する

下記のように接続してください。

お願い／ヒント

■**ご使用のテレビにビデオ入力（映像・音声入力）端子があるときは、必ず付属の映像・音声コードで接続してください。**
●この接続をしないときは、常にモノラル音声になります。
●テレビの音声入力端子がモノラルの場合は、別売の映像・音声コードRP-CV16A（1m、標準価格：1,600円）をご使用ください。

■**ご使用のテレビにS映像入力端子があるときは、必ず付属のS映像コードで接続してください。**
●より鮮明な映像でお楽しみいただけます。

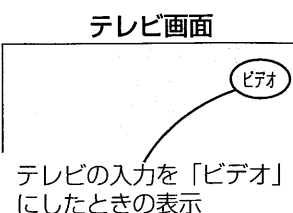
4 正しく接続されているか確認する

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②ビデオの電源を「入」にする。
③リモコンに電池を入れる。（P29）

映像・音声コードで接続したとき

❶テレビの入力切換を「ビデオ」にする

●テレビの「ビデオ入力1」端子にビデオを接続しているときは、テレビ画面に「ビデオ1」の表示を出すと、ビデオからの映像がテレビ画面に映ります。

テレビ画面

テレビの入力を「ビデオ」にしたときの表示

ビデオの「チャンネル」ボタンを次々に押し、
❷きれいに映っていることを確認する

●録画されたテープがあるときは、再生してきれいに映ることを確認してください。

別売のRFアダプターを使って接続したとき

①テレビのチャンネルを「1」または「2」にする

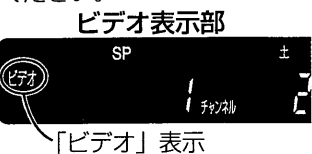
●放送されていない方のチャンネルにしてください。

②RFアダプターのRFスイッチを「CH1」または「CH2」にする

●手順①で合わせた方のチャンネルにしてください。

「ビデオ/テレビ」ボタンを押し、
③ビデオ表示部に「ビデオ」表示を出す

ビデオ表示部

「ビデオ」表示

ビデオの「チャンネル」ボタンを次々に押し、
④きれいに映っていることを確認する

●録画されたテープがあるときは、再生してきれいに映ることを確認してください。

お願い／ヒント

■画面の映りが悪いときは

電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなる場合があります。
市販のアンテナブースターなどをご使用ください。

■別売のRFアダプターを使って接続しているときに、ビデオの画面がきれいに映らないときは

テレビのチャンネル「1」または「2」の調整をしてください。（テレビの説明書もよくお読みください）

5 時計が合っているか確認する

本機の時計は工場出荷時に合わせてあり、約5年間は「自動バックアップ機能」（停電にも対応）が働きます。また、2分以内の誤差を自動的に修正する「自動時刻合わせ機能」がありますので、通常のご使用では「時刻合わせ」の操作は不要です。

ビデオの電源プラグを電源コンセントにつなぐと、ビデオ表示部に現在時刻が表示されます。

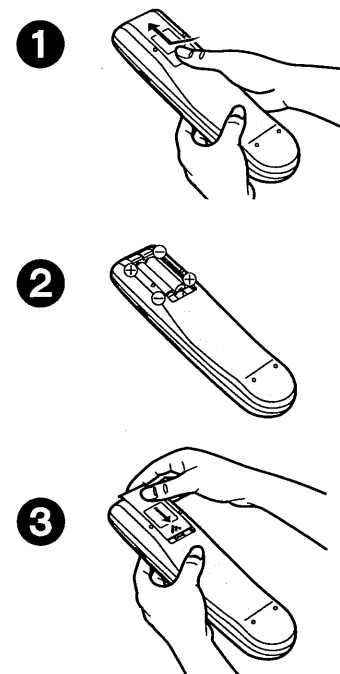
●時計が合っていることを確認してください。

ビデオ表示部

次のようなときは、85ページの操作で時計を合わせ直してください。

●時刻表示が「0：00」で点滅しているとき。
●時計の誤差が2分以上あるとき。

6 リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる

❶「∘°∘°∘」部分を押さえながら、電池ふたをずらして外す

❷⊕・⊖（極性表示）を確かめながら、付属の電池2本を図のように正しく入れる

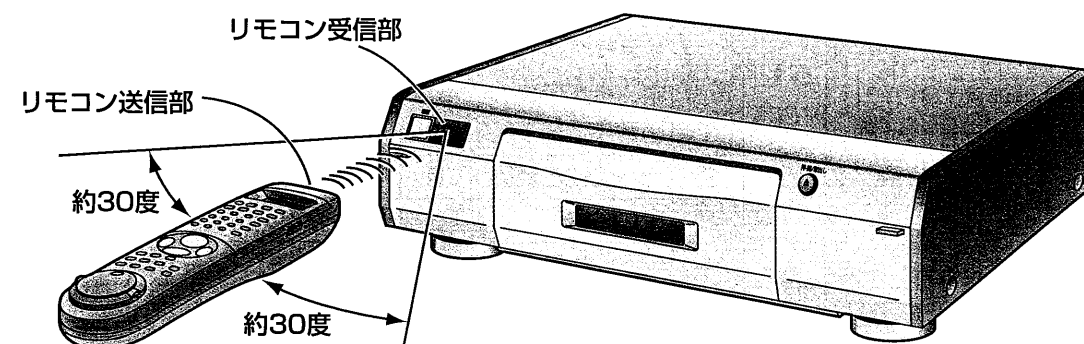
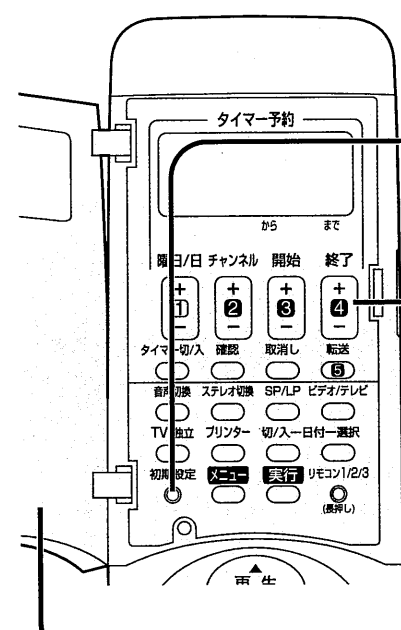
❸電池ふたを確実に取り付ける

電池交換の目安は

●リモコン表示部の表示が薄くなってきたら交換してください。
電池の寿命は、使用環境、使用回数などにより異なりますが、約1年です。
●電池の交換後、もしもビデオやテレビが操作できなくなっているときは、テレビのメーカー番号やリモコンモードなどを合わせ直してください。（P30、31）
●交換電池には、単3形電池（R6P）をお求めください。
●充電式電池のニッケルカドミウム（Ni-Cd）電池は使用しないでください。
●消耗するなどして不要となった電池は、端子部をテープなどでおおい、不燃ゴミとして処理してください。または、地方自治体の条例に従ってください。

リモコンの操作のしかた

ビデオのリモコン受信部に向け、確実にボタンを押してください。

●操作できる範囲は、距離は正面で約7m以内、角度は約60度以内です。
（ただし、周囲の明るさで変わります）

お願い／ヒント

●ビデオのリモコン受信部とリモコンの間に、信号をさえぎるような物を置かないでください。
●リモコンをぬらしたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。万一ぬれた場合は、かわくまでリモコンから電池を取り出しておいてください。
●1カ月以上は使わないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。

6 リモコンを準備する（つづき）

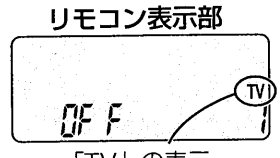
テレビメーカー番号を合わせる

リモコンのテレビメーカー番号を合わせておくと、本機のリモコンでご家庭のテレビが操作できます。

❶テレビの電源を「入」にする

❷「初期設定」ボタンを3回押し、リモコン表示部に「TV」の表示を出す

リモコン表示部

「TV」の表示

❸「終了」ボタンを何度か押し、テレビメーカー番号を合わせる

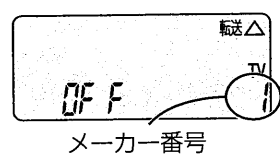
（下記、「メーカー番号一覧」ご参照）

- テレビに向けて操作してください。
- メーカー番号が合うと、テレビの電源が「切」になります。

メーカー番号

<番号の変わりかた>

＋側を押す ……1→2→3…→18→1…

－側を押す ……1→18→17…→2→1…

❹テレビメーカー番号を合わせたら、リモコンのとびらを閉じる

- リモコン表示部の表示が消えます。

❺正しく操作できることを確認する

- テレビ「電源」ボタンを押してテレビの電源を「入」にし、そのあと音量調節などをしてみてください。

メーカー番号一覧

番号	メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー
1	松下（新1）	7	三洋（Ⅰ）	13	パイオニア
2	シャープ（Ⅱ）	8	三菱（Ⅱ）	14	ビクター
3	ソニー	9	富士通ゼネラル	15	NEC（Ⅱ）
4	東芝	10	松下（旧）	16	三洋（Ⅱ）
5	日立	11	シャープ（Ⅰ）	17	松下（新2）
6	NEC（Ⅰ）	12	三菱（Ⅰ）	18	松下（新3）

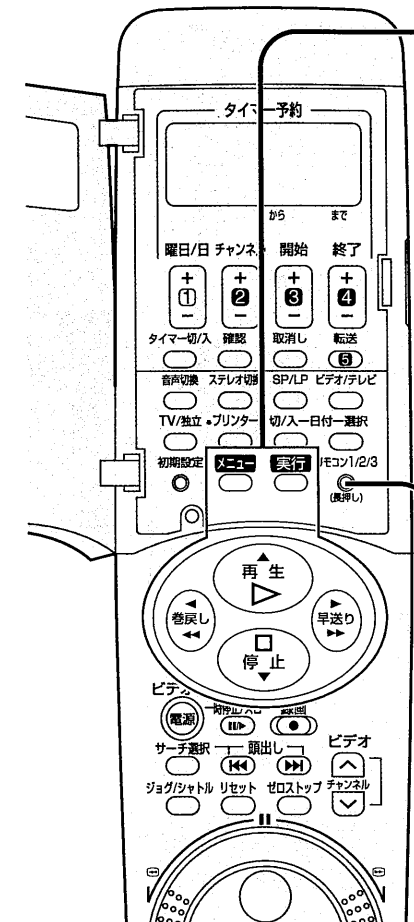
こんなときは

テレビの電源は「切/入」できるのに、音量調節などができないとき

- 複数のメーカー番号を持っているメーカーのテレビの場合、電源「切/入」はできても音量が調節できなかったりする場合があります。

このときは、もう一方の番号に合わせ直してください。

お願い／ヒント

- 松下（新1～新3）は、（財）家電製品協会に準拠した方式です。
- メーカーや機種によっては、正しく操作できない場合があります。

2台以上の当社製ビデオを使うとき（リモコンモード設定）

当社のビデオは、ほとんどの機種が同じ方式のリモコンを使っているため、2台以上のビデオを同じ場所で別々に操作しようとすると、お互いのリモコンの影響で正しい操作ができなくなります。
そこで、本機のリモコンモードを変えることにより、お互いに影響し合わないようにすることができます。

- 通常は、工場出荷時のまま「リモコンモード1」でご使用ください。
- リモコンモードを変えたいときは、下記の操作を行ってください。

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

ビデオ本体側のリモコンモードを変える

❶「オプション設定」画面を出す

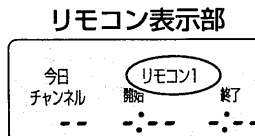
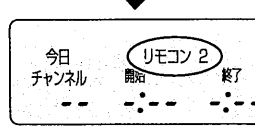
「メニュー」ボタンを押すと「メニュー」画面が出ますので、「オプション設定」が選ばれていることを確認し、続けて「実行」ボタンを押す

テレビ画面

❷「リモコンモード」を選ぶ

「▲▼」ボタンで「リモコンモード」を選び、「◀▶」ボタンで「1」、「2」または「3」を選ぶ

❸「メニュー」ボタンを押す

- 「メニュー」画面が消えます。

リモコン側のリモコンモードを変える

①「リモコン1/2/3（長押し）」ボタンを約2秒以上押し続ける

- リモコン表示部の「リモコン」の表示が「1」、「2」または「3」に切り換わります。
- 編集コントローラーをリモコンとして使用しているときは、編集コントローラーのリモコンモードもビデオ本体に合わせおいてください。（P21）

リモコン表示部

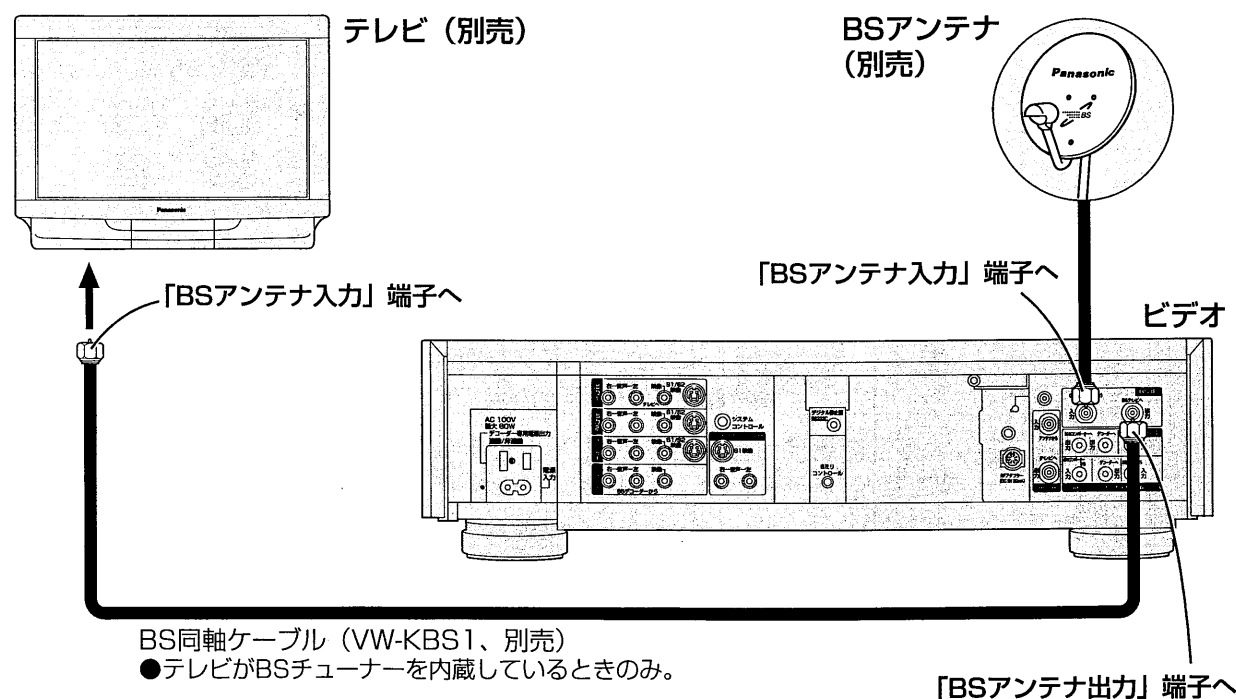
準備（つづき）

7 BSアンテナを接続する

BS放送を受信するには、下記の準備が必要です。
1 BSアンテナ線を正しく接続する。
2「BS電源」を正しく設定する。

1 BSアンテナを正しく接続する

右のページの手順❶から❸を行い、「BS電源」が「切」になっていることを確認してから接続してください。
●工場出荷時には「切」になっていますので、ご購入後はじめて使用されるときは、そのまま接続してください。

<接続例>
BSアンテナを直接接続した場合の例です。

こんなときは

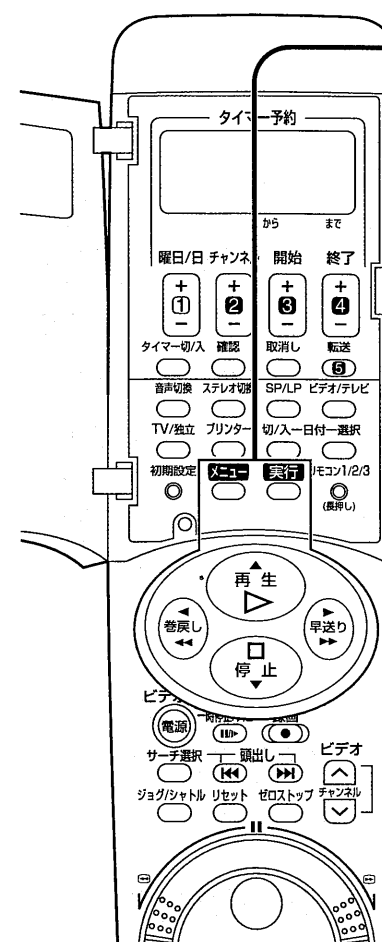
■BSアンテナ線を接続したら、ビデオ表示部に下記のような表示が出たとき

BSアンテナ線の芯線とアミ線がショートしています。
ビデオの「BSアンテナ入力」端子に接続するBSアンテナ線がショートしていないか確かめ、正しく接続し直してください。
●BSアンテナ線の接続には、必ず接栓をご使用ください。
●ビデオに付属のアンテナプラグは使用しないでください。
●ビデオの「BSアンテナ入力」端子に、BSアンテナ線以外のものを接続しないでください。

別売品のご紹介（一例です）

●BSアンテナ／TA-BS60HV2
標準価格：56,000円
（取付部材・工事費別）
●BS同軸ケーブル／VW-KBS1（2m、接栓付き）
標準価格：1,500円

2「BS電源」を正しく設定する

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

❶「メニュー」画面を出す
「メニュー」ボタンを押す

❷「BSアンテナ設定」画面を出す
「◀▶」ボタンで「BSアンテナ設定」を選び、「実行」ボタンを押す

❸「BS電源」を合わせる
「◀▶」ボタンで「BS電源」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる（下記参照）
■BSアンテナを単独で接続したとき
→「連動」または「入」
■共聴受信をするとき
→「切」

❹「アンテナレベル」を調整する
●数字とバーで表示されます。
●BSアンテナの向きを変えると受信状態が変わっていきます。レベル32以上が目安ですが、アンテナレベルが最大になるようにBSアンテナの向きを調整してください。

❺「メニュー」ボタンを押す
●「メニュー」画面が消えます。

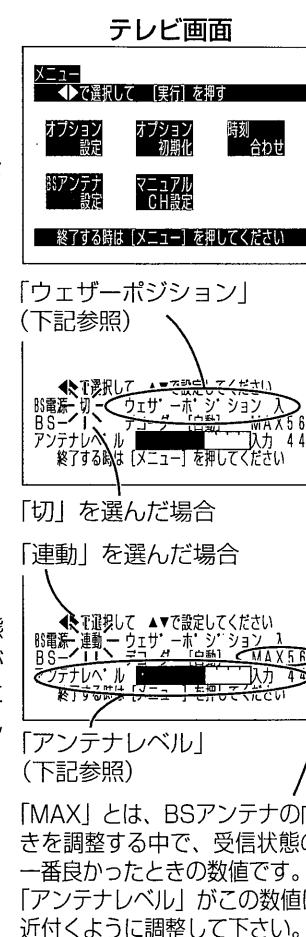
テレビ画面

「ウェザーポジション」
（下記参照）

「切」を選んだ場合

「連動」を選んだ場合

「アンテナレベル」
（下記参照）

「MAX」とは、BSアンテナの向きを調整する中で、受信状態の一番良かったときの数値です。「アンテナレベル」がこの数値に近付くように調整して下さい。

「BS電源」について

受信に必要な電力を、ビデオからBSアンテナに供給するかしないかを、接続の状態に合わせて選びます。
「切」……：ビデオから供給しません。
（共聴受信設備の方はこの位置）
「連動」…：ビデオでBSチャンネルを選んだときや、テレビからBSアンテナ用電力が出力されているときのみ、ビデオから供給します。
「入」……：常にビデオから供給します。
（BSアンテナを単独で接続した方は、「入」または「連動」）

「ウェザーポジション」について

「入」にしておくと、受信状態に合わせて「自動ノイズリダクション」機能が働き、画面上の細かいノイズをおさえます。（工場出荷時に「入」にしています）

「アンテナレベル」について

BSアンテナの口径や、地域、設置条件、気象条件などにより異なります。
●BSアンテナの向きを調整するときは、BSアンテナの説明書もお読みください。

準備（つづき）

8 受信チャンネルを設定する

受信チャンネルの設定方法は下記の2つの方法があります。

1 市外局番を使って設定する（市外局番入力チャンネル設定、下記）

2 一つずつチャンネルを設定する（マニュアルチャンネル設定、P38）

チャンネルポジションごとに、受信・表示・ガイドチャンネルを設定する方法で、多少時間はかかりますが、確実に設定できます。

1 市外局番を使って設定する（市外局番入力チャンネル設定）

ご使用になる地域の市外局番を36ページの一覧表から選び、リモコンに入力してビデオに転送するだけで、自動的にチャンネルが設定されます。

●市外局番に変更があった場合でも、36ページの一覧表の番号で設定してください。

●下記は、東京都（03）の場合の操作例です。

準備 ①テレビの電源を「入」にする。

②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。

③ビデオの電源を「入」にする。

❶ とびらを開き、「初期設定」ボタンを押して「☎」マークを出す

❷ とびらを閉じ、「数字」ボタンで市外局番を入力する

●数字を間違えたときは、手順❶からやり直してください。

❸「転送」ボタンを押す

●テレビ画面に市外局番が表示され、オートサーチが始まります。（下記参照）

●オートサーチが終わると、受信できた中で一番小さなチャンネルポジションを受信している状態になります。

❹ リモコンのとびらを開/閉する

●リモコン表示部の表示が消えます。

オートサーチについて

市外局番が転送されると、36ページの一覧表のとおりにVHF/UHFチャンネルが設定されます。

本機では、そのあとすぐにオートサーチを行い、そのチャンネルが実際に受信できるかどうかを自動的に調べます。

●オートサーチは下記の順で行われます。
VHF（1～12）→UHF（13～62）→
BS（BS1～BS15）→CATV（C13～C63）

●一覧表にある放送局が受信できなかったときは、そのチャンネルをとばします。

●一覧表にない放送局を受信したときは、チャンネルポジション13～20（愛媛県では14～20）に追加設定されます。（ガイドチャンネルは設定されません）

東京都（03）で市外局番入力チャンネル設定を行った場合の例

●東京メトロポリタンと千葉テレビが受信できず、新たに48・50チャンネルが受信できた場合。

	一覧表に記載されているVHF/UHFチャンネル												追加されるVHF/UHFチャンネル					BSチャンネル								CATVチャンネル		
チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	～	20	BS1	BS3	BS5	BS7	BS9	BS11	BS13	BS15	C13	～	C63
放送局名	NHK総合	東京メトロポリタン	NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ	TVKテレビ	フジテレビ	千葉テレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ東京	千葉テレビ	NHK総合						WOWOW（JSB）	NHK衛星第一	ハイビジョン放送	NHK衛星第二					
受信チャンネル	1	—	3	4	16	6	42	8	—	10	38	12	48	50	—	～	—	—	—	BS5	BS7	BS9	BS11	—	—	—	～	—
表示チャンネル	1	—	3	4	16	6	42	8	—	10	38	12	48	50	—	～	—	—	—	BS5	BS7	BS9	BS11	—	—	—	～	—
ガイドチャンネル	80	—	90	4	16	6	42	8	—	10	38	12	—	—	—	～	—	—	—	73	74	75	76	—	—	—	～	—

電波が弱かったなどでとばされたチャンネル（2、9）

一覧表の放送局以外で受信できたチャンネル（13、14）

オートサーチが終わったら

「ビデオチャンネル」ボタンを次々に押し、受信したい放送局が全てきれいに映ることを確認してください。

下記のようなときは、「マニュアルチャンネル設定」を行ってください。（P38～）

●きれいに映るはずの放送局がとばされているとき
→受信・表示・ガイドチャンネルを設定してください。

●ノイズ画面のチャンネルが設定されているとき
→チャンネルをとばしてください。

●順番を入れ換えたいとき
→設定したいチャンネルポジションに受信・表示・ガイドチャンネルを設定し、不要なチャンネルはとばしてください。

●ノイズがあるときや、色が付いていないとき
→微調整してみてください。改善される場合があります。

受信チャンネルに関する用語

■チャンネルポジションとは

選局の順番を示すもので、下記があります。

- **VHF/UHFチャンネル**（1～20）
- **BSチャンネル**（BS1～BS15）
- **CATVチャンネル**（C13～C63）
- **外部入力チャンネル**（ライン1～ライン3）
- **拡張チャンネル**（o1～o7）

■受信チャンネルとは

放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

■表示チャンネルとは

ビデオ表示部やテレビ画面に表示させるチャンネルです。
（予約録画や選局はこの表示チャンネルで行います）

■ガイドチャンネルとは

各放送局ごとに決められたもので、Gコード予約を行うために合わせるチャンネルです。
正しく予約するために、必ず合わせておいてください。また、誤動作を防ぐため、複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルを設定しないでください。

■拡張チャンネルとは

将来のシステムに対応するためのもので、現在は使用できません。
（市外局番入力チャンネル設定を行うと、自動的に設定されます）

8 受信チャンネルを設定する（つづき）

市外局番とチャンネル設定一覧表

「市外局番入力チャンネル設定」（P34）を行うと、まず下記の状態に設定され、そのあとオートサーチを行います。

●市外局番に変更があった場合でも、この一覧表の番号で設定してください。

チャンネルポジションと放送局名・表示チャンネル・受信チャンネル・ガイドチャンネル（1～5）

都道府県	都市名	市外局番	1 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	2 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	3 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	4 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	5 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	0177	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
秋田	秋田	0188					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	31
山形	山形	0236													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	0245	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	1	44	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	46	90	日本テレビ	4	42	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合	1	29	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	27	90	日本テレビ	4	25	4				
群馬	前橋	027	NHK総合	1	52	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	50	90	日本テレビ	4	54	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	浦和	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	0762	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
山梨	甲府	0552	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
長野	長野	0262					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	39	80					中部日本放送	5	5	5
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	3	31	80	毎日放送	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	0775					NHK総合	28	28	80					毎日放送	4	36	4				
京都	京都	075					NHK総合	2	32	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	2	28	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	4	18	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK奈良	51	51	－
和歌山	和歌山	0734					NHK総合	2	32	80					毎日放送	4	42	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	NHK総合	1	1	80					テレビ新広島	26	26	31					広島ホーム	24	24	35
山口	山口	0839	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
徳島	徳島	0886	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合	37	37	80
愛媛（※）	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	19
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	19
長崎	長崎	0958	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	0975	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	0992	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

（※）愛媛県では、上記の表以外に「愛媛朝日」が「チャンネルポジション13」に設定されます。

松山　：表示CH・25、受信CH・25、ガイドCH・25
新居浜：表示CH・14、受信CH・14、ガイドCH・25

チャンネルポジションと放送局名・表示チャンネル・受信チャンネル・ガイドチャンネル（6～12）

都市名	6 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	7 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	8 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	9 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	10 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	11 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	12 放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH
札幌									北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90
旭川					札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
北見					札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1				
帯広	北海道放送	6	6	1					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90
釧路/室蘭					札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
函館	北海道放送	6	6	1													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5
青森									北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
八戸					NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
盛岡	岩手放送	6	6	6	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
仙台					東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
秋田													NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
大館	秋田放送	6	6	11					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
山形	テレビュー山形	36	36	36					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
鶴岡	NHK教育	6	6	90					テレビュー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島	福島中央	33	33	33	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
会津若松	福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
いわき	福島中央	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35
水戸	TBSテレビ	6	40	6					フジテレビ	8	38	8	千葉テレビ	46	39	46	テレビ朝日	10	36	10					テレビ東京	12	32	12
宇都宮	TBSテレビ	6	23	6					フジテレビ	8	21	8					テレビ朝日	10	19	10					テレビ東京	12	17	12
前橋	TBSテレビ	6	56	6	放送大学	16	40	16	フジテレビ	8	58	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	10	60	10					テレビ東京	12	62	12
浦和	TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
千葉	TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
東京	TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
横浜	TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
新潟									NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90
富山	チューリップ	32	32	32													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
金沢	北陸放送	6	6	6	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
福井	北陸放送	6	6	6									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
甲府	テレビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
長野	テレビ信州	30	30	30									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
飯田	信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
岐阜	テレビ愛知	25	25	25	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
静岡	静岡朝日	33	33	33									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
浜松	静岡放送	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
名古屋	岐阜放送	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
津	朝日放送	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
大津	朝日放送	6	38	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	40	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	10	42	10					NHK教育	46	46	90
京都	朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
大阪	朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
神戸	朝日放送	6	20	6					関西テレビ	8	22	8					読売テレビ	10	24	10					NHK教育	12	26	90
奈良	朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90
和歌山	朝日放送	6	44	6					関西テレビ	8	46	8					読売テレビ	10	48	10					NHK教育	12	26	90
鳥取																	山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34
松江	NHK総合	6	6	80					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
浜田									山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90												
岡山					瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
広島					NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
福山					NHK教育	7	7	90									中国放送	10	10	4					広島テレビ	12	12	12
山口					テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37
徳島	朝日放送	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	38	90
高松	朝日放送	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35
松山	NHK総合	6	6	80	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37
新居浜	南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37
高知	NHK教育	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
福岡	NHK教育	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37
北九州	NHK総合	6	6	80					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
佐賀	テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
長崎	テレビ熊本	34	34	34	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22
熊本	テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4
大分	南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90
宮崎					鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
延岡	宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
鹿児島	宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
阿久根	鹿児島テレビ	35	35	38	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
那覇									沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90

準備（つづき）

8 受信チャンネルを設定する（つづき）

2 一つずつチャンネルを設定する（マニュアルチャンネル設定）

「市外局番入力チャンネル設定」（P34）ではご希望の設定にならないときなどに行ってください。

「マニュアルチャンネル設定」画面の出しかたと「マニュアルチャンネル設定」の手順

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

❶「メニュー」ボタンを押し、「メニュー画面」を出す

❷「マニュアルチャンネル設定」画面を出す
「◀▶」ボタンで「マニュアルCH設定」を選び、「実行」ボタンを押す

❸設定したいチャンネルポジションを選ぶ
「◀▶」ボタンで「Po」を選び、「▲▼」ボタンで設定したいチャンネルポジションを選ぶ

❹各項目の設定を行う
「◀▶」ボタンで設定する項目を選び、「▲▼」ボタンで設定する

❺設定が終わったら、「メニュー」ボタンを押す
●「マニュアルチャンネル設定」画面が消えます。

テレビ画面

選ばれた項目が点滅します

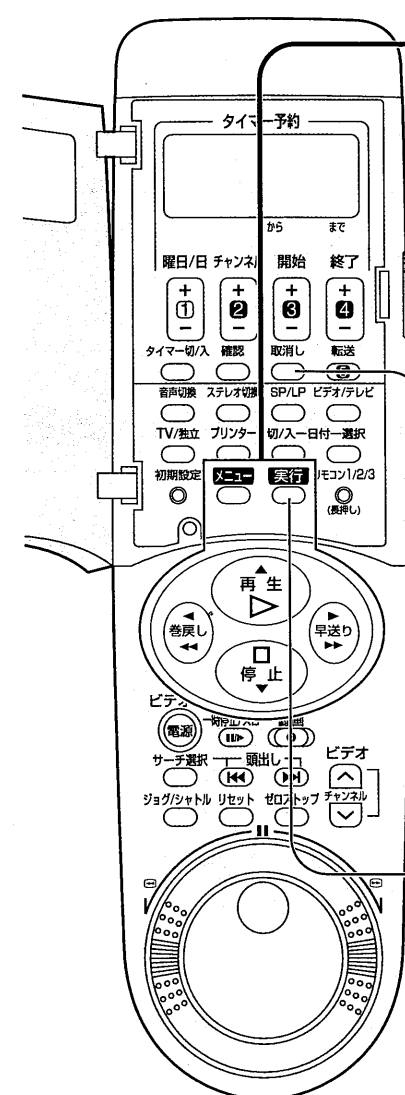
お願い／ヒント

■チャンネルポジションの変わりかた
手順3のとき、「▲」ボタンを押すごとにチャンネルポジションが下記のように変わります。
（「▼」ボタンを押すと、逆向きに変わります）

→ VHF/UHFチャンネル（1→2…→20）
↓
BSチャンネル（BS1→BS3…→BS15）
↓
CATVチャンネル（C13→C14…→C63）
↓
外部入力チャンネル（ライン1→ライン2→ライン3）
↓
拡張チャンネル（o1→o2…→o7）

●「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

●63、64ページのようにM-Nコンバーターを接続すると、外部入力チャンネルの「ライン3」は自動的にとばされます。

■チャンネルポジションの表示について
「マニュアルチャンネル設定」画面では、チャンネルポジションは下記のように表示されます。
●VHF/UHFチャンネル…Po
●BSチャンネル …………チャンネル
●CATVチャンネル ……チャンネル
●外部入力チャンネル …入力
●拡張チャンネル ………Po

■各項目の設定について
くわしくは、39〜42ページをお読みください。

VHF/UHFチャンネルを設定する

チャンネルポジション「7」にTVKテレビを設定する場合の操作例。

準備 ①テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出す。（P38の手順❶・❷）

❶チャンネルポジションを選ぶ
「◀▶」ボタンでチャンネルポジションを点滅させ、「▲▼」ボタンで選ぶ

❷受信チャンネルを合わせる
「◀▶」ボタンで受信チャンネルを点滅させ、「▲▼」ボタンで合わせる
●ご希望の放送が映るまで次々と数字を変えてください。

❸表示チャンネルを合わせる
「◀▶」ボタンで表示チャンネルを点滅させ、「▲▼」ボタンで合わせる
●ご希望の数字に合わせてください。

❹ガイドチャンネルを合わせる
「◀▶」ボタンでガイドチャンネルを点滅させ、「▲▼」ボタンで合わせる
●必ず、42ページの「ガイドチャンネル一覧表」の数字に合わせてください。

❺「メニュー」ボタンを押す
●「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

テレビ画面

チャンネルポジションを選ぶ

受信チャンネルを合わせる

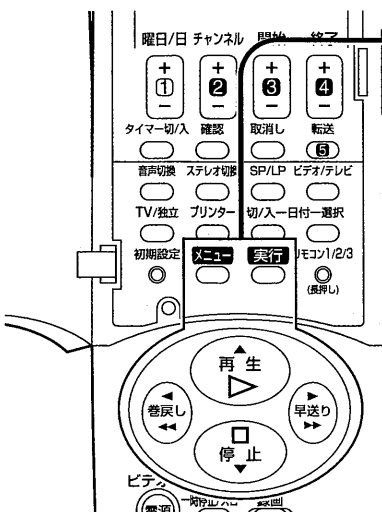
表示チャンネルを合わせる

ガイドチャンネルを合わせる

■2つ以上のチャンネルを設定するときは
手順❹のあとで「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

■画面の表示が見えないときは
「取消し」ボタンを押すと、そのチャンネルポジションがとばされた状態になり、画面の表示が見えるようになります。

お願い／ヒント

■手順❷から❹の数字の変わりかた
「▲」ボタンまたは「▼」ボタンを1回押すと1ずつ、押し続けると10ずつ変わります。

8 受信チャンネルを設定する（つづき）

BSチャンネルを設定する

チャンネルポジション「BS-7」を受信する場合の操作例。

準備 ①テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出す。（P38の手順❶・❷）

テレビ画面

チャンネルポジションを選ぶ

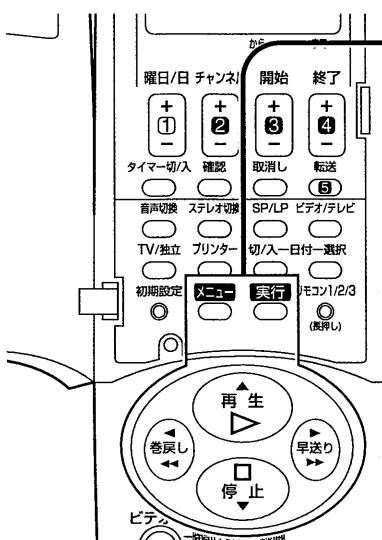
表示チャンネルを出す

BSシステムを合わせる

❶チャンネルポジションを選ぶ
「◀▶」ボタンでチャンネルポジションを点滅させ、「▲▼」ボタンで選ぶ

❷表示チャンネルを出す
「◀▶」ボタンで表示チャンネルを点滅させ、「▲▼」ボタンで表示を出す
●数字の変更はできません。

❸BSシステムを合わせる
「◀▶」ボタンでBSシステムを点滅させ、「▲▼」ボタンで合わせる
●下記、「BSシステムについて」ご参照。

❹「メニュー」ボタンを押す
●「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

CATVチャンネルを設定する

チャンネルポジション「C13」で「NHK総合」を受信する場合の操作例。

準備 ①テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出す。（P38の手順❶・❷）

テレビ画面

チャンネルポジションを選ぶ

表示チャンネルを出す

ガイドチャンネルを合わせる

①チャンネルポジションを選ぶ
「◀▶」ボタンでチャンネルポジションを点滅させ、「▲▼」ボタンで選ぶ

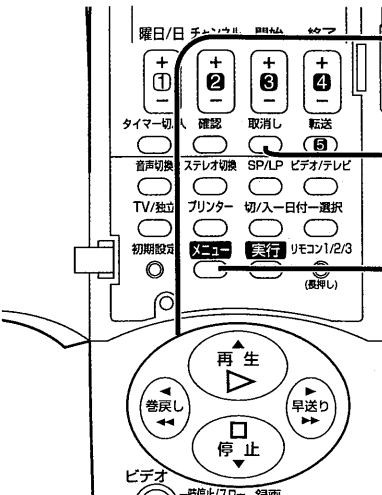
②表示チャンネルを出す
「◀▶」ボタンで表示チャンネルを点滅させ、「▲▼」ボタンで表示を出す
●数字の変更はできません。

③ガイドチャンネルを合わせる
「◀▶」ボタンでガイドチャンネルを点滅させ、「▲▼」ボタンで合わせる
●必ず、42ページの「ガイドチャンネル一覧表」の数字に合わせてください。

④「メニュー」ボタンを押す
●「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

BSシステムについて

下記のように設定してください。

デコーダー［自動］…スクランブル放送やハイビジョン放送の受信時のみ、BSデコーダーまたはM-Nコンバーターを働かせたいとき。
デコーダー［入］……独立音声のセント・ギガも契約しているとき。
デコーダー［切］……BSデコーダーやM-Nコンバーターを接続していないとき。
M-Nコンバーター…デコーダー［自動］では、M-Nコンバーターを接続していてもハイビジョン放送が受信できないとき。
●M-Nコンバーターに設定すると、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の状態に戻すには、M-Nコンバーターとの接続を全て外し、マニュアルチャンネル設定で、とばされた「L3」の表示を出してください。

2 一つずつチャンネルを設定する（マニュアルチャンネル設定）（つづき）

チャンネルをとばす

チャンネルポジション「7」をとばす場合の操作例。

準備 ①テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出す。（P38の手順❶・❷）

テレビ画面

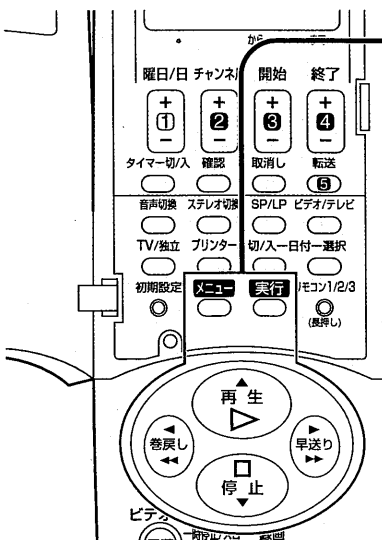
チャンネルポジションを選ぶ

表示が「——」になります

❶チャンネルポジションを選ぶ
「◀▶」ボタンでチャンネルポジションを点滅させ、「▲▼」ボタンで選ぶ

❷「取消し」ボタンを押す
●受信・表示・ガイドチャンネルがすべて「——」の表示になります。

❸「メニュー」ボタンを押す
●「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

■とばしたチャンネルに、もう一度放送局を設定するには
「マニュアルチャンネル設定」（P38～40）で設定してください。

微調整する

チャンネルポジション「7」を微調整する場合の操作例。

準備 ①テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出す。（P38の手順❶・❷）

テレビ画面

チャンネルポジションを選ぶ

微調整「入」を選ぶ

バー表示が出ます

微調整する

①チャンネルポジションを選ぶ
「◀▶」ボタンでチャンネルポジションを点滅させ、「▲▼」ボタンで選ぶ

②微調整を「入」にする
「◀▶」ボタンで微調整を点滅させ、「▲▼」ボタンで「入」にする
●バー表示が出ます。

③微調整をする
「◀▶」ボタンでバー表示を点滅させ、「▲▼」ボタンで微調整する
●色が付いていないとき…「▲」ボタン。
●縞が出ているとき………「▼」ボタン。

④「メニュー」ボタンを押す
●「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

お願い／ヒント

●外部入力チャンネルは、表示を出す、出さないのいずれかしか選べません。表示が出ていない外部入力チャンネルはとばされています。
●M-Nコンバーターと接続すると、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の状態に戻すには、M-Nコンバーターとの接続を全て外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」の表示を出してください。
●映りの悪いチャンネルを微調整しても、電波の状態によっては調整しきれない場合があります。
●BSチャンネルは微調整できません。

準備（つづき）

8 受信チャンネルを設定する（つづき）

ガイドチャンネル一覧表

Gコード予約をするために、必ず正しく設定しておいてください。

地域	放送局	ガイドCH
全国	NHK総合 NHK教育	80 90
北海道	北海道放送（HBC） 札幌テレビ（STV） テレビ北海道（TVH） 北海道文化（UHB） 北海道テレビ（HTB）	1 5 17 27 35
青森	青森放送（RAB） 青森朝日（ABA） 青森テレビ（ATV）	1 34 38
岩手	岩手放送（IBC） 岩手朝日（IAT） めんこい（MIT） テレビ岩手（TVI）	6 20 33 35
宮城	東北放送（TBC） 仙台放送（OX） 東日本放送（KHB） 宮城テレビ（MMT）	1 12 32 34
秋田	秋田放送（ABS） 秋田朝日（AAB） 秋田テレビ（AKT）	11 31 37
山形	山形放送（YBC） 山形さくらんぼ（SAY） テレビュー山形（TUY） 山形テレビ（YTS）	10 30 36 38
福島	福島テレビ（FTV） テレビュー福島（TUF） 福島中央（FCT） 福島放送（KFB）	11 31 33 35
関東	日本テレビ（NTV） TBSテレビ（TBS） フジテレビ（CX） テレビ朝日（ANB） テレビ東京（TX） 東京メトロポリタン（MX） 放送大学 テレビ埼玉（TVS） TVKテレビ（TVK） 千葉テレビ（CTC） 群馬テレビ（GTV）	4 6 8 10 12 14 16 38 42 46 48
新潟	新潟放送（BSN） 新潟テレビ21（NT21） テレビ新潟（TNN） 新潟総合（NST）	5 21 29 35
富山	北日本放送（KNB） チューリップ（TUT） 富山テレビ（T34）	1 32 34
石川	北陸放送（MRO） 北陸朝日（HAB） テレビ金沢（KTK） 石川テレビ（ITC）	6 25 33 37
福井	福井放送（FBC） 福井テレビ（FTB）	11 39
山梨	山梨放送（YBS） テレビ山梨（UTY）	5 37
長野	信越放送（SBC） 長野朝日（ABN） テレビ信州（TSB） 長野放送（NBS）	11 20 30 38
静岡	静岡放送（SBS） 静岡第一（SDT） 静岡朝日（SAT） テレビ静岡（SUT）	11 31 33 35
中京	東海テレビ（THK） 中部日本放送（CBC） 名古屋テレビ（NBN） テレビ愛知（TVA） 三重テレビ（MTV） 中京テレビ（CTV） 岐阜放送（GBS）	1 5 11 25 33 35 37
関西	毎日放送（MBS） 朝日放送（ABC） 関西テレビ（KTV） 読売テレビ（YTV） テレビ大阪（TVO） テレビ和歌山（WTV） びわ湖放送（BBC） 京都テレビ（KBS） サンテレビ（SUN） 奈良テレビ（TVN）	4 6 8 10 19 30 30 34 36 55
鳥取 島根	日本海テレビ（NKT） 山陰放送（BSS） 山陰中央（TSK）	1 10 34
岡山 香川	西日本放送（RNC） 山陽放送（RSK） テレビせとうち（TSC） 瀬戸内海放送（KSB） 岡山放送（OHK）	9 11 23 33 35
広島	中国放送（RCC） 広島テレビ（HTV） テレビ新広島（TSS） 広島ホーム（HOME）	4 12 31 35
山口	山口放送（KRY） 山口朝日（YAB） テレビ山口（TYS）	11 28 38
徳島	四国放送（JRT）	1
愛媛	南海放送（RNB） 愛媛朝日（EAT） あいテレビ（ITV） 愛媛放送（EBC）	10 25 29 37
高知	高知放送（RKC） テレビ高知（KUTV） 高知さんさん（KSS）	8 38 40
福岡	九州朝日（KBC） RKB毎日（RKB） テレビ西日本（TNC） テレビQ（TVQ） 福岡放送（FBS）	1 4 9 19 37
佐賀	サガテレビ（STS）	36
長崎	長崎放送（NBC） 長崎国際（NIB） 長崎文化（NCC） テレビ長崎（KTN）	5 25 27 37
熊本	熊本放送（RKK） 熊本朝日（KAB） 熊本県民（KKT） テレビ熊本（TKU）	11 16 22 34
大分	大分放送（OBS） 大分朝日（OAB） テレビ大分（TOS）	5 24 36
宮崎	宮崎放送（MRT） テレビ宮崎（UMK）	10 35
鹿児島	南日本放送（MBC） 鹿児島読売（KYT） 鹿児島放送（KKB） 鹿児島テレビ（KTS）	1 30 32 38
沖縄	沖縄テレビ（OTV） 琉球放送（RBC） 琉球朝日（QAB）	8 10 28
BS放送	BS1 BS3 BS5　WOWOW（JSB） BS7　NHK衛星第一 BS9　ハイビジョン放送 BS11　NHK衛星第二 BS13 BS15	71 72 73 74 75 76 77 78

●誤動作を防ぐため、複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルを設定しないでください。

●新たに開設した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

最初から設定し直す

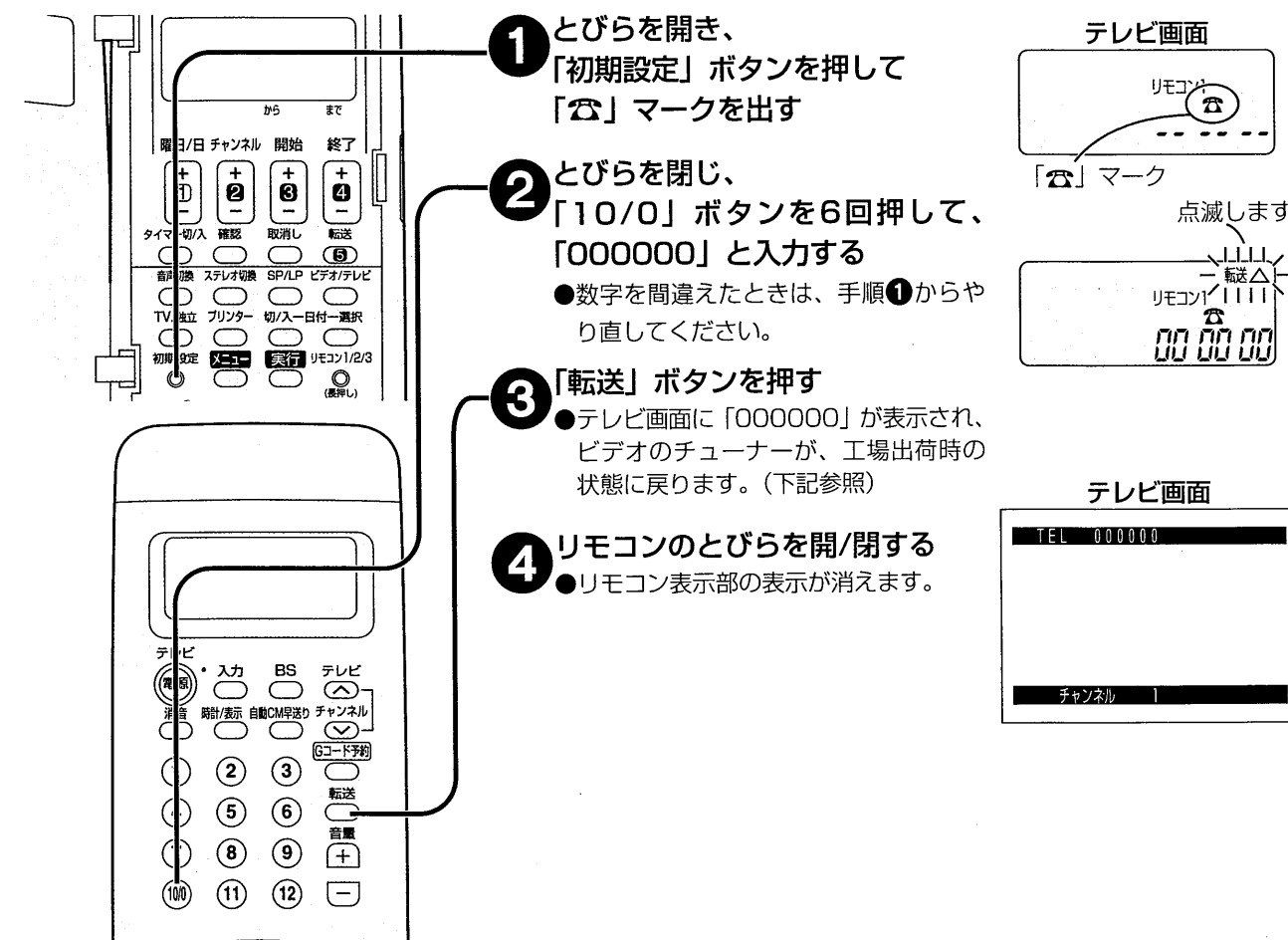
もう一度最初から設定し直したいときは、下記の操作で工場出荷時の状態に戻すことができます。

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

1 とびらを開き、「初期設定」ボタンを押して「☎」マークを出す

2 とびらを閉じ、「10/0」ボタンを6回押して、「000000」と入力する
●数字を間違えたときは、手順1からやり直してください。

3 「転送」ボタンを押す
●テレビ画面に「000000」が表示され、ビデオのチューナーが、工場出荷時の状態に戻ります。（下記参照）

4 リモコンのとびらを開/閉する
●リモコン表示部の表示が消えます。

お願い／ヒント

■工場出荷時の状態とは

●VHF/UHFチャンネル
VHFの1～12チャンネルが受信できる状態。

●BSチャンネル
すべてのチャンネル（BS1～BS15）が受信できる状態。

●CATVチャンネル
すべてのチャンネル（C13～C63）がとばされた状態。

●外部入力チャンネル
すべてのチャンネル（ライン1～ライン3）が使用できる状態。

●ガイドチャンネルは設定されていません。

●外部入力チャンネル「L3」は、M-Nコンバーターを接続したときや、「BSシステム」を「M-Nコンバーター」にしたときには、自動的にとばされます。

■CATV放送の受信について

CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
くわしくは、CATV会社にご相談ください。

●CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

準備（つづき）

カセットの入れかた/出しかた

❶「押-開/取出し」ボタンを押す
●ビデオの正面とびらが開きます。

❷正面とびらが開いているときに、「押-開/取出し」ボタンをもう一度押す
●ビデオの電源が「入」になり、カセットトレイが出てきます。
●カセットトレイが完全に出るまで、何も操作しないでください。

カセットトレイ

標準カセットの場合

ミニカセット用カセットガイド　標準カセット用カセットガイド

❸■カセットを入れるとき
テープの見える面を上に、ラベルが手前になるようにして、カセットガイドに合わせてカセットを置いてください。

■カセットを取り出すとき
カセットトレイからカセットを取り出してください。

ミニカセットの場合

❹「押-開/取出し」ボタンを押す
●カセットトレイがビデオに入っていきます。
●カセットトレイの中央部をゆっくりと押しても、カセットトレイは入っていきます。
●カセットを入れると、ビデオ表示部に「▭」表示が出ます。（右のページ、ご参照）
●誤消去防止つまみを「SAVE」側（開く）にしてあるカセットを入れたときは、自動的に再生を始めます。

「標準カセット」ランプと「ミニカセット」ランプ

お願い／ヒント

■本機で使用できるカセット
DV規格対応の DV または MiniDV マークの付いたカセットが使用できます。

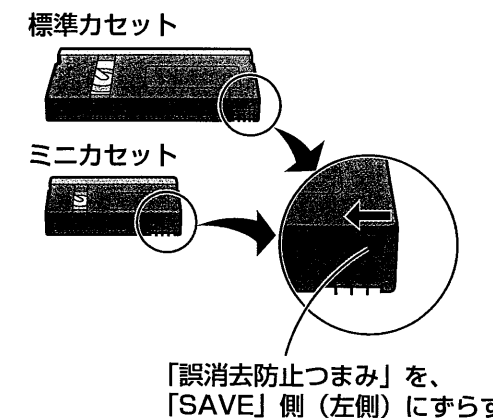
■カセットトレイ横の、「標準カセット」ランプと「ミニカセット」ランプ
標準カセットが入っているときは「標準カセット」ランプが、ミニカセットが入っているときは「ミニカセット」ランプが点灯します。

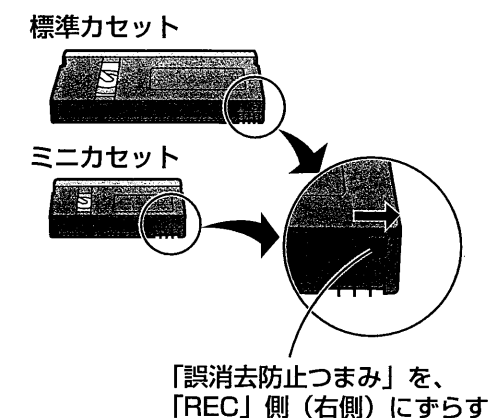
●カセットトレイが出ているときに「電源」ボタンを押すと、カセットトレイが入っていき、そのあとすぐにビデオの電源が「切」になります。
●カセット入れるときにカセットガイドにしっかり合わせていないと、下記のいずれかの状態になります。
•カセットトレイが自動的に出てきます。
•カセットトレイは出てきませんが、ビデオ表示部の「▭」表示が点滅し、再生や録画などはできません。（「押-開/取出し」ボタンを押し、カセットトレイを出してからカセットを正しく入れ直してください）

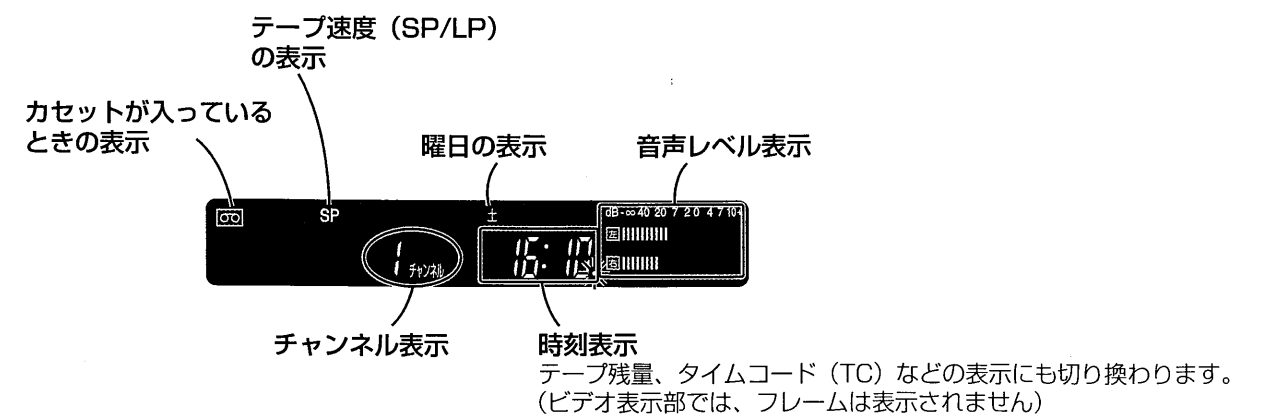
誤消去を防ぐために

誤って大切な録画内容を消さないように、カセットの誤消去防止つまみを「SAVE」側（開く）にしておくことをおすすめします。

録画内容を消せないようにするとき

下図のように、カセットの誤消去防止つまみを「左側」にずらす
●カセットに「穴」が空いたような状態になります。

もう一度録画できるようにするとき

下図のように、カセットの誤消去防止つまみを「右側」にずらす
●カセットの「穴」がふさがれたような状態になります。

ビデオ表示部の見かた

下記は、ビデオにカセットを入れたときの表示です。

音声について

DV方式のテープには、音声は16bit（ビット）モードまたは12bitモードのどちらかで記録されます。

■12bitモード

音声領域を2つに分けて、「ステレオ1」音声と「ステレオ2」音声の2種類のステレオ音声を記録することができます。

テープに記録される内容のイメージ図（12bit音声のとき）

サブコード領域	
映像領域	
音声領域	「ステレオ1」音声
	「ステレオ2」音声

■16bitモード

音声領域のすべてを使って、より高音質のステレオ音声を記録することができます。

テープに記録される内容のイメージ図（16bit音声のとき）

サブコード領域	
映像領域	
音声領域	ステレオ音声

■ビデオ本体の音声表示

■「音声モニター」ランプ

「ステレオ1」ランプ
再生中に「ステレオ1」音声を選んだときに点灯。

「ステレオ2」ランプ
再生中に「ステレオ2」音声を選んだときに点灯。

●「ステレオ1+2」（ミックス）音声を選ぶと、「ステレオ1」ランプと「ステレオ2」ランプが両方とも点灯します。

■「音声データ」ランプ

「12bit」ランプ
12bit音声の記録されたテープの再生中などに点灯。

「12bit-ステレオ1」ランプ
12bit音声の記録されたテープの再生中などに点灯。

「12bit-ステレオ2」ランプ
12bit音声で、「ステレオ2」音声の記録されたテープの再生中などに点灯。

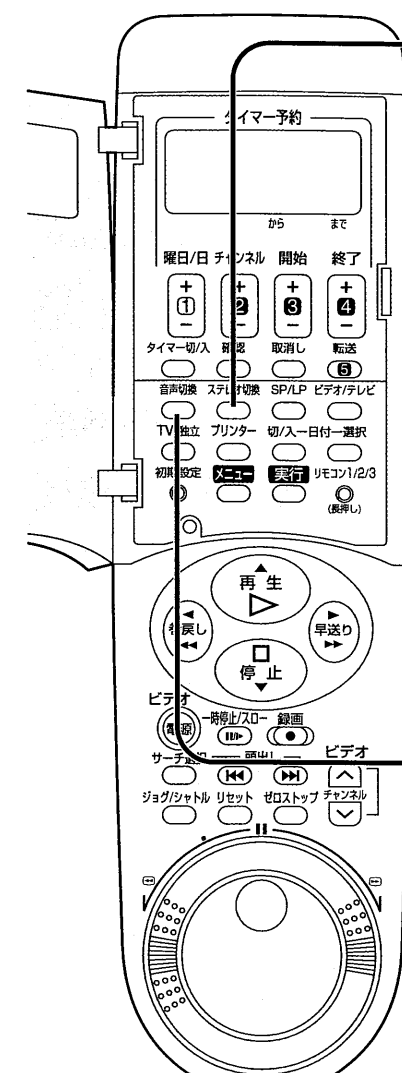
「16bit」ランプ
16bit音声の記録されたテープの再生中などに点灯。

お願い／ヒント

■12bitモードの音声トラックについて

本機でアフレコ編集（別冊の編集編、ご参照）をしたときなどは、「ステレオ2」トラックに新しい音声が記録されます。

●このときは、「音声データ」ランプの「12bit-ステレオ1」ランプと「12bit-ステレオ2」ランプが両方とも点灯します。

再生中の音声を選ぶ

❶「ステレオ切換」ボタンで、聞きたい音声トラックを選ぶ

■12bitモードで記録されたテープの再生中

押すごとに、
●「ステレオ1」トラックの音声
●「ステレオ2」トラックの音声
●「ステレオ1+2」（ミックス）音声
が選べます。

■16bitモードで記録されたテープの再生中

音声トラックは選べません。

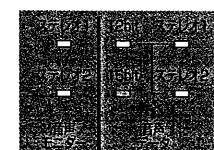
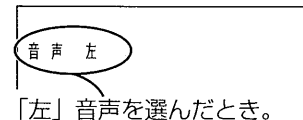
ビデオ本体の音声表示

「ステレオ1」トラックを選んだとき。

「ステレオ2」トラックを選んだとき。

「ステレオ1+2」（ミックス）の音声を選んだとき。

❷「音声切換」ボタンで、聞きたい音声を選ぶ

押すごとに、
●「左」音声
●「右」音声
●「左+右」音声
が選べます。

テレビ画面

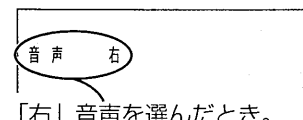
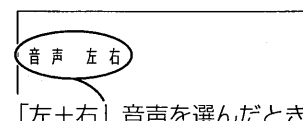
「左」音声を選んだとき。

「右」音声を選んだとき。

「左+右」音声を選んだとき。

「ステレオ1+2」音声のバランスを変えるとき

再生中に、「ステレオ1+2」の音声を選んだあと、「ミックスレベル」つまみでバランスを調整する

●左に回すと「ステレオ1」音声が、右に回すと「ステレオ2」音声が大きく聞こえます。

■「左」音声と「右」音声について

2カ国語放送などの二重放送のときは、「左」音声に「主」音声が、「右」音声に「副」音声がそれぞれ記録されています。

■受信中のテレビ画面の音声表示

●「ステレオ」放送の受信中……「ステレオ」
●「モノラル」放送の受信中……「音声」
●「二重」放送の受信中…………「二重」
がそれぞれ表示されます。

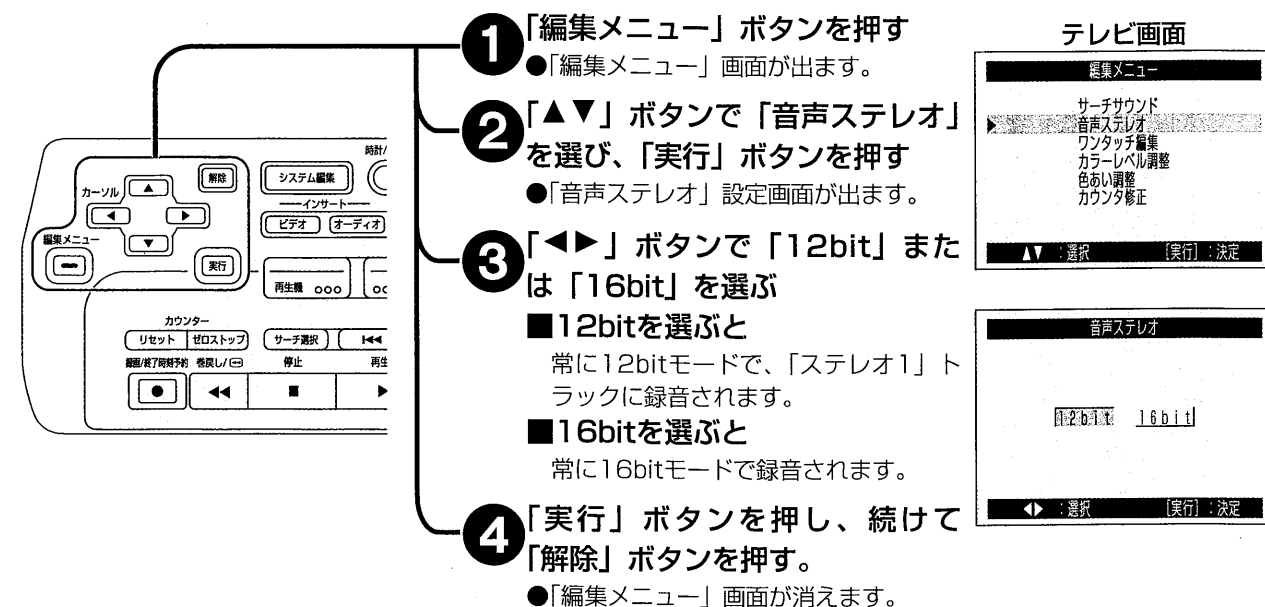
■「DV入力」チャンネルを選んでいるときは

再生中でなくても、「ステレオ切換」ボタンで音声トラックを選ぶことができます。

●ダビングなどの際は、本機での音声の選択に関係なく、本機に送られてくる音声データをそのまま記録します。

音声について（つづき）

録音される音声について

録画時に記録される音声は、「編集メニュー」の中の「音声ステレオ」で設定して選べます。

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

1 「編集メニュー」ボタンを押す
●「編集メニュー」画面が出ます。

2 「▲▼」ボタンで「音声ステレオ」を選び、「実行」ボタンを押す
●「音声ステレオ」設定画面が出ます。

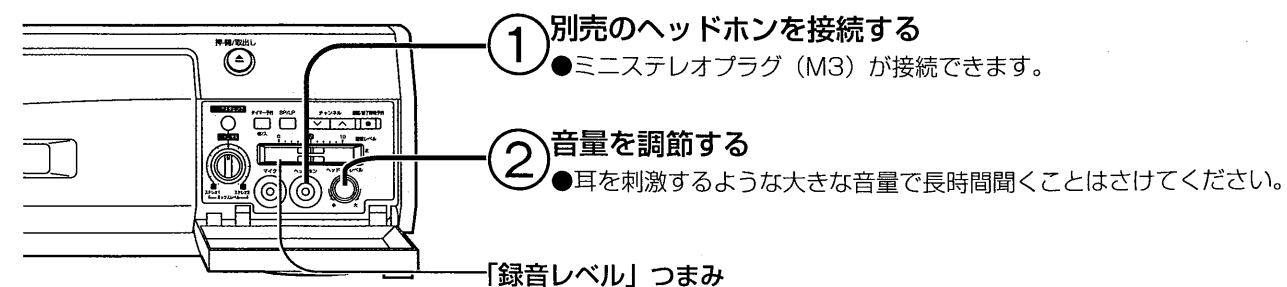
3 「◀▶」ボタンで「12bit」または「16bit」を選ぶ

■12bitを選ぶと
常に12bitモードで、「ステレオ1」トラックに録音されます。

■16bitを選ぶと
常に16bitモードで録音されます。

4 「実行」ボタンを押し、続けて「解除」ボタンを押す。
●「編集メニュー」画面が消えます。

こんなときは

■「DV入力」チャンネルを選んでいるときは
●手順2のときに、「音声ステレオ」を選ぶことができません。
●「音声ステレオ」の選択に関係なく、「DV入力」端子に送られてくる信号に合わせて、自動的に「12bit」または「16bit」が選ばれます。

■録音される音量が小さいとき
ビデオ本体の右とびらの中の「録音レベル」つまみで調整して下さい。
（ビデオ表示部の「音声レベル表示」が「+7」程度になるようにしてください）
●DV入力の音声レベルは、「録音レベル」つまみで調整できません。

ヘッドホンで聞く

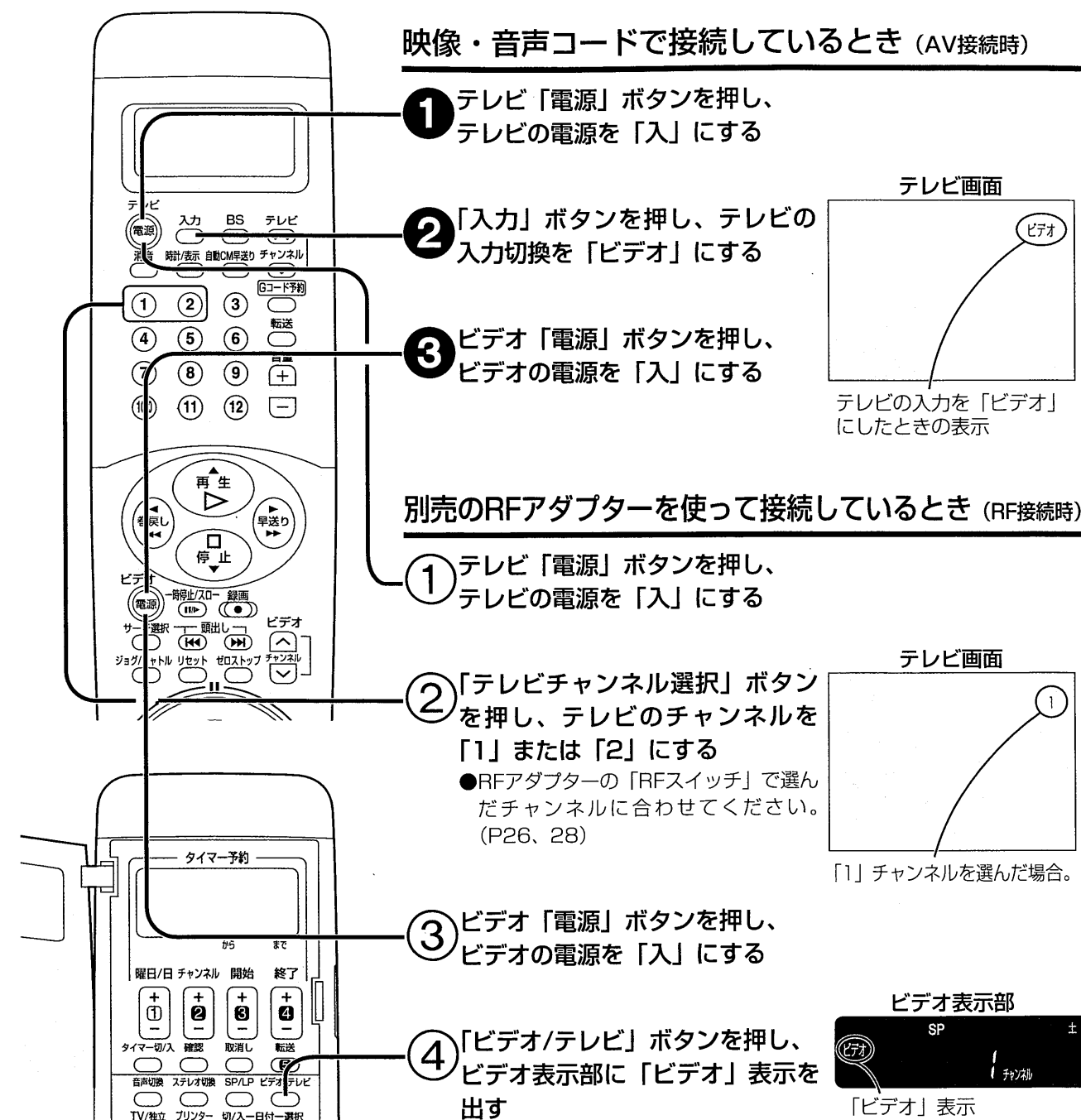
① 別売のヘッドホンを接続する
●ミニステレオプラグ（M3）が接続できます。

② 音量を調節する
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことはさけてください。

「録音レベル」つまみ

テレビにビデオの画面を出す

テレビにビデオの画面を出すには、以下のテレビ側の準備が必要です。

映像・音声コードで接続しているとき（AV接続時）

1 テレビ「電源」ボタンを押し、テレビの電源を「入」にする

2 「入力」ボタンを押し、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

3 ビデオ「電源」ボタンを押し、ビデオの電源を「入」にする

テレビ画面
テレビの入力を「ビデオ」にしたときの表示

別売のRFアダプターを使って接続しているとき（RF接続時）

① テレビ「電源」ボタンを押し、テレビの電源を「入」にする

② 「テレビチャンネル選択」ボタンを押し、テレビのチャンネルを「1」または「2」にする
●RFアダプターの「RFスイッチ」で選んだチャンネルに合わせてください。（P26、28）

テレビ画面
「1」チャンネルを選んだ場合。

③ ビデオ「電源」ボタンを押し、ビデオの電源を「入」にする

④ 「ビデオ/テレビ」ボタンを押し、ビデオ表示部に「ビデオ」表示を出す

ビデオ表示部
「ビデオ」表示

お願い／ヒント

●本機のリモコンでテレビの操作ができないときは、リモコンのテレビメーカー番号を合わせ直してください。（P30）
●次のページ以降、準備はAV接続時の手順で説明していますが、RF接続をされた方は、上記の手順でテレビにビデオの画面を出してください。

再生・録画

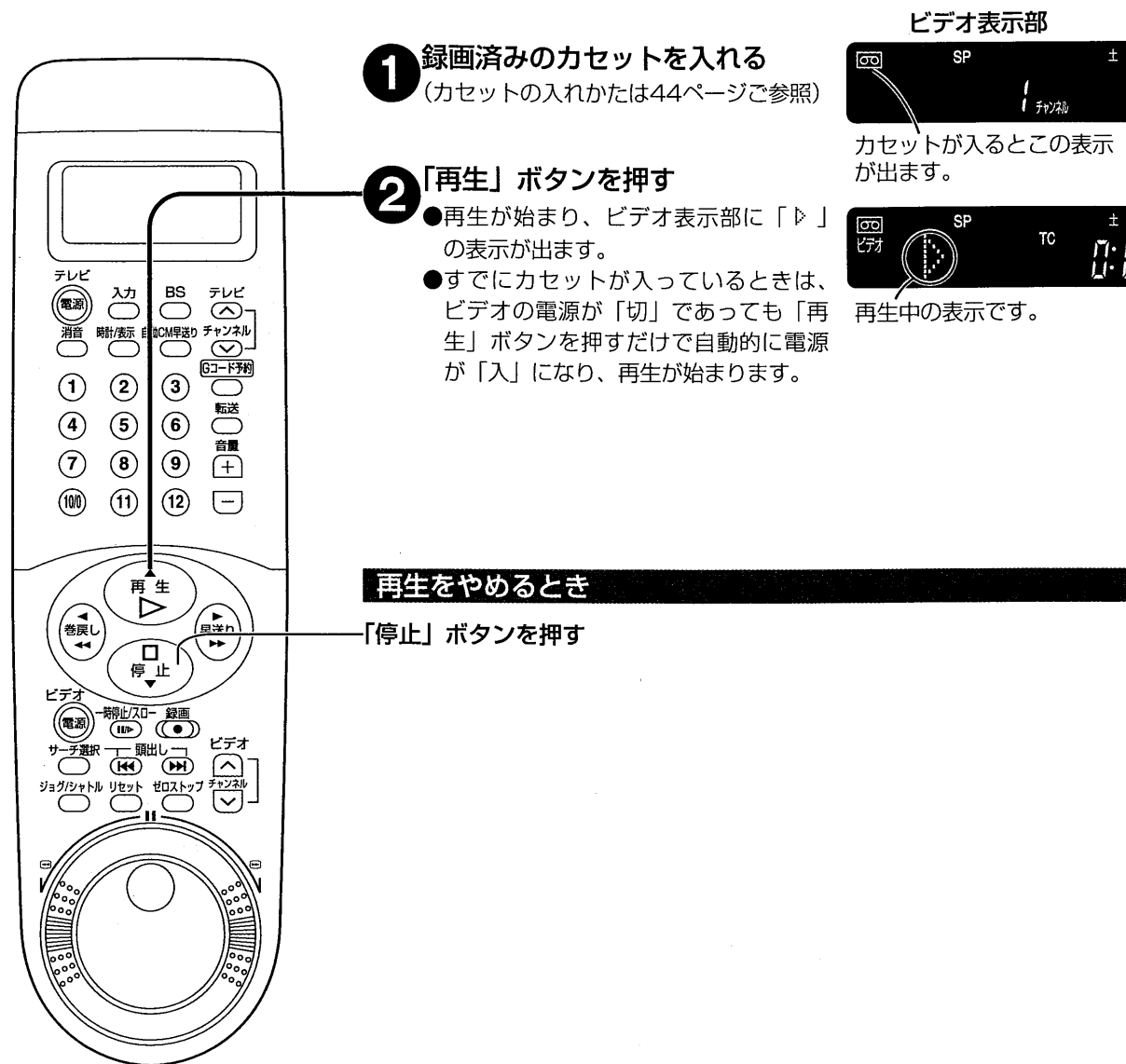
録画済みのカセットを見る

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

1 録画済みのカセットを入れる
(カセットの入れかたは44ページご参照)

2「再生」ボタンを押す
●再生が始まり、ビデオ表示部に「▷」の表示が出ます。
●すでにカセットが入っているときは、ビデオの電源が「切」であっても「再生」ボタンを押すだけで自動的に電源が「入」になり、再生が始まります。

再生をやめるとき

「停止」ボタンを押す

お願い／ヒント

■自動再生機能（オートプレイバック）
誤消去防止つまみを「SAVE」側（開く）にしているカセットを入れたときは、自動的に再生を始めます。

■カセットトレイの左側の、「標準カセット」ランプと「ミニカセット」ランプ
標準カセットが入っているときは「標準カセット」ランプが、ミニカセットが入っているときは「ミニカセット」ランプが点灯します。

■ワイドテレビで見るときは
ご使用のテレビによっては、本機の「オプション設定」の「ワイドモード」を切り換えておくと、「ワイドフル」モードなどの映像をテレビに送ったときに、テレビの画面を自動的に「フル」モードにすることができます。くわしくは、87ページの「ワイドモード」の項目をお読みください。

早送り/巻き戻し

早送り中や巻き戻し中の映像を簡単に確認できる、「パッと見チェック（ハイパーチェック）機能」もあります。

早送りをするとき

停止中に、

「早送り」ボタンを押す
●テープが早送りされます。
●テープの終端までくると、テープの始端まで自動的に巻き戻します。
●早送り中は、ビデオ表示部に「▷▷」表示が出ます。

巻き戻しをするとき

停止中に、

「巻戻し」ボタンを押す
●テープが巻き戻されます。
●テープの始端までくると、停止します。
●巻き戻し中は、ビデオ表示部に「◁◁」表示が出ます。

パッと見チェック（ハイパーチェック）

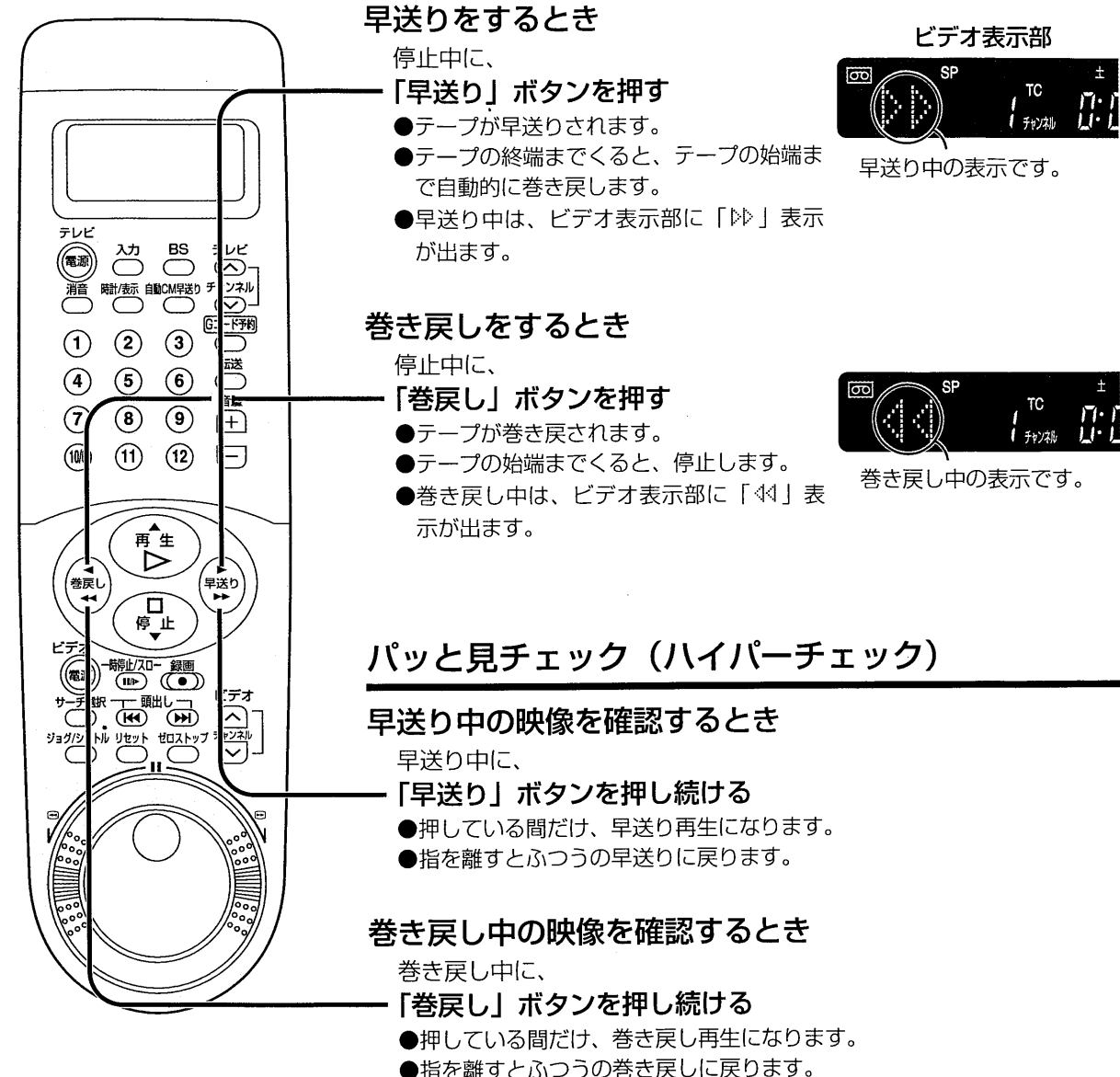
早送り中の映像を確認するとき

早送り中に、

「早送り」ボタンを押し続ける
●押している間だけ、早送り再生になります。
●指を離すとふつうの早送りに戻ります。

巻き戻し中の映像を確認するとき

巻き戻し中に、

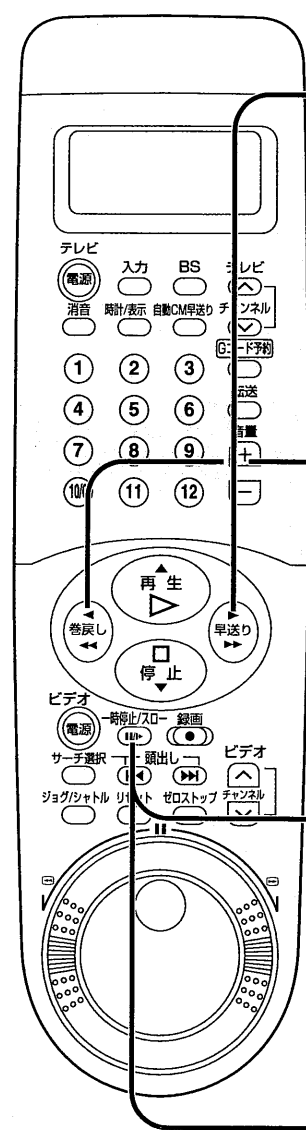
「巻戻し」ボタンを押し続ける
●押している間だけ、巻き戻し再生になります。
●指を離すとふつうの巻き戻しに戻ります。

お願い／ヒント

■自動巻き戻し機能（オートリワインド）
再生や録画などをしていてテープの終端までくると、自動的にテープの始端まで巻き戻します。
（ただし、予約録画時には、テープの終端で停止し、電源を「切」にします）

●本機に、テープの終端まで早送りされているカセットを入れたり、またはそのようなカセットが入った状態で電源を「切」から「入」にしたときは、自動的に巻き戻しを始める場合があります。

再生・録画（つづき）

早送り/巻き戻し/静止画/スロー再生

簡単な操作で再生の速度を変えることができます。

早送り再生をするとき

再生中に、

「早送り」ボタンをポンと短く押す

●早送り再生が始まります。
●ボタンを押し続けると、押している間だけ早送り再生になり、指を離すとふつうの再生に戻ります。
●早送り再生中は、ビデオ表示部に「▷▷」表示が出ます。

ビデオ表示部

早送り再生中の表示です。

巻き戻し再生をするとき

再生中に、

「巻戻し」ボタンをポンと短く押す

●巻き戻し再生が始まります。
●ボタンを押し続けると、押している間だけ巻き戻し再生になり、指を離すとふつうの再生に戻ります。
●巻き戻し再生中は、ビデオ表示部に「◁◁」表示が出ます。

巻戻し再生中の表示です。

静止画再生をするとき

再生中に、

「一時停止/スロー」ボタンをポンと短く押す

●静止画再生になります。
●静止画再生中は、ビデオ表示部に「▯▯」表示が出ます。

静止画再生中の表示です。

スロー再生をするとき

再生中に、

「一時停止/スロー」ボタンを約2秒以上押し続ける

●スロー再生になります。
●スロー再生中は、ビデオ表示部に「▯▷」表示が出ます。

スロー再生中の表示です。

ふつうの再生に戻すとき

「再生」ボタンを押してください。

●静止画再生時のみ、「一時停止/スロー」ボタンを押してもふつうの再生に戻ります。

お願い／ヒント

下記のときは、テープとヘッドの保護のため、それぞれの再生が解除されます。

●早送り/巻き戻し再生を約10分以上続けると、ふつうの再生に戻ります。
●静止画再生を約5分以上、またはスロー再生を約10分以上続けると、停止します。

ジョグダイヤルとシャトルリングで再生速度を変える

ジョグダイヤルとシャトルリングを使うと、コマ送り/コマ戻し再生をしたり、再生の速度を変えたりすることができます。

●ビデオとリモコン（編集コントローラー）を「ジョグ/シャトルモード」にしてから操作します。

「ジョグ/シャトルモード」にする

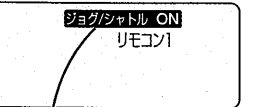
「ジョグ/シャトル」ボタンを押す

■「ジョグ/シャトルモード」になると、

●ビデオ表示部の左側の「ジョグ/シャトル」ランプが点灯し、静止画再生になります。
●リモコン表示部に「ジョグ/シャトル ON」表示が出ます。
→何も操作せずに約30秒以上放置すると、この表示が消え、リモコンの「ジョグ/シャトルモード」が解除されます。
もう一度「ジョグ/シャトル」ボタンを押すと、「ジョグ/シャトルモード」に戻ります。
●編集コントローラーの「ジョグ/シャトル」ボタンについては、下記ご参照。

ビデオ表示部

静止画再生の表示です。

リモコン表示部

「ジョグ/シャトル ON」表示

コマ送り/コマ戻し再生をする

「ジョグ/シャトルモード」にしたあと、

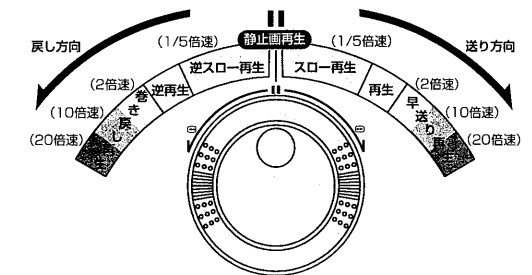
「ジョグダイヤル」をゆっくりと回す

●右に回すと送り方向、左に回すと戻し方向に1フィールドずつ送っていきます。（フィールドとは、瞬間の絵のことです。本機では、1秒間に約60枚のフィールドを連続して映すことで動画として見ることができます）

再生する速度を変える

「ジョグ/シャトルモード」にしたあと、

「シャトルリング」を回す

●右へ回すと送り方向、左へ回すと戻し方向へと速度を増していきます。
●回す角度により、再生速度や再生の向きが変わります。

編集時の、ジョグダイヤル・シャトルリングの操作については、別冊の「編集編」をお読みください。

■編集コントローラーの「ジョグ/シャトル」ボタンについて

「ジョグ/シャトルモード」のときは「ジョグ/シャトル」ボタンが点灯します。

●編集コントローラーをビデオ本体に取り付けて、またはコントローラーケーブルで接続しているとき
→ビデオ本体の「ジョグ/シャトル」ランプに合わせて「点灯/消灯」します。

●編集コントローラーをリモコンとして使用しているとき
→何も操作せずに約1分以上放置すると、「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯します。このときは、「ジョグ/シャトル」ボタンをもう一度押すと、ボタンが再び点灯し、編集コントローラーが「ジョグ/シャトルモード」に戻ります。

CMをとばして見る（自動CM早送り再生）

CM（コマーシャル）部分を自動的にとばして再生します。
●録画されている番組の音声情報をもとに、モノラル放送/二重放送（二カ国語放送など）の番組のときに働きます。
●くわしくは、下記「自動CM早送りの働きかた」ご参照。

「自動CM早送り」ボタンを押す
●テレビ画面 ……「自動CM早送り 入」表示が出ます。
ビデオ表示部 …「CM」表示が出ます。

テレビ画面
「自動CM早送り 入」表示
ビデオ表示部
「CM」表示

この機能を解除するとき

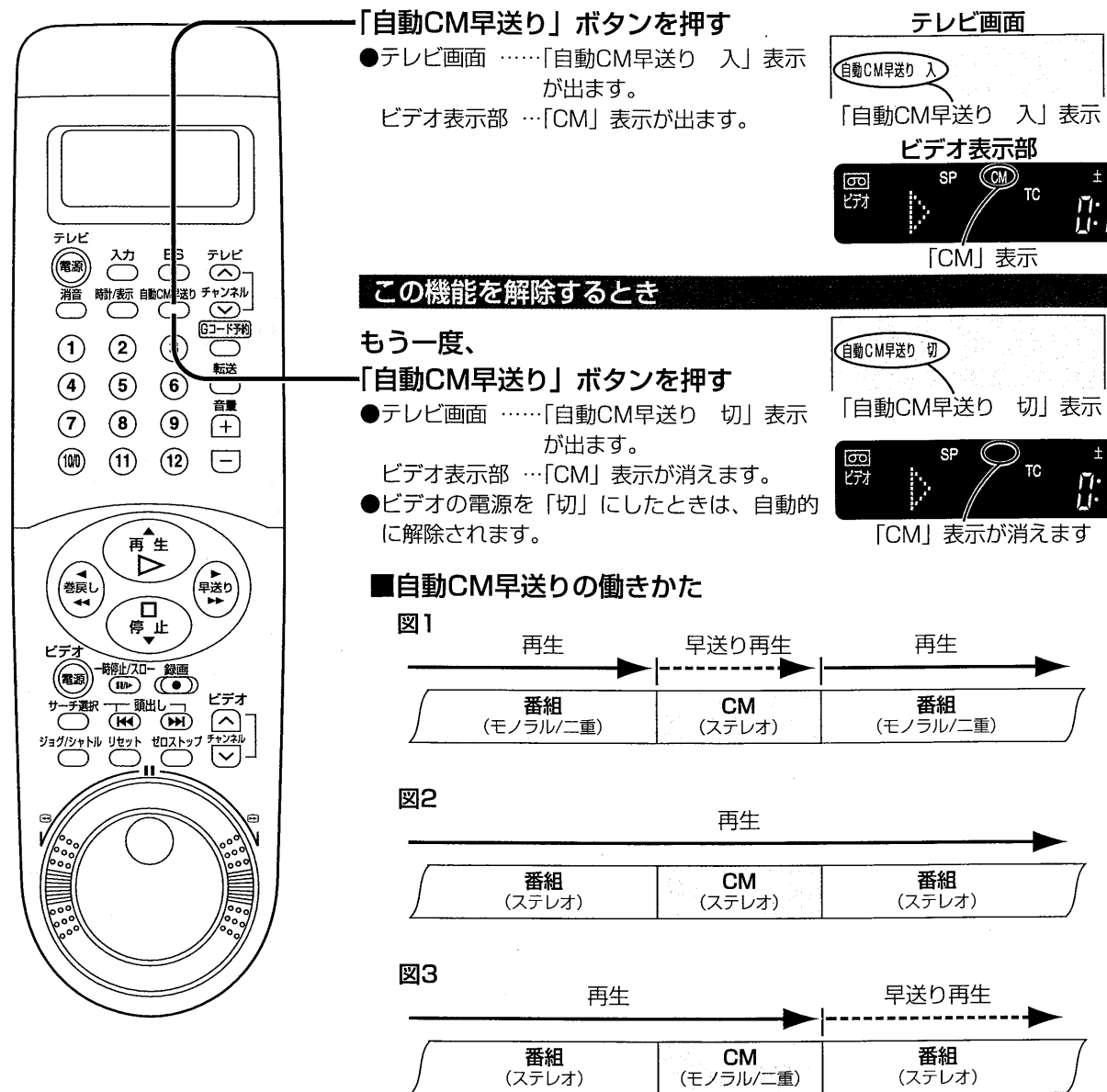
もう一度、
「自動CM早送り」ボタンを押す
●テレビ画面 ……「自動CM早送り 切」表示が出ます。
ビデオ表示部 …「CM」表示が消えます。
●ビデオの電源を「切」にしたときは、自動的に解除されます。

「自動CM早送り 切」表示
「CM」表示が消えます

■自動CM早送りの働きかた

図1
再生 → 早送り再生 → 再生
番組（モノラル/二重） | CM（ステレオ） | 番組（モノラル/二重）

図2
再生
番組（ステレオ） | CM（ステレオ） | 番組（ステレオ）

図3
再生 → 早送り再生
番組（ステレオ） | CM（モノラル/二重） | 番組（ステレオ）

自動CM早送りのしくみ

現在、ほとんどのCMがステレオ放送になっていますが、番組の方は、一部の音楽番組やスポーツ中継などを除き、モノラル/二重放送になっています。
この機能は、ステレオ放送とモノラル/二重放送の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみを早送り再生するようになっています。（上図1）

次のようなときは、自動CM早送り再生は正しく行えません。
●番組がステレオ放送のとき。（上図2）
●CMがモノラル/二重放送のとき。（上図3）
●本機で録画していないテープを再生するとき。
●外部入力録画をしたテープを再生するとき。
●「ステレオ2」音声や「ステレオ1+2」（ミックス）音声を選んでいるとき。
●オーディオインサート編集やAVインサート編集を行ったテープを再生するとき。

テレビ番組を録画する

準備
①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。
④記録する音声（12bit/16bit）を選ぶ。（P48）

❶ 誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる
（カセットの入れかたは44ページご参照）

ビデオ表示部
カセットが入るとこの表示が出ます。

❷「ビデオチャンネル」ボタンでチャンネルを選ぶ
●録画中は、チャンネルの変更はできません。

「4」チャンネルを選んだ場合

❸「SP/LP」ボタンで「SP」または「LP」を選ぶ
●下記「SPとLPについて」ご参照。

「SP」を選んだ場合。

❹「録画」ボタンを押す
●録画が始まり、ビデオ表示部に「▷■」の表示が出ます。

録画中の表示です。

録画をやめるとき

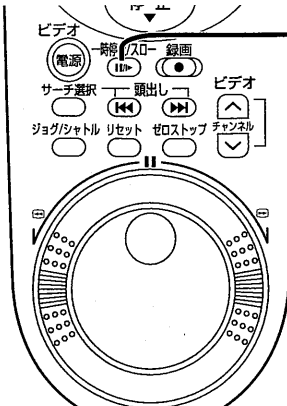
「停止」ボタンを押す

SPとLPについて

本機は録画する際のテープ速度を選ぶことができます。
SP …カセットに表示されている時間の録画ができます。
LP …SPの1.5倍の時間の録画ができます。
■LPモードで録画した場合、下記の編集操作はできません。
ミックスダビング（編集編）
アフレコ（編集編）
オーディオインサート（編集編）
ビデオインサート（編集編）
AVインサート（編集編）

著作権について

■録画するとき
著作権保護のための信号が記録されているソフトは、本機での録画はできません。このようなソフトの映像・音声信号を本機で録画しようとすると、テレビ画面に警告表示が出て停止します。著作権保護のための信号が記録されている放送を予約録画すると、録画の動作をしますが、右上の写真のようなモザイク状の映像が記録され、音声は記録されません。

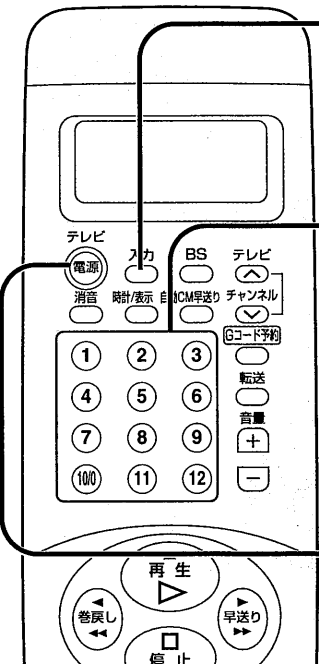
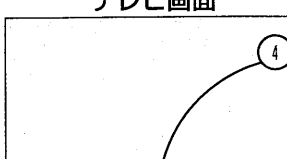
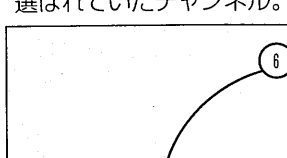
■再生するとき
本機で再生されるソフトに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限される場合があります。

録画を一時停止する

録画中に、CMなどの不要な場面をとばして録画したいときは、下記の操作をしてください。

❶録画中に、
「一時停止/スロー」ボタンを押す
●ビデオ表示部に「⏸▭」が出て、録画が一時中断されます。

ビデオ表示部

録画の一時停止中の表示です。

❷不要な場面が過ぎたら、
「一時停止/スロー」ボタンを押す
●録画が再開されます。

録画が再開されます。

録画しながら別の番組を見る（裏番組録画）

①録画中に、
「入力」ボタンを押し、テレビの入力を「ビデオ」から「テレビ」に切り換える

テレビ画面

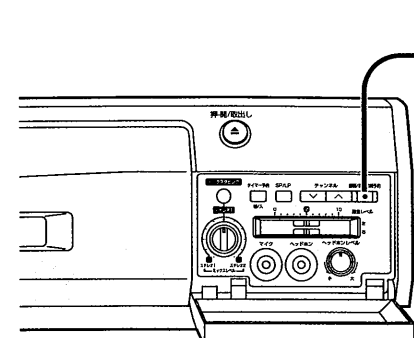
選ばれていたチャンネル。

②「テレビチャンネル選択」ボタンで見たいチャンネルを選ぶ
（チャンネルの選びかたは14ページご参照）

「6」チャンネルを選んだ場合。

テレビを見るのをやめるとき

「テレビ電源」ボタンを押し、テレビの電源を「切」にする
●ビデオは録画を続けます。

録画の一時停止をするとき

●録画の一時停止を約5分以上続けると、テープとヘッドの保護のため、停止します。

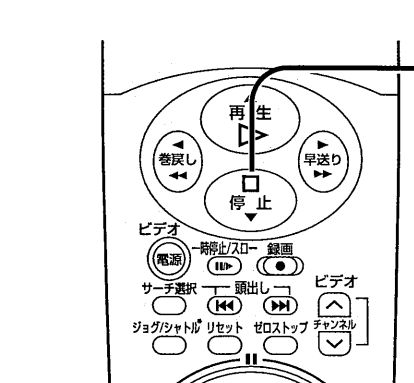
裏番組録画をするとき

●テレビの操作ができないときは、リモコンのテレビメーカー番号を合わせ直してください。（P30）
●別売のRFアダプターを使ってテレビと接続しているときは、「ビデオ/テレビ」ボタンを押してビデオ表示部の「ビデオ」表示を消してください。

録画の終わる時刻を予約する（終了時刻予約録画）

急なお出かけの際やおやすみになる前などに、録画の終わる時刻を簡単に予約できます。
予約した時刻になると、自動的に録画をやめ、ビデオの電源を「切」にします。

録画中に、
ビデオ本体の「録画/終了時刻予約」ボタンを押し、終了時刻を予約する
●1回押すとビデオ表示部に「−−：−−」が表示され、続けて押すごとに、30分単位で、最大2時間先まで予約できます。

ビデオ表示部

「−−：−−」の表示

現在時刻が16時10分で、30分先に設定した場合。

録画をやめるとき

「停止」ボタンを押す
●「終了時刻予約」も解除されます。

現在時刻の表示になります。

録画を続けたまま終了時刻の予約を解除するとき

ビデオ本体の「録画/終了時刻予約」ボタンを何度か押し、ビデオ表示部に「−−：−−」を表示させる
●「終了時刻予約」が解除されます。
（録画は続けられます）

「−−：−−」の表示

お願い／ヒント

●編集コントローラーの「録画/終了時刻予約」ボタンでも設定できますが、編集コントローラーをリモコンとして使用しているときは設定できません。
●リモコンの「録画」ボタンでは、「終了時刻予約」は設定できません。
●予約録画中は、「終了時刻予約」は設定できません。

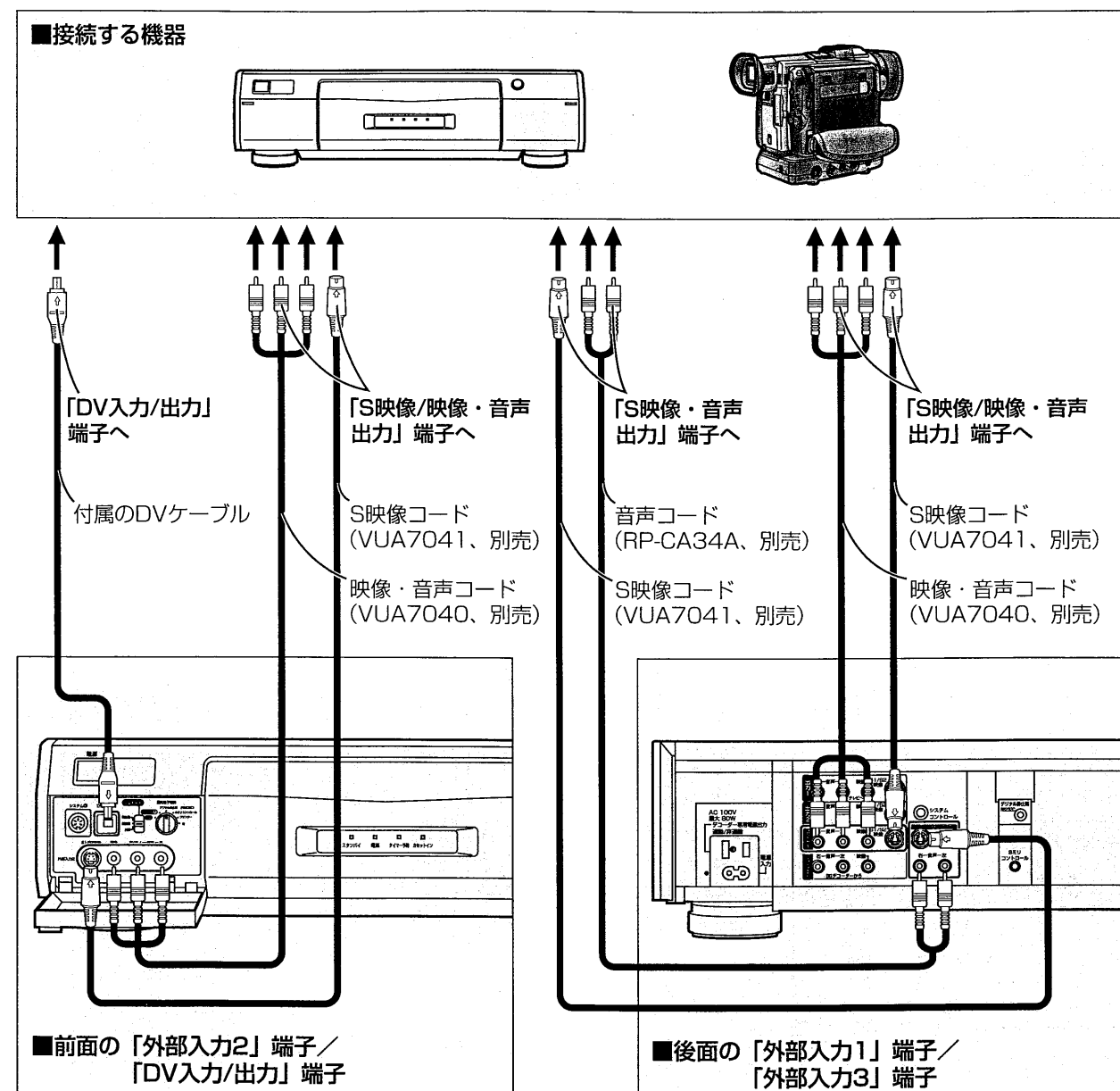
外部機器から録画する（外部入力録画）

外部入力端子に接続した機器から録画することができます。

接続のしかた

本機には、外部入力端子が3個所と、DV入力/出力端子が1個所あります。

■前面の「外部入力2」端子／「DV入力/出力」端子

■後面の「外部入力1」端子／「外部入力3」端子

別売品のご紹介（一例です）

- **S映像コード／VUA7041（1.5m）**
  標準価格：700円
- **映像・音声コード／VUA7040（1.5m）**
  標準価格：600円
- **音声コード／RP-CA34A（1m）**
  標準価格：1,200円

お願い／ヒント

- それぞれの機器の電源を「切」にしてから接続してください。（それぞれの機器の説明書もお読みください）
- 接続する機器に「S映像出力」端子が、
  あるとき…S映像コードでの接続を行ってください。
  ないとき…正しい映像を録画するために、本機にS映像コードを接続しないでください。
- モノラル音声を録音するときは、前面の「外部入力2」端子の音声「左/モノ」端子に接続してください。

外部入力録画のしかた

準備 ①外部入力端子に機器を接続する。（左のページ）
②テレビの電源を「入」にする。
③テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
④ビデオの電源を「入」にする。
⑤記録する音声（12bit/16bit）を選ぶ。（P48）

1 誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる

2 「ビデオチャンネル」ボタンで外部入力チャンネルを選ぶ
（下記、「外部入力端子と外部入力チャンネル」ご参照）

3 「SP/LP」ボタンで「SP」または「LP」を選ぶ

4 「録画」ボタンを押す
- 録画が始まり、ビデオ表示部に「▷▣」の表示が出ます。

録画をやめるとき

「停止」ボタンを押す

マイクを接続したとき

ビデオ前面の右側とびらの中の「マイク」端子にマイクを接続すると、マイクからの音声が優先されて記録されます。

外部入力端子と外部入力チャンネル

外部機器を接続した端子	外部入力チャンネル
外部入力1端子（本機後面）	L1
外部入力2端子（本機前面）	L2
外部入力3端子（本機後面）	L3
DV入力/出力端子（本機前面）	DV入力

- 「DV入力」チャンネルを選んだときは、ビデオ表示部の左側の「DV入力」ランプが点灯します。

■編集コントローラーの「入力切換」ボタンについて
押すごとに、下記のように本機の入力を切り換えます。
放送受信チャンネル → L1 → L2 → L3 → DV入力

お願い／ヒント

- M-Nコンバーターと63、64ページのように接続すると、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。
- とばした外部入力チャンネルは選べません。
- コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像がみだれたり、色合いが悪くなったりする場合があります。

BS・CS・CATV

BS放送を見る

本機にBSアンテナを接続しているときは、テレビにBSチューナーがなくても、下記の方法でBS放送をご覧いただけます。

①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

「ビデオチャンネル」ボタンで、見たいBSチャンネルを選ぶ

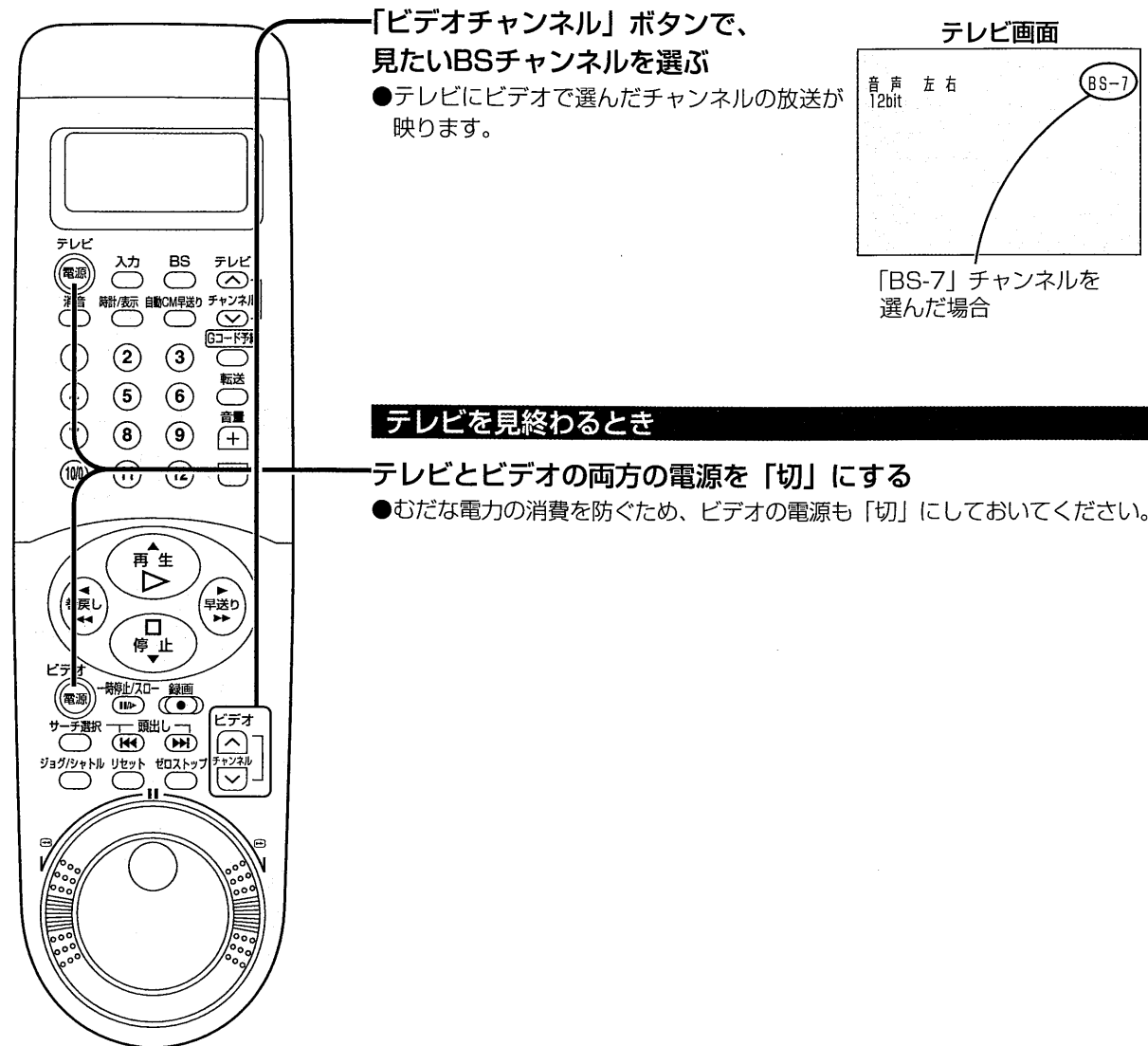
●テレビにビデオで選んだチャンネルの放送が映ります。

テレビ画面

「BS-7」チャンネルを選んだ場合

テレビを見終わるとき

テレビとビデオの両方の電源を「切」にする

●むだな電力の消費を防ぐため、ビデオの電源も「切」にしておいてください。

■高感度BSチューナー（はっきりチューナー）

本機は高感度のBSチューナーを内蔵しており、多少の悪天候のときもきれいな映像をお楽しみいただけます。

●雷雨や豪雨のような激しい雨が降ったり、雪がBSアンテナに付着したりすると、一時的に画面や音声にノイズが出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、BSアンテナやビデオの故障ではありません。

お願い／ヒント

●BS放送は、放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止される場合があります。

BS放送の音声を切り換える

BS放送の音声には「テレビ音声」と「独立音声」があり、下記の操作で切り換えることができます。

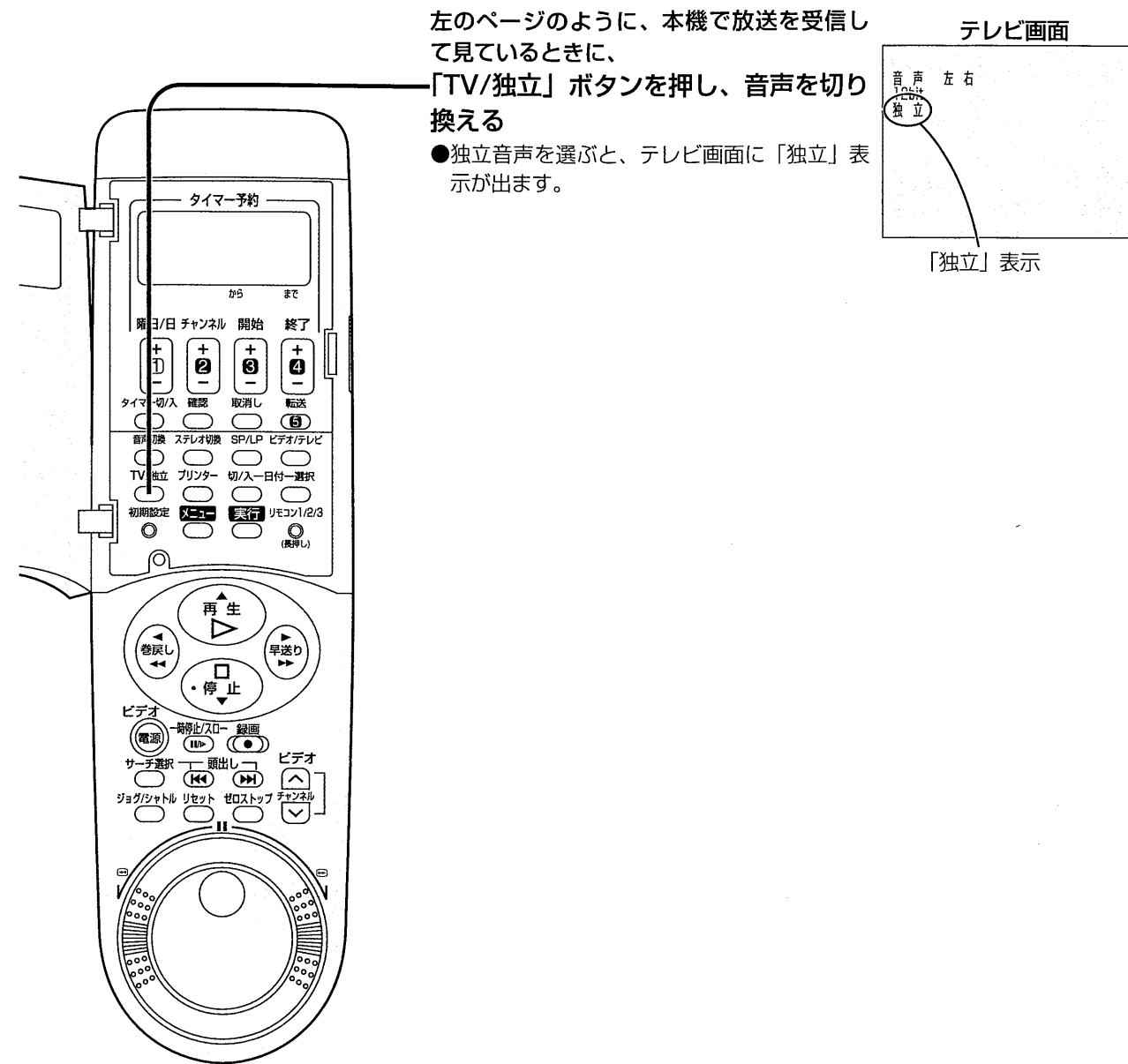
テレビ音声　…映像と合った音声です。
独立音声　……映像と関係のない音声です。

左のページのように、本機で放送を受信して見ているときに、

「TV/独立」ボタンを押し、音声を切り換える

●独立音声を選ぶと、テレビ画面に「独立」表示が出ます。

テレビ画面

「独立」表示

「Aモード」放送と「Bモード」放送

BS放送には、送ってくる音声の違いによる「Aモード」放送と「Bモード」放送があります。

「Aモード」放送…通常の放送で、「テレビ音声」と「独立音声」の両方を送ってきます。

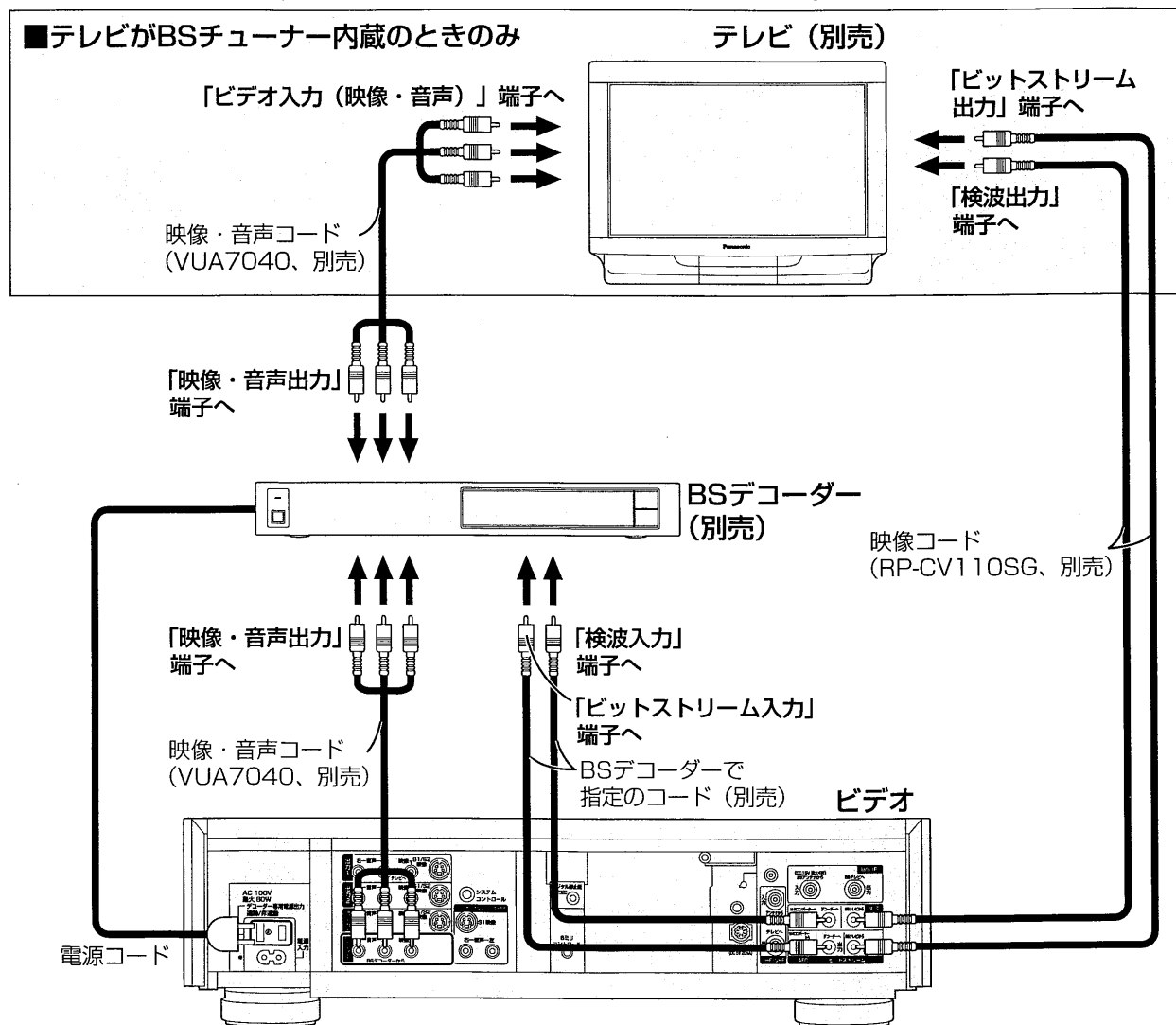
「Bモード」放送…クラシックコンサートの番組などを、より高音質の「テレビ音声」のみで送ってきます。

●「Bモード」放送の受信時には、テレビ画面に「Bモード」と表示します。

●「Bモード」放送の番組を録画するときは、16bitモードで録音されることをおすすめします。（P48）

●BSデコーダーやM-Nコンバーターを本機に接続してWOWOWやハイビジョン放送を受信しているときは、BSデコーダーやM-Nコンバーター側で音声を切り換えてください。

WOWOWを見る

WOWOWを見るには、JSBとの受信契約と、スクランブルを解除するための別売のBSデコーダーが必要です。
●WOWOWとは、JSB（日本衛星放送株式会社）の有料放送の愛称です。
●下記のように、ビデオ・テレビとBSデコーダーを接続してください。
（テレビやBSデコーダーの説明書もよくお読みください）
●St. GIGA（セント・ギガ）とも受信契約をされている方は、92ページもご覧ください。

お願い／ヒント

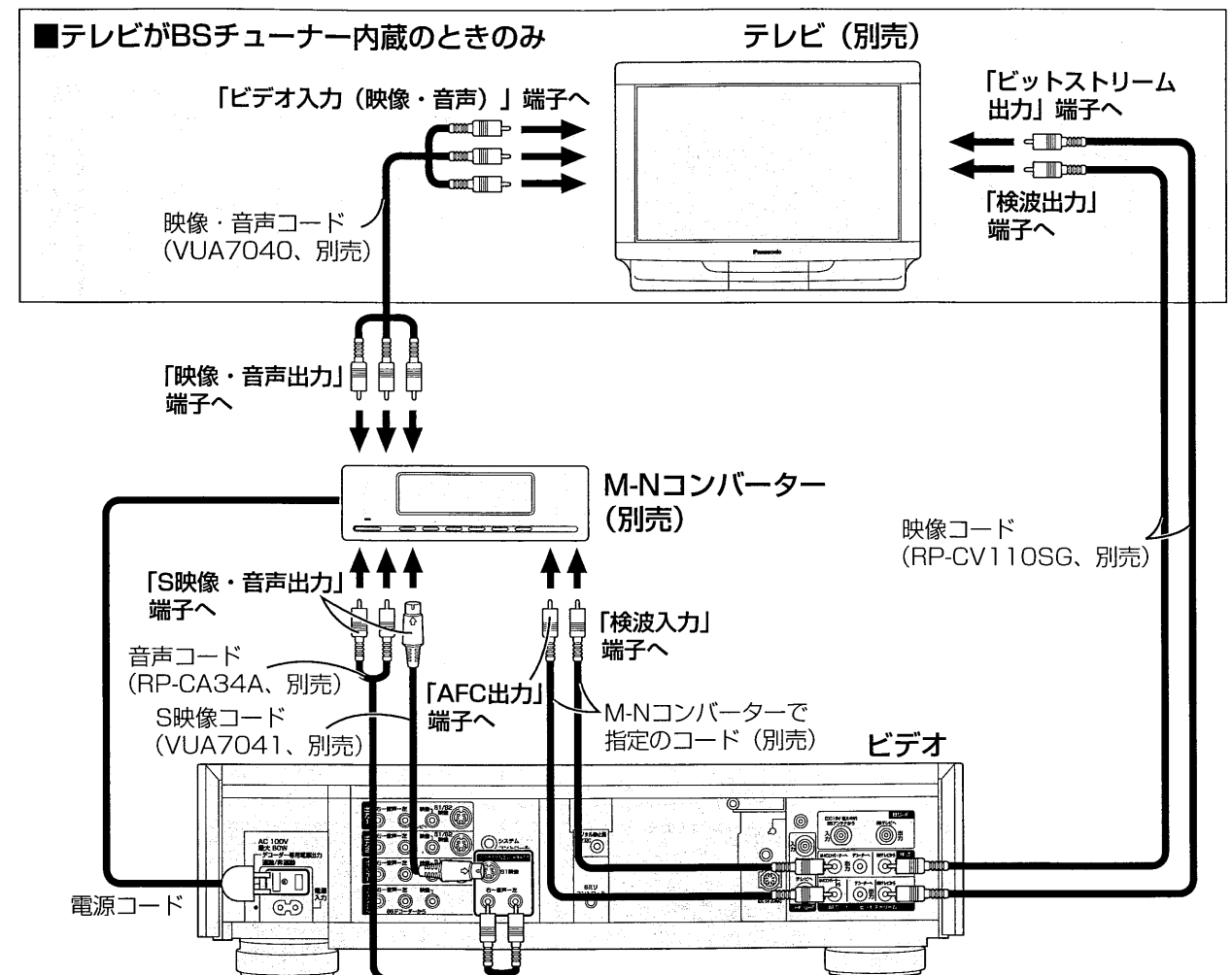
■「オプション設定」の「デコーダー電源」は「自動」に設定しておいてください（P86）
下記のときに、BSデコーダーの電源が自動的に「入」になります。
●スクランブル放送を受信したとき。
●ハイビジョン放送を受信したとき。
●外部BS機器からのビットストリーム信号が、ビデオに入力されたとき。

■後面の「デコーダー専用電源出力」コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー/M-Nコンバーター専用です
他の機器は接続しないでください。

別売品のご紹介（一例です）

ここでは、62～66ページの接続で使用するかもしれない別売の接続コードをご紹介します。
●**映像・音声コード／VUA7040（1.5m）**
標準価格：600円
●**映像コード／RP-CV110SG（1m）**
標準価格：2,000円
●**音声コード／RP-CA34A（1m）**
標準価格：1,200円
●**S映像コード／VUA7041（1.5m）**
標準価格：700円
●**75Ω同軸ケーブル／TY-BC1J（1m、プラグ付き）**
標準価格：1,600円

ハイビジョン放送を見る

ハイビジョン放送を見るには、MUSE（ミューズ）信号をNTSC（エヌティーエスシー）信号に変換するための、別売のM-Nコンバーターが必要です。
●画質はNTSC方式と同じになります。
●下記のように、ビデオ・テレビとM-Nコンバーターを接続してください。
（テレビやM-Nコンバーターの説明書もよくお読みください）

ハイビジョン放送について

ハイビジョンとは、現在行われているNTSC方式の放送の約5倍の情報量を持った、「横：縦」比が「16：9」の次世代放送方式のことです。
ハイビジョンの信号は圧縮してから送られてきますが、その信号（MUSE信号）を現在ご使用のテレビでご覧いただけるように、NTSC方式の信号に変換するための機器がM-Nコンバーターです。
●上記の接続後、BSチューナー内蔵テレビでハイビジョン放送を見るときは、テレビ側でハイビジョン放送のチャンネルを選んだあと、テレビの入力切換をM-Nコンバーターと接続した外部入力に切り換えてください。
この方法で見ることができないときは、テレビ側のハイビジョン放送の「拡張入力（BSデコーダー入力）設定」を「強制」にしてください。
（テレビによっては見ることができない場合があります）

お願い／ヒント

■「オプション設定」の「デコーダー電源」は「自動」に設定しておいてください（P86）
下記のときに、M-Nコンバーターの電源が自動的に「入」になります。
●スクランブル放送を受信したとき。
●ハイビジョン放送を受信したとき。
●外部BS機器からのビットストリーム信号が、ビデオに入力されたとき。

■後面の「デコーダー専用電源出力」コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー/M-Nコンバーター専用です
他の機器は接続しないでください。

●上記のようにM-Nコンバーターを接続すると、本機の外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。

BS・CS・CATV（つづき）

WOWOWもハイビジョン放送も見る

WOWOWとハイビジョン放送の両方を受信するには、下記のような別売のBSデコーダー/M-Nコンバーターとの接続が必要です。（WOWOW、ハイビジョン放送について、くわしくは62、63ページをお読みください）

●下記のように、ビデオ・テレビとBSデコーダー・M-Nコンバーターを接続してください。
（テレビやBSデコーダー・M-Nコンバーターの説明書もよくお読みください）

●St. GIGA（セント・ギガ）とも受信契約をされている方は、92ページもご覧ください。

お願い／ヒント

■BSチューナー内蔵テレビと上記の接続をすると、WOWOWとハイビジョン放送とで裏番組録画ができます。
（ただし、下記のテレビ側の操作が必要です）
1 テレビでWOWOWまたはハイビジョン放送のチャンネルを選ぶ。
2 テレビの入力切換を、BSデコーダーまたはM-Nコンバーターと接続している外部入力に切り換える。

■後面の「デコーダー専用電源出力」コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー/M-Nコンバーター専用です
他の機器は接続しないでください。

■「オプション設定」の「デコーダー電源」は「自動」に設定しておいてください（P86）
下記のときに、BSデコーダー/M-Nコンバーターの電源が自動的に「入」になります。
●スクランブル放送を受信したとき。
●ハイビジョン放送を受信したとき。
●外部BS機器からのビットストリーム信号が、ビデオに入力されたとき。

●WOWOW、ハイビジョン放送について、くわしくは62、63ページをお読みください。
●上記のようにM-Nコンバーターを接続すると、本機の外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。

CATV放送を見る

CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
くわしくは、CATV会社にご相談ください。

●CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
●ホームターミナルの接続は、契約されたCATV会社が行います。その後、本機を移動された場合などで接続し直すときは、下記のように、ビデオ・テレビとホームターミナルを接続してください。
（テレビやホームターミナルの説明書もよくお読みください）

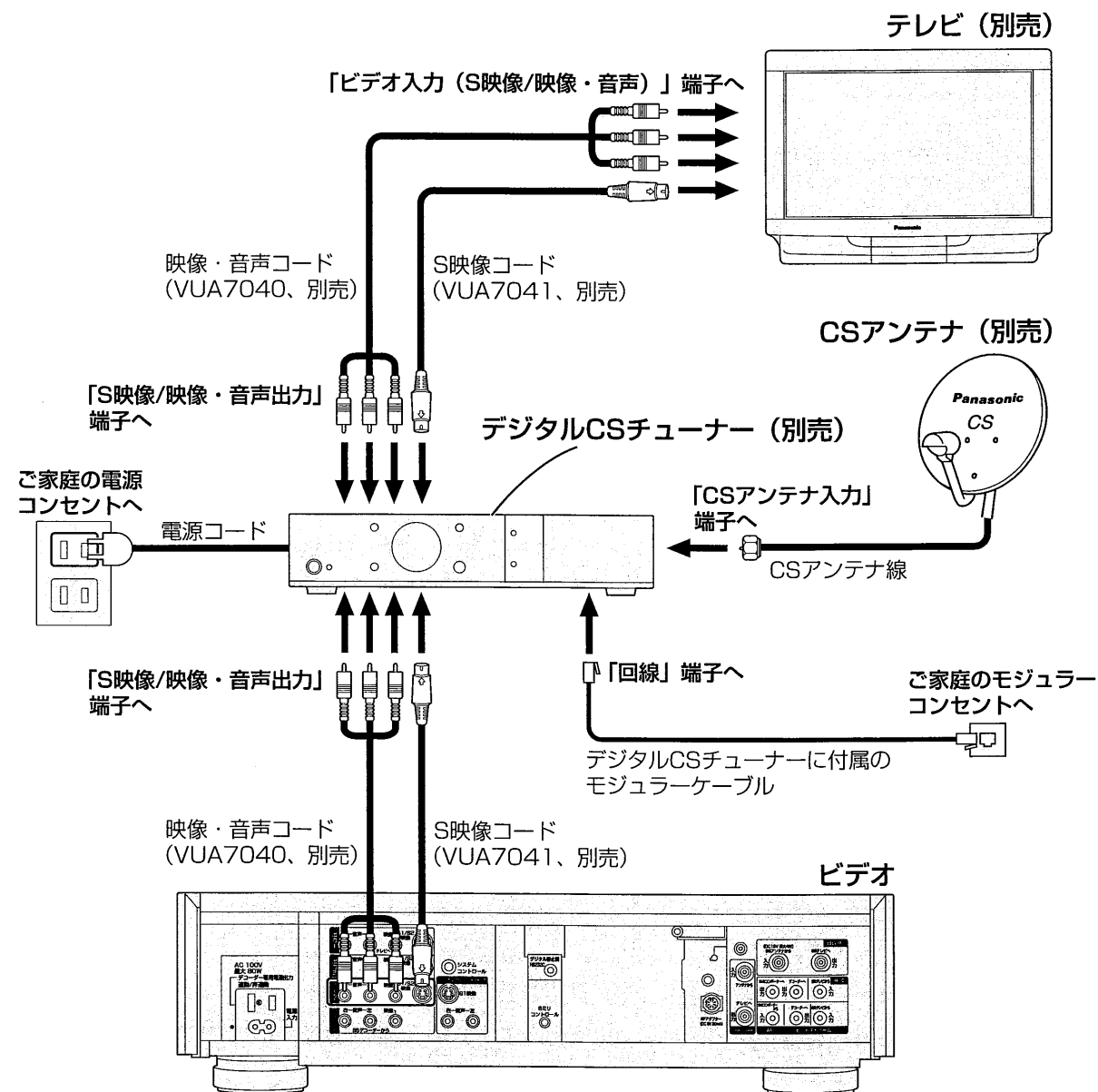
お願い／ヒント

■後面の「デコーダー専用電源出力」コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー/M-Nコンバーター専用です
ホームターミナルを接続しないでください。

デジタルCS放送を見る

デジタルCS放送を見るには、別売のデジタルCSチューナーが必要です。

●下記のように、ビデオ・テレビとデジタルCSチューナーを接続してください。
（テレビやデジタルCSチューナーの説明書もよくお読みください）

●下記は、「外部入力1」端子に接続した例です。

お願い／ヒント

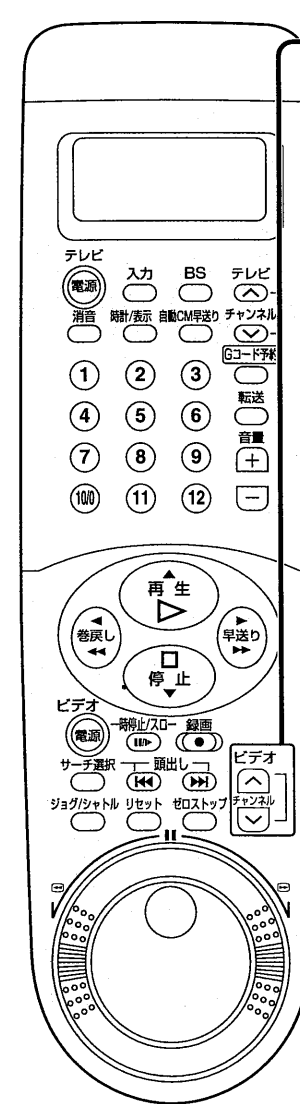
●CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。

●アナログ方式（従来）のCSチューナーのときは、モジュラーケーブルでの接続は必要ありません。

●デジタルCS放送の視聴・録画には、専用のデジタルCSチューナーが必要です。さらに、使用する機器ごとにデジタルCS放送会社との受信契約が必要となります。
くわしくは、デジタルCS放送会社にご相談ください。

■後面の「デコーダー専用電源出力」コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー/M-Nコンバーター専用です
デジタルCSチューナーを接続しないでください。

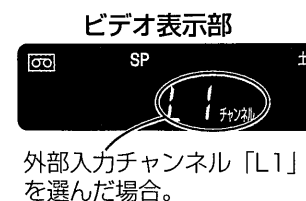
デジタルCS放送を見るとき

①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

1 「ビデオチャンネル」ボタンで、デジタルCSチューナーと接続した外部入力チャンネルを選ぶ

ビデオ表示部

外部入力チャンネル「L1」を選んだ場合。

2 デジタルCSチューナーの電源を「入」にする

3 デジタルCSチューナーで見たいチャンネルを選ぶ

見るのをやめるとき

ビデオ、テレビ、デジタルCSチューナーの電源を、すべて「切」にする

お願い／ヒント

●コピーガードのかかっている番組の場合、ビデオを経由してデジタルCS放送を見ようとすると、画像がきれいに映らない場合があります。このときは、デジタルCSチューナーから直接テレビに映像・音声コードを接続し、テレビの入力をデジタルCSチューナーに切り換えてご覧ください。

●有料番組などを録画するときは、必ずデジタルCSチューナー側で必要な設定を行ってください。
（録画できない番組や、録画するために追加料金の必要な番組もあります）

予約録画

Gコードで予約する（Gコード予約）

Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

ガイドチャンネル（P35）を正しく設定しておくと、「Gコード予約」ができます。

「Gコード予約」とは …録画したい番組の「Gコード」をリモコンに入力し、ビデオに転送するだけの簡単な予約方法です。

「Gコード」とは ………新聞などのテレビ番組欄で、それぞれの番組に付けられている、最大8ケタの数字のことです。この数字の組み合わせで、番組の放送日やチャンネル、放送時刻などが設定されます。

●番組の「Gコード」がわからないときは、「リモコンフリーセット予約」（P70）を行ってください。

準備
①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。
④ビデオの時計が正しいことを確認する。
⑤再生や録画などの動作中は、停止させる。
⑥記録する音声（12bit/16bit）を選ぶ。（P48）

00 おまかせください
「あなたの悩みを斬る」
宮川弘 足立勇 柿本隆雄
中修功 朝日博子 78864
54 ニュース 20668
00 火曜ワイドテレビ

❶誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる

ビデオ表示部

カセットが入るとこの表示が出ます。

❷「Gコード予約」ボタンを押し、リモコン表示部に「Gコード」表示を出す

リモコン表示部

「Gコード」表示

❸「数字」ボタンを押し、Gコードを入力する

●例えば、⑦→⑧→⑧→⑥→④と押します。

●間違えたときは、「Gコード予約」ボタンを2回押し、正しいGコードを入力し直してください。

Gコードを入力すると、点滅します

❹リモコンのとびらを開く

❺「SP/LP」ボタンを押し、「SP」または「LP」を選ぶ

●選ばないときは、現在ビデオが選んでいるテープ速度で予約されます。

「SP」を選んだ場合

❻「転送」ボタンを押す

●「SP/LP」を選ばないときは、手順❸のあと、とびらの上の「転送」ボタンを押しても予約できます。

●テレビ画面に実際の予約内容が表示され、そのあと約14秒後に予約録画の待機状態になります。

テレビ画面

録画日	CH	開始	終了	
4/21	6	20:00	20:54	SP

テープ残量 0:55 SP

予約録画について

予約録画とは、予約した番組を、ビデオが自動的に録画することです。（1カ月以内、最大8番組）

番組の予約には、下記の2つの方法があります。

1 Gコード予約

Gコードを使って予約する方法。

2 リモコンフリーセット予約（P70）

予約日・チャンネル・開始時刻・終了時刻などをリモコンで合わせて予約する方法。

予約録画の待機状態

ビデオ表示部に「予約」表示が出て、ビデオの電源が「切」になります。

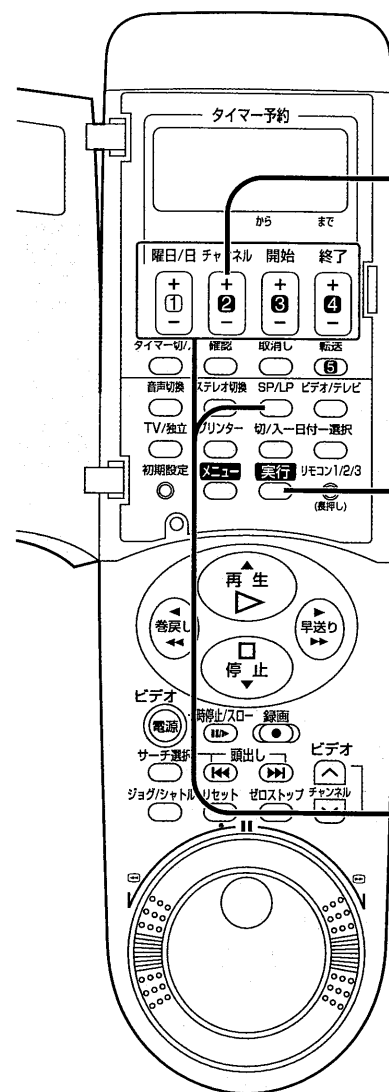
●この状態にしておかないと、予約録画されません。

ビデオ表示部

「予約」表示

予約チャンネルが選ばれないとき

転送後のテレビ画面の「CH」の項目が「G––」となっているときは、ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

●このときは、下記の操作をすると、予約も完了し、ガイドチャンネルも正しく設定されます。

①テレビ画面に「G––」が出ている間に、「チャンネル」ボタンを押し、予約チャンネルを合わせる

②「実行」ボタンを押す

●予約が完了し、予約録画の待機状態になります。

●ガイドチャンネルも自動的に設定されます。

テレビ画面

「G––」の表示

「6」チャンネルにした場合

Gコード予約した内容を修正するとき

転送後、テレビ画面に予約内容が表示されている間なら、予約内容を修正できます。

例えば、野球中継など番組の延長が予想される場合に、あらかじめ録画終了時刻を延長させておきたいときなどは、下記のように予約内容を修正できます。

テレビ画面に予約内容が表示されている間に、「リモコンフリーセット予約設定部」のボタン、「SP/LP」ボタンで予約内容を修正する

●修正が終わると、約14秒後に予約録画の待機状態になります。

●「曜日/日」ボタンで毎日・毎週予約はできますが、日付の変更はできません。

テレビ画面

終了時刻を修正した場合

お願い／ヒント

●Gコード予約した番組は、実際の放送時間より多少長めに録画される場合があります。

●Gコード予約では、番組開始・終了の予定時刻に合わせて予約されるので、放送開始が遅れたり、番組が延長されたときなどは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。

●2つ以上の予約をするときは、左のページの手順❷～❻をくり返してください。
（予約録画の待機中でも、予約の転送は受け付けます）

●毎日・毎週予約した番組も、1番組として数えてください。（最大8番組予約できます）

●転送後のテレビ画面には、テープ残量も表示されます。
•現在選ばれているテープ速度（SP/LP）で計算されたテープ残量です。
•カセットを入れた直後など、残量計算できていないときには表示されません。

●Gコードは各番組に付けられていますので、予約する時期によっては、同じ番号でも予約内容は異なります。

●転送したときに、テレビ画面に「予約内容にミスがあります」と表示されたときは、もう一度最初から予約し直してください。

●複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、Gコード予約が正しくできません。不要なチャンネルは必ずとばしておいてください。（P41）

●転送すると、ビデオ表示部に「FULL」が表示されるときは、すでに8番組が予約されています。不要な予約内容を取り消してから予約し直してください。（P73）

予約録画（つづき）

番組を指定して予約する（リモコンフリーセット予約）

予約日・チャンネル・開始時刻・終了時刻などをリモコンで合わせて予約する方法です。

準備
①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。
④ビデオの時計が正しいことを確認する。
⑤再生や録画などの動作中は、停止させる。
⑥記録する音声（12bit/16bit）を選ぶ。（P48）

❶誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる

❷「曜日/日」ボタンを押し、予約日を合わせる
●くわしくは、右のページをお読みください。

❸「チャンネル」ボタンを押し、予約チャンネルを合わせる
●くわしくは、右のページをお読みください。

❹「開始」ボタンを押し、録画開始時刻を合わせる
●1回押すと1分単位で、押し続けると30分単位で変わります。（24時間表示）

❺「終了」ボタンを押し、録画終了時刻を合わせる
●1回押すと1分単位で、押し続けると30分単位で変わります。（24時間表示）

❻「SP/LP」ボタンを押し、「SP」または「LP」を選ぶ
●選ばないときは、現在ビデオが選んでいるテープ速度で予約されます。

❼「転送」ボタンを押す
●テレビ画面に予約内容が表示され、そのあと約14秒後に予約録画の待機状態になります。

ビデオ表示部

カセットが入るとこの表示が出ます。

リモコン表示部

予約日

予約チャンネル

録画開始時刻

点滅します

録画終了時刻

「SP」を選んだ場合

テレビ画面

タイマー予約
録画日　CH　開始　終了
4/23　4　21:00　22:30　SP
テープ残量　0:55　SP

予約日の合わせかた（毎日予約/毎週予約）

左のページの手順❷で、「曜日/日」ボタンの「＋」側を押すごとに、下記のように変わります。
●「－」側を押すと、逆の方に戻ります。

「今日」の予約	今から24時間以内に始まる番組を予約できます。
1週間以内の予約	曜日を指定して予約できます。 ●日→月→火→水→木→金→土
1カ月以内の予約	日付を指定して予約できます。 ●1→2→3…→31
毎日予約	毎日同じ番組を予約できます。 ●毎週日 ～ 土（1週間、毎日） →毎週月 ～ 土 →毎週月 ～ 金
毎週予約	毎週同じ曜日の番組を予約できます。 ●毎週日 → 毎週月 … → 毎週土

予約チャンネルの合わせかた

左のページの手順❸で、「チャンネル」ボタンの「＋」側を押すごとに、下記のように変わります。
●必ず「表示チャンネル」（ビデオ表示部などに表示させているチャンネル）で合わせてください。
●1回押すと1ずつ、押し続けると10ずつ変わります。
●「－」側を押すと、逆の方に戻ります。

VHF/UHFチャンネル	1→2→3…→62
BSチャンネル	BS1→BS3→BS5…→BS15
CATVチャンネル	C13→C14→C15…→C63 ●工場出荷時はとばされています。
外部入力チャンネル	L1→L2→L3

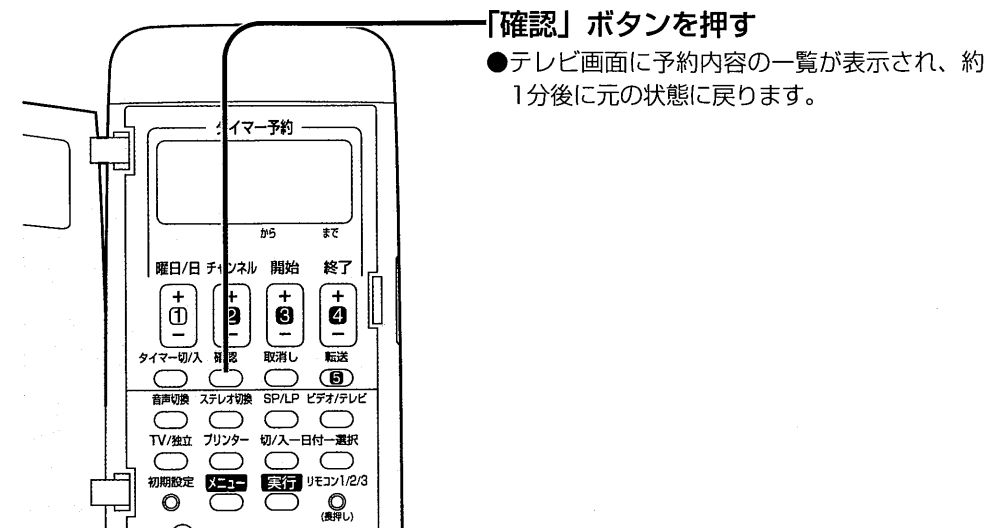
●不要なチャンネルをとばしておいて素早く予約チャンネルを合わせたい方は、「予約チャンネル表示設定」（P77）を行っておくことをおすすめします。
●ビデオ本体にない「表示チャンネル」では予約できません。
●「DV入力」チャンネルは予約できません。

お願い／ヒント

●すぐに録画を始めたいときは、予約チャンネルと録画終了時刻のみを合わせて転送してください。
●2つ以上の予約をするときは、左のページの手順❷～❼をくり返してください。
（予約録画の待機中でも、予約の転送は受け付けます）
●毎日・毎週予約した番組も、1番組として数えてください。（最大8番組予約できます）
●転送後のテレビ画面には、テープ残量も表示されます。
•現在選ばれているテープ速度（SP/LP）で計算されたテープ残量です。
•カセットを入れた直後など、残量計算できていないときには表示されません。
●転送すると、ビデオ表示部に「FULL」が表示されるときは、すでに8番組が予約されています。不要な予約内容を取り消してから予約し直してください。（P73）
●転送前ならどの項目でも修正できますが、転送後の修正はできません。不要な予約内容を取り消してから予約し直してください。（P73）

予約録画（つづき）

予約内容を確かめる

ビデオの電源が「入」、またはビデオ表示部に「予約」表示が出ているときに操作してください。

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。

「確認」ボタンを押す
●テレビ画面に予約内容の一覧が表示され、約1分後に元の状態に戻ります。

テレビ画面

予約録画を解除する

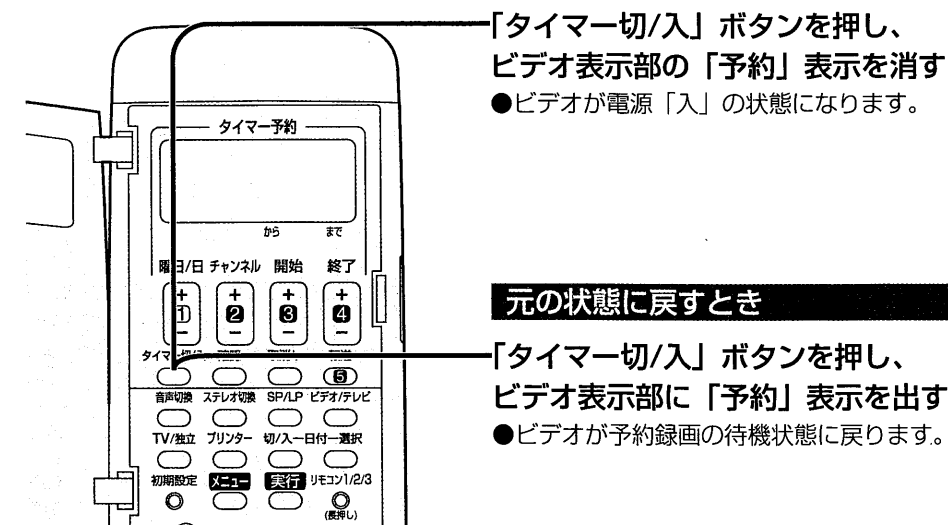
予約録画の待機中にカセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除してから操作してください。

「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す
●ビデオが電源「入」の状態になります。

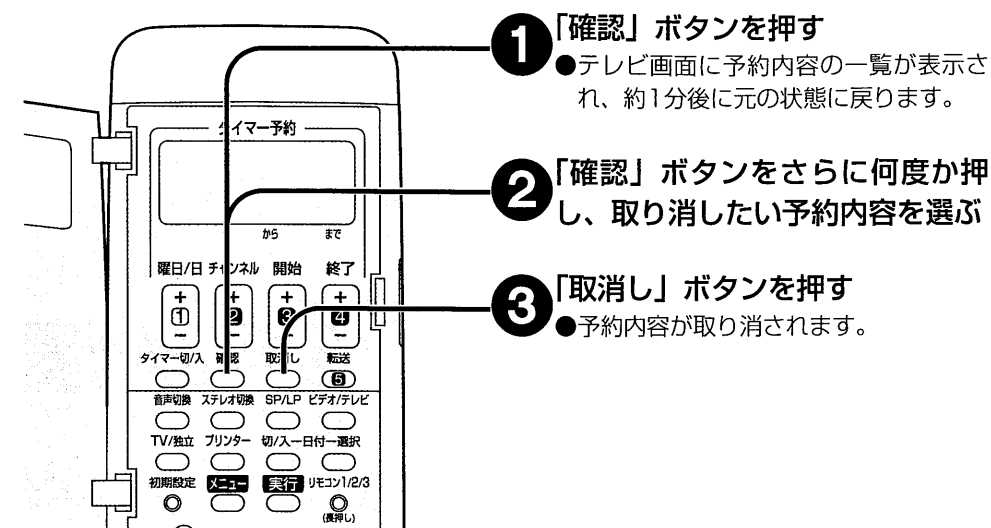
ビデオ表示部

「予約」表示

元の状態に戻すとき

「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部に「予約」表示を出す
●ビデオが予約録画の待機状態に戻ります。

お願い／ヒント
●ビデオ表示部に「予約」表示を出しておかないと、予約録画はされません。
●ビデオ本体の「タイマー予約切/入」ボタンでも予約録画の解除はできます。

予約内容を取り消す

ビデオの電源が「入」で再生や録画などの動作状態でないとき、またはビデオ表示部に「予約」表示が出ているときに操作してください。

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。

1 「確認」ボタンを押す
●テレビ画面に予約内容の一覧が表示され、約1分後に元の状態に戻ります。

2 「確認」ボタンをさらに何度か押し、取り消したい予約内容を選ぶ

3 「取消し」ボタンを押す
●予約内容が取り消されます。

テレビ画面

予約録画の待機状態のときは、「——」の表示になります。

予約録画を途中でやめる

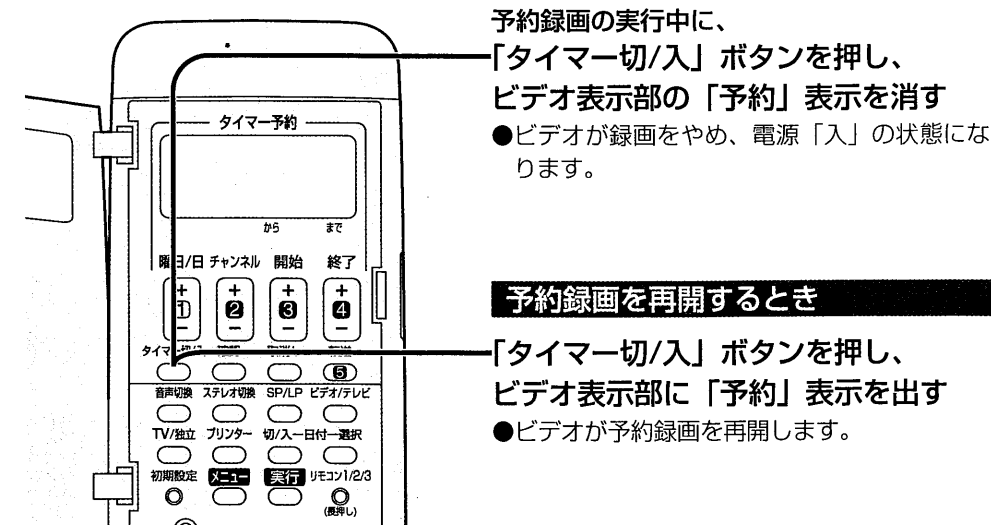
始まった予約録画を途中でやめたいときは、下記の操作を行ってください。

予約録画の実行中に、
「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す
●ビデオが録画をやめ、電源「入」の状態になります。

ビデオ表示部

「予約」表示

予約録画を再開するとき

「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部に「予約」表示を出す
●ビデオが予約録画を再開します。

お願い／ヒント
●ビデオ表示部に「予約」表示を出しておかないと、予約録画はされません。
●ビデオ本体の「タイマー予約切/入」ボタンでも予約録画を途中で止めることができます。

番組を指定してさがす（インデックスサーチ）

本機で録画をすると、録画の開始点で、自動的に「インデックス（頭出し信号）」が記録されます。この信号によって番組をさがし出し、そこから自動的に再生を始めます。

ビデオの電源が「入」で、停止または再生中に操作してください。

❶「サーチ選択」ボタンを何度か押し、テレビ画面に「インデックス」表示を出す

テレビ画面

「インデックス」表示

❷見たい番組がある方向の、「頭出し」ボタンを押す

- 早送りまたは巻き戻しを始め、番組をさがします。
- 続けて「頭出し」ボタンを押すと、さがす番組が変更できます。（下記、「頭出しする番組の指定のしかた」、ご参照）
- 指定した番組を見つけると、そこから自動的に再生を始めます。

2つ先の番組を指定した場合

ビデオ表示部

「インデックスサーチ」の表示（「S」はサーチの略です）

頭出しを途中でやめるとき

「停止」ボタンを押す

- ビデオが停止します。

頭出しする番組の指定のしかた

「頭出し」ボタンを押す回数と番組の指定の関係は、下図のようになっています。

戻し方向　「インデックス（頭出し信号）」　送り方向

2つ前の番組	1つ前の番組	再生または停止中	1つ先の番組	2つ先の番組

3　2　1　1　2　3

「頭出し」ボタンを押した回数

- 最大20番組先までの番組が指定できます。
- さがしたい番組よりも先の番組を指定してしまったときは、反対方向の「頭出し」ボタンを押して番組の指定を変更できます。

お願い／ヒント

「インデックス（頭出し信号）」は、以下のときに自動的に記録されます。

- 停止状態から「録画」ボタンを押して録画を始めたとき。
- 予約録画が始まったとき。
- 録画中に、リモコンの「録画」ボタンを押したとき。
- 録画中に、編集コントローラーの「録画/終了時刻予約」ボタンを押したとき。（リモコンとして使用しているときのみ）

- 指定したはずの番組がさがせなかったときは、もう一度「インデックスサーチ」を行ってください。
- 録画されている番組の時間が短いと、正しくさがし出せない場合があります。誤動作を防ぐため、約15分以上は録画しておいてください。

■「オプション設定」（P86）の「オンスクリーン」を「切」にしているとき

手順❶で「サーチ選択」ボタンを押しても、「インデックスサーチ」または「フォトサーチ」のどちらを選んでいるのかわかりません。「頭出し」ボタンを押し、ビデオ表示部の表示を確認してください。

- 「S」が表示されているときは、「インデックスサーチ」を行っています。
- 「P」が表示されているときは、「フォトサーチ」（P75）を行っています。このときは、「サーチ選択」ボタンを1回押してください。ビデオが停止になり、「フォトサーチ」が中断され、「インデックスサーチ」が選ばれます。続けて「頭出し」ボタンを押すと、あらためて「インデックスサーチ」が始まります。

フォトショット画像をさがす（フォトサーチ）

当社のデジタルビデオカメラでフォトショット撮影をすると、自動的に「フォトショット用インデックス信号」が記録されます。この信号によってフォトショット画像をさがし出し、そこで静止画再生をします。

ビデオの電源が「入」で、停止または再生中に操作してください。

❶「サーチ選択」ボタンを何度か押し、テレビ画面に「フォトサーチ」表示を出す

テレビ画面

「フォトサーチ」表示

❷見たい画像がある方向の、「頭出し」ボタンを押す

- 早送りまたは巻き戻しを始め、画像をさがします。
- 続けて「頭出し」ボタンを押すと、さがす画像が変更できます。（下記、「頭出しする画像の指定のしかた」、ご参照）
- 指定した画像を見つけると、そこで自動的に静止画再生を始めます。

2つ先の画像を指定した場合

ビデオ表示部

「フォトサーチ」の表示（「P」はフォトの略です）

頭出しを途中でやめるとき

「停止」ボタンを押す

- ビデオが停止します。

頭出しする画像の指定のしかた

「頭出し」ボタンを押す回数と画像の指定の関係は、下図のようになっています。

戻し方向　「フォトショット用インデックス信号」　送り方向

3つ前の画像	2つ前の画像	1つ前の画像	1つ先の画像	2つ先の画像

3　2　1　1　2

「頭出し」ボタンを押した回数

- 最大20画像先までの画像が指定できます。
- さがしたい画像よりも先の画像を指定してしまったときは、反対方向の「頭出し」ボタンを押して画像の指定を変更できます。

お願い／ヒント

- フォトショットした画像が連続して記録されているときは、正しくさがし出せない場合があります。

■「オプション設定」（P86）の「オンスクリーン」を「切」にしているとき

手順❶で「サーチ選択」ボタンを押しても、「フォトサーチ」または「インデックスサーチ」のどちらを選んでいるのかわかりません。「頭出し」ボタンを押し、ビデオ表示部の表示を確認してください。

- 「P」が表示されているときは、「フォトサーチ」を行っています。
- 「S」が表示されているときは、「インデックスサーチ」（P74）を行っています。このときは、「サーチ選択」ボタンを1回押してください。ビデオが停止になり、「インデックスサーチ」が中断され、「フォトサーチ」が選ばれます。続けて「頭出し」ボタンを押すと、あらためて「フォトサーチ」が始まります。

便利な機能（つづき）

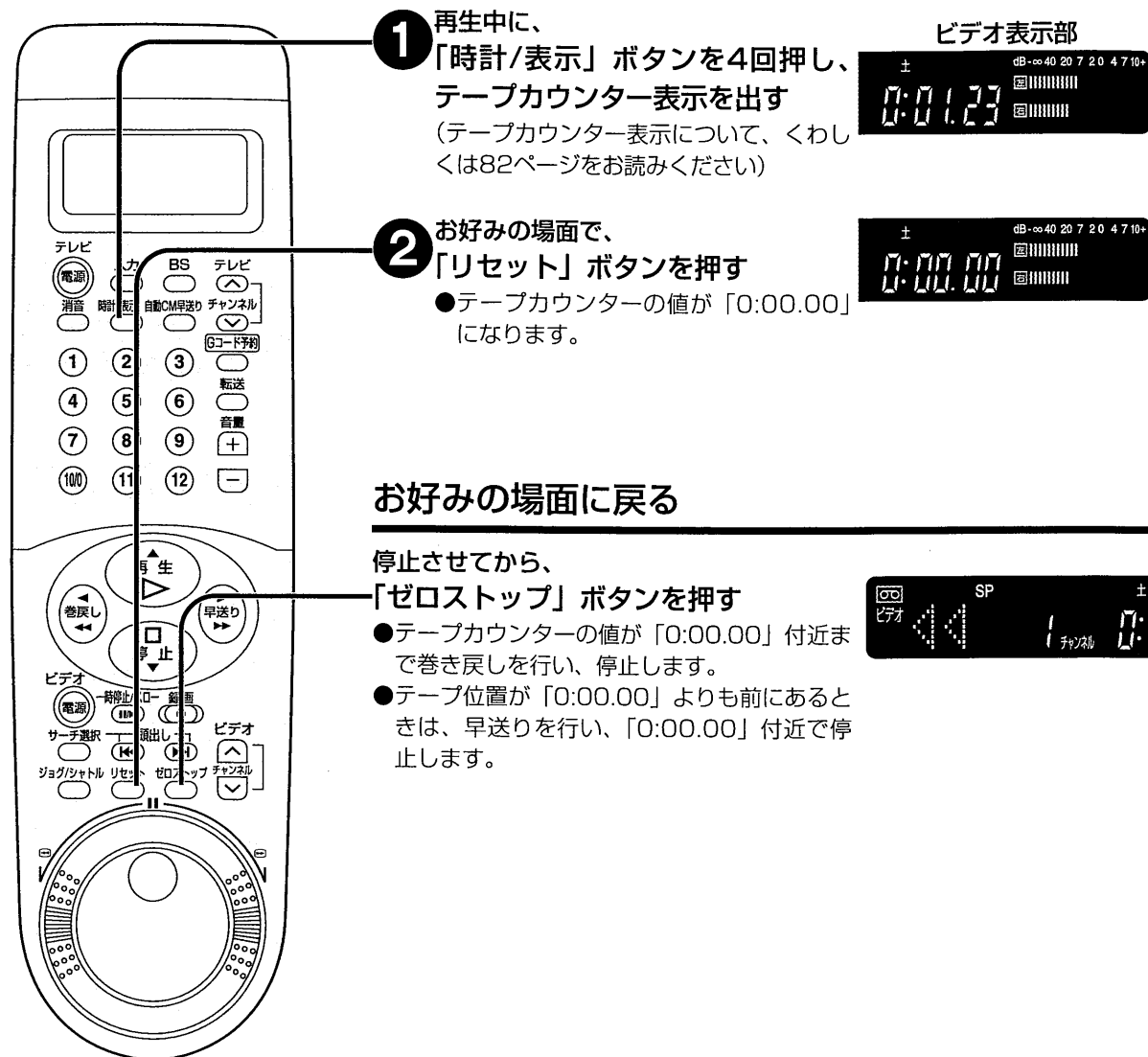
指定した場面に戻る（ゼロストップ）

お好みの場面でテープカウンターをリセットすると（「0:00.00」にすると）、いつでもボタン一つでその場面に戻ることができます。

テープカウンターを「0:00.00」にする

❶ 再生中に、「時計/表示」ボタンを4回押し、テープカウンター表示を出す
（テープカウンター表示について、くわしくは82ページをお読みください）

ビデオ表示部

❷ お好みの場面で、「リセット」ボタンを押す
●テープカウンターの値が「0:00.00」になります。

お好みの場面に戻る

停止させてから、「ゼロストップ」ボタンを押す
●テープカウンターの値が「0:00.00」付近まで巻き戻しを行い、停止します。
●テープ位置が「0:00.00」よりも前にあるときは、早送りを行い、「0:00.00」付近で停止します。

リモコンフリーセット予約でチャンネルを素早く合わせたいとき
（予約チャンネル表示設定）

リモコンの予約チャンネルの表示をビデオ本体に合わせてとばしておくと、「リモコンフリーセット予約（P70）」をするときに、より素早く予約チャンネルを合わせることができます。
●本機のリモコンは、表示可能なチャンネルをCATVチャンネルを除いてすべて表示させています。これらのうち、不要なものをとばしておくと、より素早く予約チャンネルを合わせることができます。

❶「初期設定」ボタンを2回押し、リモコン表示部に右のような表示を出す

リモコン表示部

❷「チャンネル」ボタンを押し、とばしたい予約チャンネルを表示させる
●押し続けると10ずつ変わります。

とばしたい「予約チャンネル」

❸「開始」ボタンを押し、「OFF」表示に変える
●押すごとに、「OFF」と「ON」が切り換わります。
●「OFF」の表示のチャンネルがとばされます。

「OFF」表示

❹ とびらを閉じる
●リモコン表示の表示が消えます。

お願い／ヒント

●必ず表示チャンネル（ビデオで表示させているチャンネル）で設定してください。
●とばされたチャンネルは「リモコンフリーセット予約」ができなくなります。
●2つ以上のチャンネルをとばしたいときは、上記の手順❷と❸をくり返してください。

CATV放送を受信される方は

工場出荷時にはCATVチャンネルはすべてとばされています。お手数ですが、手順❷で必要な表示チャンネル（CATVチャンネル）を選び、手順❸で「ON」の表示に変えてください。

テレビの入力を自動的に切り換える（今すぐ再生）

リモコンの「再生」ボタンを押すだけで、ビデオが再生を始め、テレビの入力切換も「ビデオ1」にします。

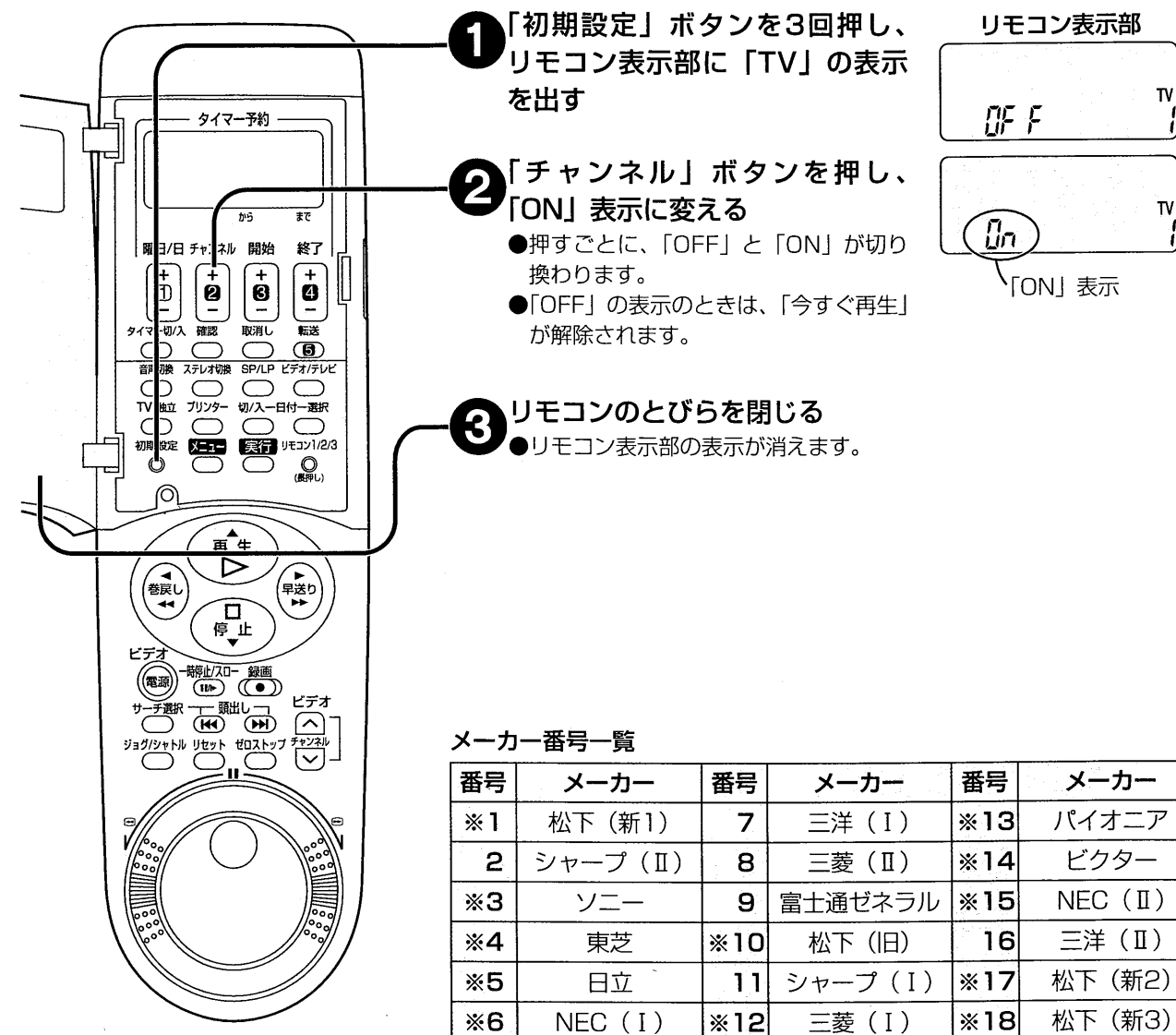
- 「再生」ボタンを押したときに、テレビの入力切換を「ビデオ1」にする信号も出すようになります。
- テレビと映像・音声コードで接続しているときに働きます。
  （接続の際は、テレビの入力端子は必ず「ビデオ1」端子をご使用ください）
- リモコンのテレビメーカー番号を、ご使用のテレビに合わせておいてください。（P30）
- すべてのメーカーのテレビに働くわけではありません。（下記、「メーカー番号一覧」ご参照）

1「初期設定」ボタンを3回押し、リモコン表示部に「TV」の表示を出す

2「チャンネル」ボタンを押し、「ON」表示に変える
- 押すごとに、「OFF」と「ON」が切り換わります。
- 「OFF」の表示のときは、「今すぐ再生」が解除されます。

3リモコンのとびらを閉じる
- リモコン表示部の表示が消えます。

メーカー番号一覧

番号	メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー
※1	松下（新1）	7	三洋（Ⅰ）	※13	パイオニア
2	シャープ（Ⅱ）	8	三菱（Ⅱ）	※14	ビクター
※3	ソニー	9	富士通ゼネラル	※15	NEC（Ⅱ）
※4	東芝	※10	松下（旧）	16	三洋（Ⅱ）
※5	日立	11	シャープ（Ⅰ）	※17	松下（新2）
※6	NEC（Ⅰ）	※12	三菱（Ⅰ）	※18	松下（新3）

- 上記の表の中の、※印の付いているメーカー番号のテレビが「今すぐ再生」できるテレビです。（機種によっては正しく操作できない場合があります）

「今すぐ再生」を働かせているとき

テレビによっては、「メニュー」画面の操作時などに、画面に「ビデオ1」表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりする場合があります。

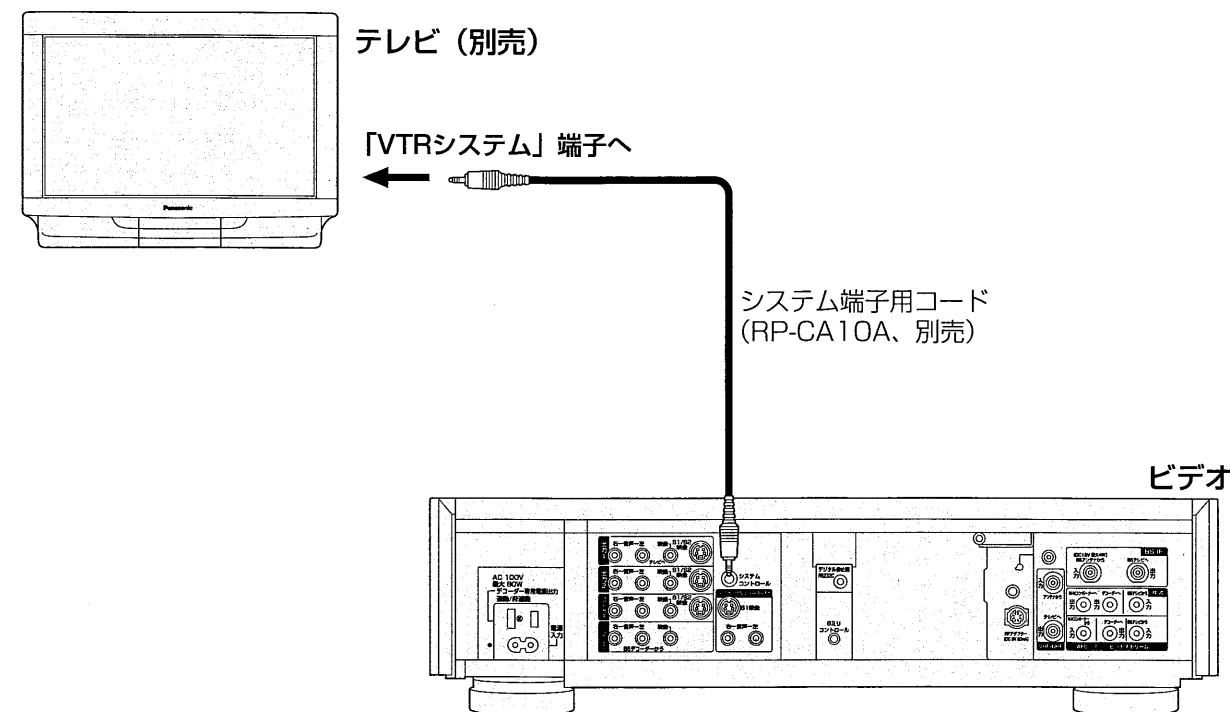
- リモコンの「再生」ボタンは、「メニュー」画面の操作ボタン（▲ボタン）も兼ねていますが、「今すぐ再生」を働かせているときは、再生ボタン（▲ボタン）を押すたびに、常にテレビの入力切換を「ビデオ1」にする信号を出しているためです。

→この現象が気になるときは、「今すぐ再生」を解除してください。
（ただし、「今すぐ再生」はできなくなります）

ビデオの操作に合わせてテレビの入力を切り換える
（テレビコントロール/システムコントロール）

ビデオの操作をするだけで、テレビの入力切換を自動的に切り換えます。

- 当社のVTRシステム端子付きテレビと映像・音声コードで接続しているときに働きます。
  （接続の際は、テレビの入力端子は必ず「ビデオ1」端子をご使用ください）

22ページからの「準備」の接続が終わったあとに、下記の接続を行ってください。

テレビコントロール/システムコントロール

ビデオの操作とテレビの入力切換は、下記のようになります。

ビデオの操作	テレビの入力切換
録画する	変わりません
再生する	「ビデオ1」になります
電源を「切」にする または、予約録画の待機状態にする	「テレビ」になります

別売品のご紹介（一例です）

- **システム端子用コード／RP-CA10A（3m）**
  標準価格：800円

便利な機能（つづき）

日付などの表示を切り換える

本機、または当社のデジタルビデオカメラで録画（撮影）すると、録画（撮影）を行った年月日・時刻が自動的にテープのサブコードトラックに記録されます。
本機では、これらをテレビ画面に表示させるかどうかを選ぶことができます。
●再生画面が出ているときに、録画（撮影）した年月日・時刻を表示します。

❶「日付一切/入」ボタンを押し、テレビ画面に年月日・時刻の表示を出す

❷「日付一選択」ボタンを押し、表示させる内容を選ぶ
●押すごとに、下記のように選べます。

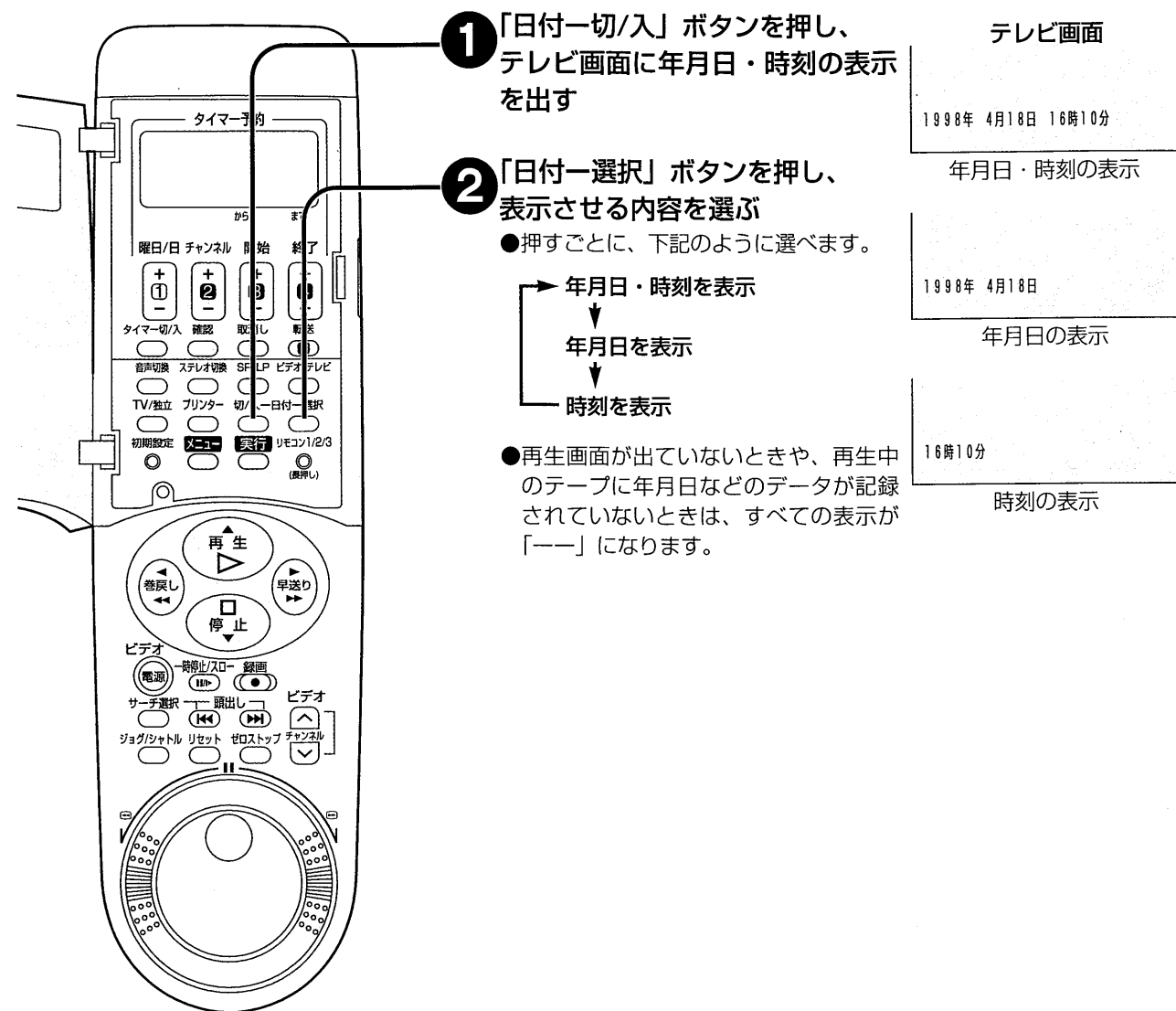
→ 年月日・時刻を表示
↓
年月日を表示
↓
時刻を表示

●再生画面が出ていないときや、再生中のテープに年月日などのデータが記録されていないときは、すべての表示が「−−」になります。

テレビ画面

1998年 4月18日 16時10分
年月日・時刻の表示

1998年 4月18日
年月日の表示

16時10分
時刻の表示

お願い／ヒント
●早送り/巻き戻し再生などのときも、テレビに再生画像が出ているときは、録画（撮影）した年月日・時刻を表示します。
●「オプション設定」（P86）の「オンスクリーン」を「切」にしているときでも表示されます。

テレビ画面に出る表示（オンスクリーン表示）

本機には「オンスクリーン表示」機能があり、ビデオの操作をしたときに、テレビ画面で操作内容やビデオの状態などを確認できます。
（下記は、表示の一例です）

ステレオ 左 右　録画▶　BS− 7
12bit　0h03m45s15f　SP
独 立

音声表示／自動CM早送り表示
●ステレオ放送や二重放送を受信したときに、「ステレオ」または「二重」と表示します。（P47）
●「音声切換」ボタンを押したときに、選ばれた音声を表示します。（P47）
●「自動CM早送り」ボタンを押したときに、「自動CM早送り　切／入」を表示します。（P54）

ビデオモード表示
●テープの動作を表示します。
（カセットが入っているときは、停止状態のときに「▭」を表示）

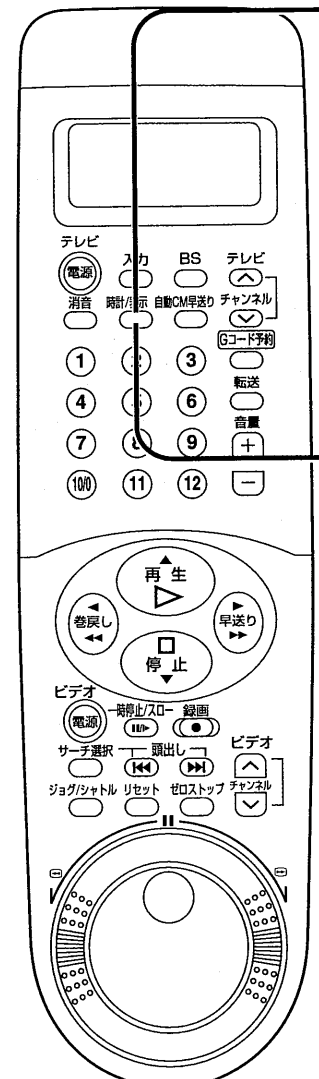
チャンネル表示
●チャンネルを切り換えたときなどに表示します。

12bit／16bit 表示
●チャンネルを切り換えたときなどに、現在選ばれている録音の方式を表示します。

BS音声／BSデコーダー表示
●「TV/独立」ボタンで「独立音声」を選んだときに、「独立」と表示します。（P61）
●スクランブル放送を受信したときに、「BSデコーダー」と表示します。

テープ速度表示
●再生や録画を始めたとき、またはテープ残量を表示するときに、「SP」または「LP」を表示します。

時刻／タイムコード／テープ残量／テープカウンター表示
●「時計/表示」ボタンを押すごとに、表示内容を切り換えて表示します。（P82）

お願い／ヒント
次のときは、「オンスクリーン表示」は出ません。
•「オプション設定」（P86）の「オンスクリーン」を「切」にしているとき。
•「オプション設定」（P86）の「カラー」を「切」にしているとき。

便利な機能（つづき）

テープ残量などを知りたいとき

ビデオ表示部やテレビ画面で、「現在日・時刻」や「テープ残量」が確認できます。
また、ビデオ表示部やテレビ画面の表示を切り換えることができます。

「現在日・時刻」や「テープ残量」を確認する

「時計/表示」ボタンを押す

- ビデオ表示部とテレビ画面に、「現在日・時刻」と「テープ残量」がそれぞれ約3秒間ずつ表示されます。
- ビデオ表示部は現在時刻の表示に戻ります。

テレビ画面

4月18日[土]
16:10.30

現在日・時刻の表示

残量 0:55
SP

テープ残量の表示

表示を切り換える

「時計/表示」ボタンを何度か押し、表示を切り換える

- 「時計/表示」ボタンを押すごとに、下記のように切り換わります。
（下記、「いろいろな表示」ご参照）

→「現在日/時刻 → テープ残量」表示
↓
「タイムコード（TC）」表示
↓
「テープ残量」表示
↓
「テープカウンター」表示
↓
「終了時刻」表示（ビデオ表示部のみ）

録画▶ CH 1
0h05m30s15f SP

「タイムコード（TC）」表示

録画▶ CH 1
残量 0:55 SP

「テープ残量」表示

録画▶ CH 1
0:05.30 SP

「テープカウンター」表示

ビデオ表示部

終了 16:40

「終了時刻」表示

いろいろな表示

「現在日/時刻 → テープ残量」表示
「自動時刻合わせ機能」が働いているときは（P85）、時刻は「秒」まで表示されます。

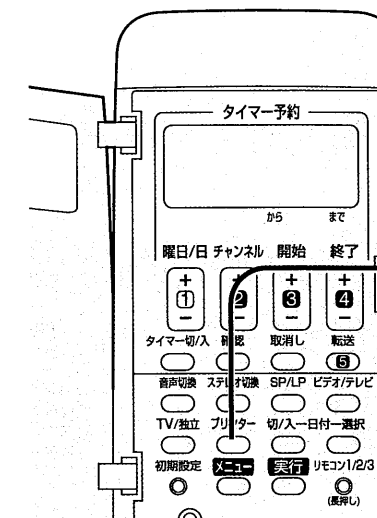
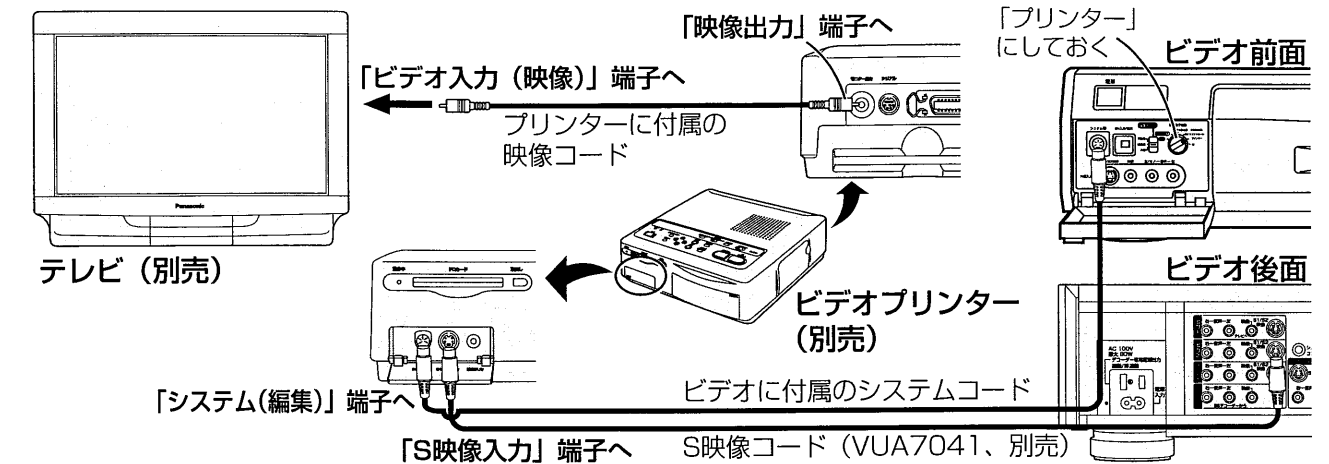
「タイムコード（TC）」表示
タイムコードとは、録画時にテープ始端からの位置を自動的に記録しているものです。編集するときは、このタイムコードを使用して録画開始点などを指定します。
（別冊の編集編、ご参照）
- カセットの途中から録画されているテープの場合は、録画の開始点からのデータになります。

「テープ残量」表示
- カセットが入っていないときや、残量計算ができていないとき（カセットを入れた直後など）は、表示されません。
- 残量計算された状態で電源を「切」にすると、次に電源を「入」にしたときに、ビデオ表示部およびテレビ画面右上に、自動的に「テープ残量」を約5秒間表示します。

「テープカウンター」表示
テープ走行に応じた経過時間を表示します。

「終了時刻」表示
「終了時刻予約録画」を行っているときに（P57）、録画終了時刻を表示します。（通常は表示されません）

ビデオプリンターで静止画像をプリントする

ビデオプリンターと接続すると、ビデオ映像をプリントすることができます。
- 当社の5ピン型「システム（編集）」端子付きビデオプリンターと接続すると、ボタン一つで簡単にプリントすることができます。

下記のようにビデオプリンターと接続してください。（ビデオプリンターの説明書もお読みください）

画像をプリントする

準備
①ビデオプリンターと上記の接続をする。
②ビデオプリンターの電源を「入」にし、必要な設定をしておく。
（くわしくは、ビデオプリンターの説明書をお読みください）
③ビデオの「編集端子切換」スイッチを「プリンター」にしておく。

1 プリントしたい場面をさがす

■再生中の画面からプリントしたい場面をさがすとき
→「ジョグダイヤル」と「シャトルリング」を使ってさがしてください。（P53）

■フォトショット撮影した画像をさがすとき
→「フォトサーチ」を行ってください。（P75）

2 プリントしたい場面がさがせたら、「プリンター」ボタンを押す

- プリンターがプリントを始めます。
- より確実にプリントするために、静止画再生にしておいてから「プリンター」ボタンを押すことをおすすめします。

お願い／ヒント

- ビデオの「オンスクリーン表示」や「年月日・時刻」表示もプリントされますので、これらを入れたくないときは、それぞれ出さないようにしてください。
  - 「オプション設定」の「オンスクリーン」を「切」にする。（P86）
  - 「日付一切/入」ボタンを押し、「年月日・時刻」表示を消す。（P80）
- プリントは、途中でやめることはできません。
- 画面を分割したり、ズーム機能を使ったりしてプリントすることはできません。

別売品のご紹介（一例です）

- **ビデオプリンター／NV-MPX1**
  標準価格：59,800円
- **S映像コード／VUA7041（1.5m）**
  標準価格：700円

便利な機能（つづき）

パソコンと接続する

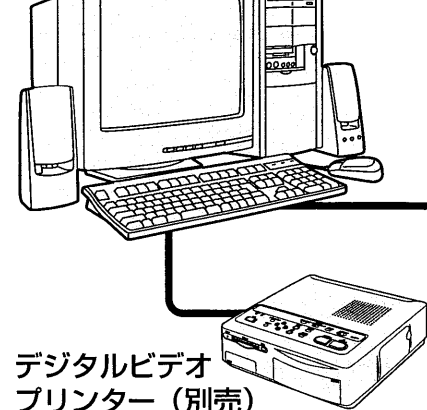
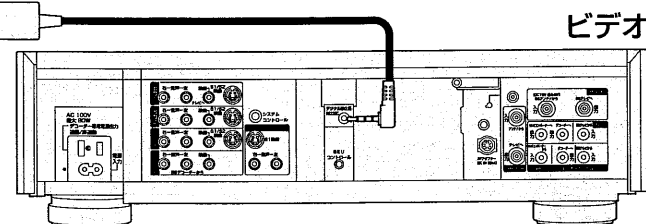
別売のデジカム用パソコン静止画キットVW-DTA1W（Windows®用）/VW-DTA1M（Macintosh用）を使うと、本機をパソコンに接続し画像データをパソコンに伝送することができます。

パソコン静止画キットには、デジカム連動のソフト「DV STUDIO」が付いています。「DV STUDIO」は、以下の4つのソフトウェアが一つになった統合ソフトです。

1「DVプレーヤー」
- ●デジタル静止画の取り込みができます。
- ●パソコン側から本機のビデオ操作（再生、早送り、巻き戻しなど）を制御することができます。
（「DVプレーヤー」の表示が、実際のデッキの動作と合わない場合があります）
- ●画像のテープ位置を検索し、頭出し再生ができます。
- ●取り込んだ画像をパソコンで使えるように、フォトアルバムへの登録ができます。

2「フォトアルバム」
- ●取り込んだ画像をアルバムとしてまとめ、タイトルや日付などの情報を書き込むことができます。
- ●画像を加工するフォトレタッチソフトも付いています。

3「レイアウトデザイン」
- ●取り込んだ画像データを使って、自由にレイアウトすることができます。

4「住所録」
- ●住所録を作成することができます。
- ●「レイアウトデザイン」と連動させて、自動的に宛名のレイアウトの作成ができます。

- ●画像を取り込むときは、「SP」モードで録画しておくことをおすすめします。
- ●タイムコードが途中で途切れないように録画しておいてください。
- ●当社のデジタルビデオプリンターと接続すると、取り込んだ画像を美しくプリントすることができます。

パソコン静止画キットについて

Windows95®でご使用の方は

デジカム用パソコン静止画キットVW-DTA1Wをお求めください。
- ●80486以上のCPU搭載機種
- ●Microsoft® Windows95® 日本語版が動作する DOS/V および PC-9800 シリーズパソコン
- ●True Color（約1670万色）を推奨
- ●メモリー16MB以上
- ●ハードディスク10MB以上の空き
- ●CD-ROM ドライブ
- ●RS232Cポート
  D-sub 9 ピン（DOS/V の場合）
  25 ピン（PC-9800 シリーズ）
- ●マウス

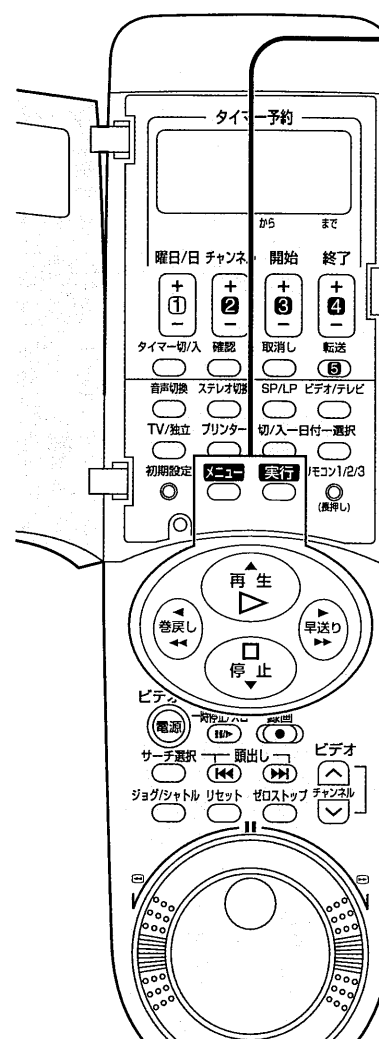
Macintoshでご使用の方は

デジカム用パソコン静止画キットVW-DTA1Mをお求めください。
- ●68040以上のCPU搭載機種
- ●漢字Talk7.1以上が動作するシステム
- ●約1670万色を推奨
- ●メモリー12MB以上
  Power Macintosh は16MB以上
- ●ハードディスク10MB以上の空き
- ●CD-ROM ドライブ
- ●シリアルポート（ミニDIN8ピン）
- ●マウス

その他

時刻を合わせ直す

本機の時計は工場出荷時に合わせており、約5年間は「バックアップ（停電対応電源）」機能が働いています。また、「自動時刻合わせ」機能がありますので、通常のご使用では時計を合わせ直す必要はありません。

準備
①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

1「メニュー」画面を出す
「メニュー」ボタンを押す

2「時刻合わせ」画面を出す
「◀▶」ボタンで「時刻合わせ」を選び、「実行」ボタンを押す

3「時」を合わせる
「◀▶」ボタンで「時」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる

4「分」を合わせる
「◀▶」ボタンで「分」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる

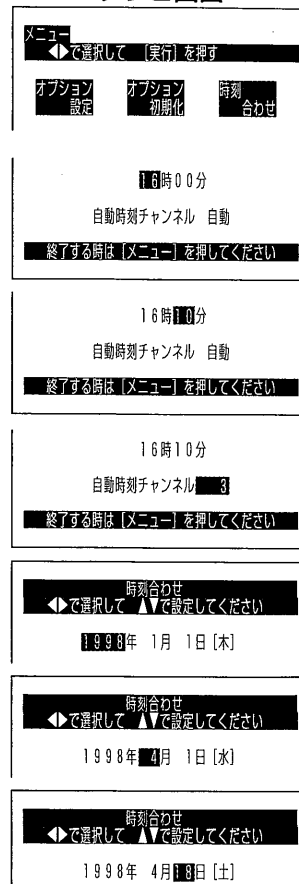
5「自動時刻チャンネル」を合わせる
「◀▶」ボタンで「自動時刻チャンネル」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる
●NHK教育テレビに合わせてください。

6「年」を合わせる
「◀▶」ボタンで「年」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる

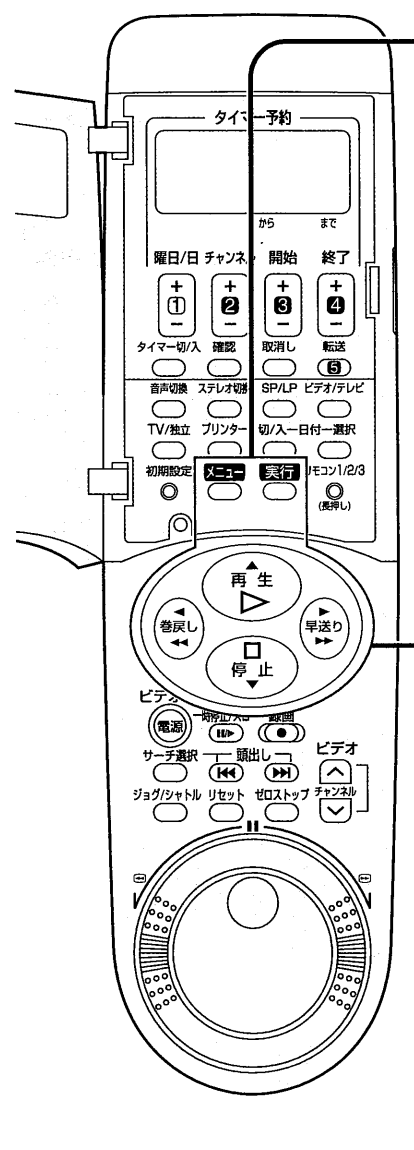
7「月」を合わせる
「◀▶」ボタンで「月」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる

8「日」を合わせる
「◀▶」ボタンで「日」を選び、「▲▼」ボタンで合わせる

9「メニュー」ボタンを押す
●「時刻合わせ」画面が消え、時計が動き始めます。

テレビ画面

「自動時刻合わせ」機能

「自動時刻チャンネル」をNHK教育テレビに合わせておくと、毎日7、12、19時に時報が放送されるかどうかを自動的に確認し、時報が放送されると、その時報に合わせて時計の誤差を修正します。
- ●2分以内の誤差が修正できます。
- ●次のようなときは正しく働きません。
  - •時報の時刻にビデオの電源を「入」にしているとき。
  - •時報のバックに音楽が流れているとき。
  - •「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- ●「自動時刻チャンネル」を「−−」にするとこの機能が解除されます。
- ●「自動時刻チャンネル」を「自動」にすると、ビデオが自動的にNHK教育テレビをさがし出します。
（地域によってはさがし出すまでに数週間かかる場合もありますので、あらかじめNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします）
- ●「自動時刻合わせ」機能が働くと、「現在日/時刻」表示のとき、「秒」まで表示するようになります。(P82)
- ●電源コードを抜いたときや、停電のあとなどは、「自動時刻合わせ」機能が働いていない状態になります。

お願い／ヒント
- ●時計は24時間表示です。
- ●1989年〜2088年まで合わせることができます。
- ●「バックアップ」機能では、受信チャンネルの設定や予約録画の内容も記憶しています。

その他（つづき）

オプション設定について

本機を使いこなすための様々な設定を、「オプション設定」としてまとめています。（くわしくは右のページ）

準備 ①テレビの電源を「入」にする。
②テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
③ビデオの電源を「入」にする。

オプション設定のしかた

❶「メニュー」画面を出す
「メニュー」ボタンを押す

❷「オプション設定」画面を出す
「◀▶」ボタンで「オプション設定」を選び、「実行」ボタンを押す

❸必要な項目を設定する
「▲▼」ボタンで設定する項目を選び、「◀▶」ボタンで設定する

❹「メニュー」ボタンを押す
●「オプション設定」画面が消えます。

テレビ画面

オプション設定を初期化する

①「メニュー」画面を出す
「メニュー」ボタンを押す

②「オプション初期化」を選ぶ
「◀▶」ボタンで「オプション初期化」を選ぶ

③「実行」ボタンを押す
●「オプションを初期化しました」のメッセージが表示され、「オプション設定」が工場出荷時の設定に戻ります。

④「メニュー」ボタンを押す
●「メニュー」画面が消えます。

「オプションを初期化しました」のメッセージ

「オプション設定」の内容

「オプション設定」には、下記のような項目があります。（工場出荷時は、●印の設定です）

	項目	選択	工場出荷時の設定	各項目の内容	参照ページ
「オプション設定」画面（1面）	オンスクリーン	切		テレビ画面に表示を出さなくなります。	81
		入		テレビ画面に常に表示を出すようになります。	
		自動	●	ビデオを操作したときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すようになります。	
	ブルーバック	切		放送されていないチャンネルを選んだときに、ブルーバック（青い）画面になりません。	－
		入	●	放送されていないチャンネルを選んだときに、ブルーバック（青い）画面になります。	
	自動電源［切］（下記、※1）	切		自動電源［切］機能が解除されます。	－
		2H		何の操作もせずに約2時間以上放置すると、自動的にビデオの電源を「切」にします。	
		6H	●	何の操作もせずに約6時間以上放置すると、自動的にビデオの電源を「切」にします。	
	3次元Y/C	切		動きの早い映像に起こる残像現象をおさえたいときは、この位置にしてください。	－
		入	●	より高画質の録画ができます。（通常はこの位置）	
	3次元NR	切		編集時に本機を再生側として使用するときは、この位置にしてください。	－
		標準	●	より高画質の再生ができます。（通常はこの位置）	
		強		画面にノイズが多いときは、この位置にしてください。	
「オプション設定」画面（2面）	ワイドモード	切		テレビのS映像入力端子がふつうのS映像端子のときは、この位置にしてください。	50
		S1		テレビのS映像入力端子がS1映像端子のときは、この位置にしてください。（「ワイドフル」モードの映像をテレビに送るとテレビ画面が自動的に「フル」モードに切り換わります）	
		S1/S2	●	テレビのS映像入力端子がS1/S2映像端子のときは、この位置にしてください。（「ワイドフル」モードや「ワイドクリアビジョン」の映像をテレビに送るとテレビ画面が自動的に「フル」モードに切り換わります）	
	デコーダー電源（下記、※2）	切	●	ビデオの電源の「切/入」に関係なく、常にビデオ後面の「デコーダー専用電源出力」コンセントから電力を出します。	62～64
		入		ビデオの電源を「入」にすると、ビデオ後面の「デコーダー専用電源出力」コンセントから電力を出します。ビデオの電源を「切」にすると出しません。	
		自動		ビデオがBSのスクランブル放送やハイビジョン放送を受信すると、ビデオ後面の「デコーダー専用電源出力」コンセントから電力を出します。（BSデコーダーやM-Nコンバーターを接続するときはこの位置）	
	リモコンモード	1	●	通常はこの位置でご使用ください。	31
		2		2台の当社製ビデオを使用するときは、この位置にしてください。（リモコン・編集コントローラーのモードも「リモコン2」にしてください）	
		3		3台の当社製ビデオを使用するときは、この位置にしてください。（リモコン・編集コントローラーのモードも「リモコン3」にしてください）	
	カラー	切		白黒で録画されているテープを再生するときは、この位置にしてください。（「オンスクリーン表示」も出なくなります）	－
		入	●	通常はこの位置でご使用ください。	

お願い／ヒント

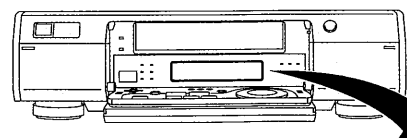
※1「自動電源［切］」について
むだな電力の消費を防ぐため、長時間何も操作しなかったときに自動的にビデオの電源を「切」にする機能です。

※2「デコーダー電源」について
「オプション設定」での選択に関係なく、テレビなどの外部機器から「ビットストリーム信号」がビデオに入力されると、ビデオ後面の「デコーダー専用電源コンセント」から電力を出します。

その他（つづき）

自己診断表示機能

本機には、異常を知らせる自己診断機能があります。

本機の設置中や使用中に、ビデオ表示部に下記のような表示記号（サービス番号）が出たときは、下表を参考にして対応してください。

ビデオ表示部

サービス番号の一例

表示記号	本機の状態	対応のしかた	ページ
U10	つゆ付きが起こっています。	表示が消えるまでお待ちください。	11
U11	ビデオヘッドがよごれています。	クリーニングしてください。	12
U50	BSアンテナケーブルがショートしています。	BSアンテナ電源が自動的に「切」になります。BSアンテナケーブルがショートしていないことを確認し、正しく接続し直したあと、BSアンテナ電源を再設定してください。	32〜33
H□□	異常と思われます。（H、F以降の数字は、そのときの本機の状態によって変わります）	お買い上げの販売店、または最寄りの修理ご相談窓口へご相談ください。●修理を依頼されるときは、ビデオ表示部のサービス番号をお知らせください。（例えば、「H01」と表示されているときは、「サービス番号、H01」とお知らせください）	
F□□			

●本機が異常な動作をするときは、電源コンセントを抜いてください。
●本機はほとんどの操作をリモコンで行います。修理の際は本機のリモコンもサービスマンにお渡しください。

困ったとき!?

下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または「お客様ご相談センター」（P94）にお問い合わせください。

	こんなとき	原因と対応のしかた	ページ
電源	電源が「入」にならない	電源プラグがコンセントから外れていませんか?	—
	電源は「入」になっているのに、ビデオの操作ができない	ビデオ表示部に「予約」表示が出ていませんか? →「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を消す。	72
		ビデオ表示部に「d」が点滅し、「U10」が表示されていませんか? →つゆ付きが起こっています。「d」、「U10」の表示が消えるまでお待ちください。（約2時間程度）	11
		各種安全装置が働いている場合があります。 →電源を「切」にして電源プラグをコンセントから外し、約1分後に再び電源コンセントに差し込んで、電源を「入」にしてください。直る場合があります。	—
	電源が「切」になった	「自動電源［切］」機能が働いている場合があります。 →「ビデオ電源」ボタンを押すと、電源が「入」になります。	—
		各種安全装置が働いている場合があります。 →「ビデオ電源」ボタンを押すと、電源が「入」になります。	—

困ったとき!?（つづき）

	こんなとき	原因と対応のしかた	ページ
接続	ビデオを接続したらテレビの映りが悪くなった	電波をテレビとビデオに分けたためです。 →市販のアンテナブースターなどを使用すると改善されます。（効果がないときは、販売店にご相談ください）	—
カセット	カセットが入らない	電源プラグがコンセントから外れていませんか?	—
		テープが見える面を上にして入れていますか?	44
	カセットを入れたが、「□」表示が出ない	カセットがカセットガイドから外れていませんか? →カセットは、カセットガイドに合わせて入れてください。	44
	カセットが取り出せない	ビデオ表示部に「予約」表示が出ていませんか? →「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を消してから取り出してください。	72
		録画中ではありませんか? →「停止」ボタンを押し、録画をやめてから取り出してください。	55
テレビ画面	テレビに画像が出ない	テレビにビデオの画面を出しましたか?	49
	テレビの映りが悪い	電波が弱いと思われます。 →アンテナの向きを調整してください。 →市販のアンテナブースターなどを使用してください。	—
		別売のRFアダプターを使って接続しているときは。 →テレビのビデオ用チャンネル（1または2）を調整してください	49
再生	テレビに再生画像が出ない	テレビにビデオの画面を出しましたか?	49
	再生画像にモザイク状のノイズが出る	ビデオヘッドがよごれていませんか? →付属のデジタルビデオ用ヘッドクリーナーでクリーニングしてください。	12
		ビデオヘッドが磨耗していませんか? →ビデオヘッドの交換が必要です。販売店にご相談ください。	—
		テープが古くなったりいたんだりしていませんか?	10
	早送り/巻き戻し/静止画/スロー再生が自動的に解除された	早送り/巻き戻し/スロー再生は約10分、静止画再生は約5分で解除されます。（テープとビデオヘッドの保護のためです）	51
	再生画面が、黒い画面になる	未録画部分や記録状態の悪い部分を再生すると、黒い画面になります。	87
		よごれたりいたんだりしたテープを使用すると、ビデオが故障し、黒い画面になる場合があります。このときは、販売店にご相談ください。	—
音声	2種類の音声がまざって聞こえる	「ステレオ1+2（ミックス）」音声が選ばれていませんか? →「ステレオ切換」ボタンで聞きたい音声トラックを選んでください。	47
		「左+右」音声が選ばれていませんか? →「音声切換」ボタンで聞きたい音声を選んでください。	47
	音声が聞こえない	何も録音されていない「ステレオ2」トラックが選ばれていませんか? →「ステレオ切換」ボタンで聞きたい「ステレオ1」トラックを選んでください。	47
	二重放送時に聞きたい音声が聞こえない	聞きたい音声が選ばれていますか? →「音声切換」ボタンで聞きたい音声を選んでください。	47
	音声がステレオ音声ではない	ステレオ音声が選ばれていますか? →「音声切換」ボタンで「左+右」音声を選んでください。	47
		別売のRFアダプターを使って接続しているときは、常にモノラル音声になります。	26
録画	録画ができない	カセットの誤消去防止つまみが「SAVE」側になっていませんか?	45
		著作権保護のための信号が記録されたソフトや放送は録画できません。	55

困ったとき!?（つづき）

	こんなとき	原因と対応のしかた	ページ
予約録画	Gコード予約ができない	**ガイドチャンネルは正しく設定されていますか?** →ガイドチャンネルを正しく設定してください。	34
		複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されていませんか? →不要なチャンネルはとばしておいてください。	34
		時計は合っていますか? →時刻を合わせ直してください。	85
	予約録画が正しく実行されない	**予約内容（開始時刻や終了時刻など）が間違っていませんか?** →予約内容を確認しながら、手順どおりに予約し直してください。	68 70
		ビデオ表示部に「予約」表示が出ていますか? →「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を出しておいてください。	72
		予約録画の時間帯が重なっていませんか?	−
		時計は合っていますか? →時刻を合わせ直してください。	85
		デジタルCS放送の、コピーガードのかかった番組を予約していませんか? →このときは、モザイク状の映像が記録されてしまいます。	55
	予約録画中に、ビデオの電源が「切」になった	**テープの終端になると、録画をやめ、電源を「切」にします。** →予約した番組よりも余裕のあるカセットを、あらかじめ入れておいてください。	−
	予約録画が終了しても、予約内容が消えない	**毎日/毎週予約は消えません。** →最大8番組の予約ができますが、不要なものは取り消しておいてください。	73
BS（衛星放送）	「市外局番入力チャンネル設定」をしたが、BS放送がとばされている	**BSアンテナは正しく接続されていますか?** →BSアンテナを正しく接続してください。	32
		「BS電源」は正しく設定されていますか? →「BS電源」を正しく設定してください。	33
	WOWOWが映らない	**BSデコーダーは正しく接続されていますか?** →BSデコーダーを正しく接続してください。	62 64
		「BSシステム」が「切」になっていませんか? →「BSシステム」を「デコーダー［自動］」にしてください。	40
	ハイビジョン放送が映らない	**M-Nコンバーターは正しく接続されていますか?** →M-Nコンバーターを正しく接続してください。	63 64
		「BSシステム」が「切」になっていませんか? →「BSシステム」を「デコーダー［自動］」または「M-Nコンバーター」にしてください。	40
	映像も音声も出ない	**放送自体が中断されていませんか?** →放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止される場合があります。	−
	映像の映りが悪い 音声にノイズが入る	**BSアンテナの向きは正しいですか?**	−
		豪雨などで電波が減衰したり、強風でBSアンテナがゆれたりしていませんか? →気象条件による一時的なものは、ビデオやBSアンテナの故障ではありません。	−
		BSアンテナ線が劣化していませんか? →販売店にご相談ください。	−
	音声が聞こえない （Aモード放送受信時）	**「独立音声」を選んでいませんか?** →「TV/独立」ボタンを押し、「テレビ音声」を選んでください。	61
表示	テープカウンター表示の値が変わらない	**テープの未録画部分では変わりません。「秒」表示部分が下記のように変わります。** （「秒」表示部分の変化の図） **よごれたりいたんだりしたテープを使用すると、ビデオが故障し、上記のような表示になる場合があります。このときは、販売店にご相談ください。**	−
	時計表示が「0：00」で点滅している	**時計が合っていません。** →時刻を合わせ直してください。	85

	こんなとき	原因と対応のしかた	ページ
リモコン	ビデオの操作ができない	**ビデオ表示部に「予約」表示が出ていませんか?** →「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を消してから操作してください。	72
		ビデオ本体とリモコンモードは合っていますか? →ビデオ本体のリモコンモードが「1」のときは、リモコンを「リモコン1」にしてください。	31
		電池は消耗していませんか? →新しい電池と交換してください。 （リモコン表示部は点灯していても、操作できない場合があります）	29
		ビデオ本体のリモコン受信部に向けて操作していますか?	29
		ビデオ本体との間に障害物はありませんか?	29
	テレビの操作ができない	**テレビメーカー番号は合っていますか?** →正しい番号に合わせてください。 （メーカーや機種によっては、操作できない場合があります）	30

テレビ画面にメッセージが出るとき

本機を誤って操作したときなどは、テレビ画面に「エラーメッセージ」を出します。
「エラーメッセージ」には、下記のようなものがあります。

エラーメッセージ	ビデオの状態
カセットが入っていません	●カセットを入れずに、再生や録画などをしようとしたとき。 ●カセットを入れずに、予約録画の待機状態にしようとしたとき。
ヘッドクリーニングしてください	●ビデオヘッドのよごれを検知したとき。 （ビデオ表示部に、サービス番号「H01」も出ます）.
このカセットでは記録できません	●誤消去防止つまみを「SAVE」側（左側）にしたカセットで、録画をしようとしたとき。 ●誤消去防止つまみを「SAVE」側（左側）にしたカセットで、予約録画の待機状態にしようとしたとき。
カセットを確認ください	●本機で使用できないカセットを入れたとき。
コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかった番組などを録画しようとしたとき。 ●録画中に、コピーガードを検知したとき。
予約内容にミスがあります	●予約内容の設定が正しくないとき。
予約チャンネルを合わせてください	●ガイドチャンネルが設定されていないチャンネルの番組をGコード予約しようとしたとき。
BSアンテナ電源を「切」にしました	●BSアンテナ線がショートしたとき。
接続／設定を確認ください	●ビデオ本体の「編集端子切換」スイッチを「プリンター」にせずに、リモコンの「プリンター」ボタンを押したとき。

●操作によっては、メッセージが二重に出る場合があります。
●プリンターに紙が入っていないなど、プリンター側の不具合を示すメッセージは出ません。

Q&A

本機の操作などで疑問に思われることがあったときは、この表を参考にしてください。

	Q（問）	A（答）	ページ
接続	テレビの音声入力端子がモノラルの場合の接続コードは?	別売の映像・音声コード/RP-CV16Aで接続します。	27
接続	接続端子やプラグの色分けは?	端子とプラグの色を合わせるだけで正しく接続されます。 映像用……………………黄色 左音声用…………………白色 右音声用…………………赤色 モノラルタイプの音声用…黒色または白色	27
カセット	従来のカセット（S-VHS/VHS）やコンパクトカセット（S-VHS-C/VHS-C）、8ミリカセット、DVC PROカセットは使用できるか?	使用できません。	—
再生	海外で録画されたテープを再生できるか?	同じNTSC方式のSPまたはLPで録画されたものなら再生できます。	—
録画	二重放送を録画中に、音声を切り換えて聞くことはできるか?	できます。（録画中の音声には影響はありません） →「音声切換」ボタンで聞きたい音声を選んでください。	47
録画	ステレオ放送の片側のチャンネルだけ（2カ国語放送の主音声だけ）を録音できるか?	できません。 →再生するときに、「音声切換」ボタンで聞きたい音声を選んでください。	47
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか?	日付・時間順に行われます。	—
予約録画	予約録画が始まるまでの間、他のテープを見ることができるか?	予約録画を解除しないとできません。 →「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を消してから操作してください。	72
予約録画	予約録画の待機中に、カセットの入れ替えはできるか?	予約録画を解除しないとできません。 →「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を消してから操作してください。	72
予約録画	テレビの電源は「入」にしておくのか?	テレビは「切」「入」どちらでもかまいません。	—
表示	ビデオ表示部に「ビデオ」表示がでるのは何のためか?	別売のRFアダプターを使ってテレビと接続しているときに、ビデオの画面を出せる状態になっていることを示すものです。	49

St. GIGA（セント・ギガ）と受信契約をされているときは

■St. GIGAは、BS5チャンネル（WOWOW）の「独立音声」で行われている、音声のみの有料放送です。

お楽しみいただくには、St. GIGAとの受信契約と、別売のBSデコーダーが必要です。（P62、64）

- ●BSデコーダーは、WOWOWを見るときに必要なものと同じです。（BSデコーダーの説明書もお読みください）
- ●ビデオの「マニュアルチャンネル設定」（P40）を行い、BS5チャンネルの「BSシステム」を「デコーダー［入］」にしてください。
- ●テレビの画面はWOWOWの番組を映していますが、音声がSt. GIGAの番組になります。

■テレビのBSチューナーを使って、St. GIGAを楽しむとき

テレビ …………電源を「入」にし、BS5チャンネルを選ぶ。
BSデコーダー…電源を「入」にし、独立音声を選ぶ。

- ●ビデオの「オプション設定」（P86）の「デコーダー電源」を「自動」または「切」にしてください。（ビデオの電源が「切」でもお楽しみいただけます）

■ビデオのBSチューナーを使って、St. GIGAを楽しむとき

テレビ …………電源を「入」にし、入力切換を「ビデオ」にする。
ビデオ …………電源を「入」にし、BS5チャンネルを選ぶ。
BSデコーダー…電源を「入」にし、独立音声を選ぶ。

仕様

電源	AC 100V±10%, 50/60Hz±0.5%
消費電力	27W（電源「切」の時　約8W）

録画方式	DV方式/MiNi DV方式（民生用デジタルVCR SD規格）
テープ速度	SP:18.812mm/秒　LP:12.555mm/秒
使用テープ	ビデオカセット（6.35mm幅デジタルビデオテープ）
録画時間	最大3時間（DV120使用の場合）　SP 60分、LP 90分（DVM60使用の場合）
早送り・巻き戻し時間	約70秒（DV120使用の場合）　約50秒（DVM60使用の場合）
デジタル静止画	デジタル静止画出力、制御信号入出力（転送レート：最大115kbps）
テレビジョン方式	NTSC方式：525本、60フィールド
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCM 48kHz,16bit（2ch）/ 32kHz,12bit（4ch）
受信チャンネル	VHF　1CH　～　12CH UHF　13CH　～　62CH CATV　C13CH　～　C63CH BS　1,3,5,7,9,11,13,15CH
映像	
入出力	1.0Vp-p,　75Ω（ピンジャック）
S映像入出力 （セパレートYC信号端子）	Y:1.0Vp-p,　75Ω C:0.286Vp-p,　75Ω
音声	
ライン入力	309mV,　入力インピーダンス　47kΩ　（ピンジャック）
マイク	0.33mV,　適合マイク　600Ω　（ミニジャック）
ライン出力	309mV,　出力インピーダンス　1kΩ /負荷インピーダンス　10kΩ（ピンジャック）
ヘッドホン	1～30mV,　/負荷インピーダンス　8Ω　（ミニジャック）
BS	
検波入出力	0.67Vp-p,　75Ω（ピンジャック）
ビットストリーム入出力	0.5Vp-p,　75Ω（ピンジャック）
VHF/UHF一軸アンテナ入力	75Ω
BS入力端子	アンテナ入力　75Ω　BSアンテナ用電源出力（DC15V,最大4W）
RF出力	ー（RFアダプター端子対応）
外形寸法	幅445×高さ123×奥行351.5mm
本体質量	約7.3kg
許容周囲温度	5℃～40℃
許容相対湿度	35%～80%
時計部	クォーツ制御24時間デジタル表示

その他（つづき）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!**

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
88～91ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、ビデオ表示部に「サービス番号」(P88)が表示されている場合はその番号を確認し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
[技術料]は、診断・故障個所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
[部品代]は、修理に使用した部品および補助材料代です。
[出張料]は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

パナは　365日
0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0198

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地区	電話	所在地
札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)31-6151	旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西19条南1丁目7-11
函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

地区	電話	所在地
青森	☎(0177)39-9712	青森市大字八ッ役字矢作1-37
秋田	☎(0188)26-1600	秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手	☎(019)639-5120	盛岡市羽場13地割30-3
宮城	☎(022)375-2512	仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形	☎(0236)41-8100	山形市流通センター3丁目12-2
福島	☎(0243)34-1301	福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

地区	電話	所在地
栃木	☎(028)632-8450	宇都宮市中央1丁目8-13
群馬	☎(0273)52-1217	高崎市萩原町沖中205-18
両毛	☎(0276)25-6870	太田市東新町244-1
水戸	☎(029)225-0119	水戸市柳河町309-2
つくば	☎(0298)64-8090	つくば市花畑2丁目8-1
埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎(043)251-3537	千葉市稲毛区園生町369-1
船橋	☎(047)334-5111	船橋市本中山6丁目11-7
柏	☎(0471)63-8905	柏市北柏1丁目6-6
東京	☎(03)5477-9780	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨	☎(0552)22-5171	甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎(025)286-0171	新潟市東明1丁目8-14
佐渡	☎(0259)23-2898	両津市秋津字境108-1
長岡	☎(0258)28-2111	長岡市寺島町308-12
上越	☎(0255)44-6871	上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

地区	電話	所在地
石川	☎(076)294-2683	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山	☎(0764)32-8705	富山市寺島1298
福井	☎(0776)54-5606	福井市開発4丁目112
長野	☎(026)358-0073	松本市大字笹賀7600-7
静岡	☎(054)287-9000	静岡市西島765
名古屋	☎(052)614-3136	名古屋市南区西又兵衛町3丁目48
岡崎	☎(0564)55-5719	岡崎市岡町南久保28
岐阜	☎(058)323-6010	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三重	☎(059)255-1380	久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

地区	電話	所在地
滋賀	☎(077)582-5021	守山市勝部町260
京都	☎(075)672-9636	京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪	☎(06)359-6225	大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市椎木町404-2
和歌山	☎(0734)75-1311	和歌山市中島499-1
兵庫	☎(078)272-6645	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

地区	電話	所在地
鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎(0852)23-1128	松江市西津田2丁目10-19
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)292-1162	岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音8丁目13-20
山口	☎(0839)86-4050	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

地区	電話	所在地
香川	☎(087)874-6200	香川県綾歌郡国分寺町新名663-1
徳島	☎(0886)98-1125	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知	☎(0888)66-3142	南国市岡豊町中島331-1
愛媛	☎(089)971-2144	松山市土居田町750-2

九州地区

地区	電話	所在地
福岡	☎(092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1949-1
大分	☎(0975)56-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)85-6530	宮崎県宮崎郡清武町下加納336-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天草	☎(0969)22-3125	本渡市港町18-11
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大島	☎(0997)53-5101	名瀬市矢之脇町10-15

沖縄地区

地区	電話	所在地
沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11